令和２年度決算に係る行政報告書

（主要な施策の成果を説明する書類）

令和３年８月

埼玉県加須市

目　　次

Ⅰ　財政の状況（一般会計）

１　歳入 …… １
２　歳出 …… ２
３　収支 …… ５
４　市税 …… ６
５　地方債等（一般会計・全会計） …… ７
６　財政構造（普通会計） …… １１
７　地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要した経費 …… １２
８　森林環境譲与税の使途 …… １４

Ⅱ　一般会計の状況（主要な事業の実績・成果　予算科目別）

１款　議会費　１項　議会費 …… １７
２款　総務費　１項　総務管理費 …… ２１
２款　総務費　２項　徴税費 …… １４６
２款　総務費　３項　戸籍住民基本台帳費 …… １５４
２款　総務費　４項　選挙費 …… １６１
２款　総務費　５項　統計調査費 …… １６３
２款　総務費　６項　監査委員費 …… １６９
３款　民生費　１項　社会福祉費 …… １７０
３款　民生費　２項　児童福祉費 …… ２４５
３款　民生費　３項　生活保護費 …… ３０４
３款　民生費　４項　災害救助費 …… ３０８
４款　衛生費　１項　保健衛生費 …… ３１１
４款　衛生費　２項　清掃費 …… ３７５
４款　衛生費　３項　水道費 …… ３８３
５款　労働費　１項　労働諸費 …… ３８４
６款　農林水産業費　１項　農業費 …… ３９４
７款　商工費　１項　商工費 …… ４４５
８款　土木費　１項　土木管理費 …… ４７２
８款　土木費　２項　道路橋りょう費 …… ４７７
８款　土木費　３項　河川費 …… ４９４
８款　土木費　４項　都市計画費 …… ４９６
８款　土木費　５項　住宅費 …… ５１３
９款　消防費　１項　消防費 …… ５１５
１０款　教育費　１項　教育総務費 …… ５３８
１０款　教育費　２項　小学校費 …… ５６１
１０款　教育費　３項　中学校費 …… ５６８
１０款　教育費　４項　幼稚園費 …… ５７７
１０款　教育費　５項　社会教育費 …… ５８１
１０款　教育費　６項　保健体育費 …… ６２０
１１款　公債費　１項　公債費 …… ６３８
１２款　予備費　１項　予備費 …… ６３９

Ⅲ　特別会計の状況

住宅新築資金等貸付事業 …… ６４３
国民健康保険事業 …… ６４４
国民健康保険直営診療所 …… ６５１
後期高齢者医療 …… ６５２
介護保険事業 …… ６５５
農業集落排水事業 …… ６６８
野中土地区画整理事業 …… ６７０
栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業 …… ６７３
河野博士育英事業 …… ６７４

Ⅳ　ゼロ予算事業の状況（実績・成果　部課順）

…… ６７７

この報告書は、地方自治法第233条及び加須市予算規則第29条に基づき、令和2年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類として作成したものである。

当該決算年度に、どういう予算に基づいて、何にどう取り組み、結果としてどんな事業実績や成果をあげることができたか等について、原則として職員人件費を除くすべての予算事業について、具体的な数値等で、より見やすく分かりやすくとりまとめた。

なお、成果を数値化できないもの等については、事業を行うに当たり、特に意を用いたことや改善したこと等を記載するように努めた。

また、ゼロ予算事業として、予算措置は伴わないものの職員の創意工夫や市民の皆さんとのパートナーシップなどにより市民サービスを向上させる事業についての実績・成果も同様にとりまとめた。

表記について

主な事業の実績・成果については、過去5年分の実績も合わせて表に掲載し、より分かりやすくデータ化した。

事業名に【繰越明許】と表記されている事業は、令和元年度から繰越し、令和2年度に実施されたものである。

事業名欄の右端に（総合戦略）と表記されている事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に該当するものである。

Ⅰ　財政の状況（一般会計）

１　歳入

（単位：千円）

区分	令和2年度					令和元年度				
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）
市税	15,873,570	27.5	4,308	0.0	141,011	15,869,262	35.5	361,282	2.3	140,564
地方譲与税	520,534	0.9	▲ 159	0.0	4,624	520,693	1.2	▲ 991	▲ 0.2	4,612
利子割交付金	10,572	0.0	495	4.9	94	10,077	0.1	▲ 9,513	▲ 48.6	89
配当割交付金	55,896	0.1	▲ 9,730	▲ 14.8	497	65,626	0.1	11,310	20.8	581
株式等譲渡所得割交付金	66,849	0.1	27,264	68.9	594	39,585	0.1	▲ 10,229	▲ 20.5	351
法人事業税交付金	77,583	0.1	77,583	皆増	689					
地方消費税交付金	2,348,157	4.1	410,445	21.2	20,860	1,937,712	4.3	▲ 75,222	▲ 3.7	17,164
自動車取得税交付金		0.0	▲ 117,445	皆減	0	117,445	0.3	▲ 104,631	▲ 47.1	1,040
環境性能割交付金	73,561	0.1	38,010	106.9	653	35,551	0.1	35,551	皆増	315
地方特例交付金	167,908	0.3	▲ 138,775	▲ 45.3	1,492	306,683	0.7	198,048	182.3	2,716
地方交付税	5,635,730	9.8	▲ 274,705	▲ 4.6	50,064	5,910,435	13.2	196,281	3.4	52,352
（普通）	4,909,019	8.5	▲ 75,326	▲ 1.5	43,609	4,984,345	11.1	49,855	1.0	44,149
（特別）	723,752	1.3	▲ 201,338	▲ 21.8	6,429	925,090	2.1	145,426	18.7	8,194
交通安全対策特別交付金	19,724	0.0	1,284	7.0	175	18,440	0.1	▲ 281	▲ 1.5	163
分担金及び負担金	183,512	0.3	▲ 137,258	▲ 42.8	1,630	320,770	0.7	▲ 102,482	▲ 24.2	2,841
使用料及び手数料	440,760	0.8	▲ 48,089	▲ 9.8	3,915	488,849	1.1	▲ 36,561	▲ 7.0	4,330
国庫支出金	19,255,864	33.4	13,593,098	240.0	171,057	5,662,766	12.7	258,983	4.8	50,159
県支出金	2,936,514	5.1	320,413	12.2	26,086	2,616,101	5.8	283,595	12.2	23,172
財産収入	42,429	0.1	▲ 156,843	▲ 78.7	377	199,272	0.4	146,092	274.7	1,765
寄附金	20,761	0.0	6,418	44.7	184	14,343	0.1	10,098	237.9	127
繰入金	1,202,859	2.1	▲ 174,170	▲ 12.6	10,685	1,377,029	3.1	▲ 237,265	▲ 14.7	12,197
繰越金	4,692,792	8.1	518,115	12.4	41,688	4,174,677	9.3	271,384	7.0	36,978
諸収入	913,484	1.6	▲ 28,287	▲ 3.0	8,115	941,771	2.1	▲ 174,941	▲ 15.7	8,342
市債	3,185,533	5.5	▲ 817,863	▲ 20.4	28,298	4,003,396	9.0	1,089,852	37.4	35,461
合計	57,724,593	100.0	13,094,110	29.3	512,788	44,630,483	100.0	2,110,360	5.0	395,320

住民基本台帳人口　　令和3年3月31日　112,570人　　令和2年3月31日　112,897人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

2　歳出

(1) 目的別歳出内訳

（単位：千円）

区　分	令和2年度					令和元年度				
	決算額	構成比(%)	前年比 増減額(千円)	前年比 増減率(%)	人口一人当たり額(円)	決算額	構成比(%)	前年比 増減額(千円)	前年比 増減率(%)	人口一人当たり額(円)
議会費	305,852	0.6	▲ 2,586	▲ 0.8	2,717	308,438	0.8	▲ 23,159	▲ 7.0	2,732
総務費	15,987,405	30.6	11,510,743	257.1	142,022	4,476,662	11.2	▲ 321,825	▲ 6.7	39,653
民生費	16,199,768	31.0	828,562	5.4	143,908	15,371,206	38.5	327,415	2.2	136,152
衛生費	4,486,399	8.6	31,988	0.7	39,854	4,454,411	11.1	836,475	23.1	39,456
労働費	95,527	0.2	▲ 8,806	▲ 8.4	849	104,333	0.3	▲ 73,724	▲ 41.4	924
農林水産業費	1,512,530	2.9	150,053	11.0	13,436	1,362,477	3.4	▲ 22,145	▲ 1.6	12,068
商工費	591,027	1.1	400,044	209.5	5,250	190,983	0.5	▲ 124,889	▲ 39.5	1,692
土木費	2,501,539	4.8	123,355	5.2	22,222	2,378,184	5.9	▲ 140,846	▲ 5.6	21,065
消防費	1,901,118	3.6	267,194	16.4	16,888	1,633,924	4.1	26,999	1.7	14,473
教育費	5,395,747	10.3	▲ 993,182	▲ 15.5	47,932	6,388,929	16.0	1,554,864	32.2	56,591
公債費	3,266,351	6.3	▲ 1,794	▲ 0.1	29,016	3,268,145	8.2	▲ 446,919	▲ 12.0	28,948
諸支出金										
合　計	52,243,262	100.0	12,305,571	30.8	464,096	39,937,691	100.0	1,592,245	4.2	353,753

住民基本台帳人口　令和3年3月31日　112,570人　住民基本台帳人口　令和2年3月31日　112,897人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

【目的別歳出の推移】

(2) 性質別歳出内訳

（単位：千円）

区　　分	令和2年度						令和元年度		
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	一般財源等	決算額	構成比（%）	人口一人当たり額（円）
人件費	6,816,405	13.0	1,244,131	22.3	60,553	6,212,306	5,572,274	13.9	49,356
任期の定めのない常勤職員	3,881,487	7.4	▲ 31,767	▲ 0.8	34,481	3,562,995	3,913,254	9.8	34,662
再任用職員	78,210	0.1	15,755	25.2	695	78,210	62,455	0.2	553
会計年度任用職員(フルタイム)	156,522	0.3	156,522	皆増	1,390	156,454			
会計年度任用職員(パートタイム)	974,845	1.9	974,845	皆増	8,660	733,680			
物件費	6,850,304	13.1	364,736	5.6	60,854	5,254,994	6,485,568	16.2	57,447
維持補修費	878,127	1.7	106,921	13.9	7,801	485,200	771,206	1.9	6,831
扶助費	9,693,651	18.6	235,469	2.5	86,112	2,913,508	9,458,182	23.7	83,777
補助費等	16,123,379	30.9	11,905,552	282.3	143,230	4,235,625	4,217,827	10.6	37,360
公債費	3,266,351	6.3	▲ 1,794	▲ 0.1	29,016	3,230,953	3,268,145	8.2	28,948
積立金	759,673	1.5	▲ 99,680	▲ 11.6	6,748	736,319	859,353	2.2	7,612
投資及び出資金	20,000	0.0	20,000	皆増	178	20,000			
貸付金	51,517	0.1	▲ 134,144	▲ 72.3	458	0	185,661	0.5	1,645
繰出金	4,228,022	8.1	130,918	3.2	37,559	3,670,180	4,097,104	10.2	36,291
普通建設事業費	3,542,560	6.8	▲ 1,479,812	▲ 29.5	31,470	456,237	5,022,372	12.6	44,486
補助事業	909,987	1.7	▲ 347,976	▲ 27.7	8,084	54,377	1,257,963	3.1	11,143
単独事業	2,593,890	5.0	▲ 1,136,051	▲ 30.5	23,042	397,663	3,729,941	9.3	33,038
その他	38,683	0.1	4,215	12.2	344	4,197	34,468	0.1	305
災害復旧事業費	13,274	0.0	13,274	皆増	118	387			
合　　計	52,243,262	100.0	12,305,571	30.8	464,096	27,215,709	39,937,691	100.0	353,753

住民基本台帳人口　　令和3年3月31日　112,570人　　令和2年3月31日　112,897人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

(3) 節別歳出内訳

（単位：千円）

区　　分	令和2年度					令和元年度				
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）
1 報酬	1,203,387	2.3	945,676	367.0	10,690	257,711	0.7	23,347	10.0	2,283
2 給料	2,717,793	5.2	42,877	1.6	24,143	2,674,916	6.7	24,480	0.9	23,693
3 職員手当等	1,738,750	3.3	5,483	0.3	15,446	1,733,267	4.3	48,631	2.9	15,353
4 共済費	1,001,749	1.9	4,175	0.4	8,899	997,574	2.5	▲ 11,251	▲ 1.1	8,836
5 災害補償費	11	0.0	11	皆増	0	0	0.0	▲ 1,194	皆減	0
6 恩給及び退職年金										
賃金	0	0.0	▲ 910,570	皆減	0	910,570	2.3	10,705	1.2	8,065
7 報償費	69,188	0.1	▲ 66,052	▲ 48.8	615	135,240	0.3	56,265	71.2	1,198
8 旅費	42,439	0.1	6,389	17.7	377	36,050	0.1	4,133	12.9	319
9 交際費	506	0.0	▲ 1,525	▲ 75.1	4	2,031	0.0	62	3.1	18
10 需用費	1,933,609	3.7	63,295	3.4	17,177	1,870,314	4.7	▲ 48,139	▲ 2.5	16,567
11 役務費	268,727	0.5	17,083	6.8	2,387	251,644	0.6	25,038	11.0	2,229
12 委託料	5,792,614	11.1	150,253	2.7	51,458	5,642,361	14.1	379,346	7.2	49,978
13 使用料及び賃借料	477,201	0.9	▲ 32,540	▲ 6.4	4,239	509,741	1.3	22,526	4.6	4,515
14 工事請負費	1,992,505	3.8	▲ 1,859,411	▲ 48.3	17,700	3,851,916	9.7	1,632,495	73.6	34,119
15 原材料費	12,221	0.0	▲ 1,377	▲ 10.1	109	13,598	0.0	1,060	8.5	120
16 公有財産購入費	9,185	0.0	▲ 437,334	▲ 97.9	82	446,519	1.1	421,785	1,705.3	3,955
17 備品購入費	1,262,849	2.4	1,128,985	843.4	11,218	133,864	0.3	1,843	1.4	1,186
18 負担金、補助及び交付金	18,335,550	35.1	12,861,623	235.0	162,881	5,473,927	13.7	346,574	6.8	48,486
19 扶助費	7,786,751	14.9	316,165	4.2	69,173	7,470,586	18.7	337,619	4.7	66,172
20 貸付金	51,517	0.1	▲ 134,144	▲ 72.3	458	185,661	0.5	▲ 512,594	▲ 73.4	1,645
21 補償補填及び賠償金	43,059	0.1	▲ 2,694	▲ 5.9	383	45,753	0.1	5,186	12.8	405
22 償還金利子及び割引料	3,632,821	7.0	103,895	2.9	32,272	3,528,926	8.8	▲ 477,205	▲ 11.9	31,258
23 投資及び出資金	20,000	0.1	20,000	皆増	178					
24 積立金	759,672	1.5	▲ 99,681	▲ 11.6	6,748	859,353	2.2	▲ 514,535	▲ 37.5	7,612
25 寄附金										
26 公課費	1,876	0.0	▲ 674	▲ 26.4	17	2,550	0.0	745	41.3	23
27 繰出金	3,089,283	5.9	185,663	6.4	27,443	2,903,620	7.3	▲ 184,676	▲ 6.0	25,719
合　　計	52,243,262	100.0	12,305,571	30.8	464,096	39,937,691	100.0	1,592,245	4.2	353,753

住民基本台帳人口　　令和3年3月31日　112,570人　　令和2年3月31日　112,897人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

３　収支

（単位：千円）

	令和2年度	前年比（%）	令和元年度	前年比（%）
A　歳入総額	57,724,593	29.3	44,630,483	5.0
B　歳出総額	52,243,262	30.8	39,937,691	4.2
C　形式収支（A-B）	5,481,331	16.8	4,692,791	12.4
D　実質収支	4,692,656	19.5	3,926,818	23.5
E　実質収支比率	18.6%		16.1%	
F　単年度収支	765,838	2.7	745,922	275.0
G　実質的黒字要素の額（財政調整基金積立等）	1,305	▲ 99.2	164,537	▲ 83.3
H　実質的赤字要素の額（財政調整基金取崩等）	909	▲ 96.6	27,039	▲ 85.8
I　実質単年度収支（F+G-H）	766,234	▲ 13.3	883,420	139.6

※　端数整理の結果、形式収支と実質収支が整合しない場合がある。
※　実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む。）で除したもの。

4　市税

（単位：千円）

区分 / 税目別	調定済額 現年課税分 A	調定済額 滞納繰越分 B	調定済額 合計 C	収入済額 現年課税分 D	収入済額 滞納繰越分 E	収入済額 合計 F	構成比 %	収入済額Fの対前年度増減率 %
普通税 1 法定普通税	15,366,260	357,375	15,734,427	15,206,237	125,733	15,342,762	96.7	0.0
(1)市民税	6,556,140	179,349	6,735,489	6,485,396	62,179	6,547,575	41.2	▲ 2.3
個人均等割	206,311	6,267	212,578	204,011	2,188	206,199	1.3	1.3
所得割	5,517,787	167,113	5,684,900	5,443,319	58,379	5,501,698	34.7	1.3
法人均等割	328,940	2,360	331,300	331,322	637	331,959	2.1	▲ 2.0
法人税割	503,102	3,609	506,711	506,744	975	507,719	3.2	▲29.9
(2)固定資産税	7,736,641	163,581	7,900,222	7,653,063	58,786	7,711,849	48.6	1.7
純固定資産税	7,657,520	163,581	7,821,101	7,573,942	58,786	7,632,728	48.1	1.7
土地	2,279,928	48,704	2,328,632	2,255,311	17,503	2,272,814	14.3	0.9
家屋	3,740,364	79,902	3,820,266	3,699,081	28,714	3,727,795	23.5	1.6
償却資産	1,637,228	34,975	1,672,203	1,619,550	12,569	1,632,119	10.3	3.0
交付金・納付金	79,121		79,121	79,121		79,121	0.5	▲ 0.2
(3)軽自動車税			363,467			348,090	2.2	7.3
環境性能割			10,792			10,792	0.1	274.5
種別割	338,231	14,444	352,675	332,530	4,768	337,298	2.1	－
(4)市たばこ税	735,248	1	735,249	735,248	0	735,248	4.7	0.4
(5)特別土地保有税								
目的税 1 都市計画税	532,533	11,376	543,909	526,720	4,088	530,808	3.3	0.2
(1)土地	243,298	5,197	248,495	240,642	1,868	242,510	1.5	0.2
(2)家屋	289,235	6,179	295,414	286,078	2,220	288,298	1.8	0.1
合計	15,898,793	368,751	16,278,336	15,732,957	129,821	15,873,570	100.0	0.0
国民健康保険税	2,329,170	412,794	2,741,964	2,170,776	124,108	2,294,884	100.0	▲ 0.7

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

区分 / 税目別	徴収率（%） D／A ×100	前年度	E／B ×100	F／C ×100
普通税 1 法定普通税	99.0	99.0	35.2	97.5
(1)市民税	98.9	99.0	34.7	97.2
個人均等割	98.9	98.9	34.9	97.0
所得割	98.7	98.9	34.9	96.8
法人均等割	100.7	100.0	27.0	100.2
法人税割	100.7	100.0	27.0	100.2
(2)固定資産税	98.9	99.0	35.9	97.6
純固定資産税	98.9	99.0	35.9	97.6
土地	98.9	99.0	35.9	97.6
家屋	98.9	99.0	35.9	97.6
償却資産	98.9	99.0	35.9	97.6
交付金・納付金	100.0	100.0		100.0
(3)軽自動車税				95.8
(4)市たばこ税	100.0	100.0		100.0
(5)特別土地保有税				
目的税 1 都市計画税	98.9	99.0	35.9	97.6
(1)土地	98.9	99.0	35.9	97.6
(2)家屋	98.9	99.0	35.9	97.6
合計	99.0	99.0	35.2	97.5
国民健康保険税	93.2	92.5	30.1	83.7

【都市計画事業費等及び財源内訳（都市計画税等）】

（単位：千円）

区分		令和元年度（決算額）
都市計画事業費等	街路	
	公園	
	下水道	1,705,247
	その他	
	市街地開発事業	149,293
	都市計画事業　計　A	1,854,540
	土地区画整理事業　B	
	地方債償還額　C	1,255,049
	合計（A+B+C）　D	3,109,589
Dの財源内訳	地方債　E	311,900
	支出金　F	135,399
	負担金その他　G	585,166
	都市計画税収入額　H	530,808
	一般財源等 D－（E+F+G+H）　I	1,546,316
	合計	3,109,589
充当割合 $\frac{H}{H+I}$ ×100　J		25.6%

5　地方債等（一般会計・全会計）

(1) 会計別現在高

（単位：千円）

区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
一般会計	32,750,333	32,703,694	31,810,937	32,416,519	31,896,415
住宅新築資金等貸付事業特別会計			329	647	952
野中土地区画整理事業特別会計	165,202	218,763	285,274	361,915	
栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計	8,888	18,908	34,926	57,112	93,205
普通会計	32,924,423	32,941,365	32,131,467	32,836,192	31,990,571
国民健康保険直営診療所特別会計					1,868
農業集落排水事業特別会計	3,670,433	3,974,517	4,272,707	4,527,121	4,813,872
野中土地区画整理事業特別会計					437,461
水道事業会計	8,313,879	8,315,417	7,973,091	7,865,631	7,529,204
下水道事業会計	9,717,423	10,394,193	11,050,767	11,718,185	12,051,056
公営事業会計	21,701,735	22,684,127	23,296,566	24,110,938	24,833,461
埼玉東部消防組合	270,400	257,300	311,470	372,040	425,833
一部事務組合	270,400	257,300	311,470	372,040	425,833
合計	54,896,558	55,882,792	55,739,503	57,319,171	57,249,865
増減額	▲ 986,234	143,289	▲ 1,579,668	69,306	▲ 901,225

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。
※　一部事務組合は、借入ごとの構成市町の負担割合に基づく加須市負担分である。
※　野中土地区画整理事業特別会計は、平成27年度及び平成28年度が公営事業会計扱いである。

(2) 借入先別・利率別現在高（一般会計）

		政府資金				地方公共団体金融機構
		財政融資資金	郵便貯金・簡易生命保険管理機構		小計	
			（旧郵貯資金）	（旧簡保資金）		
令和元年度現在高 A		14,956,944		623,422	15,580,366	9,701,263
令和2年度発行額 B		547,861			547,861	1,221,072
令和2年度元金償還額 C		1,589,436		188,311	1,777,747	793,216
差引現在高 A＋B－C		13,915,369		435,111	14,350,480	10,129,119
差引現在高の利率別内訳	0.5% 以下	9,712,821		185,019	9,897,840	7,965,115
	1.0% 以下	3,469,277		13,297	3,482,574	1,957,870
	1.5% 以下	49,299			49,299	
	2.0% 以下	603,788		205,575	809,363	184,847
	2.5% 以下	44,139			44,139	5,809
	3.0% 以下	2,822		31,220	34,042	3,122
	3.5% 以下	1,441			1,441	1,426
	4.0% 以下					7,618
	4.5% 以下	25,783			25,783	
	5.0% 以下	5,999			5,999	3,312
	5.5% 以下					
	6.0% 以下					
	6.5% 以下					
	7.0% 以下					
	7.0% 超					
証書借入分		13,915,369		435,111	14,350,480	10,129,119
証券発行分						
割合（％）		42.5		1.3	43.8	30.9

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

（単位：千円）

市中銀行等	国の予算貸付・政府関係機関貸付	共済等	埼玉県	合　　計	割合（%）
6,267,815	38,220	315,740	800,290	32,703,694	
766,600		400,000	250,000	3,185,533	
446,751	4,247	45,543	71,390	3,138,894	
6,587,664	33,973	670,197	978,900	32,750,333	
6,325,904	33,973	400,000	978,900	25,601,732	78.2
249,700		236,888		5,927,032	18.1
		33,309		82,608	0.2
12,060				1,006,270	3.1
				49,948	0.2
				37,164	0.1
				2,867	0.0
				7,618	0.0
				25,783	0.1
				9,311	0.0
6,587,664	33,973	670,197	978,900	32,750,333	100.0
20.1	0.1	2.1	3.0	100.0	

(3) 目的別現在高（一般会計）

（単位：千円）

区　　分	令和元年度 現在高 A	令和2年度 発行額　B	令和2年度元利償還額			差引現在高 A＋B－C	割合 %
			元金　C	利　子	計		
総務債	1,393,903	0	180,293	2,131	182,424	1,213,610	3.7
民生債	453,691	0	84,527	808	85,335	369,164	1.1
衛生債	551,678	812,500	44,038	6,200	50,238	1,320,140	4.0
農林水産業債	240,532	91,700	43,212	796	44,008	289,021	0.9
土木債	317,417	18,100	108,145	3,855	112,000	227,372	0.7
消防債	999,466	66,900	253,008	5,007	258,015	813,358	2.5
教育債	7,213,277	647,500	645,747	30,980	676,728	7,215,030	22.0
減税補てん債	301,014	0	79,203	802	80,005	221,811	0.7
減収補てん債	0	104,067	0	0	0	104,067	0.3
臨時財政対策債	21,232,715	1,444,766	1,700,721	76,878	1,777,599	20,976,760	64.1
合　計	32,703,694	3,185,533	3,138,894	127,458	3,266,351	32,750,333	100.0

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

６　財政構造（普通会計）

（単位：千円）

区　　分	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
1 形式収支 （前年度比（％））	5,499,566 （ 16.8）	4,710,003 （ 12.4）	4,191,014 （ 7.0）	3,918,136 （ 27.7）	3,068,807 （ ▲ 22.3）
2 実質収支 （前年度比（％））	4,644,224 （ 18.2）	3,927,970 （ 23.9）	3,170,530 （ ▲ 12.1）	3,607,034 （ 44.1）	2,502,663 （ ▲ 23.5）
3 実質収支比率（％）	18.4	16.1	13.0	14.8	10.3
4 単年度収支	716,254	757,440	▲ 436,504	1,104,371	▲ 766,836
5 実質単年度収支	716,650	894,938	358,598	491,348	△ 687,883
6 財政力指数	0.756	0.754	0.752	0.749	0.753
7 経常収支比率（％）	91.8 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 97.4%）	89.3 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 94.0%）	91.6 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 97.5%）	88.9 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 95.0%）	91.8 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 98.0%）
8 実質公債費比率（％）	4.4	4.8	5.5	6.0	6.2
9 一般財源比率（％）	56.7	67.2	72.0	69.6	67.1
10 義務的経費比率（％）	37.9	45.8	48.0	47.0	44.3

※　（　）内は、前年度比増減割合。

※　普通会計とは、総務省の定める会計区分のひとつで、一般会計・特別会計で経理する事業の範囲が自治体ごとに異なっているため、統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分。
当市の普通会計は、次の会計を合算したもの。
・一般会計　・住宅新築資金等貸付事業特別会計　・不動岡土地区画整理事業特別会計
・三俣第二土地区画整理事業特別会計　・野中土地区画整理事業特別会計（一部）
・栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計　・河野博士育英事業特別会計

※　平成26年度からは不動岡土地区画整理事業特別会計を、平成28年度からは三俣第二土地区画整理事業特別会計を加えた数値。（事業が完了し、公営企業会計から普通会計へ移行）

※　不動岡土地区画整理事業特別会計及び三俣第二土地区画整理事業特別会計は、平成29年度末をもって廃止。

※　実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む）で除したもの。

7　地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要した経費

（歳入）
　地方消費税交付金（社会保障財源化分）　1,201,958 千円
（歳出）
　社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費　13,746,826 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】　（単位：千円）

	事業名	経費	財源内訳 特定財源 国県支出金	市債	その他	一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
社会福祉	戦没者遺族支援事業	520				520	101
	更生保護活動支援事業	880				880	170
	民生委員・児童委員活動推進事業	28,846	17,266			11,580	2,237
	生活困窮者住居確保給付事業	12,299	9,990			2,309	446
	生活困窮者学習支援事業	5,998	2,999			2,999	579
	中国残留邦人等支援事業	4,899				4,899	946
	在宅重度心身障害者手当支給事業	53,534	25,862			27,672	5,346
	特別障害者手当等支給事業	58,218	43,466			14,752	2,850
	重度心身障害者医療費支給事業	189,902	93,401			96,501	18,642
	在宅障害者おむつ支給事業	3,725				3,725	720
	重度視覚障害者介助手当支給事業	924				924	179
	障害（児）者生活サポート事業	19,004	2,000			17,004	3,285
	心身障害者生活ホーム事業	902	450			452	87
	在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業	1,910	955			955	184
	身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業	38				38	7
	障害者福祉団体支援事業	442				442	85
	補装具費支給事業	12,182	9,063			3,119	603
	自立支援医療費支給事業	127,283	115,650			11,633	2,247
	障がい者訪問サービス（自立支援）事業	234,792	176,094			58,698	11,339
	障がい者日中活動サービス（自立支援）事業	1,247,727	935,904			311,823	60,239
	障がい者居住サービス（自立支援）事業	521,545	391,158			130,387	25,188
	障がい児発達支援（自立支援）事業	299,400	218,636			80,764	15,602
	障がい者相談管理（自立支援）事業	21,989	13,259			8,730	1,686
	障害者相談支援事業	10,892				10,892	2,104
	障害者コミュニケーション支援事業	2,680	1,398			1,282	248
	地域活動支援センター事業	9,246			3,861	5,385	1,040
	訪問入浴サービス事業	5,234	2,943			2,291	443
	日中一時支援事業	53	30			23	5
	障害（児）者日常生活用具給付等事業	19,889	11,616			8,273	1,598
	移動支援事業	22,912	17,184			5,728	1,107
	障害者就労支援事業	2,835				2,835	548
	障害者スポーツ交流事業	69				69	13
	社会参加促進事業	7,831				7,831	1,513
	障がい者成年後見制度利用支援事業	244	138			106	20
	外国人高齢者福祉手当支給事業	120				120	23
	老人クラブ支援事業	5,625	1,244			4,381	846
	敬老祝金支給事業	59,990				59,990	11,589
	敬老会助成事業	4,824				4,824	932
	緊急通報システム整備事業	2,732				2,732	528
	養護老人ホーム入所事業	53,080			8,362	44,718	8,639
	配食サービス事業	12,946				12,946	2,501
	介護サービス利用者負担助成事業	29,103				29,103	5,622
	ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業	10,625				10,625	2,053
	産後支援ヘルパー派遣事業	91			73	18	3
	子育て短期預かり事業	203	118			85	16
	産後サポート・ケア事業	205	102			103	20
	子育て支援医療費支給事業	249,260	28,313			220,947	42,683
	遺児手当事業	2,937				2,937	567
	ひとり親家庭等医療費事業	41,695	19,655			22,040	4,258
	母子家庭等自立支援事業	7,636	5,726			1,910	369
	未熟児養育医療給付事業	5,527	1,080			4,447	859
	民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業	427,959	304,471			123,488	23,856
	教育・保育に係る教材費等補助事業	8,001	404			7,597	1,468
	子育てのための施設等利用費給付事業	54,062	35,640			18,422	3,559
	子育て支援センター事業	35,247	31,351			3,896	753
	民間児童館助成事業	3,189				3,189	616
	保育団体助成事業	232				232	45
	訪問支援ホームスタート事業	1,484	988			496	96
	民間保育所運営委託事業	1,541,245	1,190,459		96,689	254,097	49,087
	病後児保育事業	9,328	6,280			3,048	589

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

（単位：千円）

事業名		経費	財源内訳 特定財源 国県支出金	市債	その他	一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
社会福祉	低年齢児保育促進事業	64,446	32,223			32,223	6,225
	民間保育所障害児保育事業	10,244	3,120			7,124	1,376
	長時間保育対策事業	30,300	22,149		178	7,973	1,540
	一時保育促進事業	14,531	10,586			3,945	762
	保育所アレルギー等対応特別給食提供事業	5,000	2,500			2,500	483
	避難者支援民間保育所等運営委託事業	3,157	2,293			864	167
	夜間保育所運営委託事業	28,272	20,544			7,728	1,493
	民間保育所助成事業	18,039	1,800			16,239	3,137
	民間放課後児童健全育成事業	285,942	204,009		1,101	80,832	15,615
	児童扶養手当支給事業	383,156	125,703			257,453	49,735
	児童手当支給事業	1,598,025	1,341,582			256,443	49,540
	避難者支援児童扶養手当支給事業	3,081	1,052			2,029	392
	公立保育所管理運営事業	884				884	171
	あすなろ園管理運営事業	440				440	85
	民間保育所等施設整備助成事業	13,323	8,882			4,441	858
	生活保護事業	1,691,838	1,263,488			428,350	82,749
	被災者支援事業	1,465				1,465	283
	小計	9,648,333	6,755,224		110,264	2,782,845	537,595
社会保険	国民健康保険組合支援事業	580				580	112
	国民健康保険事業特別会計繰出事業	769,071	316,571			452,500	87,415
	介護保険事業特別会計繰出事業	1,463,470	63,951			1,399,519	270,361
	後期高齢者医療広域連合負担事業	949,095				949,095	183,348
	後期高齢者医療特別会計繰出事業	252,918	177,316			75,602	14,605
	小計	3,435,134	557,838			2,877,296	555,841
保健衛生	不妊治療事業	5,390	900			4,490	867
	妊婦保健事業	53,663				53,663	10,367
	避難者支援妊婦保健事業	73				73	14
	母子保健推進員訪問活動事業	30				30	6
	親子歯科保健推進事業	644				644	124
	乳幼児健診事業	11,373				11,373	2,197
	育児健康相談事業	350				350	68
	幼児発達支援事業	2,490				2,490	481
	骨髄移植ドナー推進事業	140	70			70	14
	親と子の食育事業	28				28	5
	食生活改善推進事業	158				158	31
	健康づくり地域交流事業	943				943	182
	地域医療ネットワーク（とねっと）事業	3,997				3,997	772
	初期・２次・３次救急医療支援事業	51,019			1,319	49,700	9,601
	休日小児科診療事業	1,450				1,450	280
	特別休日歯科診療事業	175				175	34
	予防接種事業	220,445	6,521			213,924	41,326
	避難者支援予防接種事業	1,213				1,213	234
	高齢者予防接種事業	121,683	22,022			99,661	19,253
	がん検診事業	103,387	1,643		2,405	99,339	19,190
	生活習慣病予防事業	50	9			41	8
	健康相談事業	186	124			62	12
	肝炎検診事業	590	356			234	45
	骨粗しょう症予防事業	1,892	990			902	174
	こころの健康づくり事業	778	247			531	103
	成人歯科保健推進事業	1,987	247			1,740	336
	医療診断センター管理運営事業	79,225			64,742	14,483	2,798
	小計	663,359	33,129		68,466	561,764	108,522
合計		13,746,826	7,346,191		178,730	6,221,905	1,201,958

※上記経費は、令和2年度決算に基づく集計である。
※事務費や事務職員の人件費等は除外している。
※地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

８　森林環境譲与税の使途

（歳入）
森林環境譲与税　9,322 千円

（歳出）
木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等に要する経費（森林環境譲与税充当分）　9,322 千円

【森林環境譲与税の使途】

（単位：千円）

事業区分	事業名	経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち森林環境譲与税
			国県支出金	市債	その他		
森林保護対策	屋敷林等保全事業	942	0	0	0	942	942
	志多見砂丘保全事業	3,553	0	0	0	3,553	3,553
木造公共建築物の整備等	公園整備事業	5,423	0	0	0	5,423	4,827
合計		9,918	0	0	0	9,918	9,322

Ⅱ　一般会計の状況

（主要な事業の実績・成果　予算科目別）

事業名	議会運営事業			
担当課	議会事務局		総合振興計画コード	6131-10
款	01	議会費	当初予算額	26,364,000円
項	01	議会費	最終予算額	25,097,460円
目	01	議会費	決算額	20,646,768円
事業の目的	加須市議会基本条例に基づき、市民と行政との協働を推進するため、議決機関としての議会運営を適切に補助し、議会運営の充実を図る。	事業の概要	・事務局機能を発揮し、円滑かつ効率的な議会運営に努めるとともに、会議録（本会議・常任委員会・特別委員会）の公開により、更に開かれた議会を推進する。 ・住民自治を原則にした請願・陳情等を受理し、議会に諮る。 ・タブレット端末を導入し、活用する。 ・議会改革を推進する。	

事業の実績・成果

二元代表制に基づく議決機関として、団体意思の決定機能及び執行機関への監視機能を担う議会の補助を行い、本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会等を円滑に運営した。

また、加須市議会基本条例に規定された各種取組を積極的に展開し、議会改革に取り組んだ。

1　会議の開催状況

（1）本会議

区分	会期日数（日）	本会議日数（日）	市長提出議案（件）	諮問（件）	請願（件）	陳情（件）	議員提出議案（件）	議員提出修正案（件）	傍聴者（人）
合計	94	27	131	1	3	0	10	1	370

※市民に開かれた市議会を目指し、令和元年第3回定例会から質疑及び一般質問の通告書をホームページで事前公表した。

※令和2年第3回定例会から、質疑の一問一答方式を導入した。

（2）常任委員会

区分	開催日数（日）	条例（件）	予算（件）	決算（件）	請願（件）	陳情（件）	傍聴者（人）
総務常任委員会	5	0	5	1	－	－	6
民生教育常任委員会	2	2	5	5	－	－	1
産業建設常任委員会	3	0	5	5	2	－	5
予算決算常任委員会	5	0	0	1	－	－	30
合計	15	2	15	12	2	－	42

（3）特別委員会

区　　分	構成人員（人）	内　　容	開催日数（日）
決算特別委員会	8	令和元年度一般会計決算審査	5
第2次加須市総合振興計画基本構想特別委員会	8	第2次加須市総合振興計画基本構想審査	4

（4）その他の委員会

区　　分	構成人員（人）	内　　容	開催日数（日）
議会運営委員会	8	議会運営等について	29

2　会議録、ホームページの作成

議会に対する市民の理解と信頼を深めるため、会議録を作成し、市ホームページ上での公開を行い、より開かれた議会を推進した。また、市議会ホームページを作成し、議会の積極的な情報発信に努めた。

（1）加須市議会会議録の作成

会 議 録 名	作成部数（部）	内　　訳	支出額（円）
定例会会議録	60	15部×4回	3,485,130
臨時会会議録	15	15部×1回	163,548
常任委員会会議録	56	14部×4回	1,173,910
予算及び決算特別委員会会議録	28	14部×2回	1,739,059
第2次加須市総合振興計画基本構想特別委員会会議録	14	14部×1回	755,436
合　　計	173		7,317,083

（2）市ホームページにおける議会のホームページへのアクセス件数　（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数	8,764	16,233	44,286	127,699	50,917

3　政務活動費の交付

議員の政策立案能力の向上及び調査研究並びに議会の活性化に資するため必要な経費の一部として、1人当たり月額12,000円の政務活動費を会派に交付し、議員の能力の向上や議会の活性化を図った。

また、平成28年度分の政務活動費から収支報告書及び領収書をホームページで公表し、適正な運用と透明性の向上に努めた。　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付額	4,032,000	4,032,000	4,032,000	3,408,000	3,972,000
決算額	3,746,653	3,576,853	3,403,359	3,120,333	2,332,694

4　行政視察

議会運営委員会において先進地を視察しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

5　議長交際費

「加須市議会議長交際費支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算額	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000
決算額	477,500	440,700	332,400	293,700	148,750

6　本会議インターネット中継の運用（インターネット中継システム使用料）

市民に開かれた議会の実施に向け、令和元年第 3 回定例会から本会議におけるインターネット中継（ライブ中継及び録画中継）を開始した。

（単位：円）

	令和元年度	令和２年度
予算額	605,000	1,879,000
決算額	594,000	1,775,400

7　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.5参照）。

事 業 名		議員年金対策給付費負担事業		
担 当 課		議会事務局	総合振興計画コード	6131-11
款	01	議会費	当　初　予　算　額	45,563,000円
項	01	議会費	最　終　予　算　額	45,563,000円
目	01	議会費	決　　算　　額	45,562,720円
事業の目的	平成23年5月末で地方議会議員年金制度が廃止されたことから、適正に議員年金を支給するために必要な負担金を市議会議員共済会へ支払う。		事業の概要	年金給付に必要な負担金を市議会議員共済会へ支払う。

事業の実績・成果

地方議会議員年金制度の廃止に伴い、経過措置としての給付に要する費用の財源を各地方公共団体が公費で負担するため、総務省及び市議会議員共済会から示された給付費を負担した。

1．負担金　（単位：円）

内　　容	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年
事務負担金	364,000	364,000	364,000	364,000	364,000
市議会議員共済会給付費負担金	52,348,800	50,688,960	48,773,760	47,113,920	45,198,720
合　　計	52,712,800	51,052,960	49,137,760	47,477,920	45,562,720

2．年金受給者数等

内　　容		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年
年金受給者数（人）		97	93	95	89	86
内訳	退職年金	62	58	54	48	47
	遺族年金	35	35	41	41	39
退職年金平均受給額（年額）（円）		875,736	889,814	869,680	868,169	881,531

事業名	議会広聴広報事業			
担当課	議会事務局		総合振興計画コード	6131-12
款	01	議会費	当初予算額	3,148,000円
項	01	議会費	最終予算額	3,148,000円
目	01	議会費	決算額	2,483,244円
事業の目的	加須市議会基本条例に基づき、市民に信頼される開かれた議会、より身近な議会を推進するため、積極的に議会情報を発信するとともに、市民との意見交換会等を通じた広聴活動を行う。	事業の概要	市議会だよりを年4回（39,200部）定例会後に発行する。 また、市議会ホームページの内容を充実するとともに、新着情報を随時更新して周知を図る。 さらに、市議会モニター制度、市民や平国大学生との意見交換会の開催といった広聴活動を展開する。	

事業の実績・成果

開かれた議会、親しみやすい議会を目指し、かぞ市議会だよりを自治会を通じて配布するとともに、ホームページに掲載し、市議会の審議や活動状況を広く、分かりやすく市民に周知した。

また、市議会議員と市議会モニターとの意見交換会の開催など、広聴活動に取り組んだ。

1　かぞ市議会だよりの発行

発行日	市議会だより名	発行部数（部）	支出額（円）
6月1日	かぞ市議会だより第44号	39,200	600,661
9月1日	かぞ市議会だより第45号	39,200	600,661
12月1日	かぞ市議会だより第46号	39,200	600,661
3月1日	かぞ市議会だより第47号	39,200	600,661
合　計		156,800	2,402,644

2　加須市議会議員と加須市議会モニターとの意見交換会の参加者数

		令和元年度		令和2年度	
開催数		2回		2回	
参加者数（人）		47		60	
内訳	回	1回目	2回目	1回目	2回目
	市議会モニター	6	8	7	10
	市議会議員	10	10	10	9
	傍聴議員	3	10	12	12

3　加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会の参加者数

		令和元年度	令和2年度
開催数		1回	―回
参加者数（人）		55	―
内訳	平成国際大学学生	28	―
	教員	3	―
	市議会議員	24	―

例年、加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会を開催しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

事業名	ワークシェアリング事業			
担当課	職員課		総合振興計画コード	5221-02
款	02	総務費	当初予算額	10,141,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	10,141,000円
目	01	一般管理費	決算額	3,165,098円
事業の目的	市民の多様な働き方を実現する雇用の創出を図り、会計年度任用職員として市政に参画してもらうとともに、市職員の時間外勤務の抑制と健康増進に資する。	事業の概要	会計年度任用職員を業務繁忙等により人員を必要としている部署に配置する。	

事業の実績・成果

会計年度任用職員を広報紙やポスター・チラシなどで募集し、業務繁忙等により人員を必要としている部署に人員配置した。

【ワークシェアリング実績】

配置課数	配置人数
6	10

事業名	秘書事務事業			
担当課	秘書課		総合振興計画コード	6122-01
款	02	総務費	当初予算額	6,622,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	6,622,000円
目	01	一般管理費	決算額	3,976,679円
事業の目的	市長及び副市長の公務を適切に執行する。	事業の概要	市長及び副市長のスケジュール管理、政策秘書業務、市長交際費の適正管理を行う。	

事業の実績・成果

○市長交際費

「加須市市長交際費の支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。

なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、行事等が減少したことにより、市長交際費の支出も減少した。

【市長交際費の推移】 (単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予算額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
決算額	1,265,440	1,328,700	1,244,604	1,351,540	287,650

○祝電

叙勲褒章等の受章者に対し、祝電を送った。

【祝電の推移】 (単位:通)

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
25	25	23	17	21

事業名	市の花、市の木普及事業			（総合戦略）
担当課	総務課		総合振興計画コード	6134-02
款	02	総務費	当初予算額	1,312,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,312,000円
目	01	一般管理費	決算額	1,023,976円

事業の目的	・市の花「コスモス」、市の木「サクラ」が市民生活と結びつき、加須市の象徴として市民に末永く愛され、親しまれる花、木として市内全域の普及に努め、併せて市民と行政による協働のまちづくりの推進を図る。	事業の概要	・市民と協働による市の花、市の木の植樹等を推進する。 ・市の花、市の木の市内における見どころを関係課等と連携して整備、紹介する。 ・市の花、市の木が加須市のＰＲに有効に活用できるものとして、各公共施設等への植樹、外部へ情報を発信する際の封筒や資料への掲載を積極的に行う。

事業の実績・成果

1　市の花「コスモス」

・全自治会及び市内公共施設にコスモスの種の配付希望を確認し、希望のあった自治会及び市内公共施設にコスモスの種を配付した。その結果、市内各所及び多くの公共施設でコスモスが咲き、街並みに彩りを加え、市民に親しんでいただくことができた。

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
自治会	配付団体数	24	23	21	20	17
	栽培面積（㎡）	9,880	7,575	18,822	11,322	6,970
公共施設	配付施設数	38	40	39	37	39
	栽培面積（㎡）	2,027	2,194	2,978	2,796	2,663

・加須未来館周辺の休耕田等に景観形成作物（コスモス等）の栽培を実施し、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整の推進を図ることができた。【農業振興課】

〔受託者〕加須市グリーン・ツーリズム振興組合

〔事業面積〕9,537㎡

2　市の木「サクラ」【まちづくり課】

・市公共施設にあるサクラの本数を把握するため、各施設所管課の協力により「サクラ現況台帳」を更新した。（5,128本）

・加須市役所本庁舎敷地内にサクラの基準木を設定し、開花状況等を市ホームページで周知した。

事 業 名		市民の日記念・顕彰事業			（総合戦略）
担 当 課		総務課	総合振興計画コード		6134-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額		1,306,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額		1,306,000 円
目	01	一般管理費	決 算 額		734,057 円
事業の目的	・「加須市民の日」（3 月 23 日）を記念する事業を展開し、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図る。また、市民顕彰を適時行い、市民と行政による協働のまちづくりを推進する。		事業の概要	・市の取り組みとして、市民の日記念表彰式や公共施設の無料化等を行い、また、市民の取り組みとして、民間協賛事業の展開等を行うなど、市と市民が共に市民の日にちなんだ事業を展開する。 ・名誉市民、一般表彰、感謝状の贈呈を行う。	

事業の実績・成果

○加須市民の日記念事業

「加須市民の日を定める条例」の趣旨を踏まえ、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図るため、市民の日（3 月 23 日）を中心として、市の取組及び市民の取組を実施した。

1　「市の取組」の実施内容

3 月 23 日を中心とする 10 日間（3 月 20 日～29 日）に下記の事業を展開し、市民との更なる共有化を図るとともに、市民の郷土意識を高めた。

(1)「令和 2 年度加須市民の日記念表彰式」の開催

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止したことから、各課において様々な分野で功績等のあった市民及び団体を表彰した。

(2) イベントの実施

市民の日給食メニュー（小中学校及び保育所）、「私の 323」の募集・紹介、婚姻を届けた市民の方へ記念品贈呈など 7 事業を実施した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため 3 事業を中止）

(3) 有料公共施設等の無料化を実施

市内シャトルバス、運動公園、体育館などの 15 施設等で実施した。（新型コロナウイルス感染拡大防止のため 1 施設で中止）

2　「市民の取組」の実施内容（市民の日協賛事業）

「加須市民の日協賛事業募集要項」に基づき、市民団体等から市民の日にちなんだ自発的な取組を募り、主に 3 月中に実施した。

記念セール・割引など 17 事業を実施していただいた。

○市民顕彰事業

市政の進展及び市民福祉の増進に貢献し、功労のあった個人又は団体に対し、感謝状等を贈呈することにより、活力あるまちづくりへの推進及び市政への参画と協働に対する市民意識の醸成が図られた。

1　永年にわたり市政発展のため尽力いただいた市議会議員を表彰した。（7 名）

勤続 25 年：4 名、勤続 20 年：2 名、勤続 15 年：1 名

…　加須市名誉市民及び表彰に関する条例

2　市政の進展・市民福祉の増進に功労のあった個人・団体に感謝状を贈呈した。（129 件）

清掃、自治会、市のＰＲ、環境衛生、社会福祉等の活動…　加須市感謝状贈呈に関する要綱

事 業 名		合併１０周年記念事業【繰越明許】		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	6134-10
款	02	総務費	当　初　予　算　額	7,328,365 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	7,328,365 円
目	01	一般管理費	決　　算　　額	675,509 円
事業の目的	「新加須市」が誕生して 10 年となる節目を記念して、更なる市民の一体感の醸成を図る。 ・更なる市民融和と郷土愛の醸成 ・協働のまちづくりの一層の推進 ・市の魅力発信	事業の概要	・合併 10 周年記念式典を開催する。 ・合併 10 周年に因んだ記念事業を市民との協働により展開する。	

事業の実績・成果

【繰越明許　令和元年度から令和２年度へ繰越を行った理由】
〇加須市合併 10 周年記念式典（第２部アトラクションのミュージカル「かぞ」公演を含む。）

令和２年３月 22 日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防により、令和２年度に延期となったため繰り越した。

令和３年３月 21 日に開催する予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、政府から新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（令和３年１月７日発出）が発出されたことを鑑み、会場開催（パストラルかぞ）から紙面開催（記念誌発行）へ変更し、３月に全戸配布した。
なお、第２部で予定していたアトラクションのミュージカル「かぞ」公演は、主宰者と協議を行い、令和３年度に延期した。

事 業 名		自治体間交流事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	6141-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	699,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	699,000 円
目	01	一般管理費	決 算 額	63,360 円
事業の目的	・県内外の自治体との間で、教育、文化、スポーツなど交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図ることを目的とする。		事業の概要	・防災協定関係等にある自治体や、県内外の自治体との間で、教育、文化、スポーツなどの交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図る。 ・姉妹都市等との住民交流を促進するため、該当する事業に対して補助金を交付する。

事業の実績・成果

1　姉妹都市・友好都市交流事業補助金

姉妹都市（栃木県さくら市）、友好都市（福島県双葉町）と住民交流の推進を図るため、1 団体当たり補助対象人数 30 人（訪問事業：1,500 円／人、歓迎事業：1,000 円／人）を限度として、親善及び交流を目的とする事業に補助金を交付する。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の為、使用団体はなかった。

・訪問事業（最大 45,000 円／団体）〔交付〕0 団体

2　姉妹都市、友好都市との主な交流

(1) 栃木県さくら市

両市が実施する事業について、お互いに参加する等、行政レベルでのさくら市との友好親善が図られるが、新型コロナウイルス感染症予防のため、イベントの中止や交流自粛となった。

例）5 月 3 日：加須市民平和祭、7 月 12 日：物産販売等の交流イベント「喜びの道の駅☆ゆめきらり」、加須市総合防災訓練

2 月 3 日	「さくら市市民協働推進チーム」及び「加須市若手職員及び女性職員によるプロジェクトチーム」のオンライン交流会開催

(2) 福島県双葉町

3 月 4 日	ビデオレターによる交流 （双葉南・北小で市立種足小学校からのビデオレターを上映した。）
3 月 16 日	ビデオレターによる交流 （種足小で、町立双葉南・北小からのビデオレターを上映した。）

事業名	多文化共生事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	6142-01
款	02	総務費	当初予算額	1,744,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,952,780円
目	01	一般管理費	決算額	1,024,422円
事業の目的	・国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく、協働のまちづくりを進める。	事業の概要	・海外日本語教師のホームステイ先を斡旋する「ワンナイトステイ事業」や、国際交流を行う市内団体への支援を行う。 ・外国人住民が地域社会の一員として共に暮らしていくために必要な支援等を行う。	

事業の実績・成果

1　ワンナイトステイ事業

国際交流基金日本語国際センター及び埼玉県国際交流協会において実施する海外日本語教師のホームステイについて、市内の受入家庭を登録し、ホームステイ受入の斡旋をすることで、身近な国際交流の進展を図った。

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録家庭数	11	11	10	9	5
受入人数	9	2	4	4	※

※新型コロナウイルス感染症予防のため、斡旋団体の事業が中止

2　市内在住外国人向け多言語表記配布物等

(1) 市で作成・配布（延べ56種類）

・主な市の配布物等

市ホームページ（8か国）、災害時の避難所に配布するコミュニケーション支援ボード（4か国）、ごみの分け方・出し方（3か国）、「加須の舞」のイベント用チラシ（1か国）、観光案内看板（1か国）、こいのぼり説明（1か国）、母子手帳（9か国）、予防接種予診票（16か国）、窓口用コミュニケーションボード（1か国）

(2) 関係機関が作成、市で配布（延べ44種類）

・主な配布物

DV相談窓口多言語チラシ（9か国）、交通安全教育テキスト（8カ国）、多言語ブックスタート紹介シート（11か国）、日本年金機構ホームページ・国民年金制度の仕組み（14か国）

3　団体への助成【生涯学習課】

(1) 団体名　日中友好加須市民会議

(2) 助成目的　互いの国の歴史や文化・習慣を見聞きすることで、国際感覚を養うことに寄与

(3) 助成対象　中国人留学生宿泊交流や過疎地域学校支援などの事業及び運営

(4) 内容　第39回中国人留学生宿泊交流

令和2年8月21日～23日、2泊3日で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、宿泊交流事業は中止

事業名	入札契約管理事業			
担当課	管理契約課		総合振興計画コード	6311-10
款	02	総務費	当初予算額	3,324,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	3,324,000円
目	01	一般管理費	決算額	2,996,356円
事業の目的	適正な公共調達の実施のため、地域性に応じ、透明性、競争性、公正性を確保した入札・契約事務の執行を図る。	事業の概要	・「公共調達改革に関する加須市の基本取組方針」に基づく入札契約の実施 ・適正な公共工事の施工を確保するための業者選定業務の実施 ・電子入札システムを活用し透明性を確保した円滑で効率的な入札契約業務の執行	

事業の実績・成果

加須市が発注する建設工事等の入札・契約を適正かつ効率的に行った。一般競争入札については、電子入札システムにて13件実施し、全案件成立した。また、指名競争入札については、電子入札システムにて135件実施し、全案件成立した。

設計・調査・測量及び土木施設維持管理の委託については、指名競争入札で電子入札システムにて101件実施し、全案件成立した。

物品購入等に係る入札については、一般競争入札を1件実施し、成立した。また、指名競争入札については、138件実施し、134件成立した。

公共施設飲料自動販売機設置の入札については、事前審査型一般競争入札により19箇所実施し、12箇所成立した。

1　建設工事等入札状況

（一般競争入札）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
建設工事	件数（件）	18	12	15	9	13
	金額（円）	1,811,084,400	1,759,352,400	494,305,200	309,963,500	452,771,000
	平均落札率（%）	95.84	96.08	95.80	95.83	95.16

（指名競争入札）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
建設工事	件数（件）	174	157	134	137	135
	金額（円）	3,167,821,148	3,291,601,960	2,781,511,120	1,988,906,936	2,166,906,300
	平均落札率（%）	96.02	95.53	96.44	95.67	95.91

（注）単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算

（注）指名競争入札「135件」のうち、低入札案件は5件

（指名競争入札）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
土木施設維持管理 設計・調査・測量	件数（件）	138	99	102	96	101
	金額（円）	660,802,093	431,214,468	542,654,529	370,556,982	450,844,750
	平均落札率（%）	94.43	93.82	94.18	94.14	94.61

（注）単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算

2　物品購入等入札状況

（一般競争入札）

		令和２年度
物品購入等	件　　数（件）	1
	金　　額（円）	802,667,250
	平均落札率（%）	99.86

（指名競争入札）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
物品購入等	件　　数（件）	126	147	120	152	134
	金　　額（円）	1,119,070,792	3,552,030,841	1,367,596,789	4,105,428,276	600,101,433
	平均落札率（%）	83.41	85.17	83.29	82.03	81.88

（注）単価契約については、落札金額（単価）に予定数量を掛けた総額で換算

3　公共施設飲料自動販売機設置入札状況

一般競争入札件数 19件中12件成立した。落札金額は計3,056,420円、平均落札率は371.87%となっている。

事業名		職員福利厚生事業		
担当課		職員課	総合振興計画コード	6312-04
款	02	総務費	当初予算額	1,520,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,520,000円
目	01	一般管理費	決算額	12,586円
事業の目的	職員の福利厚生の充実を図るとともに、自立した自治体経営を目指すため、職員間の交流による連携(絆)を深め、組織力を向上させる。		事業の概要	・加須市役所職員厚生会の活動を支援する。 ・職員用の医薬品を購入し、配備する。

事業の実績・成果

1　職員厚生会実施事業

コロナ対策のため、全事業未実施。

【補助金の推移】　（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
市補助金	2,359	2,523	1,873	1,633	0

2　職員用の常備医薬品を購入し、本庁舎及び各総合支所へ配備した。

事業名	人材育成事業		
担当課	職員課	総合振興計画コード	6312-05
款 02	総務費	当初予算額	5,079,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	5,079,000円
目 01	一般管理費	決算額	2,486,941円

事業の目的	事業の概要
自立した自治体経営を目指すため、加須市職員の目指すべき「職員像」を明らかにし、総合的視点から職員の人材育成を図る。	・自主研修を実施する。 ・鴻巣市、行田市及び羽生市と共同で実施している「四市共同研修会」や彩の国さいたま人づくり広域連合で行われる各種研修へ計画的に職員を派遣する。 ・自治大学校や市町村アカデミー等への派遣研修を行う。 ・新規採用職員サポーター制度を実施する。

事業の実績・成果

1　各種研修の実施

職員の能力・資質を伸ばし、市民サービスの向上につなげるため、職員研修実施計画に基づき各種研修を実施した。

(1) 令和２年度　研修実績

○市の自主研修　（単位：人）

新規採用職員研修(前期・後期)	16	職員人権問題研修	504	接遇能力向上研修	569
メンタルヘルス研修（ラインケア）	44	メンタルヘルス研修（セルフケア）	39	コンプライアンス研修	662
政策法務研修	17	新任課長研修	5	IT 研修（e ラーニング研修）	279
人事評価（評価者）研修	76	モチベーション・アップ研修	40	不測事態対策チーム研修	46

※コロナ対応として、全職員対象の研修である接遇能力向上研修は、２回実施のうち、１回はパストラルかぞ小ホールから大ホールへ変更した。

○四市共同研修　（単位：人）

初級職員研修	10	法制執務研修	21	監督者研修	8

○彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修　（単位：人）

課長級研修	4	課長補佐級研修	11	主査級研修	17
中級研修（実践）	11	中級研修（基礎）	26	階層別選択等研修	11
講師養成研修	1				

○その他機関への派遣研修　（単位：人）

市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）	3	地域活性化センターとの連携協定に基づいた事業	11	埼玉県	3
地域活性化センター	1	安全衛生推進者養成講習等	9		

(2) 研修人数の推移　（単位：人）

研修名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
市の自主研修	4,164	3,127	2,292	2,188	2,297
四市共同研修	126	97	70	77	39
彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修	126	109	103	77	81
その他機関への派遣研修	28	27	37	130	27
合計	4,444	3,360	2,502	2,472	2,444

2　新規採用職員サポーター制度の実施
対象者数：新規採用職員 16 人
実施期間：令和２年４月～9 月
所属長の推薦をもとにサポーターを指名し、所属長の作成した指導案に基づいて、サポーターを中心に各課において新規採用職員へ指導・助言を行った。

事業名		人事管理事業		
担当課		職員課	総合振興計画コード	6312-06
款	02	総務費	当初予算額	48,867,000 円
項	01	総務管理費	最終予算額	49,445,000 円
目	01	一般管理費	決算額	39,644,029 円
事業の目的	・自立した自治体経営を目指すため、人材を経営資源の１つと捉え、人材育成事業と組合わせながら、公平・公正で職員一人ひとりの能力を発揮させる人事管理を行う。 ・職員が健康で安全に働き続けられる職場とするため、健康診断や産業医による健康相談など労働安全衛生対策の充実を図る。	事業の概要	・職員昇任試験（主幹職・主査職）や人事評価などを実施する。 ・組織改正に対応した職員採用を行い、必要な人材を確保する。 ・定期健康診断や産業医による健康相談 ・ストレスチェックや産業医による健康相談 ・人事配置・給与支給・服務管理（分限懲戒等） ・会計年度任用職員の任用管理	

事業の実績・成果

1　職員昇任試験の実施
(1) 一次試験（筆記・論文試験）：令和２年 11 月 23 日
二次試験（面接試験）：令和３年１月 18 日・19 日

(2) 受験者数及び合格者数の推移　（単位：人）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
主査職	対象者数	100	98	87	81	69
	受験者数	32	38	33	31	19
	受験率	32.0%	38.8%	37.9%	38.3%	27.5%
	合格者数	14	15	12	16	9
主幹職	対象者数	124	130	134	128	132
	受験者数	36	29	27	19	16
	受験率	29.0%	22.3%	20.1%	14.8%	12.1%
	合格者数	15	10	11	13	11

2　職員採用試験の実施
(1) 一次試験（教養試験・適性検査・論文・専門試験）：令和２年９月 20 日・10 月 18 日
二次試験（面接試験１回目）：令和２年 10 月 24 日
（面接試験２回目）：令和２年 10 月 27 日・28 日・29 日、11 月 10 日・11 日
・ポスターやＰＲ動画を作成し周知することで、受験者数の確保に努めた。
・実施方法等について適宜見直しを行い、人材の確保に努めた。

(2) 受験者数及び採用者数の推移　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
受験者数	143	107	67	77	128
採用者数	25	27	14	16	24

※採用者数は翌年４月１日現在
※職種別内訳：一般事務 17 人（うち障がい者枠２人）、社会福祉士１人、保育士２人、幼稚園教諭４人
※コロナ対応として、一次試験会場（市民プラザかぞ多目的ホール・会議室及び市役所（本庁舎）５階会議室）の分散を図った。

3　職員表彰の実施
(1)　永年勤続表彰　　勤続30年となった職員を表彰　22人
(2)　功績表彰　　他の職員の模範となり推奨すべき業績のあった職員を表彰　14件(99人)

4　健康月間の実施
7月を健康月間と定め、職員のストレスチェックを実施(受検者数1,286人：受検率98.5%)し、同7月に実施予定をしていた労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断を11月から12月にかけて実施(一般健診1,111人：受診率81.7%)した。
※コロナ対応として、健診会場を市役所（本庁舎）5階会議室からパストラルかぞへ変更した。

5　会計年度任用職員の任用管理
(1)会計年度任用職員の任用管理業務の一部（雇用保険資格取得・喪失手続き、社会保険標準報酬月額の計算など）を外部委託することで事務の適正化と効率化を図った。

事業名		総務管理事業			
担当課		総務課		総合振興計画コード	6313-06
款	02	総務費		当初予算額	7,807,000円
項	01	総務管理費		最終予算額	7,807,000円
目	01	一般管理費		決算額	6,813,086円
事業の目的	・適正な事務執行に努めることで、総務一般事業の円滑な遂行をする。		事業の概要	・市民総合賠償保険加入、消耗品（新聞）の購入等について、財政事情を勘案しながら予算の執行を行う。 ・行政境界事務、自衛隊受託事務等について、効率的・効果的な事務の執行を推進する。 ・県外避難者支援、平和事業、栄典事務について、必要に応じた適切な事務事業を行う。	

事業の実績・成果

1　市民総合賠償補償保険
市が所有、使用、管理する施設の瑕疵や市の業務遂行上の過失に起因する事故の損害賠償金及び市が主催する行事へ参加した市民等が入院・通院を伴う傷害を被った場合の補償金を補てんする保険として、市民総合賠償補償保険に引き続き加入し、万一の事故等の発生に備えた。
保険適用案件：2件

2　新聞購読【総務課、各支所地域振興課】
新聞による情報収集等を行い、様々な業務に役立てた。

本庁舎（1紙：32部）	1,145,472円
騎西総合支所（3紙）	125,964円
北川辺総合支所（3紙）	113,712円
大利根総合支所（3紙）	125,364円

3　自衛官募集事務
自衛隊に対する理解と協力を推進するため、自衛隊家族会等と協力して自衛官募集を行った。
・自衛官募集案内を市報かぞへ掲載（7、9、11、1、3月号）計5回
・自衛官募集啓発品（ウエットティッシュ）を本庁舎及び各総合支所窓口で配布（3月）

4　東日本大震災による県外避難者支援

(1) 広報紙、関連情報紙を希望する県外避難者宅へ郵送（1回／月）

(2) 戸別訪問の実施

令和2年5～6月に実施する予定であった第18回戸別訪問は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

同年12月に実施した第19回戸別訪問は、避難者及び訪問者相互の新型コロナウイルス感染予防のため、アンケートを郵送し、返送してもらう方法で実施することにより、避難者の健康状態等の確認、必要な支援の把握等を行い、市が対応できる案件については各所管課で対応した。

(3) 加須市被災者支援会議の開催

戸別訪問を踏まえて、令和3年2月に第14回加須市被災者支援会議を開催し、避難者住民に係る特例事務への対応状況等の確認や、市の支援状況等について情報共有を図った。

(4) 加須市3.11モニュメント除幕式の挙行

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から10年が経過することを契機に、大震災を風化させず、防災意識の醸成を図るため、加須市美術連盟と双葉町書道家が中心となり、加須市と共同で制作したモニュメントの除幕式を避難所となっていた旧県立騎西高等学校の敷地内で行った。

日　時　　令和3年3月6日（土）　午後1時～

会　場　　旧県立騎西高等学校（SFAフットボールセンター「彩の国KAZOヴィレッジ」）

主　催　　加須市

内　容　　加須市長と双葉町副町長（町長代理）をはじめとする両市町の関係者、埼玉県知事等による除幕セレモニー、来賓あいさつ、概要説明及び制作者紹介等

参加者　　約140人

【除幕セレモニー】

平成二十三年三月十一日に発生した
東日本大震災により 多くの双葉町の
方々が役場ごと加須市に所在する
旧県立騎西高校に避難され 加須市は
避難生活の支援を通じて 双葉町との
友好関係を深め 交流を図りながら
十年という年月を歩んできた
培ってきた絆を永く大切にして
加須市と双葉町が手を携えながら
将来にわたってともに発展していく
ことを希望し 埼玉県の協力の下
設置するものである

令和三年三月六日
加須市長　大橋良一

記念碑制作　藤田博史
題字揮毫　渡部草峰
撰文揮毫　赤荻北州

【モニュメント撰文】

5　平和事業

5月3日	新型コロナウイルス感染症予防のため、平和祭が中止
8月15日	黙祷及び半旗掲揚を実施
9月18日～24日	「平和を考える写真展」を開催

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">施工等管理事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">管理契約課</td><td>総合振興計画コード</td><td>6313-08</td></tr>
<tr><td>款</td><td>02</td><td colspan="2">総務費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>200,000 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td colspan="2">総務管理費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>200,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>01</td><td colspan="2">一般管理費</td><td>決 算 額</td><td>102,066 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">市が発注する建設工事及び委託に係る契約の適正な履行の確保と給付の完了の確認及び良質な成果品を確保するため、検査を適正かつ円滑に執行する。
また、市発注工事における優秀な成績の建設工事に対し、その受注者及び技術者を表彰することにより、当該受注者及び技術者の建設意欲を高め、工事の質的向上を図る。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">・監督員及び指定検査員を対象とした研修会を実施するために、研修資料を作成し、研修会の機会を増やし研修会を実施する。
・優秀建設工事表彰式を実施するために、優秀建設工事表彰審査委員会を開催し、表彰対象工事を選定する。</td></tr>
</table>

事業の実績・成果

令和２年度においては、入札による工事 134 件、委託 143 件、合計 277 件、随意契約による工事 128 件、委託 247 件、合計 375 件の検査を執行した結果、すべて合格であり良質な成果品を確保することが出来た。

１　加須市優秀建設工事表彰式については、市発注工事における優秀な成績の工事に対し、受注者と技術者を表彰し受注者及び技術者の建設意欲を高め、併せて工事の質的向上を図った。

開催日　　令和２年８月 19 日(水)
会　場　　加須市役所　３階 庁議室
表彰者　　３ 者（土木業者２者、建築業者１者）

２　監督員及び指定検査員研修会については、令和２年度は新型コロナ感染拡大防止のため研修会を中止して、研修資料をグループウェアに掲載し各自で学習していただくとともに随時質問を受け付け、技術向上と法令遵守に努めた結果、指定検査員による検査書類の記入ミスが減少した。

３　検査員研修については、埼玉県行田県土整備事務所の土木工事の検査に、新規に検査員となった職員を臨場させ、検査技術等を習得することが出来た。

令和２年８月 25 日　　検査員１名参加
令和２年９月 30 日　　検査員１名参加

また、一般社団法人日本経営協会主催による「技術検査の具体的な進め方」についての研修会に検査員を派遣し、完成検査・部分検査について技術面及び法律面からの厳格な検査執行について受講した結果、工事検査を円滑に実施することができた。

令和２年 10 月 19 日・20 日　検査員１名参加（電気・機械設備コース）

事業名	法務相談事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	6314-02
款	02	総務費	当初予算額	1,302,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,302,000円
目	01	一般管理費	決算額	1,186,594円

事業の目的	法令上の争点を整理し、法的紛争を未然に防止するとともに、発生した訴訟及び審査請求に的確に対応する。	事業の概要	・本事業の定例相談を、毎月1回本庁舎において顧問弁護士と直接相談することにより行う。 ・臨時相談は急を要するときに行うものとする。 ・業務の執行により紛争等が生じたとき、又は生じるおそれがあるときに業務所管課が相談するものとする。 ・行政不服審査法に基づく行政不服審査制度への対応を行う。

事業の実績・成果

1　顧問弁護士相談

顧問弁護士契約（単年度契約）を締結し、市役所における定例相談及び電子メールによる臨時相談を行った。顧問弁護士からの的確な助言等を業務に生かし、問題の発生を未然に防止するとともに、円滑な行政の遂行が図られた。

【令和2年度の定例相談件数等】

総数23件（うち電子メールによる臨時相談7件）

（相談部局等の内訳）　（単位：件）

総合政策部	4	生涯学習部	1
総務部	6	学校教育部	2
経済部	1	秘書課	1
福祉部	6	合計	23
建設部	2		

【相談件数の推移】　（単位：件）

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
相談件数	26	26	19	19	23

2　訴訟への対応

・損害賠償請求事件（令和元年（ワ）第1710号）

令和元年10月17日　第1回口頭弁論

令和元年11月から令和3年2月までの間　弁論準備を9回開催

※平成29年6月6日、給食準備のため、小学5年生男児が一人で丸食缶を運搬中にバランスを崩し、丸食缶に入っていた味噌汁が当該児童にかかり、火傷を負った事故が発生したことについて、事故発生を未然に防ぐべき校長及び教員の注意義務違反があるとして、国家賠償法に基づき、市に損害賠償を請求した事件

・障害者自立支援給付費不正請求に係る損害賠償請求事件（令和3年（ワ）第222号）

令和3年3月17日　訴状に代わる準備書面提出

※障害者自立支援給付費の不正請求に係る市による再三にわたる支払の催告にもかかわらず、これを支払わないため、支払督促の申立てを行ったところ、督促異議の申立てがあったことから、民事訴訟法第395条の規定による訴えの提起とみなされた事件

3　審査請求への対応

・農地転用不許可処分に係る審査請求事件（令和元年第1号）

令和元年10月29日受付、令和3年4月2日棄却裁決

※農地法第5条第1項の規定による農地転用の申請に対する不許可処分を不服として、その取消しを市に請求した事件

事 業 名		広報紙等発行事業		
担 当 課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	6111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	24,372,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	24,372,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	18,959,250 円
事業の目的	行政情報の積極的な提供を行い、市民との情報の共有化を図る。		事業の概要	市民との情報の共有化を図るため、行政情報やイベント情報を積極的に提供する「市報かぞ」を毎月発行する。

事業の実績・成果

広報紙「市報かぞ」を毎月１日に発行し、市民に積極的な情報提供を行い、市民と情報の共有を図ることができた。

若者や子育て世代にも読んでもらえるよう、スマートフォン等で利用可能なＱＲによる動画視聴機能を活用した。

市公式ホームページのほか、民間の無料アプリ「マチイロ」や一般社団法人が運営するインターネットサイト「マイ広報紙」（自治体等の広報紙をネット上で無料配信してくれるサービス）を活用し、多くのツールでの配信を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等が中止となり、制度的な情報等の限られた内容になってしまう中で、市民の方が自由に参加できる「市報ＫＡＺＯ投稿」や旬なテーマによる画像を募集するコーナーを新設し、魅力ある紙面づくりに努めた。

子ども版「市報かぞ」の発行を計画していたが、取材や編集の過程で新型コロナウイルス感染症の感染の恐れがあるため、令和３年度に延期とした。

1　広報紙「市報かぞ」月発行部数及び年間印刷製本費　（単位：円）

年　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
月発行部数（部）	41,200 (4 月～3 月)	41,200 (4 月～4 月)	41,400 (5 月～4 月)	41,400 (5 月～4 月)	41,400 (5 月～4 月)
決算額	11,037,670	11,799,774	14,966,811	17,454,816	15,847,920

2　配布

自治会を通じた配布をはじめ、市内の公共施設、コンビニエンスストア、駅、工業団地立地企業や東日本大震災避難者等に配布し、広く情報提供に努めた。

事 業 名	ホームページ・ＳＮＳ活用事業			（総合戦略）
担 当 課	シティプロモーション課		総合振興計画コード	6111-02
款	02	総務費	当　初　予　算　額	3,365,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	4,861,000 円
目	02	文書広報費	決　　算　　額	4,771,663 円

事業の目的	ホームページやＳＮＳを活用し、世界に向けてタイムリーかつスピーディーに加須市の情報を発信し、加須市の認知度を高める。	事業の概要	更新状況を把握し、各課に対し更新の働きかけを行う。 見やすく分かりやすいホームページ作成に取り組むため、庁内研修を実施するとともに閲覧者からのホームページに対する意見を担当課に伝える。 また、ＳＮＳで旬な情報や動画をタイムリーかつスピーディーに発信する。

事業の実績・成果

1　ホームページ

市の情報をタイムリーかつスピーディーに発信するため、随時改良を加えて公開している。令和 2 年度は、災害時の様々なケースを想定し、ツイッターから投稿した内容をホームページ上に自動表示する機能を追加した。

・ホームページ運営管理諸費用　（単位：円）

年　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
運営管理諸費	1,941,924	15,524,893	3,001,000	2,819,493	4,771,663

・ホームページの月平均閲覧件数　（単位：件）

年　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
件　数	214,395	280,557	252,415	310,667	541,705

2　ＳＮＳ

市の情報やＰＲ動画を、市内外に向けて広く発信した。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内飲食店や花き農家を応援する動画を作成し、ＳＮＳを活用して配信した。

・内訳

ＳＮＳ	件　名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
フェイスブック	投稿数	475	500	504	280
	フォロワー数	1,716	2,112	2,432	2,709
ツイッター	投稿数	594	592	644	279
	フォロワー数	2,391	3,011	4,201	4,873
ユーチューブ	投稿数	24	137	142	146
	チャンネル登録数	106	175	199	685
インスタグラム（平成 30 年 5 月 1 日開始）	投稿数	－	116	127	172
	フォロワー数	－	713	972	1,423
ライン（平成 30 年 6 月 1 日開始）	投稿数	－	36	123	119
	友だち数	－	806	1,406	3,133

3　アプリ「暮らし応援アプリ『かぞっぷ』」（平成 30 年 3 月 1 日開始）

年　度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
ダウンロード数	941	2,326	2,795	3,356

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P. 6 参照）。

事 業 名		市民カメラマン事業		
担 当 課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	6111-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	35,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	35,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	22,870 円
事業の目的	広報活動の活性化を図り、市民との協働によるまちづくりにつなげる。		事業の概要	市民カメラマン事業は、20 歳以上の市民で、土日に活動でき、ボランティアとして活動する意欲がある者を公募し、市民カメラマンとして市長が委嘱するもので、市内で行われる各種行事、催し等の写真を市報かぞの表紙などに積極的に採用する。 3 年以上活動した方には、市から感謝状を贈呈する。

事業の実績・成果

市民カメラマン事業は、平成 22 年 10 月（加須地域では平成 19 年 4 月）から実施しており、撮影していただいた写真を広報紙やＳＮＳ（インスタグラム）へ積極的に採用し、市民との協働によるまちづくりにつなげている。

令和 2 年度は、市民カメラマンの新型コロナウイルス感染症への感染リスクに配慮し、各種行事等への取材協力を控えるように努めた。

また、市民カメラマンのモチベーションアップのため例年開催している「市民カメラマン写真展」を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市公式ホームページでオンライン開催とした。

1　委嘱日
　令和 2 年 4 月 16 日（木）

2　腕章・帽子の購入
　取材用の腕章と帽子購入し、委嘱時に貸与した。　作製費用：21,120 円

3　オンライン写真展
　令和 3 年 1 月 6 日（水）～

年　度	市民カメラマンの数（人）	広報紙やホームページに掲載した件数（件）
平成 28 年度	6	158
平成 29 年度	7	158
平成 30 年度	5	243
令和元年度	6	240
令和 2 年度	5	86

事 業 名		加須市ＰＲ・営業推進事業		（総合戦略）
担 当 課		シティプロモーション課	総合振興計画コード	6112-02
款	02	総務費	当　初　予　算　額	2,597,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	2,597,000 円
目	02	文書広報費	決　　算　　額	2,575,827 円
事業の目的	加須市に人や物を呼び込み、観光振興や産業振興につなげるとともに、市民の郷土への誇りや郷土愛の醸成を図るために、様々な地域資源を広く市内外に向かって魅力的に情報発信する。		事業の概要	ＰＲ営業本部委員及び観光大使へ毎月１回ＰＲ定期便を送付し、定期的に本市のＰＲを行う。また、ＰＲ営業本部会議を開催し、新たな市のＰＲ方策を検討し、事業化に努める。また、イベント等でＰＲ用品等の活用により、本市のＰＲに努める。

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が中止となる中で、コロナ禍でも可能な新たな市のＰＲ方策を検討し、事業化に努めた。

こいのぼりマンの作成者である竹内亮裕さんに、感染症対策イラストの協力を依頼し、無償で快諾いただいた。作成していただいたイラストは、市公式ホームページ、ＳＮＳ、広報紙や啓発用ポスター・チラシ等に活用した。

ＰＲ営業本部委員の任期満了に伴い、新たな委員を委嘱した。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（令和３年１月７日発出）により、会議の開催を令和３年度に延期とした。また、ふるさと動画コンクールの二次審査を、資料を送付して依頼した。

毎月１回、委員や観光大使にＰＲ情報定期便として市のイベント情報等を提供し、それぞれの立場でＰＲを依頼していたが、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や書類送付による感染リスクを避けるため、一時休止した。

1　加須市ＰＲ営業本部委員
①　委 嘱 日：令和３年１月１日（金）、任期２年
②　委員構成：副市長、加須市商工会代表、加須市山岳連盟代表、ＰＴＡ連合会代表、加須市観光大使、株式会社むさしの村代表、きさいルネサンス“藤”代表、道の駅かぞわたらせ代表、道の駅童謡のふる里おおとね代表、加須はなさき公園代表、平成国際大学教授、一般公募（合計 18 名）

2　名刺台紙の作製
①　作製個数：500 個　　②　作製費用：103,950 円

3　ガイドマップの作製（修正増刷）
①　作製部数：10,000 部　　②　作製費用：1,540,000 円

4　高速道路サービスエリアのリーフレット設置
①　設置場所・期間：菖蒲ＰＡ・令和２年８月の１カ月間　　②　広告料：55,000 円
③　設置冊子（配布数）：スポーツガイド（404 部）、かぞＹｏｕ遊（356 部）

5　ドローン撮影
①　実施回数：１回　　②　委託料：85,800 円

6　テレビ埼玉データ放送サービスの実施
①　提供件数：12 件/年間　　②　使用料：55,000 円×12 月＝660,000 円
新型コロナウイルス感染症に係る情報を年間を通じて随時提供

7　加須市が新聞、テレビ、ラジオなどで掲載（放送）された件数　（単位：件）

年　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
件　数	498	471	500	505	570

事 業 名	ふるさと写真・動画コンクール事業			（総合戦略）
担 当 課	シティプロモーション課		総合振興計画コード	6112-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	244,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	244,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	212,648 円

事業の目的	本市の素晴らしさを再発見し、郷土「加須」への愛着を高めてもらうとともに、応募作品を周知し、多くの方々に本市の魅力をＰＲする。	事業の概要	テーマを発表し、応募作品の受付、市民の日に表彰をする。 写真の部については、従来の「一般の部」に加え「小中学生の部」を設け、幅広い世代への働きかけを行い、公共施設での展示やＨＰでの公開をする。 動画の部については、優れた作品を加須市公式動画サイトに登録し公開する。

事業の実績・成果

【写真の部】

新型コロナウイルス感染症に考慮し、『かぞ暮らし』をテーマに写真コンクールを開催した。

「小・中学生の部」の応募が増加するよう、新たに賞を設け、「かぞブランド認定品」を賞品とした。

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、応募方法を例年の写真提出から、市公式ホームページからのオンライン応募に変更した。また、巡回展示を中止し、応募のあった全作品を市公式ホームページに公開した。

表彰式についても、市民の日記念式典の中止に伴い中止とした。

1　出品数の推移

回数 開催年度	第7回 平成28年度	第8回 平成29年度	第9回 平成30年度	第10回 令和元年度	第11回 令和2年度
出品者数 (内、小中学生数)	85	71	70 (5)	80 (22)	52 (5)
出品点数 (内、小中学生数)	130	112	102 (6)	155 (66)	79 (5)

2　主な経費

○一般の部

市長賞　1人（賞金30,000円）
議長賞　1人（賞金20,000円）
優秀賞　3人（ 7,000円）
入選　　4人（ 3,000円）

○小・中学生の部

市長賞、議長賞、教育長賞　各1人（かぞブランド認定品3,000円相当）

○審査員謝金　6,000円（3,000円×2人＝6,000円）

【動画の部】

新型コロナウイルス感染症に考慮し、『かぞ暮らし』をテーマに動画コンクールを開催した。

応募のあった全作品を市公式ＳＮＳに投稿し、市内外に向けて広く市の魅力を発信した。

1　出品数の推移

回数 開催年度	第1回 平成29年度	第2回 平成30年度	第3回 令和元年度	第4回 令和2年度
出品者数	10	11	12	15

2　主な経費

市長賞　1人（賞金30,000円＋かぞブランド認定品20,000円相当）
議長賞　1人（賞金20,000円＋かぞブランド認定品10,000円相当）
優秀賞　3人（賞金 7,000円＋かぞブランド認定品 3,000円相当）

事 業 名		市長への手紙・メール事業		
担 当 課		秘書課	総合振興計画コード	6121-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	17,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	17,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	12,376 円
事業の目的	広聴の推進を図るため、市民から直接、手紙・メールによる意見、提案、要望等をいただく。		事業の概要	手紙については、市内公共施設に投函箱を設置し、メールについては、ホームページによりそれぞれ意見等を伺い、市長が1件1件確認して市長名で回答するとともに、市政に出来る限り反映させる。

事業の実績・成果

「市長への手紙」専用はがき及び投函箱を本庁舎、各総合支所、各地区の公民館などをはじめとする市内の公共施設に設置し、市民等からいただいたご意見等について、市長名で回答している。

また、加須市公式ホームページ内の「市長へのメール」からいただいたご意見等についても、市長名で回答している。

1　市長への手紙通数の推移　（単位：通）

年　度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
通　数	168	166	205	215	232

2　市長へのメール通数の推移　（単位：通）

年　度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
通　数	138	132	86	97	132

分野別　市長への手紙（令和2年度）

分野別　市長へのメール（令和2年度）

事 業 名		市政についての話し合い開催事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	6122-03
款	02	総務費	当　初　予　算　額	142,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	142,000 円
目	02	文書広報費	決　　算　　額	0 円
事業の目的	市民と行政の相互理解を深めるため、各地域別に広聴集会を開催し、それぞれの地域にお住まいの市民の皆様から市政全般にわたる意見及び要望等を聴取し、これを可能な限り市政に反映させる。	事業の概要	毎年、話し合いのテーマを設け、市内の公共施設等を会場として話し合いを実施する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、中止とした。

○参加者数の推移　（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
参加者数	968	920	932	1,009	－

事 業 名		情報公開・個人情報保護事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	6132-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	660,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	660,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	277,308 円
事業の目的	透明で開かれた市政運営の推進と行政への市民の信頼の確保を図るとともに、市が保有する個人情報を適切に保護することにより個人の権利利益の保護を図り、もって基本的人権の擁護に資する。	事業の概要	・加須市情報公開条例及び加須市個人情報保護条例に基づく制度を適正に運用する。 ・加須市情報公開・個人情報保護審査会及び加須市情報公開・個人情報保護運営審議会を必要に応じて開催する。 ・審議会等の会議の公開及び会議録の公表制度を運用する。	

事業の実績・成果

○個人情報の保護及び行政情報の公開を適切に実施した。
○個人情報を取り扱う事務の処理に当たっては、条例に基づき、加須市情報公開・個人情報保護運営審議会への諮問、答申を経て、当該事務の委託等を実施した。
○審議会等の会議の公開及び会議録の公表制度の運用を適切に実施した。

1　情報公開及び個人情報保護関係

(1)情報公開請求受付処理件数　(単位：件)

	受付処理件数	全部公開	一部公開	非公開	取下げ
公開請求等	21	3	13	4	1

【情報公開請求受付処理件数の推移】　(単位：件)

年　　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
受付処理件数	6	47	16	17	21

(2)個人情報開示請求受付処理件数　(単位：件)

	受付処理件数	全部開示	一部開示	不開示	取下げ
開示請求	32	6	21	4	1

【個人情報開示請求受付処理件数の推移】　(単位：件)

年　　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
受付処理件数	18	38	40	38	32

(3) 加須市情報公開・個人情報保護運営審議会の開催（委員 10 名）
・第 1 回　令和 2 年 6 月 26 日　諮問事項 2 件、報告事項 2 件
・第 2 回　令和 2 年 9 月 16 日　諮問事項 3 件、報告事項 1 件
・第 3 回　令和 2 年 10 月 15 日　諮問事項 3 件、報告事項 2 件
・第 4 回　令和 2 年 11 月 18 日　諮問事項 1 件、報告事項 1 件
・第 5 回　令和 3 年 2 月 12 日　諮問事項 2 件、報告事項 1 件
・第 6 回　令和 3 年 3 月 26 日　諮問事項 5 件、報告事項 2 件

2　審議会等の会議の公開
会議の開催件数　313 件
会議を公開(一部を非公開とした会議を含む。)した会議件数　91 件
書面審議の件数　34 件
会議を非公開とした会議件数　188 件
(非公開理由：会議の内容に個人情報が含まれるため)
傍聴者数　5 名

事 業 名		文書収発浄書事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	6314-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	87,271,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	87,271,000 円
目	02	文書広報費	決 算 額	74,996,738 円
事業の目的	・適正な行政サービスを実施するため、本市における印刷、郵送、使送などの事務を円滑に進める。		事業の概要	・印刷用紙などの関連消耗品の購入、郵送、使送業務、ＯＡ機器等の借上げ ・コピー機等の管理をするとともに簡易印刷物については庁内印刷機等を活用する。 ・郵便物等の文書の収発業務及び自治会等への使送業務を行う。

事業の実績・成果

○自治会への広報紙等の使送業務について、配布物の仕分け・配送をシルバー人材センターへ業務委託を行い、市内４地域で配布物を１日間で配布することにより、市民サービスの向上が図られている。平成30年度より３支所の仕分け業務についてもシルバー人材センターに委託している。
また、令和２年度は、新型コロナウイルス感染防止対応として市からの広報物において回覧文書を取りやめ、個別配布を実施した。
○ 郵便料、コピー用紙購入費については、経費削減のため、電子メールの活用や裏面の再利用、イベント等の広報を可能な限り市報へ一元化するなどの取組を行い、総合的な経費の削減に努めた。
○ コピー機のカウンター料金については、令和２年度に本庁及び各総合支所のコピー機のリース満了に伴い、指名競争入札により15台配置し、コピー機の管理の一元化及び事務の効率化を図っている。

１　郵便料等の推移

（単位：円）

年　度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
郵便料	42,710,329	44,106,013	40,978,626	42,743,057	41,952,274

（単位：円）

年　度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
コピー用紙購入費	12,586,660	11,407,901	11,306,441	11,663,037	12,451,336

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
コピー機 管理台数（台）	14	14	14	14	15
コピー機カウンター 料金（円/年）	4,919,091	4,674,482	4,488,695	4,136,378	4,361,564
コピー機使用枚数 （枚/年）	4,768,039	4,537,688	4,464,424	4,071,125	4,295,774

〔コピー機管理台数内訳〕本庁：９台、各総合支所：各２台　　計15台

２　ＯＡ機器にかかる費用

【本庁】（総務課）

種　　類	リース料(円)		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
電子製版機	26,268	－(再リース)	R2.4.1	R3.3.31	富士通リース㈱
ファクシミリ	35,310	－(再リース)	R2.10.1	R3.9.30	五幸事務機㈱
紙折機	32,670	5,445	H27.10.1	R2.9.30	㈲ アライ
紙折機(再)	6,534	－(再リース)	R2.10.1	R3.9.30	㈲ アライ

電動断裁機	14,388	－(再リース)	R2.4.1	R3.3.31	富士通リース㈱
電動断裁機(入替)	27,500	13,750	R3.2.1	R8.1.31	キャノンシステムアンドサポート㈱
デジタル印刷機1号機	245,520	20,460	R1.8.1	R4.7.31	㈲ アライ
デジタル印刷機2号機	125,400	10,450	R2.3.1	R5.2.28	㈲ アライ
丁合機（入替）	10,450	10,450	R2.3.1	R5.2.28	㈲ アライ

【騎西総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
ポスター・プリンター	76,560	6,380	R2.4.1	R7.3.31	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
印刷機	125,400	10,450	H28.4.1	R3.3.31	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	104,562	－	H28.4.1	R3.3.31	キヤノンシステムアンドサポート㈱
ファクシミリ	59,616	4,968	H30.9.1	R5.8.31	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機（市民用）	104,514	－	H30.7.1	R5.6.30	キヤノンシステムアンドサポート㈱

【北川辺総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
印刷機	125,400	10,450	H28.7.1	R3.6.30	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	199,452	16,621	H28.7.1	R3.6.30	ＮＴＴ・ＴＣリース㈱関東支店
複写機兼ファクシミリ	194,433	－	R1.7.1	R6.6.30	キヤノンシステムアンドサポート㈱
複写機（市民用）	116,160	－	H29.9.1	R4.8.31	埼北オーエー機器㈱

【大利根総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
印刷機	125,400	10,450	H28.4.1	R3.3.31	㈱ 雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	98,589	－	H28.4.1	R3.3.31	キヤノンシステムアンドサポート㈱
複写機（市民用）	44,280	3,690	R2.4.1	R3.3.31	リコージャパン㈱　関東営業部埼玉支社

事業名	例規文書管理事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	6314-03
款	02	総務費	当初予算額	8,303,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	8,303,000円
目	02	文書広報費	決算額	8,023,654円
事業の目的	法制執務や法令解釈に関し必要な助言や相談を行い、条例、規則等の制定改廃及び適切な文書管理を実施することで円滑な行政運営を図る。	事業の概要	法制執務及び例規整備に関する相談を実施するとともに、法令関係図書、例規データベース等の法令業務に関する環境を全庁的に整備し、迅速かつ的確に行政立法や行政不服等に係る業務を実施する。 また、情報公開に対応した文書管理の構築等を行う。	

事業の実績・成果

○例規等の審査を適切に実施し、制定改廃が必要な例規への対応を図った。
○例規・法令検索システムについて、検索等の機能の改善により、利便性の向上を図った。
○ファイリングシステムについて、総務課職員による巡回指導を行い、所管課ごとに課題を発見し、それぞれ運用の改善を図った。

1　例規等の審査の実施
（令和2年度審査件数）条例…51件、規則…39件、訓令…4件、告示・要綱等…406件

2　各課に対する国会制定法の概要及び市への影響に係る情報提供
第201回国会…64本、第202回国会…制定法なし、第203回国会…15本

3　法制執務・政策法務等関係図書の整備　1,039,986円

4　例規・法令検索システムの適正な運用及び紙製例規集の追録作成
・例規・法令検索システム使用料…1,650,000円
・例規・法令検索システム更新データ作成…1,650,000円
・例規集追録作成…660,000円

5　ファイリング用品等の整備
保存箱、個別フォルダー、フォルダーラベル等の購入…1,918,170円

6　保存期間満了文書の再資源化
廃棄文書の搬出、溶解処理施設までの運搬及び溶解処理（古紙へ再資源化）

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
処理量（kg）	14,420	16,060	16,220	14,120	16,380
単価（円／kg）	8.10	8.10	8.10	8.10	9.13
委託金額（円）	116,802	130,086	131,382	114,372	149,549

※各総合支所分を含む。

7　ファイリングシステム巡回指導の実施
【対象】本庁舎内の各課
【期日】令和3年1月26日～28日

事業名	財政管理事業			
担当課	財政課		総合振興計画コード	6315-03
款	02	総務費	当初予算額	11,217,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	11,217,000円
目	03	財政管理費	決算額	10,622,063円
事業の目的	経済情勢や事業の進捗状況を踏まえ、中・長期的な視点に立ち、持続可能で安定した財政運営を行う。	事業の概要	・予算編成及び執行に関すること ・財政計画（見直し）及び財政事情の公表に関すること ・その他財政に関すること（財務会計システムの管理・運用など）	

事業の実績・成果

・ 令和元年度決算に係る行政報告書（主要な施策の成果を説明する書類）及び令和3年度一般会計・特別会計予算書（当初予算書）を作成した。

令和元年度決算に係る行政報告書　・・・・　200冊　462,000円
令和3年度一般会計・特別会計予算書　・・・・　250冊　493,625円

・ 令和元年度決算に基づく健全化判断比率（4指標）を公表した。

（単位：%）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和元年度	— (12.13)	— (17.13)	4.8 (25.0)	— (350.0)
平成30年度	— (12.12)	— (17.12)	5.5 (25.0)	— (350.0)

※　実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は算出されないため、「—」と表記している。
※　括弧内の数字は、加須市の早期健全化基準である。

・ 令和元年度決算に基づく財務書類（統一的な基準）を作成し、ホームページで公表した。
※　財務書類とは、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書、注記及び附属明細書である。

事 業 名		公金納付円滑事業		
担 当 課		会計課	総合振興計画コード	3231-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	14,627,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	14,627,000 円
目	04	会計管理費	決 算 額	13,233,070 円
事業の目的	市民の利便性の向上を図るため、公金納付方法について研究し、納付場所や時間に制約されず公金を納付できる環境を整備する。		事業の概要	・口座振替での収納を促進するため、関係機関と連携し、市民への周知 ・多岐にわたる窓口で納付された公金の迅速かつ正確な管理 ・コンビニエンスストア納付制度の適切な運用

事業の実績・成果

1　公金収納日計処理業務

コンビニエンスストア収納の導入により多様化・複雑化した日計処理業務について、専門的知識を有する事業者に委託することで、正確かつ迅速な処理を行った。

（1）業務内容

金融機関等で収納された市税、料金の納入済通知書の読取、コンビニエンスストア収納データ代行受信、各種システムへの消込データの作成等

（2）経費

令和２年度処理業務委託料　8,866,927 円

（単位：円）

会計名	一般	国保	後期高齢	介護
金　額	7,387,740	1,028,133	168,656	282,398

（3）受託業者

ＡＧＳ株式会社

2　コンビニエンスストア収納代行業務

納付方法を拡充し、市民の利便性の向上を図るため、平成 24 年度からコンビニエンスストア収納を実施した。また、令和２年６月から、スマートフォン決済アプリ「PayB」で払うキャッシュレス決済を導入し拡充を行った。

（1）業務内容

コンビニエンスストアでの市税、料金の収納、収納済データの作成等

（2）経費

令和２年度処理業務委託料　8,354,083 円

（単位：円）

会計名	一般	国保	後期高齢	介護
金　額	5,845,330	1,810,765	213,988	484,000

（3）受託業者

りそな決済サービス株式会社

（4）コンビニエンスストア収納利用状況

税・科目	納付書発送枚数（枚） A				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市・県民税（普徴）	49,832	49,567	42,220	44,750	50,057
固定資産税・都市計画税	93,594	93,303	94,114	94,627	94,924
軽自動車税	35,590	36,048	36,486	36,995	37,342
保育料	4,937	5,378	6,025	4,118	1,773
学童保育料	1,442	1,459	1,500	1,538	1,277
幼稚園保育料	497	361	393	255	—
国民健康保険税	91,859	80,725	79,065	77,489	73,414
介護保険料	27,774	27,401	25,647	24,613	25,101
後期高齢者医療保険料	11,019	11,251	11,501	11,708	10,622
合　　計	316,544	305,493	296,951	296,093	294,510

税・科目	コンビニエンスストア収納枚数（枚） B				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市・県民税（普徴）	18,744	18,555	19,425	19,526	21,330
固定資産税・都市計画税	35,722	37,690	39,643	41,769	44,988
軽自動車税	18,148	18,908	19,768	20,888	22,825
保育料	3,417	3,978	4,395	3,141	1,420
学童保育料	884	997	1,048	1,153	1,016
幼稚園保育料	293	233	234	178	—
国民健康保険税	27,468	27,004	27,842	29,109	29,827
介護保険料	6,456	9,132	7,068	7,341	8,035
後期高齢者医療保険料	2,358	2,710	3,076	3,338	3,486
合　　計	113,490	119,207	122,499	126,443	132,927

税・科目	コンビニエンスストア収納金額（円）				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市・県民税（普徴）	445,849,858	439,380,323	515,802,719	466,526,160	503,680,956
固定資産税・都市計画税	579,959,146	631,965,519	648,992,067	704,301,973	767,568,357
軽自動車税	115,582,061	125,997,800	142,977,000	149,802,123	169,178,500
保育料	61,493,550	74,011,650	81,071,350	61,339,250	32,907,770
学童保育料	3,548,145	5,054,882	5,424,950	5,993,700	5,282,449
幼稚園保育料	1,592,500	1,348,120	1,266,900	991,850	—
国民健康保険税	427,310,919	423,123,428	429,726,177	451,369,192	458,935,901
介護保険料	53,491,270	58,925,445	61,259,700	65,524,290	72,304,530
後期高齢者医療保険料	21,066,590	22,759,940	24,677,760	31,308,050	34,019,710
合　　計	1,709,894,039	1,782,567,107	1,911,198,623	1,937,156,588	2,043,878,173

税・科目	コンビニエンスストア利用割合（%） B／A				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市・県民税（普徴）	37.6%	37.4%	46.0%	43.6%	42.6%
固定資産税・都市計画税	38.2%	40.4%	42.1%	44.1%	47.4%
軽自動車税	51.0%	52.5%	54.2%	56.5%	61.1%
保育料	69.2%	74.0%	72.9%	76.3%	80.1%
学童保育料	61.3%	68.3%	69.9%	75.0%	79.6%
幼稚園保育料	59.0%	64.5%	59.5%	69.8%	—
国民健康保険税	29.9%	33.5%	35.2%	37.6%	40.6%
介護保険料	23.2%	33.3%	27.6%	29.8%	32.0%
後期高齢者医療保険料	21.4%	24.1%	26.7%	28.5%	32.8%
合　　計	35.9%	39.0%	41.3%	42.7%	45.1%

※幼稚園保育料は、令和元年10月から無償化となったため令和2年度は該当なし。

事業名	会計管理事業			
担当課	会計課		総合振興計画コード	6315-14
款	02	総務費	当初予算額	9,820,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	9,820,000円
目	04	会計管理費	決算額	8,951,233円
事業の目的	財政の健全化を図るため、法令との整合性、正確性を重視し、多様化する出納事務を円滑に遂行する。 また、公金の確実な管理と効率的な運用を図る。	事業の概要	現金等の出納・保管及び支出負担行為・支出命令に係る債務の確認を行う。 歳計現金及び各種基金の管理運用を適正に行う。 各課における公金の適正な取扱いを指導する。	

事業の実績・成果

1　歳入歳出事務について、予算及び法令に則した伝票等の審査を行い、適正な出納処理を行った。

2「公金取扱事務の管理適正化方針」に基づいた現金取扱業務の実地検査
（1）調査日　令和2年7月22日、29日、31日、8月3日、5日、11日の6日間
（2）調査対象　本庁・各総合支所　　計52課
各体育館・コミセン・文化学習センター・幼稚園等　　計54施設
（3）調査項目　現金収納手続について
現金、はがき、切手、収入印紙及び埼玉県収入証紙の保管について
（4）調査方法　現金取扱業務一覧表に基づき、担当職員からのヒアリング
（5）指導内容　切手等は施錠できる金庫等に保管をすること。
切手等は台帳と照合するなど常に点検を行うこと。

3「用品調達基金廃止における物品購入選定の基本方針」に基づいた物品購入状況調査
（1）調査期間　令和2年6月1日～6月17日の17日間及び
令和2年10月26日～11月6日の12日間
（2）調査対象　本庁・各総合支所　　計54課
各体育館・文化学習センター・公民館・保育所・幼稚園・小中学校等
計69施設
（3）対象期間　令和元年10月～令和2年3月及び令和2年4月～同年9月
（4）調査項目　お茶・用紙類・トイレットペーパーの３品目の購入状況
（5）調査方法　上記3品目を担当課へ照会の上、支出伝票による購入単価の確認
（6）指導内容　品質・価格ガイドラインに定める単価での購入を指導

事 業 名		公用自転車利用推進事業		
担 当 課		総務課	総合振興計画コード	4313-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	10,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	10,000 円
目	05	財産管理費	決 算 額	2,070 円
事業の目的	・地球温暖化防止等に身近なところから貢献すべく、また、職員の健康増進を図るべく、積極的に公用自転車の利用を推進する。		事業の概要	・施設に応じた適正な配車を継続し、公用自転車が利用できる体制を維持する。 ・各施設から、片道２キロ未満の移動手段として、公用自転車を利用するよう、職員への周知を徹底する。

事業の実績・成果

○公用自転車の配置及び利用

業務上自転車を利用する機会、必要性があると認められる公共施設へ、公共施設から２km未満の移動手段として、公用自転車を配置し、環境への配慮及び職員の健康増進を図った。

今後、老朽化した公用自転車の入替えや、新たな公共施設への配置を行い、公用自転車の更なる利用を推進していく。

１　公用自転車配置箇所及び配置台数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	合　計
加須地域 (平成 27 年度以前 58 台)	グリーンファーム加須 (1 台)	不老荘（1 台） 花崎コミュニティセンター （1 台）	加須南小、大越小、昭和中、加須東中（各１台）、加須平成中（３台）	礼羽小、樋遣川小（各１台）、水深小、大桑小（各２台）、	礼羽小（１台）	75 台
騎西地域 (平成 27 年度以前 12 台)	なし	なし	騎西総合体育館（２台） 騎西小 （１台）	騎西中 （１台）	なし	16 台
北川辺地域 (平成 27 年度以前 11 台)	なし	なし	北川辺中 （３台）	なし	なし	14 台
大利根地域 (平成 27 年度以前 10 台)	なし	なし	なし	なし	なし	10 台
合　計 (91 台)	1 台	2 台	13 台	7 台	1 台	115 台

２　公用自転車利用実績

年　　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
公用自転車利用回数（回）	1,002	839	707	546	410
2 km未満公用車利用回数（回）	362	348	322	304	318
公用自転車利用率（%）	73.5	70.7	68.7	64.2	56.3

※公用自転車利用率＝公用自転車利用回数／（2 km未満公用車利用回数＋公用自転車利用回数）

事業名	普通財産管理事業			
担当課	管理契約課		総合振興計画コード	6313-03
款	02	総務費	当初予算額	11,338,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	11,338,000円
目	05	財産管理費	決算額	7,040,498円

事業の目的	事業の概要
市有財産の有効活用を図るため、適正な維持管理を推進する。	・固定資産台帳による市有財産管理及び財産規則等に基づく公表 ・普通財産（土地・建物）の適正管理 ・政教分離が必要な物件への適正な対応 ・除草、剪定、消防設備点検、各種修繕、火災保険及び光熱水費の支払いなどの維持管理

事業の実績・成果

加須市が所有する普通財産について、除草・樹木剪定等を行い適正な維持管理に努めた。また、用途廃止された法定外公共物の売り払いを実施し、財源確保に努めた。

1　普通財産管理に係る主な歳出

(1)修繕関係	・松原団地跡地駐車場区画看板修繕	70,400円	
	・東ヶ丘駐車場外灯交換修繕	23,980円	
	・旧北川辺給食センター止水栓交換修繕	47,300円	
	・旧加須学校給食センター柵修繕	49,500円	
(2)役務関係	・建物火災保険料（久下会館ほか）	148,954円	
(3)委託関係	・除草	3,712,770円	(49箇所)
	・樹木剪定及び伐採	1,069,200円	(6箇所)
	・売払いのための不動産鑑定	264,000円	(5件)
(4)土地借上料	・旧農業振興センターほか	740,635円	
(5)工事関係	・旧食肉センターフェンス撤去工事	220,000円	

2　加須市公有財産の取得及び処分検討委員会の開催

加須市公有財産の取得及び処分検討委員会設置要綱により委嘱された6人の委員により構成される当該委員会に公有財産の処分について諮問し、答申を得た。

開催日・場所	諮問内容	出席人数
令和2年11月20日(金) 加須市役所504会議室	・野中土地区画整理事業地寄附地の処分について（諮問） ・その他の公売予定地について（報告） ・令和元年度及び令和2年度上半期の売払い実績について（報告）	5人

3　普通財産に係る主な歳入

(1)一畝歩用水路使用料及び電柱占用料	626,143円	(11件)
(2)市有財産使用証明等手数料	450円	(3件)
(3)市有財産境界証明書手数料	150円	(1件)
(4)土地建物貸付収入	4,302,301円	(44件)
(5)駐車場貸付収入	1,993,000円	(64台)
(6)土地売払い収入（法定外公共物）	8,197,156円	(13件)
(7)土地売払い収入（普通財産）	7,877,638円	(2件)
(8)諸収入（送電線下補償）	231,902円	(2件)

4　普通財産の貸付及び売払い状況

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
貸付収入	件数（件）	117	127	120	111	108
	金額（円）	6,864,568	7,166,377	6,925,947	6,892,264	6,295,301

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
売払収入	件数（件）	23	26	13	9	15
	金額（円）	103,361,350	76,973,503	10,134,586	170,209,748	16,074,794

事業名	普通財産活用推進事業			
担当課	管理契約課		総合振興計画コード	6313-04
款	02	総務費	当初予算額	2,115,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	2,115,000円
目	05	財産管理費	決算額	719,400円
事業の目的	健全な財政基盤による自治体経営の実現のため、市有財産の有効活用を推進する。	事業の概要	未利用財産の適正な利活用を計画的に推進するため、「未利用財産の利活用基本方針」に基づき、対象となる未利用普通財産の利活用を実施する。	

事業の実績・成果

加須市が所有する普通財産のうち、未利用普通財産の一般競争入札による公売のほか、貸付市有地の売却を実施した。

1　取組実績

(1) 一般競争入札による公売

①対象物件　旧つつじ公園および旧隣接ごみ集積所
（所在地：元町686番4および同番5、地目：宅地、地積：156.04㎡および16.26㎡）

②告示日　令和2年5月25日

③受付期間　令和2年6月1日から12日

④入札日　令和2年6月24日

⑤契約日　令和2年7月3日

⑥売却額　7,588,888円

(2) 貸付市有地の売却

①対象物件　久下5丁目道路残地貸付地
（所在地：久下五丁目309番2、地目：雑種地、地積：16.50㎡）

②契約日　令和2年5月8日

③売却額　288,750円

2　不動産鑑定

(1) 旧つつじ公園および旧隣接ごみ集積所（元町686番4および同番5）
一般競争入札による公売を前提とした不動産鑑定を実施した（不動産鑑定料：159,500円）。

(2) 野中土地区画整理事業地寄附地（野中土地区画整理事業98街区13画地）
一般競争入札による公売を前提とした不動産鑑定を実施した（不動産鑑定料：177,100円）。

3　測量等

(1) 旧大利根給食センター（外記新田347番1）
一般競争入札による公売を前提とした防災無線用地部分の分筆を実施した（分筆登記：338,800円）。

4　旧騎西コミュニティセンター利活用庁内検討委員会の開催

関係課を交えて令和2年度第1回　旧騎西コミュニティセンター利活用庁内検討委員会を令和3年3月23日に開催し、今後の利活用に係る課題等について協議した。

5　未利用普通財産の利活用実施件数　（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利活用実施件数	6	2	0	2	2

事業名	車両管理事業			
担当課	総務課		総合振興計画コード	6313-05
款	02	総務費	当初予算額	15,580,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	15,580,000円
目	05	財産管理費	決算額	10,002,120円
事業の目的	・定期的な点検整備により安全性を確保するため、総括的配車管理により、保有する車を効率的に利用する。	事業の概要	・環境基準に合った車を適切に整備するとともに、修繕等では対応しきれない車を把握し、廃車に伴う買替えを行う。 ・庁内のネットワークを利用し、車両の利用状況の把握や管理を徹底する。 ・公用自動車の毎月の利用状況を報告書等で確認し、組織に応じた適正な配車体制を図る。	

事業の実績・成果

○車両買い替え時に低燃費、低排出ガス車への切り替えを進める中、市全体で3台の車両の入替え等を行い、燃費の節約や環境への配慮を図った。

・低公害車車両の割合：令和2年度末の低公害車135／保有車238台 ＝ 56.7%

1　共用車維持管理費用

(1) 燃料費

【本庁舎】令和2年度管理台数　23台（総務課）

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ガソリン	購入量（ℓ）	15,265	14,915	14,546	13,211	10,552
	支払額（円）	2,007,018	2,077,386	2,217,281	1,964,987	1,472,268
	平均単価(円)	131	139	152	149	140
軽油	購入量（ℓ）	3,065	3,439	3,726	3,744	477
	支払額（円）	323,900	389,626	484,305	467,240	55,960
	平均単価(円)	106	113	129	125	117

【騎西総合支所】令和2年度管理台数　4台（地域振興課）

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ガソリン	購入量（ℓ）	3,385	2,825	2,002	1,520	1,096
	支払額（円）	447,401	395,243	305,487	229,509	152,533
	平均単価(円)	132	140	153	151	139

【北川辺総合支所】令和2年度管理台数　11台（地域振興課）

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ガソリン	購入量（ℓ）	6,325	5,695	6,605	5,879	4,175
	支払額（円）	828,746	797,796	1,005,836	884,433	573,271
	平均単価(円)	131	140	152	150	137
軽油	購入量（ℓ）	674	500	587	597	453
	支払額（円）	75,252	58,224	75,861	76,421	51,706
	平均単価(円)	112	116	129	128	114

【大利根総合支所】令和２年度管理台数　10 台（地域振興課）

年　　度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
ガソリン	購入量（ℓ）	4,651	4,386	4,035	3,483	3,074
	支払額（円）	630,440	599,551	613,067	524,960	434,644
	平均単価(円)	136	137	152	151	141
軽油	購入量（ℓ）	286	294	239	242	115
	支払額（円）	31,039	34,018	31,048	30,600	12,947
	平均単価(円)	109	116	130	126	113

＊車両管理事業全体の燃料費は、2,753,329 円

(2) 修繕料　　2,539,748 円（車検費用、車両修繕費用）

(3) 保険料　　1,395,131 円（任意保険料、自賠責保険料）

２　バス運転業務

年　　度		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
市所有中型バス	運行日数(日)	105	112	111	101	3
	走行距離(㎞)	8,981	9,396	10,175	10,011	323
レンタカーバス	運行日数(日)	4	8	9	3	0
	借上料（円）	127,730	260,691	283,332	108,173	0

※レンタカーバスについては、同日に複数の行事等によるバス運転業務が重複した場合に限り利用している。(令和２年度については、新型コロナウイルス感染防止対応により、イベントが中止となったためレンタカーバスの利用なし)

３　ドライブレコーダーの設置

交通事故発生時における原因究明に役立てるとともに、防犯カメラとして地域の防犯に寄与するため、重要度や使用頻度等に応じてドライブレコーダーを設置した。

・令和２年度設置台数　50 台

年　度	令和元年度	令和２年度	合　計
既存車（台）	0	47	47
リース車（台）	1	1	2
新車（台）	2	2	4
計	3	50	53

事業名	庁舎維持管理事業			
担当課		総務課	総合振興計画コード	6313-07
款	02	総務費	当初予算額	198,310,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	217,386,248円
目	05	財産管理費	決算額	190,951,330円

事業の目的	・施設内の安全性の確保及び施設の長寿命化を図るため、庁舎の故障や不具合の有る箇所の修繕や保全のための点検・改修を実施する。	事業の概要	・庁内の総合管理体制を整備し、施設の長寿命化のため、修繕箇所に優先順位をつけ、効率的に修繕を行う。 ・空調設備の温度設定や使用時間の徹底など、経常経費の削減に努める。 ・庁舎における禁煙を徹底する。

事業の実績・成果

○庁舎を適正に維持管理する上で設備の点検を行いながら、故障や不具合があった場合において、効率的な修繕等を行うことにより、施設の適正な維持管理を行った。

1　庁舎管理委託費

(1) 本庁舎　：庁舎総合管理、電話交換設備保守委託、駐車場除草等　88,365,371円
(2) 騎西総合支所　：庁舎総合管理、電話交換機等保守委託、整枝・剪定等　11,236,296円
(3) 北川辺総合支所：庁舎管理、整枝・剪定、除草　5,084,669円
(4) 大利根総合支所：庁舎管理、電話交換機等保守委託、除草、剪定　5,265,375円

2　修繕費

【本庁舎】修繕工事一覧表（総務課）

	施工業者又は件数等	費　用
本庁舎車庫棟電動シャッター修繕	三和シャッター工業㈱	1,100,000円
その他修繕（50万円未満）	25件	2,300,455円
合　　計		3,400,455円

【騎西総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
その他修繕（50万円未満）	8件	354,915円

【北川辺総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
その他修繕（50万円未満）	4件	275,000円

【大利根総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修繕工事名	施工業者又は件数等	費　用
その他修繕（50万円未満）	2件	77,000円

３　電気料金、使用量・使用量増減率の推移

○電気料金の削減を図るため、平成24年度から特定規模電気事業者（ＰＰＳ）を活用し、令和２年度末現在、79の公共施設においてＰＰＳから供給を受けている。

○電気使用量の削減を図るため、蛍光灯の間引き、エレベーター使用台数の制限等を行い、節電に努めたが、新型コロナウイルス感染対策事業等に伴う時間外作業が増加したため、電気使用量が増加している。（平成26年度比　0.3%）

〔参考〕第２次加須市節電行動プランにおける目標：平成26年度電気使用量（1,239,716kwh）

施設	項　　目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
本庁舎	電気料金（円）	13,067,939	15,465,035	16,273,289	16,942,227	14,927,001
	電気使用量（kwh）	817,065	847,889	807,216	830,554	885,562
	使用量増減率(%)※	3.8	3.7	▲4.7	2.9	6.6
騎西総合支所	電気料金（円）	3,692,671	3,079,249	3,488,728	3,355,591	3,111,038
	電気使用量（kwh）	188,860	132,162	137,467	135,858	153,060
	使用量増減率(%)※	▲13.0	▲30.0	4.0	▲1.2	12.7
北川辺総合支所	電気料金（円）	1,972,564	1,883,500	2,077,692	2,068,351	1,799,533
	電気使用量（kwh）	79,385	97,697	97,787	96,216	101,222
	使用量増減率(%)※	▲27.8	23.1	0.09	▲1.6	5.2
大利根総合支所	電気料金（円）	1,932,205	1,965,556	2,084,295	2,151,561	1,896,793
	電気使用量（kwh）	100,811	98,783	96,073	99,159	103,924
	使用量増減率(%)※	▲1.7	▲2.0	▲2.7	3.2	4.8
計	電気料金（円）	20,665,379	22,393,340	23,924,004	24,517,730	21,734,365
	電気使用量（kwh）	1,186,121	1,176,531	1,138,543	1,161,787	1,243,768
	使用量増減率(%)※	▲2.5	▲0.8	▲3.2	2.0	7.1

※前年度の電気使用量と比較した増減率（%）

４　光熱水費等維持管理費の推移

【本庁舎】（総務課）

年　　度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
電気料	使用量（kwh）	817,065	847,889	807,216	830,554	885,562
	支払額（円）	13,067,939	15,465,035	16,273,289	16,942,227	14,927,001
電　話　料　（円）		5,445,733	5,162,973	5,130,967	5,125,229	5,714,365
水道料	使用量（㎥）	5,937	5,791	5,536	5,673	5,682
	支払額（円）	1,677,980	1,635,453	1,561,551	1,514,768	1,636,294
下水道使用料（円）		867,605	845,433	806,713	781,867	844,574
A重油（冷暖房用）	購入量（ℓ）	56,000	61,000	60,000	55,000	64,000
	支払額（円）	2,765,937	3,640,336	4,531,248	3,820,485	3,765,960
	平均単価(円)	49.4	59.6	75.5	69.5	58.8
合計支払額（円）		23,825,194	26,749,230	28,303,768	28,184,576	26,888,194

【騎西総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
電気料	使用量（kwh）	188,860	132,162	137,467	135,858	153,060
	支払額（円）	3,692,671	3,079,249	3,488,728	3,355,591	3,111,038
電　話　料　（円）		806,578	714,186	675,781	664,522	716,842
水道料	使用量（㎥）	1,773	1,206	1,069	1,074	1,002
	支払額（円）	455,318	298,242	263,310	269,025	263,380
下水道使用料（円）		131,134	132,832	114,213	118,481	119,522
合計支払額（円）		5,085,701	4,224,509	4,542,032	4,407,619	4,210,782

【北川辺総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
電気料	使用量（kwh）	79,385	97,697	97,787	96,216	101,222
	支払額（円）	1,972,564	1,883,500	2,077,692	2,068,351	1,799,533
電　話　料　（円）		851,182	849,265	881,121	851,766	864,323
水道料	使用量（㎥）	620	420	473	503	515
	支払額（円）	137,509	123,696	133,978	140,774	144,894
合計支払額（円）		2,961,255	2,856,461	3,092,791	3,060,891	2,808,750

【大利根総合支所】（地域振興課）

年　　度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
電気料	使用量（kwh）	100,811	98,783	96,073	99,159	103,924
	支払額（円）	1,932,205	1,965,556	2,084,295	2,151,561	1,896,793
電　話　料　（円）		1,324,032	1,020,593	884,130	826,574	821,213
水道料	使用量（㎥）	430	395	398	408	423
	支払額（円）	98,732	92,006	92,556	95,100	99,270
合計支払額（円）		3,354,969	3,078,155	3,060,981	3,073,235	2,817,276

5　本庁舎受変電設備改修に係る委託費

災害対策に伴い、受変電設備の改修及び自家発電設備の整備を令和2年度から令和4年度の期間で整備する。

(1) 本庁舎敷地測量業務委託　：　4,466,000円
(2) 本庁舎受変電設備等改修及び設備棟建設工事アスベスト含有調査業務委託　：　187,000円
(3) 庁舎受変電設備等改修及び設備棟建設工事地質調査業務委託　：　3,575,000円
(4) 本庁舎受変電設備等改修及び設備棟建設工事設計業務委託　：　10,890,000円

6　新型コロナウイルス感染対策に関連する費用

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.6参照）。

【繰越明許　令和2年度から令和3年度へ繰り越す理由】

本庁舎の新型コロナウイルス感染症予防対策として、トイレ修繕やアクリルパーテーションの設置など、早急な実施が必要だが、年度内に契約の完了が困難なため。

【繰越明許額：9,659,650円】

(1) 消耗品費（便座クリーナー補充液）：99,000円
(2) 修繕料（トイレ修繕及び洋式便座クリーナーディスペンサー取付修繕）：6,588,450円
(3) 備品購入費（アクリルパーテーション）：2,972,200円

事 業 名		公共施設等再整備基金事業		
担 当 課		財政課	総合振興計画コード	6315-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,287,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	702,576,000 円
目	05	財産管理費	決 算 額	701,549,859 円
事業の目的	公共施設等の整備・改修計画に位置づけられたもののほか、今後発生する一般的な公共施設等の建替え又は改修等を目的とした経費に充てる財源として、計画的に基金に積み立てるとともに、適時必要額を活用する。		事業の概要	今後予定されている公共施設等の整備・改修計画、必要額を把握し、その財源として前年度繰越金の一部を基金へ積み立てる。

事業の実績・成果

運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。

【年度末基金残高の推移】 （単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
取り崩し額	2,772,816,323	1,025,711,743	381,806,435	619,152,184	609,937,374
積み立て額	382,698,000	601,330,485	892,536	167,022,530	701,288,556
利 子	8,918,455	2,339,293	2,968,495	2,232,559	261,303
年度末残高	3,021,358,755	2,599,316,790	2,221,371,386	1,771,474,291	1,863,086,776

※ 令和 2 年度は、クリーンセンターの施設修繕、幹線道路整備、橋りょう維持管理、小中学校施設整備などの財源として 609,937,374 円取り崩した。

事 業 名		財政調整基金・市債管理基金事業		
担 当 課		財政課	総合振興計画コード	6315-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,171,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	2,171,000 円
目	06	財政調整基金費	決 算 額	2,154,844 円
事業の目的	災害復旧、市債の繰上償還、その他財源の不足を生じた時のために基金を積み立てるとともに、計画的に必要額を活用する。	事業の概要	預金利子を一般会計に収入した後、基金へ積み立てる。また、必要に応じて基金を取り崩し、一般会計に繰り入れる。	

事業の実績・成果

財政調整基金及び市債管理基金の管理を行い、将来の財源不足に備えるため積み立てを行った。
また、運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。

【年度末基金残高の推移】

1　財政調整基金（現金分）　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
取り崩し額	0	627,310,000	189,900,000	27,039,000	908,741
積み立て額	100,000	100,000	601,100,000	125,000,000	100,000
利子及び配当金	5,092,974	1,672,469	2,898,042	1,190,707	1,204,926
債券から現金に切り替え	200,000,000	10,000,000	0	0	0
現金から債券に切り替え	0	100,000,000	100,000,000	0	100,000,000
年度末残高	2,846,195,979	2,130,658,448	2,444,756,490	2,543,908,197	2,444,304,382

※　オリンピック・パラリンピック関連事業のため、908,741 円取り崩した。

2　市債管理基金　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
取り崩し額	73,760,000	12,514,000	381,004,000	38,346,000	100,000,000
積み立て額	0	0	0	0	0
利　　子	925,667	742,434	535,625	344,151	849,918
年度末残高	893,704,660	881,933,094	501,464,719	463,462,870	364,312,788

※　市債元金償還の財源として 100,000,000 円取り崩した。

事 業 名		総合教育会議運営事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	1211-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	28,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	28,000 円
目	07	企画費		決 算 額	7,330 円
事業の目的	地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を適切に運営する。		事業の概要	市長と教育委員会により構成する、総合教育会議を開催し、以下の事項を協議・調整する。 ①加須市人づくりプランの進行管理 ②教育の条件整備など重点的に講ずべき施策 ③児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置	

事業の実績・成果

○設置の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成 27 年 4 月 1 日から、全ての地方公共団体に市長と教育委員会で構成される「総合教育会議」の設置が義務付けられた。

本会議は、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とし、令和 2 年度は以下のとおり会議を開催した。

○開催回数　2 回（8 月 19 日、2 月 4 日）

○構 成 員　市長、教育長及び教育委員

○令和2年度の協議事項

・公立学校適正規模・適正配置についての意見交換
・第 2 次加須市人づくりプラン（案）について

事 業 名		公共交通バリアフリー化事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	2133-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	46,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	46,000 円
目	07	企画費		決 算 額	0 円
事業の目的	年齢や障害の有無に関わらず、誰もが公共交通を利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、公共交通のバリアフリー化を促進する。		事業の概要	公共交通事業者に対し、駅舎等バリアフリー化を要望するとともに、バリアフリー化の改修を支援し、公共交通のバリアフリー化を図る。	

事業の実績・成果

公共交通事業者に対し、駅舎等のバリアフリー化の要望活動を行った。

○東武日光線柳生駅のバリアフリー化（エレベーター、多機能トイレの設置）に 関する要望活動

・令和 2 年 4 月 13 日に予定していた東武鉄道株式会社に対しての加須市単独の要望活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和 2 年 11 月　県交通政策課取りまとめ）

事 業 名		企業版ふるさと納税促進事業			（総合戦略）
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード		2232-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額		0 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額		2,045,000 円
目	07	企画費	決 算 額		2,014,800 円
事業の目的	加須市を本拠地として活動する「埼玉西武ライオンズ・レディース」の運営法人である「一般社団法人埼玉レディースベースボール」と相互に連携協力しながら、女子野球の普及・発展とともに、女子野球を基軸としたスポーツによる地域活性化の推進を図る。		事業の概要		・女子野球を基軸とした地域おこしの仕組みづくり ・加須市をあげて埼玉西武ライオンズ・レディースを応援する気運醸成の仕掛けづくり ・企業版ふるさと納税を活用した女子野球の振興策の実施

事業の実績・成果

「埼玉西武ライオンズ・レディース」の運営法人である「一般社団法人埼玉レディースベースボール」との連携協定に基づき、女子野球を基軸としたスポーツによる地域活性化の推進を図るため、令和 3 年度から企業版ふるさと納税制度を活用するための地域再生計画等を策定した。

○加須市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）
・計画期間：令和 3 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで
・令和 3 年 3 月 31 日に内閣府から認定を受けた。

【制度活用の流れ】

事 業 名		新市街地開発調整事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	3211-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	94,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	78,527 円
目	07	企画費	決 算 額	7,400 円
事業の目的	計画的に適正な土地利用を推進するため、地域の特性を活かした秩序ある整備と発展を図る。		事業の概要	「土地利用に係る庁内連絡会議」を開催し、関係課と情報や課題を共有し、土地利用の計画的な推進に向けて調整・連携を図る。また、県をはじめとする関係機関との協議を進める。

事業の実績・成果

土地利用に係る庁内連絡会議を開催し、総合振興計画の土地利用の方針の見直しを図り、第2次加須市総合振興計画の土地利用の方針を策定した。

○土地利用に係る庁内連絡会議の開催回数4回

事業名	居住ＵＩＪターン促進事業			（総合戦略）
担当課	まちづくり課		総合振興計画コード	3213-06
款	02	総務費	当初予算額	1,134,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,134,000円
目	07	企画費	決算額	848,780円
事業の目的	「水と緑と文化の調和した元気都市・かぞ」の実現を目指し、居住ＵＩＪターンに取り組み、市外からの移住や市内に住む親族との同居・近居を促進・支援して定住人口を確保する。 また、親族との同居・近居は、親族間での生活支援等（子育て・介護・経済）が可能となることから、相互の安心・安全な生活の確保と本市の活性化を実現する。	事業の概要	市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする者を定住コンシェルジュがサポートし、住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除、引越費用の一部助成、加須産米の贈呈を行い移住・定住を促進する。	

事業の実績・成果

１ 定住コンシェルジュを配置し市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする者に対して、適切なアドバイスを行った。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受付件数（件）	228	123	122	132	134

２ 住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除を行った。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象件数（件）	63	54	56	43	41
手数料免除金額（円）	884,240	788,920	839,000	657,700	623,040

３ 市内に自己用住宅を取得して転入する中学生以下の子と同居する親子に引越し費用の一部助成を行った。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
助成件数（件）	32	58	63	46	47
助成金額（円）	274,000	514,000	546,000	445,000	566,000

４ 市内に転入する中学生以下の子と同居する親子に、中学生以下の子１人につき２ｋｇの加須産米引換券の贈呈を行った。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
贈呈件数（世帯）	319	298	306	315	296
贈呈量（kg）	912	850	906	940	870
引換量（kg）	382	714	620	572	542
決算（円）	151,200	283,780	258,400	241,080	248,240

事 業 名		公共交通輸送力増強等促進事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	3225-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	9,089,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	13,739,000 円
目	07	企画費	決 算 額	13,666,939 円

事業の目的	市民が安全、便利、快適に移動できるよう、公共交通の維持・充実を図るため、公共交通の輸送力増強等を促進する。	事業の概要	東武伊勢崎線・日光線輸送力増強等、久喜駅での伊勢崎線と東北本線との相互直通運転、地下鉄7 号線延伸、東北新幹線久喜駅設置など、公共交通の輸送力増強等に関する要望活動及び交通施策の調査・研究を行う。 また、路線バス・タクシー等の維持・存続に向けて事業者等との協議を進める。 路線バス川口東鷲宮線を豊野コミュニティセンターまで延伸し、新たな需要の創出を図る。

事業の実績・成果

交通政策関連協議会等に参画し、要望活動を実施した。また、民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）について、新たな需要創出を図るための事業者の取組に対し、埼玉県との協調により補助金を交付し、路線の維持・充実を図った。

○久喜駅での東武伊勢崎線と東北本線の相互直通運転化に関する要望活動
・令和2年4月13日に予定していた東武鉄道株式会社に対しての加須市単独の要望活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和2年11月　県交通政策課取りまとめ）

○東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会での要望活動
・令和2年10月6日　東武鉄道株式会社に対して「東武伊勢崎線輸送力改善に関する陳情書」を書面にて提出した。

○地下鉄7号線建設誘致期成同盟会での要望活動
・令和2年11月9日　国土交通大臣をはじめとする政務三役及び関係する国会議員に対して「高速鉄道東京7号線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を書面にて提出した。
・令和2年11月20日　埼玉県知事及び埼玉県議会議長並びに関係する県議会議員に対して「高速鉄道東京7号線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を書面にて提出した。

○東北新幹線久喜駅設置促進期成同盟会での要望活動
・令和2年12月7日　東日本旅客鉄道株式会社大宮支社及び埼玉県に対して「東北新幹線久喜駅設置に関する陳情書」を書面にて提出した。

○民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）への補助及び要望活動
・朝日自動車株式会社が運行する路線バス「東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線」について、運行費用の一部について、県・加須市・久喜市の協調による補助を実施し、利用者の増加を図った。
・令和3年3月19日　朝日自動車株式会社に対し「路線バス 東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線の維持と利便性向上に関する要望書」を提出し、東武伊勢崎線鷲宮駅東口への乗入れを要望した。要望に基づき、令和3年7月1日から東武伊勢崎線鷲宮駅東口への乗入れを開始する予定

（年間延べ利用者数）　（単位：人）

令和元年度	令和2年度	増減数
213,820	205,198	▲8,622

○　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ.事業者支援】を実施した（別冊P.7参照）。

事 業 名		栗橋駅橋上駅舎起債償還事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	3225-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	8,154,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	8,169,473 円
目	07	企画費	決 算 額	8,169,473 円
事業の目的	公共交通の維持・充実を図るため、平成 12 年の栗橋駅西口開設に伴い、自由通路、西口駅前広場を整備した際に締結した協定書に基づき、旧栗橋町が起債した公債費の精算を行う。		事業の概要	栗橋駅の自由通路、駅前広場の整備に伴い、旧栗橋町が起債した公債費のうち、旧大利根町が負担すべき償還金に相当する額（50%）を久喜市に負担金として支払う。

事業の実績・成果

栗橋駅西口の開設に伴う自由通路及び西口駅前広場整備に係る負担金を協定書に基づき久喜市に支払った。

○負担金支払い期間　　平成 12 年度から令和 3 年度までの 22 年間

○直近 5 年間の負担金支払い状況　　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
負担金支出額	20,182,881	20,182,881	20,182,881	20,182,881	8,169,473

事業名	コミュニティバス運行事業			（総合戦略）
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	3225-03
款	02	総務費	当初予算額	86,500,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	87,997,000円
目	07	企画費	決算額	82,947,501円
事業の目的	高齢者等、交通弱者の病院・公共施設等への移動手段を確保し、公共交通の維持・充実を図るため、コミュニティバスを運行する。	事業の概要	市民等との協働により策定した「地域公共交通総合連携計画」に基づき、市全域（栗橋駅西口を含む）を運行エリアとして、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの3つの運行方式によるコミュニティバスを運行するとともに、より市民に利用しやすいコミュニティバスとなるよう随時運行改善を実施する。	

事業の実績・成果

病院・公共施設等への移動手段の確保や、公共交通不便地域の解消を図るため、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの3つの運行方式でコミュニティバス「かぞ絆号」を運行した。

○コミュニティバス「かぞ絆号」の1日平均利用者数　（単位：人）

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
デマンド型乗合タクシー	北エリア	8.5	7.8	6.4
	中エリア	64.3	61.8	47.1
	南エリア	43.4	42.3	31.3
	小計	116.2	111.9	84.7
シャトルバス	新古河駅西口発	9.6	8.7	6.3
	プラザきさい発	7.8	7.9	4.9
	小計	17.5	16.6	11.2
循環バス	西循環	17.2	16.8	10.1
	東循環	56.2	55.9	44.2
	小計	73.3	72.7	54.3
合計		207.0	201.2	150.2

端数処理の都合により合計が一致しない箇所がある。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅲ.事業者支援】を実施した（別冊P.7参照）。

事 業 名	マイナンバー活用事業			（総合戦略）
担 当 課	業務改善課		総合振興計画コード	3233-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	6,711,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	9,847,000 円
目	07	企画費	決 算 額	7,172,608 円
事業の目的	市民の利便性の向上と行政の効率化を図るため、マイナンバー制度を活用する。	事業の概要	申請時等の事務手続きの簡素化のため、申請時等の添付書類の削減を図るとともに、マイナンバーカードの機能拡充のため、カードの空き領域等を使用した情報の搭載を検討する。	

事業の実績・成果

1　マイナンバーカードの機能拡充の推進

【マイナンバーカードの活用が可能な行政サービス】

・平成29年3月住民票の写し、印鑑登録証明書等のコンビニ交付を開始
・平成29年11月マイナポータルに係る子育てワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始
・令和元年11月マイナポータルに係る介護ワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始
・令和2年3月図書館の貸出カードへ公的個人認証（JPKI）シリアル方式を導入

2　特定個人情報保護評価書の見直し

公表している評価書（重点項目評価2事務・基礎項目評価17事務）の記載事項を実態に照らして、必要な修正を行った。

3　マイナポイント事業の推進

マイナンバーカードを活用した消費活性化策である国のマイナポイント事業について、令和2年9月の事業開始に合わせ、本庁舎及び各総合支所に支援窓口を設置し、マイナンバーカード取得者に対して、マイナポイントの予約（マイキーＩＤ設定）・申込みに関するサポートを行った。

また、ホームページをはじめとする各種の広報媒体を通じ、市民に対して事業内容の説明・周知を行った。

【令和２年度の工程】

（単位：枚）

	累　計
マイナポイントの予約・申込サポート数（令和３年３月 31 日現在）	4,693
（参考）加須市のマイナンバーカード交付枚数（令和３年３月 31 日現在）	26,601

※　マイナポイント事業期間は、令和３年３月末までから９月末までに延長された。
※　マイナポイントの対象となるマイナンバーカードの申請期限は、令和３年３月末までから４月末までに延長された。

事 業 名		渡良瀬遊水地活用推進事業			（総合戦略）
担 当 課		環境政策課		総合振興計画コード	4212-06
款	02	総務費		当 初 予 算 額	4,202,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	4,202,000 円
目	07	企画費		決 算 額	78,776 円
事業の目的	地域の振興と活性化を図るため、ラムサール条約湿地として登録された渡良瀬遊水地のワイズユース（賢明な利用）を推進する。		事業の概要	渡良瀬遊水地利活用推進計画を推進し、環境を保全しながら観光拠点としての活用を図る。	

事業の実績・成果

1　渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会の開催

渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会を開催し、渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理（道の駅かぞわたらせ）の経過報告及び渡良瀬遊水地利活用推進計画の進行管理について書面による協議を行った。

・委員数　16 人

【第１回】　開催日（書面協議）　令和２年５月 11 日（月）

内　容　加須市渡良瀬遊水地庁内推進委員会設置要綱、渡良瀬遊水地中核施設等一体的指定管理（道の駅かぞわたらせ）経過報告及び事業の進捗状況について

2　渡良瀬遊水地利活用推進委員会（外部委員会）の開催

渡良瀬遊水地利活用推進委員会を開催し、加須市渡良瀬遊水地利活用推進委員会設置要綱、渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理（指定管理）の経過及び渡良瀬遊水地利活用推進計画の進行管理について書面による協議を行った。

・委員数　14 人

【第１回】　開催日（書面決議）　令和２年７月８日（水）

内　容　加須市渡良瀬遊水地利活用推進委員会設置要綱、渡良瀬遊水地中核施設等一体的管理（指定管理）の経過、及び事業の進捗状況について

3　渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座の開催

渡良瀬遊水地を案内するガイドを養成するため、栃木市、板倉町との共催で渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座（中級年間 10 回）を開催した。

4　渡良瀬遊水地ロゴマークの活用

渡良瀬遊水地の価値や魅力を高め、親しみを深めてもらうために、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会で作成した、渡良瀬遊水地ロゴマークをイベントの周知等で活用した。

渡良瀬遊水地ロゴマーク

5　「渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会」　負担金　16,000 円

連絡会会員（栃木市、小山市、野木町、加須市、古河市、板倉町）及び事務局である（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と調整を行ったが、3 月 13 日（順延日 3 月 14 日、3 月 21 日）がいずれも荒天のためにヨシ焼きは中止となった。

6　第８回渡良瀬遊水地まつり in　KAZO

令和２年 10 月４日（日）　午前 10 時～午後３時

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

<table>
<tr><td colspan="2">事 業 名</td><td colspan="3">特別定額給付金事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担 当 課</td><td colspan="2">産業振興課</td><td>総合振興計画コード</td><td>5222-04</td></tr>
<tr><td>款</td><td>02</td><td colspan="2">総務費</td><td>当 初 予 算 額</td><td>0 円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>01</td><td colspan="2">総務管理費</td><td>最 終 予 算 額</td><td>11,400,584,000 円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>07</td><td colspan="2">企画費</td><td>決 算 額</td><td>11,334,201,895 円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」の趣旨を踏まえ、感染拡大防止に留意しつつ、簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行う。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">基準日：令和2年4月27日
給付額：給付対象者1人につき10万円
給付対象者：基準日において住民基本台帳に記録されている者
受給権者：住民基本台帳に記録されている者の属する世帯の世帯主
申請方法：
①申請書類の郵送
②マイナンバーカードを活用したオンライン申請</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">1　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ.　生活支援】を実施した（別冊P.8参照）。</td></tr>
</table>

事業名	協働推進事業			（総合戦略）
担当課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6131-01
款	02	総務費	当初予算額	163,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	163,000円
目	07	企画費	決算額	35,122円
事業の目的	将来にわたり自助・共助の精神が根づいた自立したまちをつくるため、市民、団体、企業や行政など相互の協働を推進する。		事業の概要	加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく各取組 ・次世代のまちづくりリーダーを発掘・育成する協働実践塾を立上げる。 ・必要に応じ、まちづくり市民会議の運営を支援する。 ・庁内の連携を図り市民等との協働を進めるため、庁内推進体制の確立を図る。 ・各課事務事業の協働の推進に係る啓発を行う。

事業の実績・成果

○加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく庁内の協働体制づくりの推進
・各課に協働によるまちづくり推進員を配置した。

○協働によるまちづくりの周知
・広報紙に協働NEWSとして、その時々の協働事業に関連する話題を隔月掲載することで、市民に対する啓発を行った。

○まちづくり市民会議の開催（中止）
・主体的にアクションを起こせる市民会議とするため、現状について一から見直し、内容や開催方法について検討し、7月からの実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和２年度は開催できなかった。

事業名	協働推進事業【繰越明許】			（総合戦略）
担当課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6131-01
款	02	総務費	当初予算額	50,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	50,000円
目	07	企画費	決算額	0円
事業の目的	将来にわたり自助・共助の精神が根づいた自立したまちをつくるため、市民、団体、企業や行政など相互の協働を推進する。		事業の概要	加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく各取組 ・次世代のまちづくりリーダーを発掘・育成する協働実践塾を立上げる。 ・必要に応じ、まちづくり市民会議の運営を支援する。 ・庁内の連携を図り市民等との協働を進めるため、庁内推進体制の確立を図る。 ・各課事務事業の協働の推進に係る啓発を行う。

事業の実績・成果

「地域のミライ創造フォーラム」講師謝金（繰越明許額　50,000円）
　令和２年度に延期となったため繰り越したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を実施できなかったため、未執行となった。

事 業 名		地域市民活動促進事業			（総合戦略）
担 当 課		市民協働推進課		総合振興計画コード	6131-04
款	02	総務費		当 初 予 算 額	5,805,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	5,805,000 円
目	07	企画費		決 算 額	4,473,742 円
事業の目的	協働によるまちづくりを推進するために、市民の自主的・主体的な活動を支援する。		事業の概要	・市民の自主的、主体的な地域市民活動への参加を促進し、協働によるまちづくりを推進する。 ・「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。 ・地域市民活動支援補助金を活用し、団体の育成及び自立支援を行う。	

事業の実績・成果

各地域で自主的に活動している市民活動団体に対し、人材育成や団体の成長に合わせた助成、情報の提供等を支援することにより、各種市民活動団体の自立促進を図った。

■地域市民活動支援補助金　440,000 円

≪はじめよう部門≫　（単位：円）

団 体 名	補助金額	概 要
こども食堂応援隊（加須）	240,000	〈子育て支援〉 フードパントリーを開催し、地域の子どもたちに食品を提供することで、子どもたちの健全育成に寄与するとともに、親たちの悩み相談や情報交換の場を提供することで、負担軽減等に寄与した。

≪そだてよう部門≫　（単位：円）

団 体 名	補助金額	概 要
一般社団法人すくすく広場（加須）	150,000	〈子育て支援〉 こども食堂、あそび場、学びの場を提供し、食事や学習の支援を行うことで、地域の子どもたちに居場所を与え、子どもたちの健全な育成に寄与した。
みんなのちからいいね倶楽部（加須）	45,000	〈介護者支援〉 ストレス緩和や社会参加、仲間づくりを目的として、ものづくりを取り入れたコミュニケーションの場を提供することで、介護者の負担軽減に寄与した。
加須市自然環境を考える会（加須）	5,000	〈自然環境保護〉 地球環境に配慮した活動を啓発するための機関紙の発行や清掃活動などを通じて、地域の生活環境の向上に寄与した。

■まちづくり連携組織補助金　3,792,070円

（単位：円）

団　体　名	補助金額	概　要
まちづくりネットワーク・かぞ	3,792,070	・まちづくり活動支援事業（総会、モデル事業支援、まちづくりフォーラム開催等） ・情報受発信及びスキルアップ事業（まちネット通信発行、まちづくり学習会、まちづくり視察研修（環境科学国際センター）開催等） ・市民活動ステーションの管理運営（市民活動団体支援、情報交換・交流事業等）

■市民活動ステーション管理運営費（消耗品費、電話料）　230,060円

■「市民活動フェア」　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため登録団体による活動紹介動画の配信形式で実施（令和3年3月1日から31日まで）

事 業 名		地域市民活動促進事業【繰越明許】			（総合戦略）
担 当 課		市民協働推進課		総合振興計画コード	6131-04
款	02	総務費		当　初　予　算　額	24,000円
項	01	総務管理費		最　終　予　算　額	24,000円
目	07	企画費		決　　算　　額	0円
事業の目的	協働によるまちづくりを推進するために、市民の自主的・主体的な活動を支援する。		事業の概要	・市民の自主的、主体的な地域市民活動への参加を促進し、協働によるまちづくりを推進する。 ・「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。 ・地域市民活動支援補助金を活用し、団体の育成及び自立支援を行う。	

事業の実績・成果

第7回市民活動フェア会場借上料（繰越明許額　24,000円）

令和2年度に延期となったため繰り越したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかったため、未執行となった。

事 業 名		夢・未来応援事業		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	6131-14
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,043,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,043,000 円
目	07	企画費	決 算 額	278,868 円
事業の目的	加須市の未来を担う若者たちの夢を叶えるための挑戦を市民とともに応援することにより、市全体の活気を盛り上げ、もって元気都市かぞの実現を目指す。		事業の概要	夢を叶えるために応募してきた若者たち（市内の中学生～20 歳以下）の挑戦を、一定条件の中で審査し、対象者に夢チャレンジ応援助成金（上限 20 万円）の支給や応援者との接点を作るなど、全市を挙げて応援する。3 年以内に最終成果報告を広報紙や HP に掲載する。

事業の実績・成果

○事業周知（7 月）
・広報紙による周知や校長会において各中学校への PR を行うほか、市内各中学校へ PR チラシを配布
・市内及び近隣の高等学校、公共施設などにポスターを掲示

○挑戦者募集期間（8 月 2 日～9 月 30 日）
・市 HP、公式ツイッター、フェイスブックにて募集開始を周知した。

○一次審査：担当及び関係部課長等による書類審査（10 月 21 日）
・応募者：8 人
・一次審査通過者：8 人

○二次審査：公開プレゼンテーション
・日　時：12 月 5 日（土）14 時 00 分～
・場　所：市民プラザかぞ 多目的ホール
例年視聴覚ホールで開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多目的ホールに会場を拡大した。（新型コロナウイルス感染症対応経費　4,500 円）
・審査員：副市長、教育長
加須市観光大使 3 人（大谷貴子さん、小山季絵さん、武正八重子さん）
会場に来場した会場審査員 25 人
・採用決定者：8 人

○夢・未来応援事業チャレンジャーとして 8 名への支援を決定
①プロクライミング選手になりたい
・挑戦者：山中琴美さん（騎西中学校）
・理　由：母や期待してくれている人たちの気持ちに応えたいから
・今頑張っていること：週に 6 回の練習と、最近始めたマンツーマンレッスンに力を入れている
・これからチャレンジしたいこと：練習しているジムにいる憧れの人のレッスンを受けたい。自分の苦手なことを得意に変えていきたい

②加須市で書道の個展を開きたい
・挑戦者：飯田真優子さん（文教大学）
・理　由：自分の書いた作品をより多くの人に見てもらい、元気や楽しさを提供したいから
・今頑張っていること：書道を軸にした作品作り。SNS に書道作品を投稿している
・これからチャレンジしたいこと：老若男女の方々に楽しさと勇気を与えられるような書を考え、加須市内の施設で自分の個展を開きたい

③プロテニス選手になりたい
・挑戦者：田畑遼さん（加須西中学校）

・理　由：テニスが大好きで、大会で優勝すると嬉しいから。応援してくれる人に活躍して恩返しがしたいから
・今頑張っていること：毎日の練習や食事、睡眠時間を意識して取り組んでいる
・これからチャレンジしたいこと：海外ジュニア国際テニス大会やジュニアグランドスラムに出場し、加須市を盛り上げたい

④海外で働くメイクアップアーティストになりたい
・挑戦者：新堀舞奈さん（加須西中学校）
・理　由：メイクが好きで、たくさんの人を楽しくかわいくしたい
・今頑張っていること：海外を含む子どもと接するボランティア活動に積極的に参加している
・これからチャレンジしたいこと：プロのメイク技術を体験したり見たり、教えてもらいたい。コスメ検定を取得したい

⑤世界中の貧しい子どもたちを支え夢を与える人になりたい
・挑戦者：栗原菜穂子さん（信州大学）
・理　由：貧困の子どもの労働以外の時間をつくり、将来の幅を広げる支援をしたい
・今頑張っていること：国内外の子どもと接するボランティア活動に積極的に参加している
・これからチャレンジしたいこと：実際に発展途上国を訪れ子どもに触れ合い、自分にできる支援を具体化したい

⑥プロ野球選手になりたい
・挑戦者：内海伶音さん（昭和中学校）
・理　由：加須市で3人目のプロ野球選手になりたい
・今頑張っていること：日々の持久走や筋トレ、シャドーピッチングを頑張っている
・これからチャレンジしたいこと：甲子園球場で全力投球したい。プロ選手にアドバイスをもらいたい

⑦ゾウリムシを用いたろ過装置を作りたい
・挑戦者：橋本梨聖さん（開智未来高校）
・理　由：高校の活動でゾウリムシについて研究し、ろ過装置を作成したが完成に至らなかったから
・今頑張っていること：ゾウリムシの生態やろ過装置について知識を深めている
・これからチャレンジしたいこと：作成したろ過装置が細菌を減らす効果があるのか明確にしたい。完成したろ過装置を世界に広めることができるか考えたい

⑧プロダンサーになりたい
・挑戦者：金井彩香さん（オレンジコーストカレッジ）
・理　由：ダンスが好きで、それを活かした職業に就きたいから
・今頑張っていること：世界で活躍できるように、様々なダンスと英語をアメリカの大学で学んでいる
・これからチャレンジしたいこと：アメリカのスタジオでダンサーから技術を取得したい。ダンサーのオーディションに積極的に参加したい

○応援支援金の支給　251,450円
・音　楽　家：演奏技術向上のため、個人レッスンを受けるための費用等
・クライマー：技術向上のための練習場所に係る費用等
・書　道　家：資格取得に必要な技術を取得するための講座受講費等

○「夢の応援者（サポーター）」からの支援（令和2年度実績1件）
・レーシングドライバー：大会参加費用等の金銭的支援

事 業 名		家族・地域の絆推進運動事業		（総合戦略）
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	6133-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	207,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	207,000 円
目	07	企画費	決 算 額	68,967 円

事業の目的	市民一人ひとりが家族や地域のつながりを深め、市民相互の信頼関係やコミュニティ意識を高めることにより、地域力の向上を図るとともに、「協働」のまちづくりをさらに深化させる。	事業の概要	絆運動の６つの柱（夢・安心・安全・快適・活力・いきいき）のそれぞれの視点から運動の推進を図る。 ・基本運動 あいさつ運動、えがお運動、おもいやり運動の励行 ・基本行動 市に関わりのあるすべての団体が、「絆」マーク、文言、冠を活用し、運動の展開に努める。

事業の実績・成果

○ 家族・地域の絆推進運動推進本部（中止）

本部員 54 名、参与 3 名、顧問 5 名、合計 62 名の体制で、家族・地域の絆推進運動推進本部会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となったため、実際の事業を実施する推進部会（本部員 19 名）を開催し、年間事業を計画及び実施することにより、絆運動の推進を図った。

○ 絆ポスターの募集

家族・地域の絆推進運動の啓発及び PR に活用して運動の一層の推進を図るため、市内の高校の美術部に絆ポスターを募集し、提出いただいた 15 作品を各公共施設、花崎駅及び商業施設に掲示した。また、作品を活用した啓発用のマスクを作成し、団体の会議等で配布した。

○アンケート調査

・本運動がどの程度浸透しているか、アンケート調査を行った。
・調査対象者は、公共施設利用者、市主催イベント参加者及び市内公立小中学生。
・市内公立小中学生については、小学 2・5 年生及び中学 2 年生へ行った。

【対象】市内公立小学校 22 校児童　1,713 名、中学校 8 校生徒　843 名、一般　454 名
【設問】「あなたは、絆マークを見たことがありますか？」について、「ある」と回答した割合

（単位：%）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
97.8	98.00	96.6	96.3	94.5

事 業 名		広域行政推進事業			（総合戦略）
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	6143-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	60,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	60,000 円
目	07	企画費		決 算 額	44,081 円
事業の目的	広域行政を推進するため、時代のニーズに応じた広域行政の可能性や効果について検討し、推進する。		事業の概要	関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会に参画し、公共施設の相互利用等を推進する。 また、三県境の利用促進や新橋建設促進に向けた自治体間連携など、新たな広域的な取組を推進する。	

事業の実績・成果

広域的な取組に参画し、公共施設の相互利用等、広域行政の推進を図った。

○北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会
・公共施設の相互利用：構成市（加須市、行田市、羽生市）の体育施設、図書館等
・広報紙への共同掲載：各市で開催されるイベント情報の提供

○関東どまんなかサミット会議
・令和３年２月２日　関東どまんなかサミット会議を開催（Zoom Meeting によるオンライン開催）
・公共施設の相互利用：構成市町（加須市、茨城県古河市、栃木県栃木市、小山市、野木町、群馬県板倉町）の体育施設、図書館等
・広報紙への共同掲載：各市町で開催されるイベント情報の提供

○久喜市
・公共施設の相互利用：加須市・久喜市の体育施設、図書館等

○三県境の利用促進に係る取組
埼玉県加須市、栃木県栃木市、群馬県板倉町が平成 29 年５月 19 日付けで締結した「三県境整備等に関する覚書」に基づき、２市１町が共同し、三県境のＰＲ及び観光資源としての推進を図るためのイベント等を開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施なし。

事業名	総合振興計画策定事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	6311-01
款	02	総務費	当初予算額	12,588,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	11,661,967円
目	07	企画費	決算額	9,825,507円
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ」を実現するため、総合振興計画（基本構想、基本計画）を策定する。	事業の概要	市民と行政の協働により、総合振興計画（基本構想、基本計画）を策定する。	

事業の実績・成果

市民と行政との協働による計画づくりを進めるために、市民意識調査や20名で構成される「加須市総合振興計画審議会及び加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」を設置し、諮問の上、意見を伺い、基本構想及び前期基本計画（第2次加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む）から構成される第2次加須市総合振興計画（計画期間：令和3年度～令和12年度）を令和3年2月に策定した。

◎将来都市像：「絆でつくる　緑あふれる　安心安全・元気な田園都市　加須」
◎特徴：
（1）「第2次加須市総合振興計画」は、基本計画に「第2次加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含した一体的な計画として策定
（2）「ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）」の17の国際目標と「第2次加須市総合振興計画」の施策の関連性を明確に位置付けた。

1　加須市総合振興計画審議会及び加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議開催状況等、議決までの経過
○委員構成（市内の公共的団体等の代表者・知識経験を有する者）
・第1回会議：令和2年10月23日・・・【諮問】
・第2回会議：令和2年11月6日
・第3回会議：令和2年12月1日
・【答申】：令和2年12月3日
○パブリックコメントの実施：令和2年11月12日～11月19日
○第2次加須市総合振興計画基本構想案を市議会に提出：令和2年12月4日
○第2次加須市総合振興計画基本構想特別委員会における審議：令和3年1月18日～2月3日
○加須市議会において第2次加須市総合振興計画基本構想を議決：令和3年2月16日

2　総合振興計画策定支援
・委託期間：令和2年4月1日から令和3年3月24日まで
・委託料：9,582,507円
・業務内容：課題の整理と現状分析、会議運営支援、計画案（基本構想及び前期基本計画）に関する支援、計画書の印刷

【計画策定に当たり、参考とするために実施したこと(令和元年度中に実施)】
3 市政についての話し合いの開催（令和元年度実施）
・テーマ：「元気と活力ある加須市づくりを目指して」
・場　所：市内19地区
・期　間：令和元年9月1日～12月22日
・参加数：1,009人

4　まちづくりアンケート調査の実施

〇市民の意見を反映させるための基礎資料とするために実施

・調査対象：市内居住の 18 歳以上の男女

・対象者数：5,000 人

・抽出方法：住民基本台帳（令和元年 11 月 13 日現在）から無作為抽出

・調査期間：令和２年１月９日から１月 24 日まで

・調査項目：加須市の住みごこちについて、まちづくりの施策について、合併による効果について、回答者の属性について、自由意見

・回収結果：1,899 票　38.0％

5　若者の進学・就職などの希望に関する調査

〇10 年後のまちづくりを担う若い世代が暮らしやすい、魅力あるまちづくりを考えるための基礎資料とするために実施

・調査対象：加須市所在の高等学校（県立不動岡高等学校・花咲徳栄高等学校・開智未来高等学校）の２年生のうち、市内在住の生徒、平成国際大学の３年生

・調査項目：回答者の属性について、進学・就職について、居住地について、市に対するイメージについて、結婚・子どもについて、自由記入意見

・調査時期：令和２年１月

事業名		総合振興計画進行管理事業			
担当課		政策調整課		総合振興計画コード	6311-02
款	02	総務費		当初予算額	141,000 円
項	01	総務管理費		最終予算額	141,000 円
目	07	企画費		決算額	0 円
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、第１次総合振興計画の本市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市かぞ」を実現するため、総合振興計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む。）の進捗を管理する。		事業の概要	各施策の実現に向けた具体的な事業を実施計画として策定するとともに、各事業の進捗状況を把握し、助言・指導等を行う。 また、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けた各事業の進行管理を行う。	

事業の実績・成果

第２次加須市総合振興計画（計画期間：令和３年度～令和 12 年度）の策定に向け、「加須市総合振興計画及び加須市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議」において、第１次加須市総合振興計画の６つの基本目標ごとに、総合評価及び総括評価を実施し、第２次加須市総合振興計画の策定につなげた。

（＊総合振興計画策定事業に含めて実施）

事 業 名		行政経営プラン策定事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	6311-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	113,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	113,000 円
目	07	企画費	決 算 額	85,980 円
事業の目的	「真に自立した自治体経営」を実現するため、「加須市行政経営プラン」を策定する。	事業の概要	現「加須市行政経営プラン」を総合的に評価し見直すため、加須市行政経営本部会議において協議を行うとともに、加須市行政経営懇話会に報告し、様々な視点から意見及び助言等を受ける。	

事業の実績・成果

1　行政経営プランの策定

第２次行政経営プランの計画期間が令和２年度で終了となることから、本市を取り巻く状況や課題などを踏まえ、第２次行政経営プランを継承しつつ、これまでの取組内容の見直しを行うとともに、ＩＣＴなどのデジタル技術を活用した新しい自治体経営の手法を取り入れるなど、行財政改革の取組をより一層推進するため、市民と行政との協働と市役所内部の改革や改善の具体的内容を掲げた「第３次加須市行政経営プラン」を策定した。

なお、策定に当たっては、加須市行政経営本部会議を計２回開催し、協議を行うとともに、加須市行政経営懇話会を計２回開催、意見及び助言等をいただきながら第３次行政経営プランを策定した。

2　基本理念

加須市総合振興計画における将来都市像の実現に向け、これからの 10 年先の未来を見据え、あらゆる分野の地域課題などの解決・改善や、高度化・多様化する市民ニーズに対応していくためには、市民と行政が互いに協働関係を築き、ＩＣＴなどのデジタル技術を活用した効率的で利便性の高い自治体経営を推進する必要があるため、第３次加須市行政経営プランの基本理念は、「市民との協働による未来につながる自治体経営」とした。

3　体系

基本理念に基づき、最少の経費で最大の効果を上げる行政運営を行うため、２つの「視点」からのアプローチにより、５つの「基本目標」を定めて実行するものとした。そして、さらに実効性のある取組とするため、これらの下に”17 の「施策」”－”52 の「取組項目群」”－”134 の「取組項目」”を定めた。

基本理念　市民との協働による未来につながる自治体経営				
視点	基本目標	施策数	取組項目群数	取組項目数
1 「協働力」の向上	(1) シティプロモーションの推進	2	3	8
	(2) 広聴の推進	2	3	5
	(3) 市民と行政との協働	5	13	48
2 「市役所力」の向上	(4) 行政手続の利便性と窓口サービスの向上	3	9	20
	(5) 効果的で効率的な自治体経営	5	24	53

事 業 名		行政経営プラン進行管理事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	6311-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	57,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	57,000 円
目	07	企画費	決 算 額	43,980 円
事業の目的	「市民との協働による真に自立した自治体経営」を実現するため、「第２次加須市行政経営プラン」に定める事項を着実に実行する。		事業の概要	取組状況を定期的に把握し、進捗を的確に管理するため、加須市行政経営本部会議において協議を行うとともに、加須市行政経営懇話会に報告し、意見及び助言等を受け、様々な視点からの評価や見直しを行う。

事業の実績・成果

１　行政経営プランの取組結果

「市民との協働による真に自立した自治体経営」の実現を目指し、第２次加須市行政経営プラン（計画期間：平成 28 年度から令和２年度まで(計画期間：5 年間)に掲げる取組項目の全 117 項目について、令和元年度の取組結果を加須市行政経営本部会議及び加須市行政経営懇話会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。

令和元年度については、再掲５項目を評価対象外とした 112 項目中、88 項目（78.6%）が「達成済・概ね順調」と評価された（下表参照）。

［令和元年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）］

区　分	取組項目数	割　合
1　目標を達成	42（40）	37.5%（35.7%）
2　概ね達成	46（47）	41.1%（42.0%）
3　やや遅れている	15（17）	13.4%（15.2%）
4　大幅に遅れている	9（ 8）	8.0%（7.1%）

※（　）内：平成 30 年度取組結果（第２次加須市行政経営プランでの取組結果）

２　加須市行政経営本部会議の開催

令和２年７月に本部会議を開催し、行政経営プランの各取組の進捗状況を確認するとともに、取組を実施するに当たり、生じた課題等について議論し解決を図った。

３　加須市行政経営懇話会の開催

令和２年８月に懇話会を開催し、市民の立場と経営の視点から、行政経営プラン取組結果等について意見や提言をいただいた。

４　取組結果等の公表

令和元年度における取組結果等について、市報かぞ（12 月号 N0.129）及びホームページにて公表した。

事 業 名		政策調整管理事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	6311-07
款	02	総務費	当 初 予 算 額	737,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	737,000 円
目	07	企画費	決 算 額	725,138 円
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「水と緑と文化の調和した元気都市 かぞ」を実現するため、行政施策の総合調整等を実施する。		事業の概要	行政施策の企画、調査・研究、総合調整を行う。

事業の実績・成果

○政策会議：34 回実施(32 件)

○国・県への要望状況(市長会)

	国への要望（毎年2月頃）	県への要望（毎年7月頃）
平成28年度	○国民健康保険に係る財政基盤の充実強化について	①地域医療ネットワークシステム「とねっと」の充実・発展について ②在宅医療・介護連携推進事業に要する財政支援について ③旧騎西高等学校の跡地活用について
平成29年度	○幼児教育・保育の無償化に対する財源措置と市町村の意見聴取について	①国民健康保険に係る財政基盤の充実強化について ②地域医療体制の確保・充実について ③介護保険事業運営（第７期以降）の財源となる公費負担割合の引き上げ等について
平成30年度	○中川上流地区の国営による排水対策事業の整備促進について	①一級河川青毛堀川及び一級河川中川の早期河川整備について ②国民健康保険に係る財政基盤の充実強化について ③障害児（者）生活サポート事業の県補助の拡充について
令和元年度	○利根川及び渡良瀬川の整備促進について	①利根保健医療圏における周産期医療施設等整備の充実について ②農業振興地域整備計画の変更の要件緩和について ③一般国道125号バイパスの早期整備（４車線化）と主要県道の整備について
令和2年度	○都市計画法改正に伴う開発許可制度の見直しについて	①介護人材の確保・定着について ②利根川新橋の整備について ③農業振興地域整備計画の変更の要件緩和について

事 業 名		分権推進事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	6311-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	3,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	3,000 円
目	07	企画費	決 算 額	0 円
事業の目的	計画的な行政運営を推進するため、本市が地域の実情に即した行政を展開できるよう、地方分権を推進する。		事業の概要	県と移譲を受ける事務について調整する。

事業の実績・成果

埼玉県権限移譲方針に基づき、移譲対象事務に関し、県との調整を行った。

○移譲事務の状況 （単位：事務）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
全体の移譲対象事務数	175	176	176	175	164
本市への移譲対象事務数	112	112	112	112	110
移譲済み事務数	82	83	84	84	84
受入率（%）	73.2	74.1	75.0	75.0	76.4

事 業 名		行財政改革推進事業		
担 当 課		業務改善課	総合振興計画コード	6311-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	4,358,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	4,358,000 円
目	07	企画費	決 算 額	4,354,826 円
事業の目的	市民に質の高い行政サービスを安定的に供給していくため、持続可能な行財政基盤を構築する。		事業の概要	行財政改革を推進するため、すべての事務事業について加須やぐるまマネジメントサイクルを活用し、評価及び見直しを行うとともに、資産の有効活用などによる財源の確保、人件費や事務経費などの経費の削減、サービスと負担の適正化などを図る。

事業の実績・成果

1　有料広告の取組

民間企業等との協働により、市の新たな財源の確保や歳出削減、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図ることを目的に、有料広告の取組を実施した。

令和２年度に広告料収入又は無償提供があったものは、5 件の媒体で、収入額及び削減額の合計は、2,235 千円であった。

（1）広告料収入を得たもの

No.	名　称	収入額	備　考
1	市ＨＰバナー広告	730,000 円	・7/15 枠掲載（月額 10,000 円/1 枠）
2	循環バス車内広告	44,000 円	・4/5 枠掲載（月額 1,000 円/1 枠） ・収入の 1/2 を手数料として車両所有事業者へ支払う。(22,000 円)
3	広告付受付番号自動発券機システム	456,000 円	・本庁舎及び各総合支所に設置する行政情報・広告放映モニターで広告放映し、広告料の一部を納入
合　計		1,230,000 円	

（2）現物の無償提供を受けたものと削減効果額

No.	名　称	削減効果額	備　考
1	市民課等窓口用封筒	265,056 円	・角２窓なし封筒 14,000 枚・角６窓なし封筒 74,000 枚
2	広告付受付番号自動発券機システム	740,000 円	・受付番号自動発券機を無償提供
合　計		1,005,056 円	

2　令和２年度 若手職員及び女性職員によるプロジェクトチームの取組

・目　的 ： 若手職員や女性職員の育成及び組織の活性化

・構成員 ： 男性３名、女性３名、合計６名

・研究テーマ：「若者世代の加須市への移住・定住の推進について」

上記テーマについて、特に若い世代の流出抑制と流入拡大を図り、かつ、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により示された新しい生活様式を視野に入れながら、これからの本市を活性化し、新たな人の流れによる賑わいを創出するための提案を行い、8 本の提案が事業化された。

3　職員提案制度に基づく事務改善事例の活用

本市の市政に関する改善を行うことを奨励し、もって職員の意欲の向上及び考える職員の育成並びに組織の活性化を図ることを目的として、毎年、各課が所掌する事務又は事業で、効果的に見直した事務改善の事例を改善事例集として取りまとめた。

・改善報告数：88 件(全 56 課所室)

また、他課から報告された事務改善事例を自課の事務改善へ取り入れることにより、全庁的に改善効果を高める取組を行った。

・改善報告事例　活用済（一部活用を含む）：111 事務

4　行政手続等における押印の見直し

市民の負担軽減と利便性の向上を図るため、令和３年度４月からの押印廃止に向け、行政手続等における押印の見直しを進めた。

・押印を廃止した行政手続等の例

児童手当支給申請、保育所・幼稚園入所申請、重度心身障害者医療費請求書、要介護認定申請、国民健康保険高額療養費支給申請、体育施設等利用申請　など

・行政手続等における押印の見直し結果

		総　数（①+②）			①　市の規定に基づくもの			②　国、県等の規定に基づくもの		
			廃止	継続		廃止	継続		廃止	継続
市民向け行政手続	押印有申請書等の数	1,725	1,136	589	1,365	948	417	360	188	172
	割合（%）	100%	66%	34%	79%	69%	31%	21%	52%	48%
市役所内部手続	押印有申請書等の数	258	193	65	249	190	59%	9	3	6
	割合（%）	100%	75%	25%	97%	765	24%	3%	33%	67%
合　計	押印有申請書等の数	1,983	1,329	654	1,614	1,138	476	369	191	178
	割合（%）	100%	67%	33%	81%	71%	29%	19%	52%	48%

5　議事録作成支援システムの導入

加須市行政経営プランの取組項目である「議事録などの公表の推進」による市政の透明性の確保と速やかな議事録の公表、加えて業務の効率化による職員の負担軽減を図るため、音声認識による議事録作成支援システムを導入した。

・導入時期：令和２年７月 13 日から

・システム利用件数：68 件

・導入効果

令和２年度中の開催した審議会等における会議録等の公表実績が、下記のとおりシステム導入前の令和元年度と比較して 35.3 ポイント上昇した。

【取組項目：議事録などの公表の推進】

指標（単位）	会議終了後 20 日以内の会議の公開割合（%）	
年　度	令和元年	令和２年
目　標	75%	80%
実　績	60.9%	96.2%

・導入費用

費　　目	費用（円）
議事録作成支援システム利用料（ライセンス買取）	3,630,000
議事録作成支援システム保守	337,040
IC レコーダー、ワイヤレスアンプ等購入	295,306
合　　計	4,262,426

事業名		公共施設等総合管理計画進行管理事業		
担当課		政策調整課	総合振興計画コード	6313-02
款	02	総務費	当初予算額	62,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	62,000円
目	07	企画費	決算額	52,800円
事業の目的	市民サービスの向上と安定的な財政運営を図りながら、公共施設等の総合的な管理を推進する。		事業の概要	加須市公共施設等総合管理計画に定める基本方針に基づき、庁内検討組織（公共施設等総合管理計画推進本部及び分科会）において、今後の行政サービスのあり方と各施設のあり方を一体的に検討する。

事業の実績・成果

○「加須市公共施設等総合管理計画推進本部会議」及び「加須市公共施設等総合管理計画推進本部会議分科会」については共に未開催

○別途、北川辺地域の公共施設のあり方を検討するため、「北川辺公民館等整備構想策定懇話会」における検討等を経て「北川辺公民館等整備構想」を令和３年３月に策定した。

（＊北川辺公民館等整備構想策定事業での実施）

事業名		北川辺公民館等整備構想策定事業【繰越明許】		
担当課		地域振興課（北川辺）	総合振興計画コード	6313-10
款	02	総務費	当初予算額	2,004,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	2,004,000円
目	07	企画費	決算額	1,327,260円
事業の目的	自立した自治体運営を進めていくために、公共施設等の適正管理を行う必要がある。そのためには、限られた財源の中で、北川辺地域特有の状況を踏まえつつ、北川辺地域に現存する施設の有効活用を図りながら、適切な行政サービスを維持・充実する。		事業の概要	・検討対象施設の選定 ・地域住民等で構成する懇話会の設置、運営 ・北川辺公民館等整備構想の策定

事業の実績・成果

加須市公共施設等総合管理計画の個別施設計画である、北川辺公民館等整備構想を市民等の意見を伺いながら策定した。

１　内部検討組織である庁内検討委員会において現状分析を行い、再配置案を検討し北川辺公民館等整備構想案を作成した。

7/30　整備構想骨子案検討協議
10/29　再整備検討施設の方針の協議
12/21　整備構想案に対する意見聴取【書面会議】
R3.2/5　政策会議指摘事項反映後の構想案に対する意見聴取【書面会議】

２　庁内検討委員会で検討・作成した北川辺公民館等整備構想案について、外部検討委員会である、市民等で構成する懇話会において市民ニーズを聞きながら、反映できる意見について構想案に反映した。

懇話会５回開催（書面会議含む）
5/8（書面会議）、8/26、10/16、11/13、R3.1/14 開催し、構想案に対する意見を聴取した。

３　北川辺公民館等整備構想案について、パブリックコメントを実施し、広く市民等の意見を聴取した。
（R3.1/15 から 1/26 まで意見募集 → １名から５件の意見提出）

４　構想案について政策会議での審議を経て、北川辺公民館等整備構想を策定した。
（R3.2/19 決裁、3/17 市議会全員協議会へ報告）

事 業 名	ふるさと納税促進事業			（総合戦略）
担 当 課	政策調整課		総合振興計画コード	6315-15
款	02	総務費	当 初 予 算 額	4,368,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	9,548,329 円
目	07	企画費	決 算 額	7,527,444 円
事業の目的	計画的な財政運営を推進するため、加須市を愛し、応援しようとする個人または団体から広く寄附金を募り、歳入の確保を図るとともに、寄附者の加須市に対する思いを具現化する。	事業の概要	ホームページや広報紙等を活用し、ふるさと納税制度（ふるさとづくり寄附金）のＰＲを実施する。 また、一定額以上の寄附者に対し、返礼品を贈呈する。	

事業の実績・成果

ふるさと納税（ふるさとづくり寄附金）で加須市に貢献したい、応援したいという個人や団体から広く寄附金を募った。市ホームページに情報を掲載するとともに、ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」でのクレジット決済等による申込受付、また「かぞブランド」認定品を返礼品メニューとして追加し、加須市のＰＲを図った。

令和２年５月２２日に、返礼品の返礼率の上限を寄附額の２割（税抜）から３割（税込）に引き上げることで、返礼品を拡充し、寄附件数と寄附額が増加した。

令和２年９月１４日に、「加須市水と緑と文化のまちづくり基金条例」を一部改正し、基金を財源として実施する事業に「スポーツの振興に関する事業」を追加し、寄附の募集を開始した。

令和２年１１月１日から、事務の一部を一般社団法人埼玉レディースベースボールに委託し、事務作業の効率化を図った。

○寄附金の実績

	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
個人	344 件	6,598,652 円	419 件	17,598,844 円	1,227 件	25,826,683 円
団体	6 件	1,116,101 円	10 件	856,676 円	10 件	2,026,553 円
合計	350 件	7,714,753 円	429 件	18,455,520 円	1,237 件	27,853,236 円

○ふるさと納税に要した経費等　（単位:円）

歳入	ふるさと納税のうち個人分（A）	25,826,683
歳出	報償品費（送料含む）	5,236,451
	手数料、消耗品費、委託費	2,290,993
	合計（B）	7,527,444
費用負担割合（B/A）		29.1%

事 業 名		水と緑と文化のまちづくり基金事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	6315-17
款	02	総務費	当　初　予　算　額	3,348,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	7,342,704 円
目	07	企画費	決　　算　　額	7,342,704 円
事業の目的	加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を本市のまちづくりに要する経費の財源として基金に積み立て活用を図る。		事業の概要	加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を基金に積み立て、適正な管理及び活用を図る。

事業の実績・成果

基金運用から生じた利益（利子）及び寄附金について、基金へ積み立てた。

豊かな自然と快適な環境のまちづくりのため、交通安全施設整備（200,000 円）と、芸術文化の振興のため、斎藤与里絵画修復（1,512,500 円）のために基金を活用した。

令和２年９月１４日に、「加須市水と緑と文化のまちづくり基金条例」を一部改正し、基金を財源として実施する事業に「スポーツの振興に関する事業」を追加した。

【基金残高の推移（令和３年３月末）】　　（単位：円）

		令和２年度
前年度末残高		92,988,299
積立額		7,342,704
	（内　利子）	8,971
	（内　寄附金）	7,333,733
取崩額		1,712,500
年度末残高		98,618,503

事 業 名		公平委員会運営事業		
担 当 課		公平委員会	総合振興計画コード	6314-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	403,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	403,000 円
目	08	公平委員会費	決 算 額	246,944 円
事業の目的	地方公務員法に基づき職員の勤務条件に関する措置の要求及び不利益処分に関する審査請求の審査を行う。		事業の概要	地方公務員法に基づき、職員の給与、勤務時間等の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し必要な措置をとり、また、不利益な処分の審査請求に対する裁決をする。その他、措置要求又は審査請求に至らない軽微な苦情処理を行う。 全国公平委員会連合会、同関東支部及び埼玉県公平委員会連合会との連絡調整を行い、また同総会・研究会に出席する。

事業の実績・成果

公平委員会業務を円滑に実施したほか、研修会を開催したことにより委員及び職員の更なる知識の習得が図られた。

1　公平委員会運営状況
- 公平委員会の開催：15 回（職員の苦情相談及び処分状況等についての報告等）
- 職員の苦情相談：2 件
- 勤務条件に関する措置要求：なし
- 不利益処分に関する審査請求：なし

2　加須市公平委員会研修会
開催日：令和 2 年 12 月 22 日（火）　10 時 30 分～11 時 50 分
会　場：加須市役所 5 階　503 会議室
講　師：埼玉県企画財政部市町村課　主幹　田辺敦規　氏
「地方公務員を取り巻く現状について」
対象者：加須市公平委員会委員及び事務局職員
参加者数：7 人
新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して実施

事 業 名	自治協力団体活動促進事業			（総合戦略）
担 当 課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6131-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	131,945,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	133,945,000 円
目	09	自治振興費	決 算 額	132,009,147 円
事業の目的	市民と行政の協働によりまちづくりを進めていくため、協働のパートナーである自治協力団体（自治会・町内会・区）の運営の円滑化を図り、地域の自治を促進する。	事業の概要	・自治協力団体及び自治協力団体間の連絡調整機関である自治協力団体連合会の機能を強化する。 ・各自治協力団体の運営基盤を強化する。	

事業の実績・成果

○自治協力団体間の連絡調整機関の支援

自治協力団体（自治会・区等）間の連絡調整機関である加須市自治協力団体連合会及び各支部の運営を支援した。

1　自治協力団体連合会への助成

各自治協力団体間の連絡調整機関としての連合会へ運営費を助成することにより、円滑な運営が図られた。

［自治協力団体連合会への補助金交付状況］　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助金交付額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

2　自治協力団体代表者（会長・区長等）研修事業への助成

連合会が実施している自治協力団体代表者研修の参加費の一部を助成することとしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、全体研修及び各支部研修は中止となった。

(1)　連合会全体研修

［連合会の自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況］　（単位：人、円）

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
参加人数	交付額	136	103,904	129	112,875	136	146,880	128	109,952	0	0

(2)　連合会各支部研修（3,000円/人）

［自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況］　（単位：人、円）

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
参加人数	交付額	132	396,000	129	387,000	138	414,000	130	390,000	0	0

［令和２年度各支部の参加人数］

各支部が研修事業を実施していないため０人

○自治協力団体の支援

1　自治協力団体運営への助成

各自治協力団体へ世帯数等の算出根拠に基づいた補助金を交付することにより、団体運営の円滑化が図られた。

［自治協力団体への補助金交付状況］　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助金交付額	106,743,200	106,698,560	106,847,640	106,649,680	106,898,440

２　自治協力団体集会施設整備事業への助成

自治協力団体が運営する集会所の修繕費等の一部補助を行うことにより、集会施設の適正な維持管理が図られた。

■新築整備事業・・・新築：補助率 7/10・800 万円限度

［自治協力団体集会施設整備事業（新築整備）への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和２年度	
件数	交付額	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8,000,000

■修繕、附帯施設整備・・・修繕：補助率 1/2・100 万円限度、附帯施設：補助率 1/2・50 万円限度

［自治協力団体集会施設整備事業（修繕、附帯施設整備）への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和２年度	
件数	交付額	23	3,430,000	40	8,621,000	30	3,740,000	31	6,340,000	30	4,620,000

３　自治協力団体集会施設運営への助成

自治協力団体の運営する集会所の運営費の一部補助を行うことにより、集会施設の円滑な運営管理が図られた。

自治会単位：補助率 7/10・7 万円限度、連絡班単位：補助率 7/10・3 万 5,000 円限度

［自治協力団体集会施設運営への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和２年度	
件数	交付額	236	8,877,000	236	8,663,000	236	8,881,000	236	9,033,000	235	9,031,000

４　自治協力団体集会施設敷地等借上への助成

自治協力団体の運営する集会所の敷地借上料の補助を行うことにより、集会施設の円滑な維持管理が図られた。

［自治協力団体集会施設敷地等借上への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和２年度	
件数	交付額	55	2,313,177	55	2,313,177	55	2,315,677	55	2,315,677	54	2,218,677

○その他（市政に関する情報提供・自治協力団体要望受付等）

自治協力団体を支援し、連絡調整を密にすることにより、市政運営への協力等が得られた。

事業名		市民まつり開催事業		（総合戦略）
担当課		観光振興課	総合振興計画コード	6134-01
款	02	総務費	当初予算額	12,270,000 円
項	01	総務管理費	最終予算額	12,270,000 円
目	09	自治振興費	決算額	0 円
事業の目的	多くの市民参加による、市民の手づくりイベントとして市民まつりを開催し、コミュニティーの醸成を図り、ふるさとづくりを推進する。	事業の概要	4 つの各地域市民まつりを開催する。また、各地域、各種団体の相互交流を図るための催し物を実施する。	

事業の実績・成果

各地域市民まつりの代表者会議を開催し、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ中止となった。

開催日　令和２年６月２５日
（代表者４人）

事 業 名	コミュニティ推進事業			（総合戦略）
担 当 課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6134-04
款	02	総務費	当　初　予　算　額	10,016,000 円
項	01	総務管理費	最　終　予　算　額	10,016,000 円
目	09	自治振興費	決　　算　　額	4,549,528 円
事業の目的	協働によるまちづくりを推進するため、地域コミュニティの活性化を図る。	事業の概要	・地域コミュニティづくりの推進を目的とする市コミュニティ協議会への助成を行う。 ・（一財）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」の財政措置を行う。 ・市内で均衡あるコミュニティづくりの推進を図る。	

事業の実績・成果

○コミュニティ助成事業

コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報を目的とした（一財）自治総合センターコミュニティ助成金を活用し、地域コミュニティ活動団体に補助を行うことにより、コミュニティ活動の充実を図った。

（単位：円）

地　域	団体名	助成金額	概　要
加須	加須市南町四区町内会	2,400,000	・子ども神輿の新調 ・南町会館備品の購入 （机・椅子、エアコン、冷蔵庫、掃除機）

○加須市コミュニティ協議会への助成

市コミュニティ協議会並びに各地域コミュニティ協議会に補助を行うことにより、コミュニティ活動事業の推進を図った。

（単位：円）

地　域	名　称	補助金額	概　要
全体	加須市コミュニティ協議会	547,304	広報紙の作成・発行、家族・地域の絆推進運動への協力
加須	加須地域コミュニティづくり推進協議会	525,000	コミュニティ助成事業、家族・地域の絆推進運動への協力、コミュニティ活動支援
騎西	騎西地域コミュニティ協議会	232,503	花いっぱい運動、コミュニティ協議会備品の貸出し
北川辺	北川辺地域コミュニティ協議会	361,801	美化推進運動、花いっぱい運動、リサイクル運動の推進
大利根	大利根地域コミュニティ協議会	472,920	各地区コミュニティ協議会への助成
合　計		2,139,528	

※各協議会のコミュニティ活動事業が異なるため、地域ごとに掲載

※各協議会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、一部事業が実施できなかったため補助額を精算した。

事業名	情報化管理事業			
担当課	業務改善課		総合振興計画コード	3232-01
款	02	総務費	当初予算額	503,708,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	506,439,786円
目	10	電算管理費	決算額	435,015,111円
事業の目的	安心で快適な市民サービスを安定的に提供していくため、信頼性の高い情報基盤を実現する。	事業の概要	・住民情報システム及び庁内ネットワーク等について、稼働監視やメンテナンス等の適正な運用管理を行う。 ・国の示す「情報システム強靭性向上モデル」を基準とした情報セキュリティ対策を確実に実施する。 ・教育委員会の指導方針に基づき、学校 ICT 業務の運用支援を行う。	

事業の実績・成果

1　住民情報システム運用管理

市民に関する情報（住民記録、各種税、福祉等）を総合的かつ一元的に管理し、窓口サービスや行政事務を行うための基盤である「住民情報システム」の円滑な運用を行った。

(1) 構成機器

サーバ: 11 台、ディスク装置: 5 台、プリンタ: 32 台

(2) 住民情報システム取扱業務： 24 業務

1	住民記録	2	印鑑登録	3	国民年金
4	住登外・宛名管理	5	個人住民税	6	法人住民税
7	固定資産税	8	軽自動車税	9	国民健康保険税
10	収納・滞納管理	11	国民健康保険資格管理	12	後期高齢者医療
13	子ども子育て支援	14	児童手当	15	児童扶養手当
16	遺児手当	17	乳幼児医療	18	ひとり親家庭等医療
19	重度心身障害者医療	20	障害者福祉	21	就学管理
22	選挙管理	23	就学援助	24	学童保育

(3) 接続拠点： 16 拠点

1	総合支所（3 箇所）	2	市民ｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ（10 箇所）	3	保健ｾﾝﾀｰ（1 箇所）
4	環境浄化ｾﾝﾀｰ	5	上水道管理ｾﾝﾀｰ		

(4) 運用管理費　107,299,032 円

〔 委託料　37,034,712 円、借上料等　70,264,320 円 〕

(5) 新住民情報システム再整備

現在稼働中の住民情報システムの契約期間が令和 3 年 12 月をもって満了することに伴い、令和 4 年 1 月の本稼働を目指し、新住民情報システムの再整備に着手した。

新住民情報システムは、運用管理コストの削減、堅牢なデータセンター管理によるセキュリティの向上、災害時における業務継続性の強化などの観点からクラウド型による構成とした。

〔 システム構築等委託　47,272,500 円、データ切出し委託　37,433,000 円 〕

２　情報ネットワーク運用管理

各種の情報システムの動作基盤である「マイナンバー利用事務系」「ＬＧＷＡＮ接続系」「インターネット接続系」の三系統のネットワークについて、円滑な運用を行った。

(1) 構成機器

「マイナンバー利用事務系」

サーバ: 16 台、パソコン: 221 台、プリンタ: 32 台

「ＬＧＷＡＮ接続系」

サーバ: 29 台、パソコン: 819 台、プリンタ: 119 台

「インターネット接続系」

サーバ: 12 台、プリンタ: 30 台

(2) 主な機能

「マイナンバー利用事務系」

1	住民情報	2	家屋評価	3	健康管理
4	生活保護	5	農地台帳管理	6	介護保険

「ＬＧＷＡＮ接続系」

1	ファイル共有	2	ＬＧＷＡＮメール	3	グループウェア
4	財務会計	5	コンテンツ管理	6	人事給与
7	例規・法令検索				

「インターネット接続系」

1	インターネット閲覧	2	インターネットメール	3	メール無害化
4	ファイル交換	5	電子申請		

(3) 運用管理費　199,835,380 円

〔 委託料　50,207,548 円、借上料　149,627,832 円 〕

３　情報セキュリティ対策

平成２９年６月に完了した情報システム強靭化対策を踏まえ、人的及び技術的セキュリティ対策の実施により、本市の保有する情報資産の適正な管理を行った。

(1) 人的セキュリティ

・情報セキュリティ研修の実施

情報セキュリティ対策としてｅラーニング研修を実施し、279 名受講した。

(2) 技術的セキュリティ

・コンピュータウイルス検出件数： 33 件（年間）

年　度	ウイルス件　数
平成 28 年度	230
平成 29 年度	124
平成 30 年度	38
令和元年度	36
令和 2 年度	33

埼玉県情報セキュリティクラウドを介したインターネット利用を行うことにより、コンピュータウイルス等外部からの脅威に対する低減を図っている。

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.8 参照）。

事 業 名	マイナンバー制度システム運用事業			
担 当 課	業務改善課		総合振興計画コード	3232-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	11,572,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	11,572,000 円
目	10	電算管理費	決 算 額	9,538,800 円
事業の目的	社会保障や税制度の効率性を高め、住民にとって利便性の高い公平･公正な社会を実現するための基盤である「マイナンバー制度」を円滑に運営する。	事業の概要	情報提供ネットワークシステムを介した情報連携を円滑かつ継続的に行うため、必要に応じて関係システムに対する連携データレイアウト改版作業等を実施する。	

事業の実績・成果

○　関係システムの整備

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に対応するため、関係システムの整備を実施し、平成 29 年 11 月 13 日より情報連携を開始している。

・特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機設置等関連事務委任交付金
（自治体中間サーバ・プラットフォーム ASP サービスに係る負担金）　7,858,000 円

令和２年６月の情報提供ネットワークシステムにおける「特定個人情報データ標準レイアウト」の改版に対応するため、運営主体が示す改版仕様を踏まえた住民情報システムの改修及び自治体中間サーバーの次期システム更改に伴う移行対応を実施した。

・特定個人情報データ標準レイアウト改版に要する経費　1,152,800 円
（対象業務：個人住民税、軽自動車税、固定資産税、国民健康保険資格、国民健康保険給付、国民健康保険税、児童手当、児童扶養手当、子育て支援、就学援助）

・自治体中間サーバー次期システム移行に要する経費　528,000 円

事 業 名		電子自治体推進事業			（総合戦略）
担 当 課		業務改善課		総合振興計画コード	3233-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	233,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	268,214 円
目	10	電算管理費		決 算 額	267,223 円
事業の目的	市民サービスの向上及び効率的な行政経営に寄与し、便利さを実感できる「市民にやさしい電子市役所」づくりを推進する。		事業の概要	・情報化推進計画に基づき、各情報化施策への取組みを総合的に支援する。 ・システム評価の充実を図り、システムの最適化及び効果的な情報化投資を行う。 ・地域活性化を図る観点からもシステム評価を行い、ICT を活用した地域づくりへの取組みを支援する。	

事業の実績・成果

1　電子申請・届出サービスの提供

市民の利便性向上を図るため、申請や届出等の一部の手続きがインターネットで行える「電子申請・届出サービス」を、埼玉県内市町が共同により提供している。

市のイベントや講習会への参加申込み等手続のオンライン化を推進するとともに、利用拡大に向けて、広報紙、ホームページ等により周知を図った。

(1) 電子申請対象手続数　　61 手続

主な手続き

・粗大ごみ収集の申込
・水道使用開始届等
・犬の登録申請、死亡届
・講習会・セミナー申込

(2) サービス提供業務委託料等　　267,223 円

事 業 名		人権施策実施計画進行管理事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6211-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	137,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	137,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	47,200 円
事業の目的	「加須市人権施策実施計画」に基づき、各種人権関連施策を総合的・計画的に推進することにより、「差別や偏見のない人権尊重社会の実現」を目指す。		事業の概要	関係課や人権施策推進審議会等と連携して「加須市人権施策実施計画」の進行状況の確認、精査を行う。 【計画期間】平成 30 年度～令和 4 年度

事業の実績・成果

○第 2 次加須市人権施策実施計画に基づく各種事業の進行管理

第 2 次加須市人権施策実施計画の実効性を確保していくため、人権施策推進審議会を開催し、各種施策の事業実施状況について進行管理を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	議事内容	出席人数
令和 2 年 7 月 29 日 加須市役所	・人権に関する意識調査の報告について ・第２次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の令和元年度事業実施状況について	14 名

◇各種施策の令和元年度実施状況

項　　目	事業数	令和元年度実施状況に対する評価（%）				
		1	2	3	4	5
1　あらゆる場や対象をとらえた人権教育・人権啓発の推進	29	20(69.0%)	4(13.8%)	4(13.8%)	1(3.4%)	0(0%)
2　相談・支援の推進	38	24(63.2%)	5(13.1%)	9(23.7%)	0(0%)	0(0%)
3　市民、ＮＰＯ、企業等と協働した地域づくり	10	8(80.0%)	0(0.0%)	2(20.0%)	0(0%)	0(0%)
4　その他	4	3(75.0%)	1(25.0%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)
合　　計	81	55(67.9%)	10(12.4%)	15(18.5%)	1(1.2%)	0(0%)

※令和元年度評価基準

1 …目標を達成（実績値が目標値の 100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
2 …概ね達成（実績値が目標値の 80%以上に達した）
3 …やや遅れている（実績値が目標値の 80%未満となった）
4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の 50%未満となった）
5 …未着手（何らかの理由により、事業に着手できなかった）

事 業 名		人権推進事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6211-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	10,218,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	10,823,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	5,873,937 円
事業の目的	市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。	事業の概要	人権問題講演会、人権問題指導者研修会等の研修機会を設けるとともに、人権週間や市民まつり等の機会に人権啓発活動を実施する。さらに同和問題相談員の設置、人権擁護委員等と連携した同和問題・女性や子ども・高齢者・障がい者などの人権に係わる相談会の開催などを行う。	

事業の実績・成果

○人権研修会及び人権講演会等の開催（共催：生涯学習課・産業振興課）

人権問題指導者研修会を開催し、同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、参加者の各人権課題の理解と認識を深めることに貢献した。

（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
参加者数	1,716	1,927	1,731	1,650	312

○人権擁護委員による人権相談事業等（共催：市民相談室・健康づくり推進課）

令和 2 年 4 月に、人権擁護委員による、女性や子ども、高齢者、障がい者、外国人等に関する人権問題の解消に向けた相談会を開催し、市民の抱える悩みの解消にあたった。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により年間を通した相談会が開催できなかったため、ホームページや人権啓発展において人権擁護委員による人権相談事業についての周知を行った。

（単位：件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
相談件数	0	1	0	0	0

○同和問題相談員による相談事業

年間を通し、同和問題相談員による市民の同和問題に関する相談や、地域住民の生活相談に対応し、必要に応じて関係行政機関と連携を保ちながら助言や指導を行い、市民との信頼関係を築くとともに、生活環境の向上、市民の自立意識の醸成に貢献した。

（単位：件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
相談件数	61	71	79	111	86

○同和問題に取り組む民間運動団体への補助金交付

同和問題解消を目指す民間運動団体 4 団体に対し、補助金の交付を行い、同和問題の早期解決を目指す人権教育・啓発事業を官民が連携して行い、差別意識の解消や人権尊重意識の高揚に資することができた。

また、補助金額については、運動団体の活動内容を精査し見直しを行っており、令和 2 年度は、対前年度比 4.7%の削減となった。

◇「同和問題に取り組む民間運動団体」への補助金交付状況　（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
部落解放同盟埼玉県連合会 加須支部	1,939	1,873	1,809	1,747	1,687
部落解放同盟埼玉県連合会 騎西支部	640	581	538	496	462
部落解放同盟埼玉県連合会 大利根支部	451	411	366	329	305
北埼・埼葛「同和対策」運動連合会 加須市協議会	1,293	1,248	1,199	1,116	1,062
合　　計	4,323	4,113	3,912	3,688	3,516

○北埼玉地区人権フェスティバルの開催（共催：羽生市・行田市）

加須市・羽生市・行田市の共催で、北埼玉地域住民の人権意識、人権感覚の高揚に資することを目的とした「第18回北埼玉地区人権フェスティバル」を、加須市を会場として開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に開催延期となった。

（当初予定）

開 催 日　　令和2年10月3日（土）

場　　所　　加須文化・学習センター「パストラルかぞ」

○「人権啓発リーフレット」の作成・配布

様々な人権課題、市内小・中学生による人権啓発ポスター及び人権標語の入賞作品を掲載したリーフレットを作成し、ホームページに掲載するとともに、市内各公共施設等に配架し、人権に関する意識の高揚を図った。

○人権啓発チラシの作成・配布

身近にある様々な人権課題を周知するチラシを作成し、令和2年8月1日の市報かぞと同時に全戸配布するとともに、人権問題指導者研修会、人権啓発展等で配架することにより、市民の人権意識の高揚、人権教育及び人権啓発の推進を図った。

○人権啓発ポスターの作成・掲示

令和元年度に実施した「人権に関する意識調査」の結果を受け、「部落差別解消の推進に関する法律」の認知を目的とした啓発ポスターを作成し、市内公共施設38箇所に掲示することにより、法の周知を図った。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊P.9参照）。

【繰越明許　令和2年度から令和3年度へ繰り越す理由】

除菌ウェットティッシュ（繰越明許額605,000円）

令和2年度第12号補正予算により契約締結したが、契約締結日が令和3年3月29日であったことから、年度内の納品が困難となったため令和3年度に繰り越した。

事 業 名		田ケ谷総合センター管理運営事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6211-10
款	02	総務費	当 初 予 算 額	7,463,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	9,058,000 円
目	11	人権推進費	決 算 額	7,217,324 円

事業の目的	田ケ谷総合センターを、誰もが安心して安全に利用できるよう管理し、センターの設置目的である人権問題の解決と住民の教養の向上、健康の増進及び地域の交流を促進する。	事業の概要	センターの維持管理として、設備や躯体等の保守点検業務をはじめ、修繕・清掃・夜間管理等の業務委託を行う。 また、ソフト事業として教養文化講座や子ども映画会、人権啓発展等を行う。

事業の実績・成果

○施設の維持管理

田ケ谷総合センターを市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

・職員の配置（嘱託館長 1 名・会計年度任用職員 2 名）
・各種点検の実施（防火対象物、消防用設備、自家用電気工作物保安管理、建築設備、自動ドア等）
・管理業務の委託（夜間等管理業務、清掃業務、樹木剪定業務）
・備品購入（図書 19 冊、キャスター付き机 9 台）
・修繕（食生活改善室ガス警報器修繕、給湯室ガステーブルコンロ修繕）
・駐車場整備（障がい者用駐車スペースの設置）
・工事（図書室空調機改修工事、教養娯楽室・工作室・音楽室の照明器具の LED 化）
・田ケ谷小学校夏季休業期間（7 月 20 日～8 月 28 日）の授業実施のため、地域の方々、保護者会の協力を得て、児童の机・椅子の運搬作業を実施

○教養文化講座・子ども映画会の開催

教養文化講座・子ども映画会を開催し、地域の文化力の向上や地域交流の促進、差別意識の解消を目的として教養文化講座・子ども映画会を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止とした。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①教養文化講座・子ども映画会開催回数（回）	78	77	76	75	中止
②教養文化講座・子ども映画会参加人数（人）	1,428	1,264	1,056	1,026	中止

○血圧計の設置

平成 29 年度まで、健康づくり推進課との共催により、「ふれあい事業」として、月 1 回の健康相談及び血圧測定を実施していたが、平成 30 年度に血圧計を設置し、随時の血圧測定を可能にした。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用人数（人）	105	147	124	107	40

※平成 30 年度以降の数値は、血圧計利用者数（平成 30 年 7 月 26 日に設置）

○田ケ谷総合センターの来館者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
来館者数（人）	16,631	15,697	15,705	14,558	3,666

※来館者数のうち、会議室等利用者の集計方法：利用実人数

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.10 参照）。

事 業 名		環境学習推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4111-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	147,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	147,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	0 円
事業の目的	市民及び事業者全てのエコライフの実現を図るため、環境に配慮したライフスタイルへの転換や環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう推進する。		事業の概要	広報紙やホームページ等を活用した環境情報の提供や環境フォーラム、水辺環境の利活用を図る自然観察会を開催する。

事業の実績・成果

1　環境フォーラムの開催

市民等の環境問題への理解を深め、環境に配慮したライフスタイルへの転換や、環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう環境情報を提供する機会や場の提供・充実を図るため、例年、環境フォーラムを開催しているが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした。

2　自然観察会の開催

例年、浮野の里を「環境学習の場」と位置づけ、埼玉県川の国アドバイザーの協力のもと、小学生と保護者を対象に自然観察会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした。

自然観察会は休止となったが、市職員のみで生物基礎調査を実施し、生物多様性かぞ戦略の基礎データを収集した。

事 業 名		「加須市の環境」発行事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4112-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	22,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	22,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	22,000 円
事業の目的	環境行政への関心を深めてもらうとともに、市民・事業者との協働による環境への取組を促進するため、環境関連施策の実績を公表する。		事業の概要	「加須市の環境」を発行し、市民・事業者に周知する。

事業の実績・成果

○　「加須市の環境」の編集・発行

令和元年度における環境基本計画及び環境関連計画に掲げる施策の実績をまとめた「加須市の環境令和２年度版（令和元年度実績）」を発行・公表し、事業の点検・評価に活用した。

1　内　容　　総括
　　環境の保全及び創造に関し講じた施策の概要及び実績・成果
　　環境関連計画の概要と成果
　　資料
2　発　行　　令和２年９月
3　部　数　　110 部

事 業 名		環境基本計画策定事業			
担 当 課		環境政策課		総合振興計画コード	4211-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	10,518,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	10,518,000 円
目	12	公害対策費		決 算 額	9,952,480 円
事業の目的	「豊かな自然と快適な環境のまちづくり」を進めるため、市の環境保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。		事業の概要	第2次環境基本計画の策定。 ・計画期間　令和3年度～令和12年度	

事業の実績・成果

加須市環境基本条例第9条に基づき、平成24年3月に策定した第1次加須市環境基本計画が令和2年度をもって計画期間が満了となることから、これまでの取組の点検・評価や市を取り巻く社会情勢の変化、関係法令の動向、市の関連計画を踏まえ、第2次加須市環境基本計画を策定した。

○第2次加須市環境基本計画策定の経過

年	月日	項目
令和2年	4月18日～6月4日	市民、事業者を対象にアンケート調査を実施
	6月8日～6月30日	中学生を対象にアンケート調査を実施
	7月31日	第1回加須市環境基本計画庁内検討委員会
	8月11日	第1回加須市環境審議会
	8月31日	第2回加須市環境基本計画庁内検討委員会
	9月30日	政策会議
	10月20日	第3回加須市環境基本計画庁内検討委員会
	11月10日	第3回加須市環境審議会
令和3年	1月4日～1月15日	パブリックコメント実施
	2月1日	第4回加須市環境審議会
	2月9日	答申

※第2回加須市環境審議会は、計画進行管理（書面表決）により、本表から省略

事 業 名		環境基本計画進行管理事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4211-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	119,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	119,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	37,696 円
事業の目的	豊かな自然と快適な環境のまちづくりを推進するため、加須市環境基本計画に掲げた施策を計画的に推進する。		事業の概要	環境審議会での助言・提言等を踏まえ、環境施策に係る報告書の「加須市の環境」を発行し、進行管理を行う。また、報告書を市民に公表し、意見を環境行政に反映させる。 ・計画期間　平成 23 年度～令和 2 年度

事業の実績・成果

○　加須市環境基本計画に基づく進行管理

加須市環境基本計画及び環境関連計画に基づき、環境関連施策の進捗状況の把握、点検・評価を行い、令和元年度の施策事業実績をまとめ、環境審議会に報告した。

環境審議会での助言・提言等を踏まえ、「加須市の環境 令和 2 年度版（令和元年度実績）」の発行・公表及び施策事業の適切な運用を図った。

・環境審議会（設置根拠：加須市環境基本条例第 22 条）

委員数　　15 人

開催日　　第 2 回加須市環境審議会　　令和 2 年 8 月

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面により開催

事 業 名		生物多様性推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4211-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	82,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	82,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	50,000 円

事業の目的	点在する貴重な水辺環境を保全するため、多様な生物が生息できる水の郷を創造する。	事業の概要	自然観察会等を通した、生物多様性の重要性についての意識啓発を行う。 コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムやラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加による、県域を超えた市町村間の交流や意見交換を行う。

事業の実績・成果

1　生物基礎調査兼自然観察会の開催

貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里（加須地域）」「風の里公園（騎西地域）」「オニバス自生地（北川辺地域）」「お花が池（大利根地域）」にて、自然観察会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、大利根地域のみ開催となった。

【加須地域】
・浮野の里昆虫観察会　　新型コロナウイルスの影響により中止

【騎西地域】
・風の里公園自然観察会　　新型コロナウイルスの影響により中止

【北川辺地域】
・オニバス自生地自然観察会　　新型コロナウイルスの影響により中止

【大利根地域】
・お花が池自然観察会　　令和２年12月12日　参加者７人

２　「かぞ生きもノート」の実施

いきものログを活用した、市民参加型・加須市の生きものの記録「かぞ生きもノート」を継続実施。ホームページ上に、登録用QRコードを表示し、参加啓発を行った。

３　「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」　運営負担金　30,000円
・コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムに参画した。
・コウノトリ２匹に４市２町で合同特別住民票を交付した。
・コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム設立10周年記念冊子を作成した。
コウノトリ・トキの舞う地域づくりシンポジウムにおいて、国土交通省をはじめとする、国の関係機関に対し要望を行った。

４　「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」　運営負担金　20,000円

渡良瀬遊水地の関係市町（栃木市、小山市、野木町、古河市、板倉町）と連携し、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議で運営しているホームページにて、渡良瀬遊水地のイベント情報や保全活動等のPRページを掲載し、周知を図った。

事業名	鳥獣対策推進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4211-08
款	02	総務費	当初予算額	1,241,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	2,297,000円
目	12	公害対策費	決算額	2,067,466円
事業の目的	鳥獣による生活環境や農林水産業、生態系への被害を防止するため、鳥獣の保護及び狩猟、管理の適正化を図る。	事業の概要	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく有害鳥獣捕獲許可等の事務や、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく特定外来生物であるアライグマの捕獲を実施する。	

事業の実績・成果

1　アライグマの防除対策
・アライグマ捕獲器2基の購入
・アライグマの被害防止のため、捕獲器によりアライグマ171頭を捕獲した。
（加須地域：101頭、騎西地域：34頭、北川辺地域：6頭、大利根地域：30頭）
・捕獲後の対応　　個体検査を実施し、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づき県へ報告した。

2　令和2年度加須市有害鳥獣駆除補助金　80,000円
加須猟友会による有害鳥獣の駆除
(1) 駆除実施日　令和2年11月23日、12月6日、令和3年1月24日、1月25日、合計4日間
(2) 捕獲内訳　カラス38羽、ムクドリ142羽、キジバト72羽、ヒヨドリ79羽
(3) 捕獲場所　特定猟具使用禁止区域（銃）を除く加須市内全域

3　クビアカツヤカミキリの防除対策
・クビアカツヤカミキリによる被害が確認できた樹木への薬剤の注入及び成虫の捕殺を行った。
・広報誌等により市民への情報提供を行った。

事業名	志多見砂丘保全事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4213-03
款	02	総務費	当初予算額	3,666,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	3,666,000円
目	12	公害対策費	決算額	3,553,000円
事業の目的	豊かな自然環境の保全のため、志多見砂丘の貴重な赤松等の緑や特異な地形等の保全を図る。	事業の概要	市の管理する加須西中学校敷地内の志多見砂丘の松林保全のため、定期的に実施する松くい虫防除対策をはじめとした保全活動を行う。 所有者台帳等に基づき、毎年度の管理状況等の把握を行う。	

事業の実績・成果

1　加須西中学校の松くい虫防除　　3,553,000円
5年に1度実施している加須西中学校の松くい虫防除を行った。
（1）実施期間　令和3年1月28日（木）から2月1日（月）
（2）対象本数　165本
（3）防除箇所　790箇所

2　志多見砂丘の自然環境保全の推進
埼玉県自然環境保全地域の保全状況の現況及び土地所有者の確認を実施した。

事 業 名		屋敷林等保全事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4213-04
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,151,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,151,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	941,858 円

事業の目的	豊かな自然環境の保全のため、市内に残る貴重な屋敷林や樹木の保全・保護を図る。	事業の概要	市内に点在する貴重な屋敷林や樹木を指定し、奨励金（樹林 10 円/㎡、樹木 3,000 円/本）を交付することで、貴重な緑の保全を図る。また、指定屋敷林の募集を継続して行い、保全樹林面積の増加を図る。 平成 27 年度から保存樹木の対象を全地域とした。

事業の実績・成果

1　指定及び奨励金交付

市内の屋敷林等の身近な緑を末永く保全するため、市内に点在する貴重な屋敷林・樹林や樹木の中で要件を満たすものを保存樹林等として指定し、管理者に 1 ㎡当たり 10 円又は 1 本当たり 3,000 円の奨励金を交付した。

【屋敷林等保全奨励金】　934,645 円

(1) 奨励金交付箇所：92 箇所（樹林 25 箇所 89,644.5 ㎡、樹木 67 本）

(2) 保存樹木表示プレート作成（1 枚）

2　指定屋敷林等の指定状況

(1) 保存樹林　（単位：箇所）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
指定箇所	29	28	28	26	26

(2) 保存樹木　（単位：本）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
指定本数	67	75	74	75	76

事業名	浄化槽転換促進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4223-01
款	02	総務費	当初予算額	51,705,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	51,705,000円
目	12	公害対策費	決算額	12,743,000円
事業の目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。	事業の概要	合併処理浄化槽への転換を促進するため、転換を実施する者に補助金を交付する。 また、合併処理浄化槽への転換について普及啓発を実施する。	

事業の実績・成果

1　合併処理浄化槽設置整備補助金

河川等の水質浄化を図り、より良い環境づくりを目指して、単独処理浄化槽又は汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する市民に対して補助金を交付した。（補助金の対象となる区域は、加須市生活排水処理施設整備計画における浄化槽整備区域である。）

(1) 補助金交付額　12,718,000円

内訳

・合併処理浄化槽への転換に伴う設置費補助　8,268,000円（20基分）

（単位：基）

年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
施工業者／人槽	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者
5人槽	8	25	3	13	1	5
7人槽	10	34	8	16	7	7
10人槽	0	2	1	3	0	0

・汲み取り方式の便槽または単独処理浄化槽の処分費補助　850,000円（17基分）

・合併処理浄化槽への配管費補助　3,600,000円（20基分）

(2) 人槽別補助金額　（単位：円）

	設置費		処分費	配管費
施工業者／人槽	市内業者	市外業者		
5人槽	362,000	352,000	50,000	180,000
7人槽	444,000	434,000		
10人槽	578,000	568,000		

※処分費、配管費は、要した費用と比較して少ない方を交付額とする。

(3) 合併処理浄化槽設置補助基数　（単位：基）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
36	44	79	44	20

2　浄化槽等の設置基数の状況（令和2年度末）　（単位：基）

区域／排水処理	浄化槽整備区域	公共下水道整備区域	流域下水道整備区域	農業集落排水整備区域	市内全域
合併処理浄化槽	7,747	263	3,455	406	11,871
単独処理浄化槽	6,279	1,972	2,162	870	11,283
汲み取り便槽	1,315	977	163	489	2,944
計	15,341	3,212	5,780	1,765	26,098

※浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽普及率　令和2年度末：50.5%（令和元年度末：49.1%）

事 業 名		水質浄化促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4224-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	386,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	386,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	73,157 円
事業の目的	きれいな水の再生のため、市内の公共用水域の水質改善を図る。		事業の概要	河川浄化対策協議会や市民との協働による河川の浄化活動・清掃活動を支援し市民による浄化活動を促進する。 さらに、河川浄化の啓発活動を実施するとともに、冬期試験通水を実施する。

事業の実績・成果

1　加須市河川浄化対策協議会加須支部補助金　7,157 円

(1) 加須地域内８河川等の水質簡易測定及び清掃の実施

（午の堀川、中川、新槐堀川、会の川、六郷堀、青毛堀川、五ヶ村落、南方用水）

例年、夏季と冬季に水質簡易測定及び清掃を実施しているが、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした。

(2) 会の川清掃活動

例年、10 月に会の川清掃活動を実施しているが、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした。

(3) 協議会だよりの発行

例年、年に２回協議会だよりを発行しているが、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため協議会としての活動がなかったため発行しなかった。

2　加須市大利根地域河川浄化対策協議会補助金　0 円

(1) 大利根地域一斉清掃

例年、夏季と冬季に一斉清掃を実施しているが、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした

3　利根大堰左岸に係る冬期通水推進連絡会負担金　66,000 円

利根大堰左岸に係る幹線水路に冬期通水を行うことにより農業用水の高度利用と水辺空間及び多面的機能の向上を図った。

4　冬期試験通水

(1) 通水期間　令和２年 10 月１日から令和３年３月 31 日まで

(2) 利根合口農業水利協議会及び関係市町、土地改良区で利根大堰に係わる冬期試験通水要望活動を行った。

5　冬期試験通水に係る水質測定

市内を流れる小川台用水、四ヶ村用水の各水路に通水を行い、水質測定を実施した。

・測定結果

河川名	測定項目	通水前（夏）	通水後（冬）
六郷堀	BOD（mg/l）	3.0	5.3
小川台用水	BOD（mg/l）	0.8	10.0
四ヶ村用水	BOD（mg/l）	1.0	11.8

※令和２年度は会の川の改修工事のため、六郷堀の冬期試験通水は中止となった。

事 業 名		省資源・省エネルギー促進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4311-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	41,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	41,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	6,500 円
事業の目的	地球温暖化を防止するため、市・市民・事業者の各主体が省資源・省エネルギーを推進する。		事業の概要	節電社会の構築に向け市・市民・事業者が一体となった節電行動を推進するため、エコライフ DAY チェックシート・節電コンテスト・グリーン購入等の意識啓発及び実践のための取組みを実施する。

事業の実績・成果

1　エコライフＤＡＹ2020 の実施

家庭からの二酸化炭素排出削減を目的とした、エコライフＤＡＹチェックシートを夏・冬と 2 回実施し、エコライフへの意識の向上と取組の促進を図った。

	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)	参加人数	二酸化炭素削減量(kg)
夏	11,623	14,624	12,604	10,000	11,680	9,336	12,182	10,017	7,796	5,354
冬	15,849	15,136	13,758	13,271	9,801	8,440	10,088	8,883	11,654	9,642
計	27,472	29,760	26,362	23,271	21,481	17,776	22,270	18,900	19,450	14,996
対前年増減率(%)	▲7.0	21.8	▲4.0	▲21.8	▲18.5	▲23.6	3.7	6.3	▲12.7	▲20.7

2　節電川柳（コンテスト）の開催　　6,500 円

加須市節電行動プランに基づき、節電社会の構築に向けた啓発として「節電川柳」を実施。優秀な作品 5 点を選出し、賞状と記念品を贈呈した。

(1) 応募者　22 作品

事業名	環境にやさしい自動車利用促進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4312-03
款	02	総務費	当初予算額	851,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	851,000円
目	12	公害対策費	決算額	651,785円
事業の目的	化石燃料の使用量や排出ガスの削減を図り、低炭素社会を実現するため、電気自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進する。	事業の概要	電気自動車用充電設備の利用促進を図るとともに電気自動車等のエコカーの普及を促進する。また、アイドリングストップ、エコドライブ、カーシェアリングの普及啓発を進める。	

事業の実績・成果

1　電気自動車急速充電器

(1) 設置施設

ア　加須市役所南側駐車場（平成24年3月30日供用開始）
　　利用時間：8時30分～17時15分（土、日、祝日、年末年始を除く）

イ　道の駅童謡のふる里おおとね（平成26年3月30日供用開始）
　　利用時間：9時30分～17時（第1・第3水、年始を除く）

(2) 電気自動車急速充電器の利用状況

（単位：回）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加須市役所南側駐車場	8	0	3	4	32
道の駅童謡のふる里おおとね	13	10	15	12	14
合計	21	10	18	16	46

※平成28年4月1日から、使用料　500円/回（1回30分以内）
（加須市電気自動車充電設備の利用に関する条例）

事業名	グリーンカーテン促進事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4321-03
款	02	総務費	当初予算額	11,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	11,000円
目	12	公害対策費	決算額	7,000円
事業の目的	消費電力の削減を図るため、夏のエアコン等の使用を抑制する。	事業の概要	市民の節電意識を高めCO2を削減するため、グリーンカーテンコンテストを開催し、市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行う。	

事業の実績・成果

1　夏のエアコン等の使用を抑制するため、グリーンカーテンの設置を促進し、節電への意識啓発を図る。

2　市民の節電意識を高めるとともに、CO2を削減するため、グリーンカーテンコンテストを開催し、市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行う。
　　優秀な作品5点を選出し、賞状と記念品を贈呈する。

3　グリーンカーテンコンテスト応募数

（単位：件）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
24	25	38	24	18

事業名	公害未然防止事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4341-01
款	02	総務費	当初予算額	1,521,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,521,000円
目	12	公害対策費	決算額	989,398円

事業の目的	市民が良好な生活環境のもとで、健康で快適に暮らすことができるまちづくりを推進する。	事業の概要	市民からの大気汚染（野外焼却）、水質汚濁、騒音、振動、悪臭等の苦情への対応や防止対策の助言、指導を行う。 また、工場や事業所からの騒音・振動等特定施設の届出等の受理や騒音・振動規制の指導助言を行うとともに、野外焼却の禁止など市民への意識啓発を実施する

事業の実績・成果

○苦情への対応

市民等から公害苦情の相談があった場合、 現場に急行し、苦情相談者から発生時期（時間帯）や発生場所、原因者、被害の程度、要望等を聴取・調査した上で、原因究明のため現地確認や発生原因者からの事情聴取を行い、解決策として公害防止、改善対策を検討し、発生原因者へ解決に向けた助言や指導を行うとともに苦情相談者へ対応に係る説明を実施した。

【苦情件数の推移】

（単位：件）

	大気汚染 ( )内、野焼き件数	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	合計
平成28年度	38(38)	9	18	2	7	74
平成29年度	45(41)	11	16	2	9	83
平成30年度	23(23)	9	20	1	10	63
令和元年度	26(25)	7	22	2	14	71
令和2年度	44(44)	6	17	2	10	79

事業名	監視測定事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4342-01
款	02	総務費	当初予算額	4,541,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	4,541,000円
目	12	公害対策費	決算額	4,279,000円
事業の目的	市民が良好な生活環境のもとで健康で快適に暮らすことのできるまちづくりを推進するため、定点及び周期的な環境測定を実施する。	事業の概要	大気中のダイオキシン類や二酸化窒素、二酸化硫黄、河川等の水質、自動車交通騒音測定等の環境測定を継続的に実施するとともに測定結果を市民に公表する。 また、光化学スモッグ注意報の発令・解除情報及びPM2.5の注意喚起情報の提供を行う。	

事業の実績・成果

1　河川等水質検査業務

委託費：1,430,000円

・市内河川等のうち、51地点の水質検査を夏期（9月）、冬期（2月）に実施した。

【測定結果】　単位：mg/ℓ（pH除く）

	pH（水素イオン濃度）		SS（浮遊物質量）		BOD（生物化学的酸素要求量）	
	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期
最小値	7.24	7.11	2.1	3.2	0.5	0.7
最大値	8.28	9.32	101	90	3.8	162
基準超過地点数	0	4	13	4	0	25

コイ、フナが生息できる「きれいな川」はBOD5 mg/ℓ以下である。

加須市の北川辺地域を除く河川は、中川の水質環境基準のC類型を参照し、基準値はpH：6.5～8.5、SS：50 mg/ℓ以下、BOD：5 mg/ℓ以下に、北川辺地域の河川は、渡良瀬川の水質環境基準のB類型を参照し、基準値はpH：6.5～8.5、SS：25 mg/ℓ以下、BOD：3mg/ℓ以下、大腸菌群数：5,000MPN/100mℓ以下にしている。

2　ダイオキシン類環境測定業務

委託費：2,420,000円

【大気中のダイオキシン類濃度測定結果】　（単位：pg-TEQ/m^3）

測定地点	ダイオキシン類濃度		
	夏季（7/14～7/21）	冬季（1/18～1/25）	平均
消防団第8分団（下樋遣川）	0.014	0.042	0.028
騎西総合支所（騎西）	0.011	0.024	0.018
北川辺分署（麦倉）	0.017	0.028	0.023
大利根総合支所（北下新井）	0.016	0.022	0.019

大気環境基準は、年平均0.6pg-TEQ/m^3である。

3　大気測定業務

委託費：429,000 円

・6 月から 3 月にかけて測定を実施し、1 地点につき 1 箇月ごとに 8 回試料採取した。

(1) 大気中の二酸化硫黄濃度測定結果　（単位：ppm）

測　定　地　点	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
三俣小学校（北小浜）※1	0.0009	0.0009	0.0010	0.0010	0.0009
騎西小学校（騎西）	0.0009	0.0010	0.0009	0.0009	0.0009
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.0021	0.0023	0.0030	0.0029	0.0017
大利根総合支所（北下新井）	0.0009	0.0012	0.0010	0.0011	0.0009

※1　加須地域の測定は平成 28 年度まで昭和中学校（北小浜）で実施。

数値は、1 時間平均値。

二酸化硫黄環境基準は、1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下であること。

(2) 大気中の二酸化窒素濃度測定結果　（単位：ppm）

測　定　地　点	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
三俣小学校（北小浜）※1	0.0076	0.0059	0.0043	0.0037	0.0034
騎西小学校（騎西）	0.0068	0.0057	0.0052	0.0049	0.0052
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.019	0.017	0.019	0.019	0.0140
大利根総合支所（北下新井）	0.0069	0.0061	0.0055	0.0054	0.0055

※1　加須地域の測定は平成 28 年度まで昭和中学校（北小浜）で実施。

数値は、1 時間平均値。

二酸化窒素環境基準は、1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。

4　自動車交通騒音測定業務　（単位：dB(A)）

測定地点	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
県道加須幸手線（睦町）	63.5 60.5	64.8 61.6	62.1 59.1	69.1 63.8	71.7 66.1
東北縦貫自動車道（下谷）	67.7 64.9	67.5 65.6	65.9 63.6	66.0 63.2	67.0 64.4
県道加須停車場線（中央二丁目）	59.3 52.9	59.7 52.2	60.1 51.7	60.2 51.9	58.8 49.2
一般国道 122 号（下崎）	74.9 73.0	74.5 72.5	74.2 71.7	75.5 73.7	72.8 73.9
県道佐野古河線（小野袋）	69.3 69.3	63.6 63.2	66.1 63.8	67.2 65.3	66.1 64.6
県道羽生栗橋線（北下新井）	69.9 65.2	69.4 66.8	69.1 65.4	69.8 64.8	70.6 64.7

上段は昼間（6 時～22 時）平均、下段は夜間（22 時～6 時）平均。

道路に面する地域に係る環境基準は、昼間は 70dB 以下、夜間は 65dB 以下である。

道路管理者又は関係行政機関の長に意見を述べることができる要請限度は、昼間は 75dB、夜間は 65dB である。

5　光化学スモッグ等に関する情報の提供

・光化学スモッグ注意報等の発令時に、防災行政無線等により市内全域に注意喚起した。

（令和２年度　光化学スモッグ予報 2 件、光化学スモッグ注意報 4 件）

・埼玉県内の PM2.5 の測定値を市のホームページにより情報提供を行った。

（令和２年度　PM2.5 注意喚起 0 件）

事業名	放射能測定事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4342-02
款	02	総務費	当初予算額	1,629,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,629,000円
目	12	公害対策費	決算額	1,273,800円

事業の目的	東京電力福島第一原子力発電所での事故の発生に伴い放出された放射性物質について適切な対応を図ることで市民の安心、安全の確保を図る。また、万が一の有事の際の環境的視点からも重要なデータとなることから測定を実施する。	事業の概要	定期的な空間放射線量の測定及び市民からの申請による放射線量の出張測定、自家用野菜の放射能測定を実施し、その結果を公表する。

事業の実績・成果

1　空間放射線量の定点測定

・測定期間　令和2年4月1日～令和3年3月31日まで：月曜日の午前9時

・測定箇所　加須小学校、大越小学校、騎西中学校、北川辺中学校、大利根中学校

・測定器　　Ｍｒ．Ｇａｍｍａ A2700

・測定結果

測定箇所	最低値	最高値
加須小学校	0.034μSv/h	0.062μSv/h
大越小学校	0.029μSv/h	0.050μSv/h
騎西中学校	0.027μSv/h	0.048μSv/h
北川辺中学校	0.026μSv/h	0.045μSv/h
大利根中学校	0.039μSv/h	0.056μSv/h

2　「周辺より高線量を示すおそれのある箇所」の測定

学校や子どもが利用する主な施設の局所的に放射線量が高いと思われる箇所の空間放射線量の測定を実施した。

・測定箇所　　すべての小中学校・幼稚園、市立保育所、児童館など及び主な都市公園の合計73施設

・測定期間及び測定箇所、測定結果

測定回数	測定期間	測定箇所	最低値	最高値
第32回測定	令和2年8月31日～9月11日	378	0.014μSv/h	0.092μSv/h
第33回測定	令和3年2月8日～19日	378	0.014μSv/h	0.098μSv/h

3　職員による出張測定（空間放射線量測定）

・実績（令和2年度の実施なし）

4　市内産野菜等の放射性物質濃度測定業務委託

・実績（令和2年度の実施なし）

5　焼却灰等の放射能測定の実施：1,273,800円

加須及び大利根クリーンセンターにおいて、放射性ヨウ素及び放射性セシウムの濃度測定を焼却灰（主灰）を年2回、飛灰等を年12回実施した結果、放射性ヨウ素については不検出、放射性セシウムについては基準値（8,000Bq/kg）超過はなかった。

6　広報活動

・市ホームページ、広報紙で測定結果を公表した。

事 業 名		環境保全推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4343-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	66,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	66,000 円
目	12	公害対策費	決 算 額	57,186 円

事業の目的	豊かな自然と良好な生活環境を将来にわたり確保する。	事業の概要	環境保全条例に基づく土地の埋め立ての規制・指導や空き地の雑草などの適正管理の指導を実施する。 既存の残土の堆積地や新たな違法、無許可埋立ての防止を図るため、関係機関と連携したパトロールを実施する。 環境配慮事業者への指導や協定の締結を行う。

事業の実績・成果

1　巡回パトロールの実施

環境保全のため、不法投棄及び違反埋立ての監視を目的とした県との合同パトロールを実施した。

【実施日】

令和2年10月15日

2　空き地の雑草等の適正管理の指導件数

雑草の繁茂等、適正管理の成されていない空き地の所有者に対し、改善するよう文書指導を行い、空き地の適正管理を図った。

（単位：件）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
82	84	116	75	106

3　埼玉県緑化推進委員会会費　30,000円

県土の緑化運動及び緑の募金を推進することにより、国土の緑化及び国際的な緑化に寄与することを目的としている法人で本市が正会員になっている。

4　環境配慮事業の協定締結

敷地面積3,000㎡以上　建築面積1,000㎡以上の製造業、加工修理業に係る工場の新設

実績

2社（加須IC東産業団地区画2社）

事業名	ムクドリ対策事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4343-04
款	02	総務費	当初予算額	51,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	51,000円
目	12	公害対策費	決算額	33,996円
事業の目的	良好な生活環境を確保するため、ムクドリ被害の抑制・軽減を図る。	事業の概要	ムクドリが嫌がる音声を飛来する群れやねぐらに向けて流したり、拍子木等による追い払いやムクドリの糞で汚れた道路の清掃を地元自治協力団体との協働により実施する。	

事業の実績・成果

1　ムクドリの鳴き声による騒音対策

(1) 実施日等
令和2年6月29日（月）～7月3日（金）
参加延べ人数155人
(2) 実施場所
花崎駅北口周辺
(3) 実施内容
ディストレスコール（ムクドリが嫌がるとされている鳴き声）を拡声器で流しながらの巡回（公用車）や拍子木打ち鳴らしによる追払い
(4) 協力団体等
自治協力団体（花崎北第一区町内会、花崎北第二区町内会、花崎北第三区町内会、ライオンズガーデン花崎町内会）及び関係課（まちづくり課、道路課）

2　ムクドリの糞害対策（花崎駅北口周辺）

例年、花崎駅北口ロータリー周辺の糞害対策として、歩道等の路面清掃を地元自治協力団体と協働し、高圧洗浄機やデッキブラシにより実施しているが、昨年度に引き続き今年度も台風・秋雨による降雨の影響と、ムクドリの撤退時期が重なり、汚れが目立たなかったため、現場確認及び自治協力団体との協議により中止した。

3　次年度以降の対策

全国的に抜本的な対処法が確立していないため、次年度以降についても、地元自治協力団体と議のうえ、引き続き追払い等を実施する方針で決定した。

事業名	交通遺児支援事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-03
款	02	総務費	当初予算額	219,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	219,000円
目	13	交通安全対策費	決算額	152,971円

事業の目的	交通遺児を扶養している方の経済的な支援を行い、交通遺児世帯の生活の安定を図る。 ※交通遺児 交通事故により死亡又は重い障害が残った父若しくは母又はこれに準ずる者に養育されている市内小・中学校に在学する者	事業の概要	交通遺児を扶養している方からの申請により、図書カードを支給する。 ・対象者調査（小中学校へ依頼） ・支給時期：12月 ・支給額：小学生 10,000円、 中学生 20,000円 ・支給方法：郵送（配達証明） ・基準日：9月1日

事業の実績・成果

交通遺児対象者を把握するため、市内小中学校へ調査を依頼し、対象者に加須市交通遺児支援基金を活用して図書カードを支給した。これにより、交通遺児の健全な育成と交通遺児を扶養する方の経済的な支援を行った。

1　事業内容

(1) 支援金（図書カード）

・小学生　10,000円分/1人

・中学生　20,000円分/1人

2　交通遺児人数及び支給額の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
小学生（人）	7	5	3	0	2
中学生（人）	2	2	4	7	5
支給額（円）（図書カード）	110,000	90,000	110,000	140,000	120,000

事業名	交通安全計画策定事業			
担当課	交通防犯課		総合振興計画コード	3121-01
款	02	総務費	当初予算額	66,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	66,000円
目	13	交通安全対策費	決算額	33,600円
事業の目的	本市における交通安全に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図るため、交通安全対策基本法に基づく加須市交通安全計画を策定する。	事業の概要	市、事業所、関係機関・団体、市民との協働により、第2次加須市交通安全計画を策定する。 （令和3年度から令和7年度まで5か年）	

事業の実績・成果

交通安全対策基本法第26条に基づき、平成28年9月に策定した第1次加須市交通安全計画（平成28年度から令和2年度まで）が計画期間満了となることから、これまでの取組結果や課題などを踏まえ、次期5年間の第2次加須市交通安全計画を策定した。

○交通安全計画期間

・第1次計画　平成28年度から令和2年度まで
・第2次計画　令和3年度から令和7年度まで

○主な策定経過

令和2年7月29日　交通安全計画庁内推進委員会書面開催
令和3年2月26日　政策会議において協議
令和3年3月19日　交通安全対策協議会において協議
令和3年3月22日　埼玉県知事あて意見照会
令和3年3月30日　「第2次加須市交通安全計画」策定

事 業 名		交通安全計画進行管理事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3121-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	264,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	264,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	78,065 円
事業の目的	本市における交通安全に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図るため、交通安全対策基本法に基づく加須市交通安全計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市交通安全対策協議会を開催し、交通安全対策の推進体制の強化を図るとともに、第1次交通安全計画の進行を管理する。 計画期間：平成28年度～令和2年度

事業の実績・成果

第1次交通安全計画に係る令和元年度の各取組の実績確認（照会）を行うとともに、交通安全計画庁内推進委員会及び交通安全対策協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行った。

また、交通安全対策協議会において各季の交通安全運動等に係る実施要綱（案）及び実施計画書（案）の協議を行った。

○交通安全計画庁内推進委員会

開 催 日 令和2年7月29日（書面開催）

○交通安全対策協議会

第1回

開 催 日 令和2年6月19日（書面協議）

内 容 ・夏の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

第2回

開 催 日 令和2年8月25日

出席委員数 9名

内 容 ・秋の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

・交通安全計画の令和元年度取組結果について

第3回

開 催 日 令和2年11月18日

出席委員数 11名

内 容 ・冬の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

第4回

開 催 日 令和3年3月19日

出席委員数 10名

内 容 ・春の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

・第2次加須市交通安全計画（案）について

事 業 名		交通安全団体活動支援事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3121-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	30,277,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	30,277,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	20,768,009 円
事業の目的	市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活を送れるようにするため、交通安全活動を行う団体を支援する。	事業の概要	・交通指導員協議会、交通安全母の会、交通安全協会等の円滑な活動を支援するため、補助金を交付するほか、交通指導員の報酬等の支給及び制服の貸与をする。	

事業の実績・成果

1　加須市交通指導員協議会の活動内容

市民が安全で安心して生活できるようにするために、新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で、朝の学童指導をはじめ、薄暮時街頭指導のほか、市のイベントや交通安全キャンペーン、子ども自転車運転免許事業への協力など、交通道徳の普及・高揚・啓発に努めた。

(1)朝の学童指導及び薄暮時街頭指導
(2)子ども自転車運転免許事業への協力
(3)交通指導員委嘱式及び新任者研修
(4)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加　　ほか

2　加須市交通安全母の会の活動内容

交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」をモットーに、子どもと高齢者の交通事故を防止するための各種交通安全啓発事業を実施し、交通事故のない、明るく住み良い地域社会づくりに寄与した。

(1)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加
(2)広報紙「加須市交通安全母の会だより」を発行
(3)各支部での交通安全啓発活動の実施
・小学校新入学児童に啓発品を配布（全支部）
・歩道橋に横断幕を設置し車両運転者への啓発を実施（騎西支部）
(4) 子ども自転車運転免許事業への協力

3　加須交通安全協会の活動内容

交通道徳の普及高揚と交通事故の防止を目的に、広報活動や啓発活動、道路反射鏡の点検及び清掃活動、交通関係功労者・団体・優良運転者の表彰、埼玉県交通安全協会の交通安全活動に関する協力、子ども自転車運転免許事業への協力等を行った。

4　交通安全団体への補助

交通安全団体に対して補助金を交付し、交通道徳の普及・高揚・啓発を促進することにより、市内の交通安全を図った。

・加須市交通指導員協議会補助金　　625,000 円
・加須市交通安全母の会補助金　　961,000 円
・加須交通安全協会補助金　　2,257,000 円

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.11 参照）

事業名	交通安全啓発事業			
担当課	交通防犯課		総合振興計画コード	3121-04
款	02	総務費	当初予算額	1,641,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	1,641,000円
目	13	交通安全対策費	決算額	1,256,338円

事業の目的	市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	事業の概要	・各種交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加･実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。

事業の実績・成果

1　加須市内の交通事故年別推移

	人身事故			物損事故
	件数(件)	死者数(人)	傷者数(人)	件数(件)
平成28年	374	4	485	2,211
平成29年	416	4	531	2,330
平成30年	376	8	431	2,257
令和元年	300	5	359	2,308
令和2年	240	2	305	2,045

加須警察署調べ（捜査状況等により数値の変動あり）

2　子ども自転車運転免許事業の実施

加須警察署や教育委員会、市内交通関係団体等と連携・協力し、市立各小学校4年生を対象に、安全講習、学科試験、実技試験を実施するものであるが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度限りで実技試験を家庭での継続的な指導により代替できる措置が認められたため、事業は市内全小学校で実施したが、実際に実技試験を実施したのは市立小学校22校中9校にとどまった。この事業により、交通ルールをはじめ、自転車の安全な乗り方などを指導し、子どもの自転車の交通事故防止を図った。

3　中学生交通安全講習会の実施

中学生自らが自転車に乗る際の交通ルールの習得を行うことによって、自転車乗車等に対する安全意識やマナーを学び、交通安全意識を高め、交通事故に遭わない、起こさないように心掛けてもらうことを目的に、市立各中学校1年生を対象とした交通安全講習会を実施した。

4　参加・実践型高齢者交通安全教室

令和2年度に予定していた交通安全教室は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

本来であれば、埼北自動車学校及び加須警察署、あいおいニッセイ同和損保の協力・指導のもと、参加・実践型の高齢者交通安全教室を年4回開催し、加須市内の老人クラブ会員、シルバー人材センター会員、一般公募からの参加者が、加齢に伴う反射能力、身体能力の認識の衰えを確認することにより、高齢者の交通事故防止を図る予定であった。

5　各種交通安全啓発活動

春、秋の全国交通安全運動及び夏、冬の交通事故防止運動等で、交通安全を呼びかける啓発品を配布し、交通事故防止を促した。

交通弱者である子どもや高齢者の交通事故防止を図るため、新入学児童に交通安全教育教本を配布し、また、敬老会の記念品に同封して高齢者交通安全啓発チラシを配布したほか、老人クラブのグラウンド・ゴルフ大会においてもチラシを配布した。

事 業 名		交通安全施設整備事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3122-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	30,576,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	30,576,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	26,995,369 円

事業の目的	市民が交通事故に遭わないようにするため、交通安全施設の整備を図る。 また、交通事故の防止を図るため、緊急に通行の安全を確保する必要性の高い危険箇所について緊急対策としての局部的かつ応急的な工事を実施する。	事業の概要	・自治協力団体の要望等があった箇所について市基準に基づき道路反射鏡や路面標示等の交通安全施設工事を実施する。また施設の修繕、維持管理を実施する。 ・事故多発箇所や死亡事故発生箇所については、加須警察、行田県土、庁内関係各課で構成されている加須市道路交通環境安全推進連絡会議に諮り、交通安全対策を実施する。

事業の実績・成果

交通安全上危険な箇所や交通事故多発地点について交通安全施設等(道路反射鏡、路面標示、道路照明灯)を整備することにより、交通安全の注意を喚起し、交通事故防止を図った。

1　道路反射鏡新設
　17 基、　3,201,000 円
2　道路反射鏡修繕
　83 基、　6,901,400 円
3　路面表示等設置
　34 箇所、8,780,200 円
4　道路照明灯修繕
　61 基、　1,872,719 円

【交通安全施設の整備状況】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
道路反射鏡新設（基）	35	22	19	23	17
道路反射鏡修繕（基）	58	55	85	107	83
路面標示等設置（箇所）	41	39	41	53	34
道路照明灯修繕（基）	42	32	57	57	61

○加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金　　732,400 円
補助対象団体　　加須交通安全協会（年 3 回実施）
趣　　旨　　市内に設置された道路反射鏡を常に良好な状態に保つことにより、市内の交通安全を図るため、道路反射鏡の点検及び清掃活動を行う加須交通安全協会に対し、加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金交付要綱に基づき活動費補助金を交付。

事 業 名		交通安全施設整備事業【繰越明許】		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3122-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	407,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	407,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	407,000 円

事業の目的	市民が交通事故に遭わないようにするため、交通安全施設の整備を図る。 また、交通事故の防止を図るため、緊急に通行の安全を確保する必要性の高い危険箇所について緊急対策としての局部的かつ応急的な工事を実施する。	事業の概要	・自治協力団体の要望等があった箇所について市基準に基づき道路反射鏡や路面標示等の交通安全施設工事を実施する。また施設の修繕、維持管理を実施する。 ・事故多発箇所や死亡事故発生箇所については、加須警察、行田県土、庁内関係各課で構成されている加須市道路交通環境安全推進連絡会議に諮り、交通安全対策を実施する。

事業の実績・成果

【令和元年度から令和２年度へ繰越を行った理由】

保育園児を中心とした子どもが日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を、市内公立・私立全ての保育所、認定こども園等（合計３０施設）において実施し、点検の結果、対応すべき箇所の交通安全対策の工事で、令和元年度中の工事予定でしたが、加須農林振興センターの会の川の護岸工事に伴う舗装工事が令和２年４～５月に施工されることになったため、本工事は舗装工事完了後に実施することから繰越を行った。

事 業 費　　１件　　407,000 円
〔内 訳〕
工 事 費　　１件　　407,000 円

事 業 名		放置自転車対策事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3122-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,424,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,424,000 円
目	13	交通安全対策費	決 算 額	1,040,264 円

事業の目的	通行の安全と良好な生活環境を保持するため、加須駅、花崎駅、柳生駅、新古河駅周辺の自転車放置整理区域内における放置自転車の対策を行う。	事業の概要	・自転車放置整理区域内の放置自転車の監視、指導、整理及び引渡し業務の委託を行う。 ・放置自転車の撤去、運搬、処分業務の委託を行う。 ・花崎駅北口西有料自転車駐車場運営業務を行う。（月：1,200 円、2 段ラック式：374 台） ・自転車駐車場の指導、整理業務の委託を行う。

事業の実績・成果

歩行者の安全な通行の確保と良好な生活環境の保持を図った。

1　放置自転車監視・指導・整理・引渡し業務委託（加須駅・花崎駅）　714,758 円
（毎週月、水、金曜日、午前 7 時～8 時、4 名立哨）

2　放置自転車撤去・移送業務委託（加須駅・花崎駅）　17,787円
（一斉撤去　4 回・49 台、臨時撤去 6 台）

3　花崎駅北口西自転車駐車場（有料）監視・指導・整理業務委託　135,549円
（毎週月、水、金曜日、午前 7 時～8 時、1 名立哨）

4　放置自転車売却処分　売却処分 80 台　売却代金　880 円

5　有料自転車駐車場利用状況　利用者 199 人　使用料　1,923,600 円

6　放置自転車監視・指導業務委託（柳生駅）　68,120円
（月～金曜日 午前 7 時～8 時、土曜日 午前 8 時～9 時、1 名立哨）

【放置自転車撤去・処分台数の推移】　（単位：台）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
撤 去 台 数	214	186	259	74	55
売却処分台数	160	108	161	138	80

【花崎駅北口西自転車駐車場(有料)の利用状況】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
使用料（円）	2,401,200	2,667,600	2,410,800	2,415,600	1,923,600
利用者数（人）	231	261	250	245	199

事 業 名		自主防犯活動組織育成・支援事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3111-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	635,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	635,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	180,075 円
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、防犯組織の体制を整備する。		事業の概要	・地域防犯力を強化するため、自主防犯組織の結成及び活動を支援する。 ・自主防犯組織への支援として、補助金を交付する。（設立:上限 50,000 円、ﾊﾟﾄﾛｰﾙ経費：1 年目 2/3・上限 30,000 円、2 年目以降 1/2・上限 15,000 円）

事業の実績・成果

1　自主防犯組織設立の促進

新たに自主防犯組織の設立について検討している自治協力団体に対して、随時アドバイス等を行い、組織の増加に努めた。

○ 令和 2 年度 新規設立団体数：2 団体
- 牛重下自主防災防犯会（令和 2 年 4 月 1 日設立）
- 牛中防災防犯会（令和 2 年 4 月 1 日設立）

○自主防犯組織数の推移　（単位：団体）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
組織数	127	131	134	137	139

2　自主防犯組織活動費補助金の交付

自主防犯組織に対して補助金を交付し、地域における自主防犯意識の向上や組織活動の活性化を促進した。

○令和 2 年度 補助金交付団体数：10 団体
○令和 2 年度 補助金交付金額：125,700 円

事 業 名		防犯のまちづくり推進計画進行管理事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3112-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	76,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	76,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	41,236 円
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく安全で安心して生活を送ることができる犯罪のない地域社会を実現するため、防犯のまちづくり推進計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会を開催し、推進体制の強化を図るとともに、計画の進行管理を行う。 第 2 次計画期間：平成 29 年～令和 3 年度

事業の実績・成果

第 2 次みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画に係る令和元年度の各取組の実績確認（照会）を行うとともに、みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行った。

○みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会
- 開　催　日　令和 2 年 8 月 19 日
- 出席委員数　13 名
- 内　　容　第 2 次加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の取組結果について

事業名	防犯啓発事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	3112-03
款 02	総務費	当初予算額	5,206,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	5,206,000円
目 14	市民生活費	決算額	5,200,000円
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、「自分たちの地域は自分たちで守る」という防犯意識を高揚する。	事業の概要	・犯罪発生状況や防犯情報等をホームページや広報紙に掲載するとともに、防災行政無線での呼びかけ、さらに「かぞホッとメール」にて配信し、防犯意識の高揚を図る。 ・暴力団排除条例に基づいて、啓発活動を行う。 ・加須市地域安全・暴力排除推進大会を開催する。

事業の実績・成果

1　加須市内の犯罪発生件数の推移　（単位：件）

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
刑法犯総数	669	678	744	614	556
侵入盗計	113	105	98	61	84
街頭犯罪計	193	189	243	153	126

※侵入盗：空き巣・忍び込み・事務所荒しなど
※街頭犯罪：自転車盗・車上狙い・ひったくり・自販機ねらいなど

2　防犯情報の提供
・毎月、広報紙及びホームページに犯罪発生件数と犯罪の防止方法等を掲載
・「かぞホッとメール」及び防災行政無線による犯罪及び防犯に関する情報の提供

3　加須市防犯協会・加須市暴力排除推進協議会への補助
地域防犯活動を効果的に推進するとともに、全市民の防犯思想の高揚を図り、もって犯罪のない明るい社会の構築に寄与することを目的とする加須市防犯協会と、徹底した暴力排除活動を展開し、暴力のない明るく住みよいまちづくりを推進することを目的とする加須市暴力排除推進協議会へ補助金を交付し、市民の防犯意識の高揚に努めた。
・加須市防犯協会補助金　4,861,000円
・加須市暴力排除推進協議会補助金　339,000円

4　加須市地域安全・暴力排除推進大会の開催
令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年11月9日に加須市地域安全・暴力排除推進大会は開催せず、表彰式のみの開催とした。本大会では、例年、パストラルかぞ小ホールにおいて、加須市の地域安全活動に貢献された方々の各種表彰や、埼玉県警察防犯指導班「ひまわり」による防犯教室を開催している。
暴力排除ポスターカレンダーを3,100部作成し、市内公共施設、加須市商工会や自治協力団体等に配布し、啓発を行った。

事業名	かぞホッとメール配信事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	3112-04
款 02	総務費	当初予算額	1,952,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	1,952,000円
目 14	市民生活費	決算額	1,935,965円
事業の目的	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して行政情報の提供を行い、市民との情報の共有化を図る。	事業の概要	安全安心情報、子育て情報、イベント情報、就業支援情報、幼稚園・小・中学校・保育園からの情報、職員の緊急招集等のメール配信を行う。 また、登録者数の拡大のため、市HPや広報紙に利用案内を掲載するとともに、市転入者にチラシを配布する。

事業の実績・成果

子どもたちをはじめ、市民の皆さんが犯罪に巻き込まれない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、登録者の携帯電話やパソコンに、電子メールにて安全安心情報(犯罪情報など)を配信し、子どもたちを犯罪から守る、犯罪対策などとして実施した。また、子育て情報・イベント情報・就業支援情報を各担当課からそれぞれ配信した。

さらに、市報に年5回、かぞホッとメールの広報記事を掲載し、登録者の拡大に努めた。

○メール配信サービス事業の登録者数・情報配信数

【メール配信サービス事業の登録者数】 (単位:人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
安全安心情報	4,858	5,609	5,847	6,954	7,722
子育て情報	1,893	2,085	2,252	2,362	2,577
イベント情報	1,724	1,962	2,086	2,216	2,315
就業支援情報	567	638	659	700	739
職員緊急招集	719	689	703	679	669
小学校(幼稚園含)	9,074	9,031	9,238	9,231	9,411
中学校	3,751	3,555	3,901	3,924	4,318
保育所	356	329	338	420	577
延べ登録者数	22,942	23,898	25,024	26,486	28,328
実登録者数	13,475	14,279	15,090	16,208	17,891

【メール配信サービス事業の情報配信数】 (単位:件)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
安全安心情報	285	235	342	284	350
子育て情報	425	458	482	487	119
イベント情報	60	31	47	66	0
就業支援情報	9	12	18	9	9
合計数	779	736	889	846	478

事業名	防犯施設維持管理事業		
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	3113-01
款 02	総務費	当初予算額	69,202,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	69,202,000円
目 14	市民生活費	決算額	58,962,935円

事業の目的	事業の概要
防犯環境の向上を図るため、犯罪が発生しにくい環境づくりを進める。	・防犯上必要な箇所に順次、LED タイプの防犯灯を設置する。 ・防犯灯の修繕、維持管理を実施する。 ・防犯灯の LED 化平成 30 年度達成。 ・騎西地域防犯灯を LED 灯具へ交換する。 ・防犯カメラの設置及び維持管理 ・防犯カメラ設置費補助事業の実施

事業の実績・成果

自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置、騎西地域の防犯灯の LED 灯具への交換修繕、及び既設防犯灯の適切な維持管理を実施した。

1　防犯灯新設

・自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置
　54 基、1,237,474 円

2　防犯灯修繕

（1）騎西地域の防犯灯の LED 灯具への交換（令和元年度から令和 3 年度までの 3 か年計画）
　750 基　18,969,500 円

（2）既設防犯灯の維持管理（故障等対応）
　202 基、4,019,880 円

【防犯灯の整備状況】　（単位：基）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
防犯灯新設	120	79	72	117	54
防犯灯修繕	2,194	2,181	1,954	685	952

3　交通防犯施設（防犯灯・道路照明灯・道路反射鏡）管理システム
　（5 年長期継続契約　令和 2 年 2 月～）

（1）交通防犯施設管理システム保守管理委託　539,000 円

（2）交通防犯施設管理システム賃貸借　534,600 円

4　電気料　33,426,953 円

【電気料の推移】　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
電気料金	38,705,209	40,105,776	40,192,175	36,791,643	33,426,953

事 業 名		空家等対策計画策定事業			
担 当 課		交通防犯課		総合振興計画コード	3114-01
款	02	総務費		当 初 予 算 額	105,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	105,000 円
目	14	市民生活費		決 算 額	48,000 円
事業の目的	本市が取り組むべき空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき空家等対策計画を策定する。		事業の概要	本市の空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、第 2 次加須市空家等対策計画を策定する。（令和 3 年度から令和 7 年度まで 5 か年）	

事業の実績・成果

空家等対策の推進に関する特別措置法第 6 条に基づき、平成 28 年 9 月に策定した第 1 次加須市空家等対策計画（平成 28 年度から令和 2 年度まで）が計画期間満了となることから、これまでの取組結果や課題などを踏まえ、次期 5 年間の第 2 次加須市空家等対策計画を策定した。

○空家等対策計画期間
- 第 1 次計画　平成 28 年度から令和 2 年度まで
- 第 2 次計画　令和 3 年度から令和 7 年度まで

○主な策定経過
令和 3 年 2 月 12 日　政策会議において協議
令和 3 年 2 月 25 日　空家等対策庁内推進委員会において協議
令和 3 年 3 月 15 日　空家等対策協議会において協議
令和 3 年 3 月 24 日　「第 2 次加須市空家等対策計画」策定

事 業 名		空家等対策計画進行管理事業			
担 当 課		交通防犯課		総合振興計画コード	3114-02
款	02	総務費		当 初 予 算 額	105,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	105,000 円
目	14	市民生活費		決 算 額	0 円
事業の目的	本市が取り組むべき空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく加須市空家等対策計画の進行を管理する。		事業の概要	加須市空家等対策協議会を開催し、空家等対策の推進体制の強化を図るとともに、第 1 次空家等対策計画の進行管理を行う。 計画期間：平成 28 年度～令和 2 年度	

事業の実績・成果

第 1 次空家等対策計画に基づき、空家等対策に対する基本方針等の取組を推進していくため、空家等対策庁内推進委員会及び空家等対策協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行うとともに、第 2 次空家等対策計画策定のための協議などを行った。

○空家等対策庁内推進委員会
開 催 日　令和 3 年 2 月 25 日
内　　容　・第 1 次加須市空家等対策計画の取組状況について
　　・第 2 次加須市空家等対策計画（案）について　　など

○空家等対策協議会
開 催 日　令和 3 年 3 月 15 日
出席委員数　13 名
内　　容　・空家等実態調査結果の概要（報告）
　　・第 1 次加須市空家等対策計画の取組状況について
　　・第 2 次加須市空家等対策計画（案）について

事 業 名		空家等実態調査把握事業			（総合戦略）
担 当 課		交通防犯課		総合振興計画コード	3114-03
款	02	総務費		当 初 予 算 額	787,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	787,000 円
目	14	市民生活費		決 算 額	711,400 円
事業の目的	実効性のある空家対策の推進を行うため、市内に存在する空家等について把握し、最新の空家等の情報を管理する。		事業の概要	・空家等の実態調査を行い、空家の状況を把握する。 ・使用状況や意向確認をするためのアンケート調査を実施する。 ・空家データベースによる情報の一元管理を行う。	

事業の実績・成果

令和２年4･5月　令和元年12月１日を基準日として行った空家等実態調査（第５回）で、新たな空家等の可能性がある家屋（87戸）のうち、賃貸・売却用の物件や既に利活用されていたもの等（22戸）を除く、65戸の所有者等に対して、利用状況や今後の利活用の意向等を確認するためのアンケートを行った。

令和２年12月　自治協力団体と連携し、令和２年12月１日を基準日として市内全域の空家等実態調査（第６回）を実施した。
※令和２年８月～10月　「問題なし」空家について、空家の状況や管理状態などの確認をシルバー人材センターへ業務委託

アンケート及び実態調査の結果を反映した令和２年12月１日時点での空家等の数は844戸（前年調査比△7戸）であった。

通　　年　空家等管理システムに登載された空家等情報の更新等

事 業 名		空家等解消対策事業			（総合戦略）
担 当 課		交通防犯課		総合振興計画コード	3114-04
款	02	総務費		当 初 予 算 額	341,000 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	341,000 円
目	14	市民生活費		決 算 額	37,850 円
事業の目的	周囲への生活環境に悪影響を及ぼす管理不全な空家や活用可能でありながら放置されている空家を解消する。		事業の概要	・特定空家等を含む管理不全な空家等の所有者等に対する適正管理指導を実施する。 ・空家バンクによる空家の活用促進を図る。 ・空家等所有者を特定するための確認調査を行う。	

事業の実績・成果

令和２年5･6･7月　令和元年12月１日を基準日として行った空家等実態調査（第５回）における「問題あり」空家（特定空家等含む）73戸のうち、改善されたものや個別対応しているもの等を除く54戸に対し、時期も踏まえて指導書（特定空家等）及び適正管理のお願い（特定空家等を除く）の文書を一斉送付（一部訪問等）した。
※なお、送付にあたっては、平成28年４月にシルバー人材センターと締結した協定に基づき、シルバーふるさと空き家管理のチラシのほか、管理・活用のためのリーフレットや空家バンクの案内、啓発チラシ等を同封した。

→ 令和２年12月の空家等実態調査（第６回）までに取壊しも含め改善等が行われた「問題あり」空家が５戸あった。

令和２年11月～令和３年２月
数次相続などにより複雑化している空家等の所有者を特定するための業務委託を行った。（1件）

通　　年　・周辺住民や空家等所有者等からの相談等の対応
・空家バンクの運用〈登録等の状況〉
通算物件登録数７件（前年度比＋5）、通算利用登録数22件（前年度比＋19）
令和２年度　成約件数３件（前年度比＋3）、交渉申込数７件（前年度比＋6）、相談件数41件（前年度比＋23）

【新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止（申込取下げ含む）】
・空家等対策において協定を締結している「公益社団法人全日本不動産協会埼玉県本部大宮支部」と連携し実施している各分野の専門家に無料で相談できる相談会
・各地域のまつり会場での空家相談等
・空家予防のための相続おしかけ講座

事 業 名		交通災害共済事業		
担 当 課		交通防犯課	総合振興計画コード	3124-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,621,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,621,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	1,223,725 円
事業の目的	埼玉県総合事務組合が運営する市町村交通災害共済を活用し、交通事故により災害を受けた方又はその遺族を救済する。		事業の概要	・埼玉県市町村総合事務組合による交通災害共済への加入を促進する。 ・交通事故で災害を受けた加入者又はその遺族に対し共済見舞金を支給する。

事業の実績・成果

交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故により災害を受けた方を救済するため、自治協力団体の協力を得て、交通災害共済への加入を促進した。

また、日常生活に困窮している方の経済的負担の軽減を図るため、交通災害共済加入費の一部を助成した。

1　加入者数（加入費：一般：900 円／1 人・中学生以下：500 円／1 人※令和元年度から一律 500 円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
件数（人）	13,704	12,617	11,590	12,706	13,077
加入率（%）	12.0	11.1	10.24	11.3	11.6

2　見舞金支払状況

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
件数（人）	93	78	64	91	51
金額（円）	6,045,000	6,027,000	4,399,000	5,846,000	2,984,000

3　日常生活に困窮している方に対する助成状況（助成額　300 円／1 人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
件数（人）	144	105	47	101	97
金額（円）	43,200	31,500	14,100	30,300	29,100

4　自治協力団体加入取りまとめの報償金（報償金額　30 円／1 人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
件数（人）	11,128	10,153	9,031	9,695	10,229
金額（円）	333,840	304,590	270,930	290,850	306,870

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P. 11 参照）。

事業名	消費者自立・支援事業			
担当課	市民相談室		総合振興計画コード	3161-01
款	02	総務費	当初予算額	5,718,000円
項	01	総務管理費	最終予算額	6,068,000円
目	14	市民生活費	決算額	4,766,405円
事業の目的	消費者の権利の尊重及びその自立の支援を推進し、安全で安心した消費生活の確保及び向上を図る。	事業の概要	消費生活センターに専門職である消費生活相談員を配置し、消費生活トラブル等の相談を市民から受け、助言やあっせんを行うとともに、消費者の自立を支援する。なお、本庁舎へ相談に来られない方には、予約制により、相談員が総合支所へ出張する体制を整えている。 また、消費者団体くらしの会の自主的な消費者活動を支援する。	

事業の実績・成果

1　消費生活講座等

新型コロナウイルス感染症の影響により、消費者団体との共催による消費生活講座等を実施できなかった。

・消費者団体「加須市くらしの会」への補助金

消費生活の改善・向上を図るとともに、生産者・販売者・消費者相互の意思疎通を図り、地域社会の円滑な発展に資するため、268,000円を交付し、消費生活に対する意識向上に繋がった。

会員数：189人

2　消費者被害を未然に防ぐ啓発活動

消費者被害を広く市民に周知し、悪質商法等の被害を未然に防ぐ啓発に努めた。

・市広報紙等に事例及び対策を掲載
・敬老会対象者への啓発チラシ配布
・新型コロナウイルス感染防止のため、加須市在住の埼玉県消費者被害防止サポーターとの協働による啓発活動を中止

消費者被害防止啓発クリアホルダー	132,000円
消費者被害防止啓発リーフレット	159,720円
消費者被害防止啓発チラシ印刷	43,560円

3　加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議

高齢者、障がい者及び認知症等により判断能力が不十分となった方の消費者被害を防止するため、加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を活用し、関係機関との連携により消費者被害救済に努めた。

4　消費生活相談

本庁舎では月曜日から金曜日に、また、各総合支所では事前予約により、消費生活相談員が市民の様々な消費生活に係る相談を受け、適切な助言及びあっせん等を行い、消費者の悩みや不安解消に努めた。

・消費生活相談員報酬　3,076,064円

消費生活相談の取引形態別相談件数　　（単位：件）

区　　分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
苦情相談件数	店舗購入	165	141	144	163	105
	訪問販売	53	61	60	88	71
	マルチ販売	6	2	9	3	2
	電話勧誘販売	23	32	39	43	32
	通信販売	148	127	145	167	217
	ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞｵﾌﾟｼｮﾝ	3	12	1	7	7
	訪問購入	1	2	1	5	4
	その他無店舗販売	6	3	4	4	1
	不明無関係	39	147	416	240	153
小　計		444	527	819	720	592
問い合わせ件数		28	14	24	16	61
合　計		472	541	843	736	653

5　消費生活相談弁護士

消費生活相談員が法律等の改正や相談内容の複雑化等に対処するため、月1回、弁護士からの助言を受け、相談への適切な助言及びあっせんを行った。

・弁護士謝金　　360,000円

消費生活相談弁護士への相談件数　　（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
相談件数	36	49	59	58	70

6　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊P.12参照）。

事 業 名		消費者教育推進事業		
担 当 課		市民相談室	総合振興計画コード	3161-03
款	02	総務費	当 初 予 算 額	356,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	356,000 円
目	14	市民生活費	決 算 額	0 円
事業の目的	消費者が自らの利益の擁護及び増進のため、自主的かつ合理的に行動することができるよう、その自立を支援するため消費生活に関する教育を行う。		事業の概要	市立全中学校８校で小学６年生と当該保護者及び中学３年生を対象とした消費者教育、高齢者を対象とした講座、高齢者を見守る民生委員及び高齢者相談センター職員等を対象とした消費生活レベルアップ講座を実施する。

事業の実績・成果

1　若年者対象消費生活講座

・ 新型コロナウイルス感染防止のため、市立中学校８校の３年生を対象とした消費生活講座を中止したが、啓発品を配付して、消費者トラブルの未然防止を図るとともに消費者問題に対する意識の醸成を図ることができた。

・ 新型コロナウイルス感染防止のため、市立中学校８校の入学説明会における小学６年生及び当該保護者を対象とした消費者教育（ＤＶＤ視聴）を中止したが、啓発品を配付して、消費者トラブルの未然防止を図るとともに消費者問題に対する意識の醸成を図ることができた。

2　民生委員・児童委員対象消費生活講座開催

高齢者を見守る民生委員・児童委員を対象とし、消費生活相談員が講師を務め、高齢者に多い消費者トラブルの事例や見守るポイントなどの講話を行い、消費者トラブルの未然防止や消費者問題に対する関心を高めることができた。

対　象：民生委員・児童委員　　76 人

3　高齢者対象消費生活講座

新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者ふれあいサロン活動を自粛していることから、高齢者対象消費生活講座を中止した。

事業名	市民相談事業				
担当課		市民相談室		総合振興計画コード	6211-04
款	02	総務費		当初予算額	3,492,000円
項	01	総務管理費		最終予算額	3,492,000円
目	14	市民生活費		決算額	3,425,310円
事業の目的	市民が抱える様々な問題について解決を図り、安心して生活が送れるよう支援する。		事業の概要	市民相談は本庁舎で毎日、合同相談は市民プラザかぞで月１回、弁護士法律相談は本庁舎で月２回、各総合支所で各々月１回開催する。	

事業の実績・成果

1　市民相談

本庁舎では月曜日から金曜日に、家庭や日常生活上における心配ごとやトラブル等に関する相談や行政への相談等を受け、助言や情報提供等を行い、市民の悩み解消と諸問題の早期解決に努めた。

市民相談の相談項目別件数　（単位：件）

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
行政への要望・照会等	12	33	21	22	33
土地・建物（借地・売買）	8	29	25	25	21
金銭貸借・保証	4	5	6	6	1
交通事故	4	6	3	1	3
離婚・婚約不履行	9	7	14	8	14
相続・贈与・遺言	44	31	43	30	16
家庭問題	25	31	59	27	38
近隣関係	13	32	36	29	27
労働	5	10	18	13	5
その他	85	92	103	73	61
合計	209	276	328	234	219

2　弁護士法律相談

身近なところで法律相談が受けられるよう、予約制で無料の弁護士法律相談を、本庁舎においては月２回、騎西・北川辺・大利根総合支所においては各々月１回開催し、適切な助言等を行った。また、予約については、庁内ネットワークにより情報の共有を図り、本庁舎・各総合支所のいずれからでも予約を可能としている。

新型コロナウイルス感染防止のため、令和２年４月 15 日から令和２年５月 29 日の間、電話相談に変更して実施した。

・弁護士謝金　3,330,000 円　（内訳）　1,800,000 円　本庁舎
540,000 円　騎西総合支所
450,000 円　北川辺総合支所
540,000 円　大利根総合支所

弁護士法律相談の相談項目別件数　（単位：件）

区　　分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
不動産	26	38	43	35	39
借地借家	20	17	14	19	16
金銭貸借	29	17	28	32	26
損害賠償	22	14	19	15	8
交通事故	12	18	7	8	8
供　託	1	0	0	0	0
商　事	1	1	1	0	1
離　婚	72	66	59	67	69
相　続	90	102	90	100	95
贈　与	3	4	1	1	1
遺　言	2	5	7	2	4
家庭問題	40	21	29	19	26
行政･労働･公害･刑事	16	24	19	13	18
その他	64	65	75	93	78
合　計	398	392	392	404	389

3　合同相談

行政相談委員、司法書士、税理士、不動産相談員、行政書士の協力により、市民プラザかぞにおいて、月１回無料合同相談所を開設し、問題の解決に向けた適切な助言等を行った。また、人権相談（人権・男女共同参画課）及び臨床心理士による「こころの相談」（健康づくり推進課）も併せて実施。

新型コロナウイルス感染防止のため、令和２年５月、令和２年６月、令和３年２月及び令和３年３月は中止し、令和２年12月は時間を短縮して実施した。

・合同相談会場（市民プラザ）借上料　　17,200円

合同相談の相談項目別件数　　（単位：件）

区　　分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
行政相談	－	5	3	3	2
不動産(賃貸借・売買・登記)	36	36	45	42	15
税	－	14	25	30	20
近隣問題	－	6	2	1	1
金銭貸借	3	－	－	－	－
交通事故	0	－	－	－	－
離婚等	1	1	0	4	1
相続登記等	56	45	60	78	25
家庭問題	12	19	5	2	0
労働	0	－	－	－	－
こころ	18	15	9	11	5
その他	22	16	37	12	6
合　　計	148	157	186	183	75

※人権擁護委員・同和問題相談員及び臨床心理士の相談件数も含む。

※平成29年度から分類を一部変更

事 業 名	コミュニティセンター管理運営事業			
担 当 課	市民協働推進課		総合振興計画コード	6134-07
款	02	総務費	当 初 予 算 額	60,254,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	63,444,000 円
目	15	コミュニティセンター費	決 算 額	55,783,845 円
事業の目的	地域コミュニティ活動を推進するため、拠点施設として多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。	事業の概要	・加須、不動岡、三俣、川口、花崎、南篠崎、種足、原道外、市内コミュニティセンターの適正な管理及び維持補修を行う。 ・施設の貸出業務を行う。	

事業の実績・成果

地域のコミュニティ活動の推進を図るため、様々な活動に利用できるよう各コミュニティセンターの適切な管理・運営を行った。

1　コミュニティセンター別管理運営経費　（単位：円）

	合計	光熱水費	修繕料	手数料	委託料	工事請負費	その他（消耗品費、燃料費等）
加　須	2,649,316	600,723	189,860	364,126	981,970	0	512,637
不動岡	3,872,668	1,890,496	306,350	570,487	741,840	0	363,495
三　俣	5,731,459	69,400	118,360	2,279,926	2,569,424	0	694,349
川　口	3,013,708	1,065,016	377,190	485,652	904,750	0	181,100
花　崎	4,736,746	1,554,141	623,334	529,357	1,621,254	0	408,660
南篠崎	4,092,947	1,098,668	165,000	414,352	2,136,566	0	278,361
騎　西	2,162,949	0	0	0	2,095,291	0	67,658
種　足	371,940	128,981	132,110	15,400	0	0	95,449
鴻　茎	761,159	299,870	322,960	16,500	0	0	121,829
高　柳	1,618,743	433,267	304,700	154,100	625,284	0	101,392
原　道	2,458,747	1,246,329	321,530	222,700	360,319	0	307,869
豊　野	5,723,956	763,412	2,323,200	817,980	1,720,354	0	99,010
合　計	37,194,338	9,150,303	5,184,594	5,870,580	13,757,052	0	3,231,809

2　主な経費の内訳

・修繕費　内訳

加須…　189,860 円（非常用照明交換工事、誘導灯修繕工事）
不動岡…　306,350 円（空調ドレンポンプ交換工事、受水槽廻り漏水修繕工事他）
三俣…　118,360 円（浄化槽吸引ポンプ逆止弁交換工事、漏水修理工事）
川口…　377,190 円（誘導灯交換工事、浄化槽散気調整管修繕工事）
花崎…　623,334 円（非常用照明交換工事、会議室 3,4 巾木取付修繕工事他）
南篠崎…　165,000 円（非常用照明交換工事、階段踊り場照明器具修繕）
種足…　132,110 円（外灯修繕）
鴻茎…　322,960 円（外灯修繕、ホールエアコン修繕、廊下床修繕他）
高柳…　304,700 円（火災報知設備火災受信機交換修繕、ホールエアコン修繕）
原道…　321,530 円（入り口扉硝子修繕、浄化槽ブロア及び放流ポンプ修繕）
豊野…　2,323,200 円（駐車場舗装修繕、トイレ排水詰まり修繕）

・備品購入費　内訳

加須…　25,652 円（モップ、折りたたみ式座卓）
南篠崎…　29,700 円（業務用掃除機）
種足…　38,280 円（ガスコンロ）
鴻茎…　3,278 円（掛時計（ホール用））

高柳…　　2,178 円（掛時計（ホール用））
原道…　85,580 円（ガステーブル、ガス炊飯器）

3　利用者数・実稼働率の推移

（上段：利用者数（単位：人）／　下段：実稼働率（単位：%））

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
加　須	14,725	13,553	13,991	12,879	5,678
	34.0	30.5	32.1	28.6	21.1
不動岡	32,193	30,631	31,268	29,151	17,865
	58.1	53.1	49.8	49.8	37.4
三　俣	15,467	16,885	17,774	15,073	6,244
	40.2	40.3	42.8	40.9	28.2
川　口	19,502	21,987	19,385	17,373	7,169
	60.9	63.3	62.7	65.9	43.1
花　崎	33,869	35,298	35,129	41,308	16,303
	54.0	54.0	53.6	57.7	41.8
南篠崎	26,698	21,818	18,325	17,863	9,163
	19.0	15.1	13.5	13.6	10.4
騎　西	14,560	11,010	16,564	16,628	8,637
		1,227			
	15.6	13.0	24.3	21.4	31.5
		21.7			
種　足	1,144	1,840	1,137	1,199	171
	2.4	3.6	4.9	4.0	1.1
鴻　茎	4,824	5,296	3,539	2,458	1,350
	11.9	21.7	16.0	16.2	12.8
高　柳	7,020	9,599	6,125	5,206	2,315
	15.1	23.7	17.2	20.3	15.0
原　道	16,246	15,554	17,886	14,853	8,132
	29.2	27.7	50.7	46.0	41.9
豊　野	9,996	12,021	11,472	10,981	2,843
	11.0	12.6	21.0	22.1	6.7

＊騎西コミセン…平成 29 年度：上段は旧騎西コミセン（～2/28）下段は新騎西コミセン（3/1～）
＊実稼働率…年間総利用件数を、開館日数に部屋数と利用区分数 3 を掛けた数値で、除した割合。
【算出例】加須コミセン：年間総利用件数 1,133 件÷ 延開館日数 3,528 日＝0.3211≒32.1%

4　繰越明許　令和 2 年度から令和 3 年度へ繰り越す理由
・三俣コミュニティセンターインターロッキング舗装修繕工事 770,000 円
3 月補正による予算計上であるため、令和 2 年度内契約及び工事完了が困難であったため

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ　感染予防】を実施した（別冊 P.12 参照）。
緊急事態宣言の発出に伴い、次の期間において全館臨時休館とした。
期間：令和 2 年 4 月 6 日～5 月 31 日

事 業 名		（仮称）北川辺コミュニティセンター整備事業			
担 当 課		地域振興課（北川辺）		総合振興計画コード	6134-09
款	02	総務費		当 初 予 算 額	0 円
項	01	総務管理費		最 終 予 算 額	301,172,000 円
目	15	コミュニティセンター費		決 算 額	297,000 円
事業の目的	地域コミュニティ活動を推進するため、拠点施設として多くの市民が利用できるよう、施設の整備を行なう。		事業の概要	北川辺公民館等整備構想に基づき（仮称）北川辺コミュニティセンターを整備する。	

事業の実績・成果

北川辺公民館等整備構想の方針に基づき、老朽化した北川辺公民館を北川辺中学校校舎の一部に移転し、新たにコミュニティセンターを兼ね備えた複合施設として整備するための各種準備を行った。

1　中学校校舎の一部スペース（北川辺コミュニティセンター）のアスベストの含有を調査した。
・（仮称）北川辺コミュニティセンター整備工事アスベスト含有調査業務委託　297,000 円

2　北川辺コミュニティセンターの整備に当たり、建築課へ建築営繕業務の依頼を行い、次の業務を行った。
・（仮称）北川辺コミュニティセンター整備工事設計業務委託
（令和２年９月補正予算、令和３年度へ繰越明許、５月履行完了予定）

※　（仮称）北川辺コミュニティセンターの令和３年度の完成を目指すため、令和３年３月補正予算に工事費を計上し、令和３年度へ明許し繰り越した。

事 業 名		市民総合会館管理運営事業		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	6134-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	96,677,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	135,067,000 円
目	16	市民総合会館費	決 算 額	122,874,771 円
事業の目的	コミュニティ活動の推進のため、市民活動及び生涯学習活動の拠点施設である市民総合会館を適正に管理運営する。	事業の概要	多くの市民が安全安心に施設を利用できるよう、適正な管理運営を行う。	

事業の実績・成果

市民相互の交流、市民活動及び学習活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう適切な施設の管理運営を行った。

■　利用者数等の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数（人）	196,808	194,304	198,684	178,822	67,716
うち市民交流プラザ利用者数	129,727	130,147	136,055	120,508	38,396
利用件数（件）	10,459	10,203	10,457	9,614	5,469
実稼働率（%）	47.2	46.1	47.2	42.9	29.34
使用料（円）	9,543,950	9,727,650	9,298,000	8,002,600	4,505,850

【繰越明許　令和 2 年度から令和 3 年度へ繰り越す理由】
空調圧縮機交換修繕（繰越明許額　4,730,000 円）
　空調設備圧縮機修繕工事に必要な部品（圧縮機・過電流継電器）が在庫切れにより、受注生産となったため、令和 2 年度内の必要部品の納品が困難となったため

■新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ　感染予防】を実施した（別冊 P.13 参照）。
緊急事態宣言の発出に伴い、次の期間において臨時休館とした。
期間：令和 2 年 4 月 6 日～5 月 31 日

事 業 名		市民総合会館管理運営事業【繰越明許】		
担 当 課		市民協働推進課	総合振興計画コード	6134-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	1,980,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	1,980,000 円
目	16	市民総合会館費	決 算 額	1,980,000 円
事業の目的	コミュニティ活動の推進のため、市民活動及び生涯学習活動の拠点施設である市民総合会館を適正に管理運営する。		事業の概要	多くの市民が安全安心に施設を利用できるよう、適正な管理運営を行う。

事業の実績・成果

エレベータースモークガード交換修繕（繰越明許額　1,980,000 円）

火災が発生した際に、エレベーターシャフトを遮煙するための防火設備であるスモークガードの起動不良が定期点検により確認されたことによる交換修繕工事

事 業 名		市民平和祭開催事業		（総合戦略）
担 当 課		観光振興課	総合振興計画コード	5212-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	25,874,000 円
項	01	総務管理費	最 終 予 算 額	25,874,000 円
目	17	諸費	決 算 額	2,601,667 円
事業の目的	平和の尊さを再認識し、市民の平和意識の高揚を図るとともに、観光資源を活用し、交流人口の拡大に努め、地域の活性化を図る。		事業の概要	安全で安心できる平和な暮らしを願う「加須市民平和祭」を開催し、そのメインイベントとして「世界一のジャンボこいのぼり（全長 100m、重さ 330kg）の遊泳」を実施する。

事業の実績・成果

加須市民平和祭実施委員会部会長会議を開催し、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ中止となった。

開催日　令和２年３月３０日
（部会長１０人）

事業名	県収入証紙等売捌事業		
担当課	会計課	総合振興計画コード	6315-13
款 02	総務費	当初予算額	43,571,000円
項 01	総務管理費	最終予算額	43,571,000円
目 17	諸費	決算額	43,493,168円
事業の目的	市民の利便性の向上を図るため、パスポートの申請等に必要な県収入証紙の売り捌き、郵便切手類・収入印紙の販売を行う。	事業の概要	会計課及び各総合支所の窓口で県収入証紙の売り捌き、郵便切手類・収入印紙の販売を行う。 県収入証紙：1円、5円、10円、20円、50円、100円、200円、300円、400円、500円、600円、700円、800円、900円、1千円、2千円、5千円、1万円 印紙：100円、200円、500円、2千円、4千円、5千円、1万円 切手：2円、10円、50円、63円、84円、94円、100円、120円　はがき：63円、126円

事業の実績・成果

1　埼玉県収入証紙

市民等による申請や手数料納付に数量、券種不足により支障を来すことがないよう適切な管理を行った。

（1）年度別実績

【売捌手数料（歳入）】　808,814円

【売捌金額（歳入）】　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
売捌金額	11,573,390	11,465,310	10,948,030	12,780,950	16,297,700

【買受金額（歳出）】　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
買受金額	7,526,477	10,773,259	10,842,742	15,088,429	31,079,186

（2）令和2年度末在庫数

	1円	5円	10円	20円	50円	100円	200円	300円	400円
枚数（枚）	29	17	607	562	644	651	1,498	553	637
金額（円）	29	85	6,070	11,240	32,200	65,100	299,600	165,900	254,800
	500円	600円	700円	800円	900円	1千円	2千円	5千円	1万円
枚数（枚）	511	546	699	562	628	796	2,546	638	1,181
金額（円）	255,500	327,600	489,300	449,600	565,200	796,000	5,092,000	3,190,000	11,810,000
							合計	23,810,224円	

2　郵便切手類

郵便切手類の販売に当たっては、数量、券種不足により支障を来すことがないよう適正な管理運営を行った。

（1）年度別実績

【販売手数料（歳入）】　334,974 円

【販売金額（歳入）】　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
印　紙	25,924,380	25,316,100	26,849,200	27,854,300	3,488,700
切　手	86,208	108,370	143,170	165,843	150,391
はがき	1,092	81,680	137,392	146,734	131,922
合　計	26,011,680	25,506,150	27,129,762	28,166,877	3,771,013

【買受金額（歳出）】　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
印　紙	25,475,000	27,990,000	26,371,000	24,310,000	11,915,000
切　手	116,200	89,876	140,094	161,270	357,400
はがき	0	84,974	136,586	148,777	136,080
合　計	25,591,200	28,164,850	26,647,680	24,620,047	12,408,480

（2）令和 2 年度末在庫数

・収入印紙

	100 円	200 円	500 円	2,000 円
枚数（枚）	590	607	563	396
金額（円）	59,000	121,400	281,500	792,000
	4,000 円	5,000 円	10,000 円	合　計
枚数（枚）	737	425	496	3,814
金額（円）	2,948,000	2,125,000	4,960,000	11,286,900

・切　手

	2 円	10 円	50 円	63 円	84 円
枚数（枚）	1,016	866	18	428	1,337
金額（円）	2,032	8,660	900	26,964	112,308
	94 円	100 円	120 円	合　計	
枚数（枚）	299	501	227	4,692	
金額（円）	28,106	50,100	27,240	256,310	

・はがき

	63 円	126 円	合　計
枚数（枚）	67	18	85
金額（円）	4,221	2,268	6,489

事 業 名		固定資産評価審査委員会運営事業		
担 当 課		固定資産評価審査委員会	総合振興計画コード	6314-06
款	02	総務費	当 初 予 算 額	213,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	213,000 円
目	01	税務総務費	決 算 額	49,262 円

事業の目的	地方税法に基づき、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に対する審査申出の審査を行う。	事業の概要	地方税法に基づき、３人の委員で構成される委員会で、主に固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服審査の申出を受け、調査その他事実審査を行い、決定する。 また、行田市、羽生市固定資産評価審査委員会との研究会を開催する。

事業の実績・成果

令和２年度は、新たな審査申出はなかった。

行政不服審査法施行令の一部改正を踏まえ、固定資産評価審査委員会の行政手続きに係る押印の見直しの検討を行った。

・令和２年度審査申出件数：０件
・過年度継続審査件数：０件
・固定資産評価審査委員会の開催：３回
・行田市及び羽生市固定資産評価審査委員会と合同開催の研究会への参加
（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

事 業 名		市県民税賦課事業		
担 当 課		税務課	総合振興計画コード	6315-08
款	02	総務費	当 初 予 算 額	49,925,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	47,835,689 円
目	02	賦課徴収費	決 算 額	39,423,253 円
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、納税者等からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。	事業の概要	個人及び法人の課税客体を適切に把握し、公平かつ適正な賦課決定を行う。 また、未申告者の申告を促すとともに、扶養の確認等を行い、課税の公平性を確保する。	

事業の実績・成果

個人及び法人市民税の申告書等に基づき、適正な課税を行った。

確定申告受付会場において、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、住民税の申告書に返信用封筒を同封し、郵送による申告書の提出をお願いすることで、来場者数を減らし、混雑緩和を図った。

1　個人市民税

調定額の推移（単位：円）		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	普通徴収	1,133,249,066	1,133,031,936	1,142,077,503	1,115,441,683	1,122,810,810
	特別徴収	4,387,740,428	4,463,178,738	4,510,626,905	4,534,676,122	4,601,287,274
	合計	5,520,989,494	5,596,210,674	5,652,704,408	5,650,117,805	5,724,098,084
納税義務者数の推移(単位:のべ人数)		63,375	64,376	65,474	65,994	66,318

2　法人市民税

調定額の推移（単位：円）		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	均等割	310,848,000	319,570,800	322,828,600	335,503,600	328,940,700
	法人税割	521,557,100	619,655,000	606,802,800	726,525,400	503,101,700
	合計	832,405,100	939,225,800	929,631,400	1,062,029,000	832,042,400
法人数の推移（単位：社）		2,442	2,452	2,472	2,496	2,523

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.13参照）。

事 業 名		固定資産税賦課事業		
担 当 課		税務課	総合振興計画コード	6315-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	58,708,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	57,856,819 円
目	02	賦課徴収費	決 算 額	53,241,614 円
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努め、適正で公平な評価を行うとともに、関係法令に基づき、賦課・決定を行い、税収の確保を図る。		事業の概要	賦課期日（1 月 1 日）現在における固定資産に対し、固定資産評価基準に基づき、適正に評価を行い、所有者に固定資産税・都市計画税を賦課する。

事業の実績・成果

土地及び家屋の現況調査を実施し、適正な評価及び課税を実施した。

1　固定資産税・都市計画税の調定額の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
固定資産税	7,144,665,000	7,354,869,400	7,302,127,800	7,534,995,200	7,657,519,900
都市計画税	523,414,800	528,073,900	521,035,700	532,073,700	532,532,700
合　　計	7,668,079,800	7,882,943,300	7,823,163,500	8,067,068,900	8,190,052,600
納税義務者数(人)	45,962	46,221	46,468	46,760	47,039

2　土地（宅地）の状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
評価額（百万円）	347,399	347,968	354,245	354,657	354,985
総　筆　数（筆）	81,238	82,220	83,323	84,425	85,487
総 地 積（千㎡）	24,392	24,673	24,878	25,067	25,237
平均価格（円／㎡）	14,242	14,103	14,239	14,148	14,066

3　家屋の状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
評価額（百万円）	254,812	265,458	259,411	272,365	277,039
総　　数（棟）	63,078	63,343	63,630	63,900	64,189
うち、木造（棟）	52,244	52,404	52,605	52,797	52,997
うち、木造以外(棟)	10,834	10,939	11,025	11,103	11,192

4　登記情報のオンライン化の実施

登記所から送付される登記済通知書について、令和２年度より、従来の書面による収受から、登記情報システムの導入によるデータの収受（オンライン化）に移行したことにより、通知漏れによる賦課誤りの防止や手書きによる土地・家屋台帳の廃止等の事務作業の削減を図った。

令和２年度 登記済通知（表示・権利）件数	13,792 件

事業名	税務管理事業		
担当課	税務課	総合振興計画コード	6315-10
款 02	総務費	当初予算額	60,587,000円
項 02	徴税費	最終予算額	95,382,722円
目 02	賦課徴収費	決算額	90,814,437円

事業の目的	事業の概要
地方税法及び関係法令に基づく、適正、公正かつ迅速な窓口業務を行うことにより、市民サービスの向上を図る。 また、計画的な財政運営を図るため、納税者からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。	過年度申告等に基づき、市税の還付を行う。また、各種税証明の交付や市たばこ税賦課決定、税務協力団体との連携及び支援を行う。 各種税証明の交付 ・本庁 ・各総合支所 ・日曜窓口 ・市民サービスセンター

事業の実績・成果

1　各種税証明について、本庁舎、各総合支所、10ヶ所の市民サービスセンターにおける交付により、住民サービスの向上が図られた。

（1）証明等交付枚数の推移　（単位：枚）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付枚数	37,189	35,697	35,001	24,159	22,117

（2）上記（1）のうち、本庁舎及び各総合支所における日曜日の証明等交付枚数の推移　（単位：枚）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付枚数	2,032	2,129	1,647	1,275	1,117

（3）上記（1）のうち、市民サービスセンターの証明交付枚数の推移　（単位：枚）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付枚数	834	781	611	445	323

2　地方税法に基づく過年度の税の減額更正等に対し、速やかに還付処理をすることにより適正な税の執行が図られた。　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
返還金	56,774,664	52,305,904	51,352,769	56,152,394	85,981,325
還付加算金	1,240,250	2,059,600	417,400	1,005,300	1,596,700

3　市たばこ税の推移　（単位：本、円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
課税標準本数	153,529,493	143,574,648	136,511,369	129,259,394	125,150,545
調定額	788,242,368	743,439,085	736,477,011	732,015,355	735,247,792

4　税務協力団体

(1) 目的及び成果

団　体　名	目　　的	成　　果
青色申告会	青色申告制度の趣旨徹底と資質向上を図るとともに、円滑な税務行政を推進する。	税法講習会、確定申告や年末調整の指導会等を行うことにより、会員の税知識の更なる普及と円滑な税行政の推進が図られた。
(社) 行田法人会	法人の税務知識の向上を図り、円滑な税務行政を推進する。	決算期別ごとの説明会等を行い、市内法人の税務知識の普及、納税意識の向上が図られた。
農業青色申告会	青色申告制度の趣旨徹底と資質向上を図るとともに、円滑な税務行政を推進する。	減価償却資産のシステム管理、確定申告及び農業経営などの講習会を行い、円滑な税務行政に寄与できた。

(2) 補助金額の推移　　(単位：円)

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
青色申告会		145,000	145,000	145,000	145,000	145,000
(社)行田法人会加須支部		500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
農業青色申告会	全　　域	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
	加須地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	騎西地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	北川辺地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	大利根地域	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000

※農業青色申告会については地域ごとに存在しているため、地域別内訳を記載。

事 業 名		軽自動車税賦課事業		
担 当 課		税務課	総合振興計画コード	6315-11
款	02	総務費	当 初 予 算 額	6,376,000 円
項	02	徴税費	最 終 予 算 額	5,564,512 円
目	02	賦課徴収費	決 算 額	4,590,313 円

事業の目的	事業の概要
計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努めるとともに、関係法令に基づき賦課を行い、税収の確保を図る。 また、こいのぼりナンバーの普及により、加須市のＰＲに資する。	原付、小型特殊自動車のナンバー登録及び廃車を行い、４輪等の軽自動車と併せて、軽自動車税の賦課決定を行う。 また、市のＰＲのため、こいのぼりナンバーの普及促進を図る。

事業の実績・成果

窓口で受け付ける原動機付自転車や小型特殊の軽自動車税申告書及び廃車申告書並びに市町村軽自動車税事務協議会からのデータに基づき、適正な課税を行った。

また、広報紙、ホームページへの掲載及び販売店等へのポスター配布により、こいのぼりナンバーの普及に努めた。

１　登録台数の推移　（単位：台）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
原動機付自転車	6,340	6,081	5,815	5,605	5,433
小型特殊	4,869	4,757	4,662	4,585	4,521
軽自動車	35,034	35,583	36,163	36,535	37,071
二輪の小型自動車	1,703	1,723	1,725	1,761	1,802
合計	47,946	48,144	48,365	48,486	48,827

２　調定額の推移　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
原動機付自転車	13,166,600	12,653,800	12,113,300	11,709,300	11,389,300
小型特殊	12,861,600	12,617,300	12,389,300	12,187,000	12,040,400
軽自動車	247,870,200	263,970,300	278,855,400	290,607,200	303,989,700
二輪の小型自動車	10,218,000	10,338,000	10,350,000	10,566,000	10,812,000
合計	284,116,400	299,579,400	313,708,000	325,069,500	338,231,400

３　こいのぼりナンバーの交付枚数

令和２年度の交付枚数　642 枚（このうち旧型ナンバーからの無料交換　30 枚）

【導入（平成 23 年４月）から令和３年３月末までの交付枚数　9,468 枚】

事業名	収納事業		
担当課	収納課	総合振興計画コード	6315-12
款 02	総務費	当初予算額	15,932,000円
項 02	徴税費	最終予算額	15,932,000円
目 02	賦課徴収費	決算額	12,704,137円
事業の目的	将来にわたって持続可能な自立した自治体運営を確立するため、市税等の市民負担の公平性及び自主財源の確保を図る。	事業の概要	・納期限、納税緩和措置、口座振替及びコンビニ納付の周知徹底を図る。 ・納付や納税相談の機会を充実する。 ・督促状に加えて、電話・文書・臨宅等による効果的な納税催告を行う。 ・財産調査に基づき滞納処分または納税緩和を適正かつ積極的に行う。 ・各種料金等を含めた債権管理の適正化を図る。

事業の実績・成果

市税及び国民健康保険税について、広報紙やホームページ、納税ポスター等による納期限の周知及び口座振替促進強化月間の設定やコンビニ納付の利用案内などにより、納期内納付の促進を図った。

滞納者には、督促状に加え、早い段階から電話や文書、臨宅等による効果的な納税催告を行うとともに、日曜日の納税相談窓口を活用して早期納付を促した。

また、滞納者の財産調査を徹底し、納付資力がありながら納付しない場合は、止むを得ず差押を執行する一方、納付意識はあるが納付資力がない場合は、徴収猶予や減免、滞納処分の執行停止などの納税緩和措置を適切に講じ、税負担の公平性及び自主財源の確保に努めた。

市税の収納率 (単位：%)

年度 / 項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
現年	99.1	99.2	99.2	99.1	99.0
滞繰	35.3	30.6	30.4	31.4	35.2
合計	97.9	97.9	97.7	97.7	97.5

※市税：市民税、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、市たばこ税

国民健康保険税の収納率　　（単位：%）

年度 項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
現年	92.5	92.9	93.0	92.5	93.2
滞繰	33.6	29.4	27.5	27.5	30.1
合計	84.8	84.4	84.1	83.3	83.7

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊P.14参照）。

事 業 名		市民サービスセンター事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	3231-01
款	02	総務費	当 初 予 算 額	3,506,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	3,506,000 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	3,500,744 円
事業の目的	高齢化の現状や今後さらに進展する高齢化社会を踏まえ、市民が自転車や徒歩でも容易に行ける地域の身近な公民館等で行政窓口サービスを提供し、利便性の向上を図る。	事業の概要	10 箇所の公民館等に開設した市民サービスセンター、本庁窓口（市民課・税務課）及び各総合支所（市民福祉健康課）との連携を図りながら、住民票の写しや市税証明書等の交付業務を行う。	

事業の実績・成果

加須地域内すべての公民館及び田ケ谷総合センターに開設した市民サービスセンターで証明書交付を行い、市民サービスの向上及び利便性が図られた。

○市民サービスセンター

- 開設日（加須地域のサービスセンター）：火曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日
  午前 8 時 30 分～午後 5 時
- 開設日（田ケ谷サービスセンター）：水曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日
  午前 8 時 30 分～午後 5 時
- 業務内容：住民票の写し、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書、市税の証明（税務課）等の交付
- 設置場所：加須公民館、不動岡公民館、三俣公民館、礼羽公民館、大桑公民館、水深公民館、樋遣川公民館、志多見公民館、大越公民館、田ケ谷総合センター

市民サービスセンターの利用状況（令和２年４月１日～令和３年３月 31 日）
（戸籍謄抄本等の証明書交付枚数）

（単位：枚）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住民票の写し	127	102	117	131	116	109	100	118	119	106	102	141	1,388
戸籍謄抄本	21	11	12	26	19	19	17	25	18	12	26	15	221
印鑑証明	135	85	131	122	130	147	87	121	93	111	131	143	1,436
※その他	3	1	0	2	1	0	1	1	2	2	1	5	19
税務課分	16	15	70	33	28	40	17	22	14	12	21	35	323
合 計	302	214	330	314	294	315	222	287	246	243	281	339	3,387
令和元年度	296	271	423	400	254	306	261	254	213	268	293	403	3,642

※その他･･･戸籍の附票、住民票記載事項証明

年度別　市民サービスセンター等の利用状況
（市民課取扱い分の証明書類交付枚数）

（地区）（単位：枚）

	加須	不動岡	三俣	礼羽	大桑	水深	樋遣川	志多見	大越	田ケ谷	栗橋駅※	合計
平成28年度	464	127	89	205	1,442	647	122	428	122	145	404	4,195
平成29年度	428	118	85	204	1,349	622	147	373	127	177	340	3,970
平成30年度	328	118	68	201	1,351	567	129	360	125	134	－	3,381
令和元年度	306	111	61	143	1,270	617	110	348	91	140	－	3,197
令和2年度	231	138	82	150	1,175	591	135	358	89	115	－	3,064

※栗橋駅構内市民サービスコーナーは、平成30年3月30日終了

事 業 名		戸籍住民基本台帳事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	3231-02
款	02	総務費	当 初 予 算 額	20,718,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	29,419,000 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	21,280,040 円

事業の目的	市民の社会活動全般の基礎となる居住関係や身分関係等を公証するための自治事務・法定受託事務（住民基本台帳・印鑑登録・戸籍）を中心とした諸業務を適切かつ総合的・円滑に行う。	事業の概要	各種電算処理システムの管理を行い、申請による証明書発行事務、届出の受付審査及び住民基本台帳、戸籍等の記載や適正な管理を行う。

事業の実績・成果

1　戸籍・住民基本台帳業務やその他関連する各種業務の正確かつ適正な事務処理を行い、市民への行政窓口サービスを行った。

・戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等各種諸証明書類の交付申請受付・交付業務

令和2年度　戸籍住民基本台帳手数料　（単位：円）

項目	本 庁 舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
臨時運行許可	421,500	206,250	69,750	252,000	949,500
戸籍謄抄本等	8,510,550	2,288,000	1,705,150	1,668,250	14,171,950
住民票の写し等	5,924,250	961,650	549,600	805,500	8,241,000
印鑑証明書等	3,928,100	865,500	428,600	656,450	5,878,650
マイナンバー通知カード再発行	15,000	2,000	1,000	1,000	19,000
マイナンバーカード再発行	51,200	12,000	2,400	7,200	72,800
合　計	18,850,600	4,335,400	2,756,500	3,390,400	29,332,900

※市民サービスセンター及びコンビニ交付を本庁舎に含む

戸籍謄抄本・住民票の写し等交付枚数（年度別）　（単位：枚）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付枚数	126,472	125,917	124,651	121,034	117,858

2　都合により平日に来庁できない市民に対して、日曜日に証明書等の発行窓口を開設し、利便性の向上を図った。（本庁は平成17年度から、各総合支所は、平成22年3月28日から本格運用）

(1) 開設日：毎週日曜日（年末年始除く）午前8時30分～午後5時

(2) 業務内容：戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の交付、印鑑登録業務、戸籍届出書の預かり業務

3　デジタル手続法による住民基本台帳法等の一部改正に伴い、マイナンバーカードの公的個人認証を利用し、戸籍の附票を基盤とすることで、将来的（令和5年度以降）に国外転出者への多様なサービスを実現するため、住民基本台帳ネットワークシステムにおける戸籍システムとの双方向通信を可能とする改修を行った。

（単位：日）

	開庁日数
平成28年度	47
平成29年度	49
平成30年度	52
令和元年度	51
令和2年度	51

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
住民票の写し	3,206	3,414	3,589	3,519	3,185
戸籍謄抄本等	1,389	1,425	1,586	1,465	1,190
印鑑証明書	3,014	3,259	3,375	3,089	2,755
その他 ※	803	984	981	797	629
合計	8,412	9,082	9,531	8,870	7,759

※その他…戸籍の附票、住民票記載事項証明等

【繰越明許　令和２年度から令和３年度へ繰り越す理由】

・戸籍法の一部改正による戸籍情報システム機器改修　（繰越明許額　1,496,000 円）

・デジタル手続法による戸籍情報システム機器改修　（繰越明許額　4,928,000 円）

戸籍法・デジタル手続法改正による戸籍情報システム・戸籍附票システム改修につき、令和２年度中の完了を目途に調整を進めてきたが、同改修に係る仕様書について、国から確定版が発出されておらず、委託業者において、改修システムに適用するプログラム開発に遅れが生じ、また、全国一斉改修のため、機器入替やコンビニ交付サービスにおいて戸籍謄抄本の発行を行っている自治体が優先的に改修されるため、年度内の事業完了が困難となったため繰り越した。

事業名	旅券発給事業			
担当課	市民課		総合振興計画コード	3231-03
款	02	総務費	当初予算額	3,857,000円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	3,857,000円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決算額	3,749,712円
事業の目的	一般旅券の申請の受理等を本市で行うことにより、市民の利便性の向上を図る。	事業の概要	埼玉県と連携し、一般旅券の申請（記載事項変更・増補を含む）受理及び発給を行う。	

事業の実績・成果

権限移譲により平成24年6月1日から本庁舎市民課窓口において旅券発給事務を開始

1　申請　　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　午前9時～午後4時30分
　　交付　　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　午前9時～午後4時30分
　　日曜日　午前9時～午後4時30分

2　市民課窓口における一般旅券申請件数　（単位:件）

	10年	5年	訂正	増補	記載事項変更	合計
平成28年度	1,217	1,017	0	4	21	2,259
平成29年度	1,153	1,027	0	7	39	2,226
平成30年度	1,256	1,055	0	3	42	2,356
令和元年度	1,298	1,048	0	1	30	2,377
令和2年度	147	56	0	2	5	210

3　市民課窓口における一般旅券交付件数　（単位:件）

	月曜日～金曜日	日曜日	合計
平成28年度	1,662	602	2,264
平成29年度	1,636	594	2,230
平成30年度	1,724	626	2,350
令和元年度	1,781	637	2,418
令和2年度	194	43	237

（参考）県パスポートセンターにおける一般旅券申請件数　上段：申請件数（件）　下段：構成比率（%）

期間＼申請場所	市民課窓口	県パスポートセンター					合計
		大宮	川越	春日部	熊谷市	川口市	
平成29年1月～12月	2,277	183	3	53	7	7	2,530
	90.00	7.23	0.12	2.09	0.28	0.28	100.00
平成30年1月～12月	2,286	201	2	43	12	7	2,551
	89.61	7.88	0.07	1.69	0.47	0.28	100.00
平成31年1月～令和元年12月	2,566	232	6	50	6	0	2,860
	89.72	8.11	0.21	1.75	0.21	0	100.00
令和2年1月～12月	605	59	1	22	0	1	688
	87.94	8.58	0.14	3.20	0	0.14	100.00

事業名	マイナンバーカード交付等事業			
担当課	市民課		総合振興計画コード	3231-08
款	02	総務費	当初予算額	91,733,000円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	92,796,250円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決算額	60,540,647円
事業の目的	社会保障・税番号制度の実施に伴い、より多くの市民に制度の趣旨を理解してもらうとともに、マイナンバーカードを交付することにより、各種手続き等に係る市民負担の軽減を図る。	事業の概要	マイナンバーの付番・通知及び希望者からの申請によるマイナンバーカードの交付に関する事務を行う。	

事業の実績・成果

マイナンバーカード交付臨時窓口を１０２会議室に設置する等、交付体制の拡充を行った。また、発行から５回目の誕生日を迎えた方に対して、マイナンバーカードの再発行及び電子証明書の更新を行った。

マイナンバーカードの交付の事前予約制や受付・交付窓口の分担、日曜窓口での交付（第2第4土曜日の翌日の日曜日）、木曜夜間での交付（第1第3木曜日17:00～19:00）等により、マイナンバーカードの交付に努めた。

1　マイナンバーカード納品・交付状況

地方公共団体情報システム機構からのマイナンバーカード納品状況

（単位：枚）

	本庁舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合計
平成27年度	4,674	1,312	900	961	7,847
平成28年度	1,957	530	241	426	3,154
平成29年度	1,326	356	195	271	2,148
平成30年度	1,227	291	151	228	1,897
令和元年度	1,788	450	197	313	2,748
令和2年度	8,946	1,845	840	1,766	13,397
合計	19,918	4,784	2,524	3,965	31,191

※年度末納品カード枚数31,191枚は、令和3年4月1日現在人口比27.7%

マイナンバーカード交付状況

（単位：枚）

	本庁舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合計
平成27年度	976	399	466	421	2,262
平成28年度	4,189	1,104	503	671	6,467
平成29年度	1,507	475	235	352	2,569
平成30年度	1,282	325	161	268	2,036
令和元年度	1,571	404	173	262	2,410
令和2年度	7,054	1,539	776	1,488	10,857
合計	16,579	4,246	2,314	3,462	26,601

※年度末カード交付枚数26,601枚は、令和3年4月1日現在人口比23.6%

事 業 名		住民票等コンビニ交付事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	3231-09
款	02	総務費	当 初 予 算 額	11,865,000 円
項	03	戸籍住民基本台帳費	最 終 予 算 額	11,865,000 円
目	01	戸籍住民基本台帳費	決 算 額	10,920,841 円

事業の目的	市民の身近な場所で、休日や時間外にも証明書を取得できる利便性の高いコンビニ交付サービスを実施することにより、市民サービスの向上を図る。	事業の概要	マイナンバーカードを利用して、各種証明書をコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末から交付する。 証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、課税・非課税証明書、所得証明書）１枚当たり交付手数料　各１５０円 窓口及びコンビニは同額

事業の実績・成果

住民票等のコンビニ交付の周知を図るため、推進チラシ及びポスターを作成し、チラシの全戸配布や本庁舎及び各総合支所窓口における配布、各公共施設への設置、コンビニエンスストアへのポスター掲示、行政モニター放映、広報紙・ホームページへの掲載等を行った。

また、コンビニ交付サービスの利用促進を図るために作成したキオスク端末の操作手順書を、マイナンバーカード交付時に配布した。

コンビニ交付証明書交付状況　（単位：枚）

	住民票	印鑑証明	税証明	合計
平成 28 年度	52	55	7	114
平成 29 年度	746	753	96	1,595
平成 30 年度	1,250	1,208	126	2,584
令和元年度	1,854	1,645	178	3,677
令和 2 年度	2,901	2,437	345	5,683
合計	6,803	6,098	752	13,653

※平成 29 年 3 月 1 日からコンビニ交付サービスの運用開始

事 業 名		選挙管理委員会運営事業		
担 当 課		選挙管理委員会	総合振興計画コード	6131-05
款	02	総務費	当 初 予 算 額	2,430,000 円
項	04	選挙費	最 終 予 算 額	2,430,000 円
目	01	選挙管理委員会費	決 算 額	1,997,247 円

事業の目的	政治への市民参加の主たる制度である「選挙」を管理する選挙管理委員会の適正な運営を図る。	事業の概要	選挙管理委員会は、４人の委員により構成される機関であり、次の事務を行う。 ・各選挙の管理及び執行 ・選挙人名簿等の調製 ・選挙についての啓発宣伝等 ・全国団体等の会議・研究会等への参加 ・その他選挙に関連する事務

事業の実績・成果

選挙人名簿の定時登録や裁判員候補者予定者等の名簿の調製のため、選挙管理委員会を合計８回開催した。

○選挙人名簿登録者の推移（各年度９月定時登録数）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
男	48,036	47,970	47,787	47,646	47,545
女	48,181	48,008	47,818	47,741	47,624
合計	96,217	95,978	95,605	95,387	95,169

※平成 28 年度から選挙権年齢が 18 歳に引き下げられた。

事業名	選挙啓発事業		
担当課	選挙管理委員会	総合振興計画コード	6131-09
款 02	総務費	当初予算額	285,000円
項 04	選挙費	最終予算額	285,000円
目 02	選挙啓発費	決算額	201,734円

事業の目的	事業の概要
明るくきれいで正しい選挙が行われるようにするため、あらゆる機会を通して有権者の選挙に関する意識の向上を図る。	・小中学生等からポスター、標語及び書道コンクールへの作品を募集し、その作品展示等を行う。 ・学校に対して選挙備品（投票箱・記載台）の貸出しを実施する。 ・「新有権者の証」の送付 ・選挙出前講座(講義･模擬投票)の実施 ・成人式等における若者への選挙啓発用品の配布

事業の実績・成果

1　明るい選挙啓発コンクールの実施

これからの未来を担う小・中学生の選挙に対する関心を高めるとともに、有権者に対する明るい選挙の推進を図るため、教育委員会と連携して、全国規模の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」への参加のほか、加須市独自の「標語コンクール」及び「書道コンクール」を行った。なお、令和２年度の「標語コンクール」は、より多くの生徒に参加していただけるよう、市内の高等学校にも参加を依頼して実施した。

また、明るい選挙啓発ポスターコンクールの優秀作品は、行田市及び羽生市と共同で巡回展示会を行った。

○コンクールの応募状況　（単位：作品数）

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
ポスター	582	511	284	259	103
標語	3,453	3,475	2,169	2,280	2,023
書道	1,480	915	1,419	941	845
合計	5,515	4,901	3,872	3,480	2,971

○優秀作品展示

展示期間	展示会場	展示物
1月 4日(月)～1月15日(金)	加須市役所 1階市民ギャラリー	ポスター・標語（標語は加須市のみ）
1月20日(水)～1月29日(金)	行田市教育文化センター　談話コーナー	
2月 3日(水)～2月12日(金)	羽生市民プラザ 1階イベントホール	
1月21日(木)～1月28日(木)	加須市役所1階市民ギャラリー	書道

※各公共施設の休館日を除く。

2　選挙出前講座の実施

「加須市選挙出前講座実施要綱」等に基づき、市内の中学校、高等学校、特別支援学校、大学及び障害者福祉サービス事業所を対象として、選挙に関する講座や模擬投票などを実施した。

○選挙出前講座実施状況

開催日	学校名等	受講者数(人)
2月10日(水)	騎西特別支援学校	８３人※
3月15日(月)	花咲徳栄高等学校（１，２学年）	１，０８０人※

※　新型コロナウイルス感染症の予防のため、従来と形式を変更して実施した。

3　「新有権者の証」の送付

18 歳を迎え選挙人名簿に登録された方を対象に、選挙人名簿に登録されたことをお知らせするとともに、選挙への関心を持っていただくことを目的に「新有権者の証」を送付した。

○令和２年度新有権者の証発送人数　　９５４人

事業名	統計管理事業			
担当課	政策調整課		総合振興計画コード	6314-07
款	02	総務費	当初予算額	167,000円
項	05	統計調査費	最終予算額	167,000円
目	01	統計調査総務費	決算額	20,346円
事業の目的	適正な行政サービスを実現するため、国や地方自治体における政策決定の基礎資料となる統計調査を実施する。	事業の概要	統計に係る各種行事に参加するとともに、統計調査員の確保等に取り組む。 また、市の統計情報をまとめた統計書「DETABOOKかぞ」を発行する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定されていた全ての会議、研修会等が書面開催となったが、構成市町との情報交換を行い、令和2年度に実施した各種統計調査の円滑な実施に努めた。

また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOKかぞ」を発行した。

○統計研究会北部ブロック研究会

会議名	年月日	場所
第1回研究会	―	中止のため書面開催
第2回研究会	―	中止のため書面開催

○埼玉県連合会役員会

会議名	年月日	場所
役員会	―	中止のため書面開催

○埼玉県連合会定例研究会

会議名	年月日	場所
定例研究会	―	中止のため書面開催

○県民手帳販売数

（単位：冊）

年度	販売冊数	納品冊数
平成28年度	482	570
平成29年度	454	490
平成30年度	417	460
令和元年度	418	425
令和2年度	383	425

○令和元年度版統計書「DATABOOKかぞ」の発行（令和2年11月発行）

事 業 名		学校基本調査事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	99111-00
款	02	総務費		当 初 予 算 額	30,000 円
項	05	統計調査費		最 終 予 算 額	30,000 円
目	02	統計調査費		決 算 額	22,908 円
事業の目的	国や地方自治体における政策決定の基礎資料となる統計調査を実施する。		事業の概要	文部科学省所管の基幹統計調査である学校基本調査を実施する。	

事業の実績・成果

文部科学省所管の基幹統計調査である学校基本調査を実施した。

【調査目的】
学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにする。（教育委員会による調査）

【基 準 日】
毎年５月１日現在

【主な利用例】
・学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料
・県及び市町村に交付する地方交付税算定の基礎資料

【主な内容】
〇対　　象　　市内の幼稚園、小学校及び中学校
〇調査内容　　学校数、在学者数、教職員数、
　　学校建物・土地面積、卒業後の状況等

事 業 名		経済センサス調査事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	99111-00
款	02	総務費	当 初 予 算 額	291,000 円
項	05	統計調査費	最 終 予 算 額	291,000 円
目	02	統計調査費	決 算 額	230,808 円
事業の目的	我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。	事業の概要	調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行う。	

事業の実績・成果

令和３年度の活動調査を円滑に行うための調査区の管理、郵送提出用封筒や事前依頼ハガキの作成等を実施した。

【調査目的】
国内の全産業分野における事業所の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。

【基 準 日】
・活動調査　令和３年６月１日現在
・乙 調 査　毎年６月１日現在　※令和２年から毎年実施に変更

【主な利用例】
・公正な行政運営を行うための利用
　地方消費税、中小企業振興のための補助金の分配等　等
・国民や企業の活動を支えるための利用
　県民経済計算、市民経済計算や地域産業関連表の基礎資料・地域の経済活動に関する一次統計の整備

【主な内容】
○対　　象
　活動調査　調査時において、我が国全ての民営事業所及び企業（国及び地方公共団体の事業所、大使館等の外国公務に属する事業所及び農林業家を除く。）
　乙 調 査　国及び地方公共団体の事業所

○調査内容　名称、所在地、開設時期、従業者数、売上（収入）金額等

【令和２年度事務】
・令和３年度の活動調査を円滑に行うための調査区の管理、乙調査の実施
・郵送提出用封筒の作成及び料金受取人払承認請求の手続き
・事前依頼ハガキの作成

○新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.14参照）。

事 業 名		工業統計調査事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	99111-00
款	02	総務費		当 初 予 算 額	1,082,000 円
項	05	統計調査費		最 終 予 算 額	1,082,000 円
目	02	統計調査費		決 算 額	503,079 円
事業の目的	製造業を営む事業所の分布状況や活動実態を調査し、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的とする。		事業の概要	調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行う。	

事業の実績・成果

円滑な調査実施及び統計の正確性を確保するための説明会の開催を行った。

【調査目的】
国内の製造業の事業所を対象とし、実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。

【基 準 日】
令和２年６月１日現在

【主な利用例】
・地方交付税の算定のための基礎資料
・ＧＤＰなどの国民経済計算（ＳＮＡ）、県民経済計算の推計
・企業物価指数、鉱工業生産指数、産業連関表、地域産業連関表作成のための基礎資料

【主な内容】
○対　　象　　調査時において、製造業に属する事業所（国に属する事業所及び製造業及び製造加工を行っていない本社等を除く）
○調査内容　　名称、所在地、従業者数、製造品出荷額、原材料使用額等

【令和２年度事務】
新型コロナウイルス感染防止のため、調査員、指導員事務打合せ会を書面開催とし、調査員による調査票の配布は郵送で対応した。調査票の回収等は国が一括して行った（インターネットと郵送）。
○調査準備　・調査員、指導員事務打合せ会書面開催
　　・各種県照会、調査員の問合せに対する回答
○本調査　　・調査票の郵送配布
　　・調査員、事業所からの問合せ対応
　　・準備調査名簿の県進達

【新型コロナウイルス感染症に係る対応】
【Ｉ．感染予防】を実施した（別冊P.15参照）。

事 業 名		農林業センサス調査事業			
担 当 課		政策調整課		総合振興計画コード	99111-00
款	02	総務費		当 初 予 算 額	47,000 円
項	05	統計調査費		最 終 予 算 額	47,000 円
目	02	統計調査費		決 算 額	37,712 円
事業の目的	農林業、農山村の基本構造の実態とその動向を総合的に把握し、各種農林業施策の検討及び各種農林統計調査の母集団整備のためのデータを得る。		事業の概要	調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行う。	

事業の実績・成果

円滑な調査実施及び統計の正確性を確保するための説明会の開催や内容審査を行った。

【調査目的】

農林業、農山村の基本構造の実態とその動向を総合的に把握し、各種農林業施策の検討及び各種農林統計調査の母集団整備のためのデータを得る。

【基 準 日】

令和２年２月１日

【主な利用例】

・地方交付税算定のための基礎資料
・農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料

【主な内容】

〇対　　象　　農林業経営体（農林産物の生産や委託を受けた農林業作業を行う世帯や会社等の組織）に該当するすべての農家、林家、法人など
〇調査内容　　経営体の概要（家族経営、法人など）、経営耕作面積、農産物の生産・販売状況、農作業の委託・受託状況など

【令和２年度事務】

・調査票等の県進達

事 業 名		国勢調査事業		
担 当 課		政策調整課	総合振興計画コード	99111-00
款	02	総務費	当 初 予 算 額	39,871,000 円
項	05	統計調査費	最 終 予 算 額	39,871,000 円
目	02	統計調査費	決 算 額	38,592,456 円
事業の目的	国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として 5 年に 1 度実施する。	事業の概要	調査員が調査票を配布、回収し内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染防止に努めながら、円滑な調査実施及び統計の正確性を確保するための説明会の開催や内容審査を行った。

【調査目的】
国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。

【基 準 日】
令和２年10月１日午前零時現在

【主な利用例】
・公正な行政運営を行うための利用
　衆議院小選挙区の画定、地方交付税の交付額の算定　等
・国民や企業の活動を支えるための利用
　商品・サービスの需要予測、店舗の立地計画
・公的統計の作成・推計のための利用
　将来人口の推計

【主な内容】
〇対　　象　　調査時において、我が国に住んでいる期間が３ヵ月以上にわたる者（外国政府の外国使節団・領事機関の構成員及びその家族、外国軍隊の軍人・軍属及びその家族を除く。）
〇調査内容　　＜世帯員に関する事項＞　　氏名、性別、国籍、５年前の住居の所在地　等
　　＜世帯に関する事項＞　　世帯の種類、世帯員の数、住居の種類、住居の建て方

【令和２年度事務】
〇本調査　・調査員及び指導員事務説明会の開催
　　・調査員による調査票配布
　　・調査票の郵送提出分の受領
　　・調査員、事業所からの問合せ対応
　　・調査票の郵送提出分の内容審査
　　・インターネット回答分の内容審査
　　・調査票等の県進達

【新型コロナウイルス感染症に係る対応】
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.15参照）。

事業名	監査委員運営事業			
担当課	監査委員		総合振興計画コード	6314-04
款	02	総務費	当初予算額	1,882,000円
項	06	監査委員費	最終予算額	1,882,000円
目	01	監査委員費	決算額	1,514,476円
事業の目的	地方自治法に基づき、市の財務に係る事務の執行等について監査等を実施し、その結果を公表することで民主的かつ効率的な行政執行を確保し、もって住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与する。	事業の概要	定期監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、基金の運用状況審査、健全化判断比率等審査の実施。 全国、関東、県都市監査委員会及び県東部都市監査委員会との連絡調整を行い、また同総会・研修会に参加する。	

事業の実績・成果

関係法令、監査計画及び令和２年３月に策定した新たな加須市監査基準に基づき、各種監査等を実施し、その適法性、効率性、妥当性、有効性等の検証を行った。また、その結果を市議会及び市長等に報告し、併せて市ホームページ等を通して公表した。

さらに、決算等審査意見書は、加須市監査基準等に基づき、表やグラフを多用するなどし、「分かりやすく」、「見やすく」、「読みやすく」なるよう刷新した。

1　監査等実施一覧

種類		対象等	実施日数(日)
例月出納検査		一般会計、特別会計、企業会計等	12
決算審査		一般会計、特別会計、企業会計等	11
財政健全化等審査		一般会計、特別会計、企業会計等	1
定期監査※	各部署	環境安全部、こども局、健康医療部、建設部、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所、生涯学習部	6
	小・中学校	加須小、加須南小、田ケ谷小、鴻茎小、高柳小、豊野小、加須北中、騎西中	5
財政援助団体等監査		かぞ地域女性会連合会、加須市騎西女性団体連絡協議会、加須市北川辺女性団体連絡協議会、加須市大利根連合婦人会、大利根栗橋地区地元環境対策協議会、加須市シルバー人材センター、株式会社かぞ農業公社、社会福祉法人加須市社会福祉協議会、株式会社米米倶楽部、加須市獅子舞保存会連合会	1

※各部署の定期監査では、一般的な監査事項に加え、随意契約事務について重点的に監査を実施

事 業 名		指定介護保険サービス事業所指定・指導監査等事務事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2117-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	43,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	43,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	12,713 円
事業の目的	適切かつ良好な介護保険サービスを確保し、もって長寿社会を支えるための高齢者支援の推進に資する。	事業の概要	指定介護保険サービス（地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス、居宅介護支援）事業所に係る指定、各種届出の受付を行うとともに、指導監査を実施し、運営状況の確認を行う。	

事業の実績・成果

指定介護保険サービス事業所に係る指定、各種届出の受付、指導監査等を行った。

○ 指定、各種届出受理件数 （単位：件）

	新規指定申請	指定更新申請	廃止届	変更届
居宅介護支援事業所	2	3	1	37
地域密着型サービス事業所	6	2	0	58
介護予防･生活支援サービス事業所	7	10	3	98
計	15	15	4	193

※ 年度内に申請書及び届出書を受理した件数

○ 年度末現在指定事業所数 （単位：件）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
居宅介護支援事業所		28	27	28
地域密着型サービス事業所		49	42	45
	市内事業所	25	24	25
	市外事業所	24	18	20
介護予防･生活支援サービス事業所		78	82	84
	市内事業所	45	44	46
	市外事業所	33	38	38
計		155	151	157

○ 指導監査実施件数 （単位：件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
居宅介護支援事業所	4	4	3
地域密着型サービス事業所	7	4	5
介護予防･生活支援サービス事業所	4	8	0
計	15	16	8

※ 平成30年度から事業開始

※ 介護予防・生活支援サービス事業所への指導監査は、従来から県との同行で実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の予防対策のため県との同行は中止となり、県が単独で指導監査を実施したため実施件数が0となった。

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、指導監査の実施に際し、対象施設の利用者と接触を避け、職員との接触も最小限に留める等の対策及び指導の簡素化を図った。

事業名		地域福祉計画策定事業		
担当課		地域福祉課	総合振興計画コード	2131-01
款	03	民生費	当初予算額	3,504,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	3,504,000円
目	01	社会福祉総務費	決算額	2,153,360円
事業の目的	市民、市、民間事業者等がそれぞれの立場で、地域の福祉分野で果たす役割を明確化し、地域福祉推進に向けた方向性を示す計画を策定する。	事業の概要	平成28年度に市と社会福祉協議会が策定した「加須市地域福祉計画(第2次)・地域福祉活動計画」(H29-R3)を踏まえつつ、社会情勢や求められる福祉事業等を勘案しながら、総合振興計画に基づき次期計画(R4-R8)を策定する。	

事業の実績・成果

令和4年度から令和8年度までを計画期間とする「加須市地域福祉計画（第3次）・地域福祉活動計画（第2次）」策定の基礎資料として、これまでの取組状況や課題、地域福祉に対する意見や要望を把握するため「地域福祉に関する市民アンケート」を実施し、市民の地域福祉に関する意識や実態等の把握に努めた。

○調査概要

① 調査対象　市内居住の18歳以上の方
② 対象者数　2,000人
③ 抽出方法　住民基本台帳(令和2年10月16日現在)から無作為抽出
④ 調査方法　郵便配布・郵便回収
⑤ 調査期間　令和2年11月27日送付、12月10日締切
　12月4日にお礼状を兼ねた督促状を送付
⑥ 回収率　53.5%（1,070件）
⑦ 調査項目
・地域との関わりについて
・認知症について
・地域活動・ボランティアについて
・家族・地域の絆推進運動について
・福祉全般について
・社会福祉協議会について
・自由意見

事 業 名		地域福祉計画進行管理事業			
担 当 課		地域福祉課		総合振興計画コード	2131-02
款	03	民生費		当 初 予 算 額	50,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	50,000 円
目	01	社会福祉総務費		決 算 額	36,000 円
事業の目的	市民、市、民間事業者等がそれぞれの立場で、地域の福祉分野で果たす役割を明確化し、地域福祉推進に向けた方向性を示す計画の進行管理を行う。		事業の概要	「加須市地域福祉計画(第 2 次)・地域福祉活動計画」の進行状況を管理する。 また、地域福祉計画推進等懇話会を開催し、進行状況を報告する。 計画期間：平成 29 年度～令和 3 年度	

事業の実績・成果

加須市地域福祉計画推進等懇話会を開催し、関係各課が行っている福祉関連事業の進捗状況を報告し、「加須市地域福祉計画(第 2 次)・地域福祉活動計画」の進行管理について、書面による協議を行った。

○開催日（書面協議）　　令和 2 年 9 月 30 日（水）
○地域福祉計画推進等懇話会の構成員（計 14 名）

高齢者施設関係者（多賀谷寿光園施設長）
障害者施設関係者（あけぼの園所長）
加須市自治協力団体連合会副会長
かぞ地域女性会連合会会計
加須地区保護司会会長
加須医師会会長
学識経験者（社会福祉士養成課程講師・精神保健福祉士養成課程講師）
児童施設関係者（社会福祉法人愛の泉）
加須市社会福祉協議会副会長
加須市民生委員・児童委員協議会会長
加須市老人クラブ連合会会長
埼玉県加須保健所所長
久喜人権擁護委員協議会加須部会部会長
加須市ＰＴＡ連合会会計幹事

○議題等
①加須市地域福祉計画の進捗状況について
②今後の進行管理について

事 業 名		社会福祉管理事業			
担 当 課		地域福祉課		総合振興計画コード	2131-03
款	03	民生費		当 初 予 算 額	500,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	500,000 円
目	01	社会福祉総務費		決 算 額	348,260 円
事業の目的	社会福祉関係事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。		事業の概要	地域福祉課及び総合支所市民福祉健康課（福祉健康担当）の経常的な管理費を支出する。	

事業の実績・成果

社会福祉関係事業を円滑に実施するための諸費用について支出した。

事 業 名		戦没者遺族支援事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2131-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,076,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,076,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,976,148 円
事業の目的	戦没者や遺族の苦しみ悲しみを忘れることなく、恒久平和を市民とともに願う。		事業の概要	加須市遺族連合会の活動推進のために活動費を助成する。 また、市民とともに戦没者の冥福を祈り、恒久平和を願うため、戦没者追悼式を 3 年ごとに開催する。 このほか、5 年に一度、戦没者等の遺族への特別弔慰金交付事務を行う。

事業の実績・成果

1　加須市遺族連合会への補助

加須市遺族連合会の活動推進を図るため補助金を交付し、全国・埼玉県戦没者追悼式参列、英霊顕彰事業参加、地区慰霊祭開催等に充てられた。

（1）補助金額の推移　（単位：円）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
520,000	520,000	966,800	520,000	520,000

（2）会員数　615 人　（令和 3 年 3 月 31 日現在）

2　第 11 回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金交付事務

（1）支給対象者

戦没者等の死亡当時の遺族で、優先順位の高い遺族 1 名（令和 2 年 4 月 1 日（基準日）において、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方がいない場合）

（2）受付件数（令和 3 年 3 月 31 日現在）　（単位：件）

	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合計
受付件数	342	135	59	83	619

※内、第 10 回時の請求件数：592 件

（3）地域別集中受付

・大利根地域　令和 2 年 6 月 15 日～6 月 19 日（期間中受付件数 49 件）
・北川辺地域　令和 2 年 6 月 29 日～7 月 3 日（期間中受付件数 15 件）
・騎西地域　令和 2 年 7 月 13 日～7 月 20 日（期間中受付件数 50 件）
・加須地域　令和 2 年 8 月 3 日～9 月 18 日（期間中受付件数 195 件）

（4）国債交付件数（令和 3 年 3 月 31 日）　86 件

（5）会計年度任用職員の任用

受付期間は令和 2 年 4 月から 3 年間あるが、初年度に受付事務等が集中することから、事務を円滑に行うため、会計年度任用職員 2 名の任用を行った。（報酬費等：1,431,436 円）

※加須市戦没者追悼式
3 年ごとに開催、次回は令和 4 年度予定。

事 業 名		地域福祉基金活用事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2131-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,926,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,926,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	1,926,000 円
事業の目的	在宅福祉の推進等、地域における保健福祉活動の推進および地域事業の適正な運営を図る。	事業の概要	地域福祉基金の運用果実を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会等)が行う地域福祉活動の支援(補助)に充てる。	

事業の実績・成果

「地域福祉基金」の運用から生じた収益（利子）を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会)へ助成した。助成を受けた社会福祉協議会が民生委員によるひとり暮らし高齢者見守り事業等を支援した。

●助成額の推移　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
助成額	2,094,000	1,997,000	1,994,000	1,908,000	1,926,000

※助成額は、地域福祉基金の積立預金の利率により変動

◆加須市社会福祉協議会の事業概要

1　ひとり暮らし高齢者見守り事業

(1)友愛訪問事業（令和 2 年 9 月まで）

70 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に地区担当民生委員が訪問した。

延訪問回数　加須地域　23,390 回、北川辺地域　2,945 回、大利根地域　2,584 回

※騎西地域では、ひとり暮らし高齢者を対象に乳酸飲料配達を実施していたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を休止

(2)乳酸飲料配布事業（令和 2 年 10 月から）

市内同一の基準による新たな見守り事業に移行した。

65 歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯において見守りの必要度基準を満たした方を対象に見守りと乳酸飲料の配達を兼ねて業者が週 1 回訪問した。

延訪問回数　加須地域 2,997 回、騎西地域 810 回、北川辺地域 381 回、大利根地域 162 回

2　ボランティア保険加入促進事業

登録ボランティア等の活動中の事故等を補償するため、活動保険への加入の促進を行った。

【通年】・年間保険料　1 口　A350 円・B510 円・天災A500 円・天災B710 円

・加入者総数　1,894 人（うち、事業対象加入者 899 人）

3　ひとり親子のつどい事業

新型コロナウイルス感染予防のため市内のレジャー施設で実施した。

・実施日　11 月 28 日（土）　・参加者数　13 人(6 家族)

4　親子ふれあい事業

子どものすこやかな成長と良好な親子関係の構築を図るため、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、親子の絆をテーマにしたイベントを開催した。

・実施日　11 月 22 日（日）　・参加者数　288 人

5　障がい児親子のつどい事業

新型コロナウイルス感染予防のため市内のレジャー施設で実施した。

・実施日　11 月 23 日（月・祝）　・参加者数　12 人 4 組

6　社会福祉推進大会開催事業

例年多くの市民が参加する式典を実施しているが、新型コロナウイルス感染予防のため、式典を中止し、大会の冊子を作成し、関係機関等に配布をした。〔配布部数 673 部〕

7　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P. 16 参照）。

事 業 名		地域福祉基金積立事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2131-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	700,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	10,700,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	10,632,990 円
事業の目的	地域における保健福祉活動の推進を図る。		事業の概要	福祉のための寄附金の積立の歳入及び地域福祉基金への歳出を行う。

事業の実績・成果

「地域福祉基金」の管理を行い、社会福祉のために寄附された寄附金の積み立てを行った。

1　寄附金額の推移（積立額）　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
寄付金額（円）	489,724	584,377	464,753	660,627	10,627,683
件数（件）	19	24	23	36	52

※地域福祉基金の果実のうち、当初見込み額を超過する分 5,307 円についても、基金への積立を行った。

2　基金残高

（1）現　　金

195,154,414 円（令和 3 年 4 月末日現在）

（2）債権額面

200,000,000 円（北海道平成 25 年度第 13 回公募公債（10 年）平成 25 年 12 月 27 日購入）
100,000,000 円（福島県平成 27 年度第 1 回公募公債（10 年）平成 27 年 11 月 27 日購入）

3　地域福祉基金利子積立て

地域福祉基金利子は、原則、地域福祉基金活用事業の財源としている。

事業名	社会福祉法人指導監査等事務事業				
担当課		地域福祉課		総合振興計画コード	2131-08
款	03	民生費		当初予算額	65,000円
項	01	社会福祉費		最終予算額	65,000円
目	01	社会福祉総務費		決算額	19,624円
事業の目的	健全な福祉サービスを確保し、もってすべての市民が豊かに生活できる地域福祉の推進に資する。		事業の概要	社会福祉法人の設立認可・定款変更認可・指導監査・現況報告書等の受付・現況報告書や財務諸表の公開などを行う。	

事業の実績・成果

社会福祉法人の定款変更の認可や現況報告書の受付、指導監査等を行った。

○ 定款変更認可件数 (単位：件)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
定款変更認可件数	16	5	4	10	4

○ 指導監査実施件数 (単位：件)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
児童養護施設	1	1	1	0	1
保育所	1	3	3	2	4
障害者福祉施設	2	1	0	3	0
老人福祉施設	0	2	0	0	2
社会福祉協議会	0	1	0	0	1
計	4	8	4	5	8

※ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、指導監査の実施に際し、対象法人施設の利用者と接触を避け、職員との接触も最小限に留める等の対策及び指導の簡素化を図った。

事 業 名	更生保護活動支援事業			
担 当 課	地域福祉課		総合振興計画コード	2131-12
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,180,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,180,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	880,000 円
事業の目的	更生保護団体等の活動を支援し、犯罪や非行のない明るい地域社会を目指す。	事業の概要	更生保護観察協会への負担金を通して、保護司会及び更生保護女性会へ活動費を助成し、各更生保護団体等の活動を支援する。	

事業の実績・成果

更生保護観察協会への負担金を通し、犯罪や地域における更生保護活動を支援した。

○更生保護活動団体

・加須地区保護司会（令和3年3月31日現在　34人：定数37人）　助成金　1,020,000円

・加須地区更生保護女性会（令和3年3月31日現在　会員259人）　助成金　62,000円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護司会活動が制限されたことにより、実施することができなかった事業（研修視察費等）の不用額について市へ返還をした。　返還額　300,000円

○社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動（主唱：法務省）で、加須地区保護司会及び加須地区更生保護女性会が実施委員会を組織し、7月の強化月間に合わせてキャンペーン等を実施し、更生保護の趣旨普及に努める活動を行っている。

・街頭キャンペーン

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とし、非接触型の形式とした。啓発グッズとチラシを公共施設等に配備し啓発活動を行った。

・映画と音楽の集い

中学3年生とその保護者を中心に、非行防止について考えるきっかけとして実施しており、内容を刷新する方向で検討してきたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止となった。

・社会を明るくする運動参加者数　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
街頭キャンペーン	87	118	108	109	―
映画と音楽の集い	206	253	214	272	―

○更生保護サポートセンター　（平成31年2月22日　開所）

・運営日：毎週　月曜日・金曜日（休館日は除く）、第1、第3日曜日
午前10時から午後4時まで

・場　所：市民プラザかぞ　1階　ボランティア室

・内　容：「更生保護サポートセンター」は、保護司・保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら地域で更生保護活動を行うための拠点として開所。罪を犯した人や非行少年等の立ち直りを助ける保護司の処遇活動に対する支援や、地域や関係機関等と連携をして更生保護活動を行う場として活用している。

・主な活動内容（令和2年度）

活　動　内　容	回　数
保護観察者等との面接	2回
さいたま保護観察所主任保護観察官との処遇協議	6回
自主研修・情報交換・事務処理等	80回
その他	12回

※新型コロナウイルス感染予防のためのセンター休所期間
令和2年4月6日～5月31日、令和3年1月11日～3月31日

事業名	社会福祉協議会助成事業			
担当課		地域福祉課	総合振興計画コード	2132-01
款	03	民生費	当初予算額	131,738,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	131,738,000円
目	01	社会福祉総務費	決算額	129,848,000円
事業の目的	市民参加による地域福祉活動、社会福祉に関する情報の提供、福祉教育やボランティア活動の振興等を推進する。		事業の概要	住民への生活援助の対応、福祉活動の場づくり、仲間づくり等の援助及び社会福祉に関わる関係者・団体・関係機関の連携を図り、多岐にわたる福祉サービス事業が実施できるよう、人件費、事務所の維持経費及び事務局活動における事務的経費を助成する。

事業の実績・成果

地域福祉活動の中心的な役割を担い、各種の地域福祉活動を行う社会福祉協議会の活動を支援し、もって加須市の地域福祉の充実を図るため、補助金を交付した。

1　人件費補助

社会福祉協議会の法人運営事業に要する人件費（時間外勤務手当を除く）を補助

◆補助金額　125,848,000円（補助対象人件費執行済額　126,143,426円）

◆補助対象職員数　（単位：人）

	常務理事兼事務局長	支所長（再任用・嘱託）	正職員	会計年度職員	計
本所・加須支所	1	0	8	5	14
騎西支所	0	1	2	2	5
北川辺支所	0	1	1	3	5
大利根支所	0	1	3	2	6
計	1	3	14	12	30

2　事務費補助

事務所の維持費及び事務局活動における事務費の1/2（上限400万円）を補助

◆補助金額　4,000,000円（補助対象事務費支出済額　11,365,389円）

◆補助対象経費　事務所維持にかかる消耗品費、光熱水費、通信運搬費、賃借料等

3　補助金総額の推移　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
金額	110,870,000	117,077,000	109,996,000	119,362,000	129,848,000

事 業 名		民生委員・児童委員活動推進事業		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2132-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	26,410,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	29,264,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	28,901,356 円
事業の目的	民生委員・児童委員活動により、地域福祉の充実を図る。	事業の概要	民生委員・児童委員の行う調査、要援護者等への相談支援活動が円滑に行えるよう支援する。	

事業の実績・成果

子どもから高齢者まで、日常の生活や様々な福祉に関する相談や行政機関の業務などへの協力。

1　民生委員・児童委員数　232 名（主任児童委員を含む）（4 名欠員）※R3.3.31 現在
　単位民児協数　12 地区
　専門部会　7 部会（生活福祉、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、広報、男女共同参画推進、総務）

2　分野別相談・支援件数
（1）高齢者に関すること　1,446 件
（2）障がい者に関すること　49 件
（3）子どもに関すること　365 件
（4）その他　294 件
合計　2,154 件（活動日数　26,608 日）

3　高齢者世帯訪問　延 44,541 回訪問

4　各種研修への参加、ふれあい広場（中止）、配食、敬老会、歳末慰問、共同募金、施設へのボランティア活動、学校や地域行事への参加協力など

5　民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動費等を増額
民生委員・児童委員及び主任児童委員並びに１２地区単位民生委員・児童委員協議会の活動に要する経費に対し、市から民生委員等へ交付する活動費を増額した。
（1）民生委員及び児童委員の活動に要する経費
１人当たり年額 1,200 円（月額 100 円）の増額
定員 236 名×1,200 円=283,200 円

（2）地区単位民生委員・児童委員協議会の活動に要する経費
１協議会当たり年額 20,000 円の増額
12 地区単位民児協×20,000 円＝240,000 円

6　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.17 参照）。

事 業 名		生活困窮者自立相談支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2144-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,671,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	11,989,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	11,834,579 円
事業の目的	・生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、就労、福祉、住まいの確保等、包括的に支援し、自立促進を図る。	事業の概要	・生活困窮者に対し、面談や訪問を行っているほか、支援プランを作成し、適切なサービスにつなげるなどして自立した生活が送れるよう支援する。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

（1）新規面接相談件数

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
新規面接相談件数	182 件	145 件	534 件

（2）相談内容（多い項目）

① 収入・生活費（家計）について
② 家賃・ローンについて
③ 仕事探し・就職について
④ 病気・健康・障害について

（3）面接相談後の支援状況

面接相談後の支援状況内訳	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
支援プランを作成し、支援した件数	23 件	20 件	14 件
支援プランを作成せず短期間で支援した件数	60 件	42 件	110 件
相談面接のみ（助言、他制度へのつなぎ等で終了）	99 件	83 件	410 件

（4）支援終結件数（生活困窮課題が解決した件数）

支援終結件数内訳	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
支援プラン作成後、支援終結した件数	10 件	14 件	11 件
支援プランを作成せず短期間で支援し終結した件数	60 件	42 件	110 件

（5）支援終結理由（多い項目）

支援終結理由内訳	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
他制度の利用提案	26 件	26 件	53 件
就労につながった	18 件	15 件	49 件
生活保護を申請	26 件	15 件	19 件

2　事業の成果

生活保護に至る前の困窮者に対し、就労支援、家計相談、関係機関との調整等など包括的に支援し、課題が複雑化・深刻化する前に自立の促進を図ることができた。

なお、令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、相談が急増した。

事 業 名		生活困窮者住居確保給付事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2144-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,890,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	15,101,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	13,428,800 円
事業の目的	・住居を失った又は失うおそれのある方に対し、住居及び就労機会の確保を目的に家賃相当額を支援する。		事業の概要	・離職や廃業又は休業等により収入が減少し、住居を失った又は失うおそれのある方に対し、住居確保給付金を原則 3 か月間（一定の条件により 3 か月間の延長及び再延長が可能）支給し、就労支援を実施する。

事業の実績・成果

1　事業の実績

	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
申請件数（件）	5	4	61
決定件数（件）	5	4	61
廃止件数（件）	1	2	37
支給額（円）	557,000	816,000	12,299,300

2　事業の成果

就職活動を支えるため家賃相当額を有期で給付し、就職につなげることができた。

なお、令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、支給対象者を拡大し、さらに支給期間を延長したことから利用者が急増した。

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P. 17 参照）。

事 業 名	生活困窮者学習支援事業			（総合戦略）
担 当 課	生活福祉課		総合振興計画コード	2144-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,999,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	5,999,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	5,998,300 円
事業の目的	・貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。	事業の概要	・生活保護受給世帯の中学生、高校生全学年及び就学援助受給世帯の中学 3 年生を対象に学習支援等を実施する。 ・定員 24 名。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

参加者内訳	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
中　学　生	22 人 （中学 3 年生:22 人） 生活保護世帯 4 人、 就学援助世帯 18 人	27 人 （中学 2 年生:1 人 中学 3 年生:26 人） 生活保護世帯 4 人、 就学援助世帯 23 人	27 人 （中学 1 年生:3 人 中学 2 年生:2 人 中学 3 年生:22 人） 生活保護世帯 6 人、 就学援助世帯 21 人
高　校　生	0 人	2 人 （高校 1 年生:1 人 高校 3 年生:1 人）	2 人 （高校 2 年生:1 人 高校 3 年生:1 人）

進　路	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
中学卒業後の進路	高校進学 22 人	高校進学 26 人	高校進学 22 人
高校３年生の人数、進路	―	1 人 大学進学　1 人	1 人 就職　1 人

2　事業の効果

生活困窮世帯の中学３年生に対し、学習支援教室、進路相談、居場所の提供を実施し、進学に興味を持ち、将来への自立を促すための事業展開により、高校進学合格率１００％を達成し、「貧困の連鎖」の防止に取り組むことができた。

また、令和元年度から生活保護世帯に限り、中学１年生及び２年生までに対象を拡大し、早期に支援する事で将来像を確立し、自立への取り組みを強化した。

事 業 名		低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業【繰越明許】		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	2144-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	29,266,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	29,266,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	3,542,324 円
事業の目的	消費税率の引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするため、低所得者・子育て世帯主向けのプレミアム付商品券事業を実施する。		事業の概要	①令和元年度市民税非課税者から、課税者の扶養親族と生活保護受給者等を除いた者及び、②基準日時点において住民登録があり、平成28年4月2日以降に出生した子どもがいる世帯主等を対象として、引換券の発行を行う。上記①及び②の対象者にプレミアム付商品券（25,000円（プレミアム分5,000円）の販売を行う。

事業の実績・成果

【令和元年度から令和2年度へ繰り越した理由】

商品券の使用期間が令和2年3年31日までのため、プレミアム付商品券に係る精算事務等手続きについて、年度内に事業完了ができないため。

○低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券購入引換券の発行と商品券の販売

1　購入対象者

①令和元年度住民税非課税者（課税基準日：平成31年1月1日）…16,015人

※住民税課税者と生計同一の配偶者、扶養親族、生活保護受給者等を除く。

②基準日時点（※）で、平成28年4月2日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主

※基準日：令和元年6月1日、令和元年7月31日、令和元年9月30日

※子育て世帯は申請不要（申請を要しない）

2　購入引換券の交付申請期間　　令和元年8月1日より令和元年12月27日

3　購入引換券交付人数　　8,008人（非課税者：5,530人、子育て世帯主：2,478人）

4　商品券の販売期間　　令和元年10月1日から令和2年2月28日

5　商品券の使用期間　　令和元年10月1日から令和2年3月31日

6　商品券の内容　　1セット5,000円分（500円分が10枚綴り・購入金額4,000円）
対象者一人につき最大で5セット分まで購入可能

7　商品券販売額　　111,360,000円

8　総換金額　　138,571,000円（換金率）約99.5%
（販売分：110,856,800円、プレミアム分：27,714,200円）
※内、令和2年度総換金額：16,194,500円

9　商品券の換金期間　　令和2年4月17日まで

10　商品券発行・販売事業主体　　加須市商工会

11　取扱店舗数　　684店舗（令和2年3月31日時点）

事 業 名		中国残留邦人等支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	9,475,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	9,531,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	5,438,945 円
事業の目的	中国残留邦人等の老後の生活の安定を図る。		事業の概要	永住帰国した中国残留邦人等で一定の要件を満たす者に対して、安定した生活が送れるよう、生活支援給付、住宅支援給付、医療支援給付等の支援を実施する。 なお、中国残留邦人等の置かれている事情に鑑み、懇切丁寧に実施する。

事業の実績・成果

○扶助費　4,899,226 円
　生活支援給付金　1,766,446 円（ 3/4　国庫負担金）
　住宅支援給付金　517,200 円（ 3/4　国庫負担金）
　医療支援給付金　2,615,580 円（ 3/4　国庫負担金）

事業費の推移　（単位：円、世帯）

	管理費	扶助費	精算に伴う返還金	計	歳入対象	対象世帯数
平成 28 年度	501,528	5,852,880	270,000	6,624,408	4,515,490	2
平成 29 年度	477,278	5,499,076	377,000	6,353,354	4,238,387	2
平成 30 年度	1,219,959	6,026,147	644,000	7,890,106	4,619,610	2
令和元年度	472,420	5,615,944	230,000	6,318,364	4,311,620	2
令和２年度	483,719	4,899,226	56,000	5,438,945	3,674,419	2

事 業 名		行旅病人及び行旅死亡人取扱事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	283,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	283,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	259,257 円
事業の目的	人権及び人としての尊厳を確保する。		事業の概要	旅行中に病気等で加須市内で倒れ、入院治療を要する状態に陥ったが療養の方法がなく、かつ、救護者のない者の救護や、旅行中に加須市内で死亡し引取者のない者（身元不明者を含む。）の葬祭等を実施する。

事業の実績・成果

加須市管内において行旅死亡人の取り扱いが発生し、公告等の手続き及び葬祭を執り行った。

○行旅死亡人取扱費用

①令和２年３月発生分

官報広告料　14,830 円

※他市にて生活保護を受給し、死後に葬祭を執り行ったため、加須市では死亡地としての告示及び広告のみ。また、４月の官報掲載となったことから、令和２年度予算にて執行。

②令和３年１月発生分

官報広告料　14,830 円

葬祭費用　230,000 円

遺留金（葬祭費充当）　403 円

○行旅病人・行旅死亡人の取扱状況　（単位：件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
行 旅 病 人	0	0	0	0	0
行旅死亡人	0	0	1	0	2

事 業 名		国民健康保険組合支援事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2211-31
款	03	民生費	当 初 予 算 額	612,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	612,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	580,000 円
事業の目的	埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合組合員の病気を予防するため、両組合を支援し、国民皆保険制度の維持に努める。	事業の概要	埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合に対し、運営費及び事業費の一部を助成する。 ・助成額　組合員一人当たり２５０円	

事業の実績・成果

埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合が実施する、健康保持、増進事業について、事業費の一部を助成し、健康づくりの支援を行った。

加入者数（4 月 1 日現在）　（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部	1,769	1,715	1,659	1,660	1,635
建設埼玉北埼地区本部	723	695	684	665	685

補助金交付額　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部	442,250	428,750	414,750	415,000	408,750
建設埼玉北埼地区本部	180,750	173,750	171,000	166,250	171,250

事 業 名		国民健康保険事業特別会計繰出事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2224-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	987,927,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	987,927,000 円
目	01	社会福祉総務費	決 算 額	769,070,785 円

事業の目的	国民健康保険の健全運営を図るため、被保険者の保険給付と負担とのバランスを確保しながら、特定健康診査の実施、生活習慣病予防等の保健事業を実施することにより、医療に頼らない健康な身体づくりを推進し、医療費の抑制に努める。	事業の概要	一般会計からの繰出金をもって国民健康保険事業の収支の均衡を図る。

事業の実績・成果

国民健康保険加入者の一人当たり医療費は、長寿化や医療技術の高度化等により毎年度増加している。

このため、複数年を見込んだ医療費の見通しなどが困難なため、医療費等の給付と税負担との関係を毎年度検証しながら、国保税を改正することとしている。

一般会計からの繰出金については、令和２年度は、対前年度 101,583 千円、11.7%の減となった。

一般会計からの繰出金の推移　（単位：千円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
繰 出 金 額	1,374,670	1,368,876	1,174,438	870,654	769,071
うち法定外繰出金	730,066	867,282	633,484	299,660	198,000
対前年度比率(%)	167.4	99.6	85.8	74.1	88.3

事 業 名		障害者在宅生活支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-14
款	03	民生費	当 初 予 算 額	17,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	17,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	低所得な障がい者の介護保険利用者負担額を助成することで、生活保護への移行防止を図る。	事業の概要	障害者総合支援法における生活保護境界層（利用者負担額を支払うことで生活保護となってしまうため、利用者負担額を0円に軽減していた者）が、介護保険制度に移行することにより発生する利用者負担の全てを助成することで生活保護への移行を防止する。	

事業の実績・成果

低所得世帯の介護保険のホームヘルプサービスを利用している障がい者の経済的負担の軽減を図り、福祉サービスの利用促進を図ったが、令和2年度には対象者がいなかった。

対象者　0人
件　数　0件

扶助費、対象者数の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
扶助費（円）	0	0	0	0	0
対象者数（人）	0	0	0	0	0

※令和2年度で事業廃止

事 業 名		在宅重度心身障害者手当支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-17
款	03	民生費	当 初 予 算 額	60,171,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	60,171,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	53,586,339 円
事業の目的	在宅の重度心身障害者の経済的、精神的負担の軽減を図る。	事業の概要	身障手帳1、2級・療育手帳マルA、A所持者・精神手帳1級所持者または超重症心身障害児で市町村民税非課税の者（施設入所者、特別障害者手当等受給者、65歳以上の新規手帳取得者は除く）に対し、手当を支給する。 ・20歳以上　月額5,000円 ・20歳未満　月額7,000円 ※20歳未満の2,000円増額分については、市独自で上乗せしている。	

事業の実績・成果

加須市在宅重度心身障害者手当支給条例に基づき、在宅重度心身障がい者（児）に在宅重度心身障害者手当を支給することにより、障がい者（児）の経済的、精神的負担の軽減を図った。

年2回（9月、3月）支給した。
在宅重度心身障害者手当（令和3年3月支給　20歳未満　67人、20歳以上　820人）

支払月	9月期	3月期	合計
金額（円）	27,005,000	26,529,000	53,534,000
延人数（人）	5,241	5,157	10,398

金額・延人数の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
金額（円）	62,047,000	60,833,000	59,405,000	55,847,000	53,534,000
延人数（人）	12,057	11,831	11,442	11,114	10,398

事業名	特別障害者手当等支給事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-18
款 03	民生費	当初予算額	60,234,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	60,244,000円
目 02	障害者福祉費	決算額	58,227,738円
事業の目的	重度障がい（児）者の介護者等の経済的・精神的負担の軽減を図る。	事業の概要	・特別障害者手当 月額27,350円…20歳以上で身体または精神の重度の障害で常時特別の介護を要する者 ・障害児福祉手当 月額14,880円…20歳未満で身体1級の一部と2級の一部、知的○A相当、精神障害や血液疾患等で他の障害と同程度の者 ・経過的福祉手当 月額14,880円…制度改正前（S61年4月1日）20歳以上の福祉手当受給者で特障手当、障害年金の非受給者

事業の実績・成果

○心身に著しく重度の障害があるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする者であって施設に入所されていない等の条件を満たす者に対して、手当を支給することにより、介護等の精神的・経済的負担の軽減を図った。

なお、支給は3ヶ月毎に行った。

（令和3年3月31日現在受給資格者数 特別障害者手当151人、障害児福祉手当48人、福祉手当2人）

支払月	5月期	8月期	11月期	2月期	合計
金額（円）	14,458,360	14,489,620	14,551,970	14,718,480	58,218,430
延人数（人）	559	600	600	607	2,366

※8月期に5月・6月分の随時払い、6月・7月分返還金を含む。（延人数：随時3人・返還3人）
※11月期に8月分の随時払い、10月分返還金を含む。（延人数：随時4人・返還1人）
※2月期に11月・2月・3月分の随時払いを含む。（延人数：随時6人）

○国返還金　9,308円

金額、延人数の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
金額（円）	39,596,760	39,750,010	41,444,610	53,405,890	58,218,430
延人数（人）	1,790	1,809	1,848	2,238	2,366

事 業 名		重度心身障害者医療費支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-19
款	03	民生費	当 初 予 算 額	227,377,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	227,377,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	193,097,010 円

事業の目的	重度心身障がい者（児）やその家庭の経済的負担を軽減し、重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図る。	事業の概要	対象者から請求される医療保険制度の一部負担金および入院食事療養費標準負担額（中学校３年生まで）を助成する。 〇受給資格者　・身体障害者手帳 1、2、3 級所持者・療育手帳マル A、A、B 所持者・精神障害者手帳 1 級所持者・65 歳以上で後期高齢者医療制度の障害認定に該当する者（65 歳以上で新たに上記障害になった場合、平成 27 年 1 月から対象外） ※平成 31 年 1 月から所得制限導入

事業の実績・成果

重度心身障がい者（児）に医療費一部負担金等を助成することにより、重度心身障がい者（児）の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図った。

令和 3 年 3 月現在の受給者数　2,405 人

医療費の推移　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
医療費	231,785,869	227,501,693	223,179,501	211,034,125	189,901,923

事 業 名		在宅障害者おむつ支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,536,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	4,536,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	3,725,342 円
事業の目的	在宅の重度心身障がい者及び介護者の経済的負担の軽減を図るとともに障がい者への福祉の充実を図る。		事業の概要	委託業者が対象者宅へ紙おむつを配布。1 ヵ月あたり 6,300 円を限度。 対象は、総合支援法の日常生活用具の紙おむつの対象とならない者で、下肢又は体幹 1～2 級、療育手帳マル A～A の者。（入院中・入所中・介護保険対象者・住民税課税者・新規で 65 歳以上を除く）

事業の実績・成果

在宅の重度心身障がい者（児）に対し、紙おむつを給付することにより、本人及び介護者の経済的負担の軽減と福祉の増進を図った。

対象者　56 人
給付額　3,725,342 円

事業費の推移　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
金額	2,786,847	3,153,377	3,518,670	3,608,466	3,725,342

事 業 名		重度視覚障害者介助手当支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-21
款	03	民生費	当 初 予 算 額	960,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	960,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	924,000 円
事業の目的	介助者に対し経済的負担や精神的負担の軽減を図る。		事業の概要	身体障害者手帳 1 級～2 級の在宅の視覚障がい者と同居し生活を共にしている介助者に、年額 12,000 円を支給する。

事業の実績・成果

在宅の重度視覚障がい者の日常生活における介助者に対し、介助手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図った。

支給額　年額　12,000 円

支給額、支給者数の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
支給額（円）	936,000	876,000	840,000	852,000	924,000
支給者数（人）	78	73	70	71	77

事業名	障害（児）者生活サポート事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-23
款 03	民生費	当初予算額	29,610,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	30,610,000円
目 02	障害者福祉費	決算額	19,024,100円
事業の目的	障がい（児）者の日常生活への支援及び介護者の負担軽減を図る。	事業の概要	障がい者およびその家族の介護依頼に対してサービスを提供する民間サービス団体の運営に要する経費を補助する。 ・1時間当り利用者負担額　H28年度まで500円、H29年度650円、H30年度850円、R1年度以降950円（障がい児は生計中心者の所得税額により減免あり） ・民間サービス団体への運営経費補助　1時間当り2,850円と自己負担額の差額

事業の実績・成果

障がい（児）者やその家族の多様化するニーズに応えるため、身近な場所で迅速・柔軟なサービスを提供する民間団体に運営費を補助し、福祉の向上及び介護者の負担軽減を図った。

サービス内容は、一時預かり、送迎サービス、外出援助、派遣による介護サービス等。

1　福祉有償運送運営協議会負担金　30,000円

2　利用状況の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録者数（人）	873	897	919	963	1,000
利用者数（人）	386	409	432	417	359
利用件数（件）	16,867	13,507	12,676	12,629	10,221
利用時間数（時間）	14,526	13,688	12,336	11,678	8,396
運営補助額（千円）	35,469	31,576	26,239	23,628	18,974

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅲ．事業者支援】を実施した（別冊P.18参照）。

事 業 名		心身障害者生活ホーム事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-28
款	03	民生費	当 初 予 算 額	902,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	902,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	901,550 円
事業の目的	心身障がい者に生活ホームを利用させることで社会的自立の助長を図る。		事業の概要	市内に住所を有し、自立した生活を望みながらも家庭環境または住宅事情等の理由により、社会的自立が阻害されている身体障がい者または知的障がい者に対して、住宅を提供するとともに、夜間を中心に生活面の指導・援助を行う。 ・施設には、運営費を補助する。 ・運営費補助単価…日額2,470 円

事業の実績・成果

心身障がい者が自立した生活をするための生活ホームの運営費等を補助し、心身障がい者の社会的自立の助長を図った。

事業運営費補助額1人 1日2,470 円

（単位：人、円）

施設名	利用者実人数	月当たり延利用者数	事業運営費補助
生活ホーム小川（市外）	1	12	901,550

事業運営費補助額の推移

（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助額	5,475,100	5,475,100	5,475,100	929,640	901,550

※補助を行っていた2か所の生活ホームのうち1か所が平成30年度をもって閉所となり、障がい者グループホームに移行した。

事 業 名		障がい者福祉管理事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2121-38
款	03	民生費		当 初 予 算 額	2,106,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	4,007,855 円
目	02	障害者福祉費		決 算 額	3,554,066 円
事業の目的	障害福祉関連事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。		事業の概要	障がい者福祉に係る情報を適切に処理し、各事業の円滑かつ効果的な実施を図る。 障がい者福祉課及び総合支所市民福祉健康課（障害福祉担当）の経常的な管理費を支出する。	

事業の実績・成果

障害福祉関連事業を円滑に実施するための、各総合支所市民福祉健康課も含め諸費用について支出した。

○北埼地区障がい者支援協議会負担金　47,000 円

新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.18 参照）。

事 業 名		在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2121-40
款	03	民生費		当 初 予 算 額	3,120,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	3,120,000 円
目	02	障害者福祉費		決 算 額	1,910,000 円
事業の目的	医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担の軽減を図る。		事業の概要	短期入所事業や日中一時支援事業で対象障がい児を受け入れる事業者に対し、予算の範囲内において助成金を交付する。 ・短期入所事業：超重症心身障がい児 1 人につき 1 日当たり　20,000 円、重症心身障がい児 1 人につき 1 日当たり　10,000 円 ・日中一時支援事業：重症心身障害児 1 人につき 1 日当たり　20,000 円	

事業の実績・成果

医療的ケアを必要とする在宅重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担を軽減するために、短期入所事業や日中一時支援事業で対象児を受けいれた事業所に対して助成金を交付。

令和元年度から超重症心身障がい児から重症心身障がい児へ対象が拡大された。

【利用延べ人数】　（単位：人）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
短期入所事業	0	198	191
日中一時支援事業	0	0	0

事 業 名		身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-41
款	03	民生費	当 初 予 算 額	817,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	708,145 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	38,000 円
事業の目的	身体障害者等の機能低下予防を図るとともに、視覚障害者の就業及び経済的自立を推進する。		事業の概要	保険適用外のはり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給する。 ・身体障害者手帳の所持者で肢体障害 1 級～6 級該当者 ・介護認定者で要支援 1 以上の方 ※入院中や施設入所中の方は対象外

事業の実績・成果

身体障害者等の機能低下予防と、視覚障害者の就業支援・経済的自立支援のため、はり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給した。

	令和元年度	令和 2 年度
申請者数（人）	20	44
交付枚数（枚）	30	74
利用枚数（枚）	10	19

※令和元年度事業開始

事 業 名		あけぼの園管理運営事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2122-09
款	03	民生費		当 初 予 算 額	2,925,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	10,420,000 円
目	02	障害者福祉費		決 算 額	2,894,500 円
事業の目的	障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。		事業の概要	在宅障がい者に対し通所により生産活動等の機会を提供するとともに、就労指導、生活指導等を行い自立および社会参加を促すため、あけぼの園の管理運営を行う。	

事業の実績・成果

あけぼの園の適正かつ効率的な運営のため、指定管理者として加須市社会福祉協議会に管理運営を委託（平成29年度～令和3年度）するとともに、入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。

また、施設修繕として、空調機ドレン点検修繕や外壁亀裂修繕等を行った。

・令和3年3月現在の入所者数41名（生活介護21名、就労継続支援B型20名）
・あけぼの園への入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。
　開催回数 3 回、委員謝金　6,700円×3回＝20,100円
・あけぼの園指定管理委託料　2,485,000円
・施設修繕　389,400円

【繰越明許　令和2年度から令和3年度へ繰り越す理由】
ホール空調機修繕費及び利用者送迎用車両関連費（繰越明許額　7,495,000）
補正の時期及び修繕、購入の内容から、年度内の完了が困難なため繰り越した。

事 業 名		障害者福祉団体支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2123-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	647,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	647,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	441,717 円
事業の目的	各障害者福祉団体の助成を図り、社会福祉活動の推進、福祉の増進を図る。	事業の概要	各障害者福祉団体活動推進のために活動費を助成する。 【助成団体】 身体障害者福祉会（加須・北川辺・大利根）、視力障害者福祉協会加須支部、手をつなぐ親の会（加須）、聴覚障害者協会	

事業の実績・成果

障害者福祉関係団体の活動の推進、福祉の増進を図るため、関係団体へ活動費の補助を行った。

補助金額の推移 （単位：千円）

団 体 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加須市身体障害者福祉会	280	280	280	280	280
北川辺身体障害者福祉会	45.6	45.6	45.6	－	－
大利根身体障害者福祉会	186	186	186	186	67
加須市肢体不自由児者父母の会	120	120	120	－	－
埼玉県視力障害者福祉協会	40	40	40	40	0
加須手をつなぐ親の会	55	55	55	55	55
加須市聴覚障害者協会	40	40	40	40	40
合 計	766.6	766.6	766.6	601.0	441.7

※北川辺身体障害者福祉会及び加須市肢体不自由児者父母の会は、令和2年度の補助金申請を辞退

（単位：円）

団 体 名	助成金額	会員数・実施事業
加須市身体障害者福祉会	280,000	会員108人、役員会実施、支部長会議、正副会長会議、グラウンドゴルフ大会
大利根身体障害者福祉会	66,717	会員21人、重度会員慰問 新型コロナによる活動自粛のため補助金を一部返還
埼玉県視力障害者福祉協会加須支部	0	会員6人、本部総会、支部長会議 新型コロナによる活動自粛のため補助金を返還
加須手をつなぐ親の会	55,000	会員24人、定例会の開催、勉強会の開催
加須市聴覚障害者協会	40,000	会員22人、各種手話講座へ講師派遣、手話通訳者派遣事業運営委員会参加

事 業 名		重度身体障害者居宅改善整備事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2124-12
款	03	民生費	当 初 予 算 額	600,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	600,000 円
目	02	障害者福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	重度身体障がい者の居宅の一部を障害に応じて使いやすく改造することで、重度身体障がい者の日常生活における利便を図る。	事業の概要	重度の身体障がい者が日常生活において直接利用する浴室、洗面所、庭など屋内外の改造整備費に対して補助金を交付する。 ・一般世帯限度額…24 万円 ・生活保護世帯限度額…36 万円	

事業の実績・成果

障がい者の家庭内での自立を促進するため、申請により居宅改善整備費を助成する。
令和 2 年度は申請がなかった。

重度身体障害者居宅改善整備事業利用状況の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数（人）	0	1	0	0	0
補助金額（円）	0	240,000	0	0	0

事 業 名		障害者計画及び障害福祉計画策定事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,258,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	5,258,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	4,149,080 円
事業の目的	誰もがいきいきと住み続けるまちづくりを目指す。	事業の概要	障害者計画は、各種障害者福祉施策の方向性を定める。障害福祉計画は、各種障害福祉サービス及び地域生活支援事業の数値目標を定める。障害児福祉計画は、障害児支援に係る提供体制の推進を定める。	

事業の実績・成果

計画期間を令和３年度から令和５年度までの３か年とする「第６期加須市障害福祉計画及び障害者計画、加須市障害児福祉計画」を策定した。

○障がい者施策推進懇話会

学識経験者、障がい者団体関係者、社会福祉団体関係者等からなる「加須市障がい者施策推進懇話会」を2回開催し、計画策定にあたり実施するアンケート調査の内容や数値目標を定めた計画案について協議を行った。

・開催日　　第１回：令和２年８月７日、第２回：令和２年12月18日
・出席者　　第１回：14名（うち報償金対象者10名）、第２回：９名（うち報償金対象者７名）
・懇話会委員謝金　　第１回：30,000円、第２回：21,000円
※第１回目の謝金は、障害者計画及び障害福祉計画進行管理事業で支出。

○アンケート調査の実施

障がいのある方の現状や意向などを把握するため、また、障害のない方の障がい者に対する意識の掘り起こしのために、アンケート調査を行い、広く意見を聴取した。

対象者は無作為抽出。郵送配布、郵送回収。

障がいのある方への調査	調査対象数（人）	回収数（人）	回収率（%）
合計	1,800	1,101	61.2

※調査対象数の内訳：身体障がい者1,200人、知的障がい者300人、精神障がい者300人

障がいのない方への調査	調査対象数（人）	回収数（人）	回収率（%）
合計	600	293	48.8

○障害者計画及び障害福祉計画策定業務委託

業務委託料　　4,128,080円

事 業 名		障害者計画及び障害福祉計画進行管理事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	100,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	100,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	32,640 円
事業の目的	誰もがいきいきと住み続けるまちづくりを目指す。	事業の概要	障がい者施策推進懇話会にて、計画の進行管理を行う。	

事業の実績・成果

〇障がい者施策推進懇話会

障害者計画及び障害福祉計画（第5期）、障害児福祉計画（第1期）（平成30年度～令和2年度）の進捗状況について説明・報告した。

令和２年８月７日開催、出席者　14 名（うち謝金対象者 10 名）

懇話会委員謝金　30,000 円

事業名	補装具費支給事業			
担当課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	2121-03
款	03	民生費	当初予算額	21,238,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	21,238,000円
目	03	自立支援給付費	決算額	12,188,124円
事業の目的	身体障がい（児）者の失われた身体機能を補完又は代替する用具を支給することで、身体障がい（児）者の社会生活や日常生活の能率向上を図る。	事業の概要	身体障がい者（児）や難病患者が補装具を購入・修理する、または貸与を受ける際の費用を助成する。自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。 身体障害者手帳非対象の 18 歳未満の軽中度難聴児の補聴器購入の自己負担は基準額の3分の1。	

事業の実績・成果

○身体障がい者(児)や難病患者に対し、補装具の購入・修理費を助成し、家庭内及び社会復帰の促進を図った（自己負担額は基準額の原則1割。対象者、基準額、耐用年数等の基準がある。）。

用具別内訳

	購入		修理	
	決定件数（件）	助成金額（円）	決定件数（件）	助成金額（円）
義肢	4	810,706	8	582,251
装具	26	1,227,531	3	28,154
座位保持装置	3	1,962,802	6	431,564
視覚障害者安全つえ	1	4,806	0	0
眼鏡	5	138,556	0	0
補聴器	33	2,208,133	16	376,424
車椅子	7	1,539,147	21	936,203
電動車椅子	1	460,623	4	468,616
その他	3	707,968	1	2,640
合計	83	9,060,272	59	2,825,852

補装具費支給費（扶助費）の推移　（単位:円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
扶助費	16,081,486	16,627,342	20,031,409	18,959,450	11,886,124

○18 歳未満の軽度・中等度の難聴児に対し、社会生活や日常生活の能率向上を図ることを目的に補聴器の購入の際に助成を行った（助成額は基準額の3分の2、基準額・耐用年数等の基準がある。）。

・支給件数　4件

難聴児補聴器購入助成費の推移　（単位:円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
助成費	146,000	146,000	73,000	221,000	296,000

事 業 名		自立支援医療費支給事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	148,478,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	154,904,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	133,771,852 円
事業の目的	身体上の障害を軽減したり、機能を回復することができるような医療にかかる医療費を助成することで、身体障がい者（児）の社会生活や日常生活の能率向上を図る。		事業の概要	日常生活能力や機能を回復・改善するための医療を受ける際の費用を一部助成する。自己負担は医療費の 1 割、所得により自己負担上限額あり。18 歳以上の身体障害者手帳所持者を対象とする更生医療、18 歳未満の身体に障害のある児童を対象とする育成医療に分類。

事業の実績・成果

○身体障がい者(児)に対し、必要な医療費を助成し、職業その他日常生活の能率向上及び自立した社会復帰の促進を図った。

（支給認定件数）　更生医療　107 件（レセプト数　1,198 件）　125,495,785 円
育成医療　41 件（レセプト数　82 件）　1,787,597 円

事業費の推移　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
更生医療	100,420,851	122,650,563	124,741,232	132,152,771	125,495,785
育成医療	3,290,603	4,218,664	3,571,064	2,856,005	1,787,597
合　計	103,711,454	126,869,227	128,312,296	135,008,776	127,283,382

○国、県返還金　6,424,670 円

事 業 名		障がい者訪問サービス（自立支援）事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	203,412,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	263,922,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	245,007,248 円
事業の目的	障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者訪問サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者（児）の福祉の増進を図る。		事業の概要	・障害者総合支援法に基づく「居宅介護」、「重度訪問介護」、「同行援護」「行動援護」及び「重度障害者等包括支援」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。 ・介護保険サービスの円滑な利用の促進

事業の実績・成果

障害施策を 3 障害（身体・知的・精神）一元化し、障がい者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営めるよう、その者の状況や置かれている環境に応じて必要なサービスを支援した。

1　介護給付費　234,791,501 円

区　分	延件数（件）	金額（円）
居宅介護	1,267	124,710,859
重度訪問介護	15	7,328,429
行動援護	1,029	102,275,156
同行援護	12	477,057

2　国、県返還金　10,215,747 円

事 業 名		障がい者日中活動サービス（自立支援）事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,164,984,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,279,524,642 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	1,249,497,962 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者日中活動系サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。		事業の概要	障害者総合支援法に基づく、「生活介護」、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」、「宿泊型自立訓練」、「就労移行支援」、「就労継続支援（A型・B型）」、「療養介護」及び「短期入所（福祉型・医療型）」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。 ・自立生活援助、就労定着支援のサービスの創設（H30.4～）

事業の実績・成果

障がい者（身体・知的・精神）が日中活動できる場を提供し、創作活動・生産活動の機会の提供及び就労に必要な知識・能力の向上等の必要な支援を行った。

1　介護給付費・訓練等給付費　　1,238,411,506 円

区　　分		延件数（件）	金額（円）
介護給付費		**3,474**	**857,875,804**
	療養介護	120	32,253,270
	生活介護	3,189	802,330,245
	短期入所	165	23,292,289
訓練等給付費		**3,047**	**380,535,702**
	宿泊型自立訓練	24	3,469,350
	自立生活援助	10	252,350
	自立訓練（機能訓練）	10	1,266,426
	自立訓練（生活訓練）	71	13,842,211
	就労移行支援	359	56,977,173
	就労継続支援A型	328	45,600,940
	就労継続支援B型	2,135	255,754,469
	就労定着支援	110	3,372,783

2　療養介護医療費　　9,315,237 円（111 件）

3　国返還金　　1,771,219 円

事 業 名		障がい者居住サービス（自立支援）事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	430,258,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	528,615,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	521,544,584 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。	事業の概要	施設に入所する障がい者や共同生活を営むのに支障のない障がい者につき、主として夜間において共同生活を営むべき住居において相談、入浴、排せつまたは食事の介護その他の日常生活上の援助を行う。	

事業の実績・成果

主として夜間に障害者支援施設及び共同生活援助（グループホーム）において入浴や食事等の日常生活上の支援を行った。

1　補助金

・共同生活援助等事業費補助金　0 円

共同生活援助（グループホーム）への運営費に対し、補助金を交付することにより福祉の向上を図るものであるが、申請・該当がなかった。

2　介護給付費・訓練等給付費　　521,544,584 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
介護給付費	**1,384**	**189,362,503**
施設入所支援	1,384	189,362,503
訓練等給付費	**1,562**	**332,182,081**
共同生活援助	1,562	332,182,081

事 業 名	障がい児発達支援（自立支援）事業		
担 当 課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-08
款 03	民生費	当 初 予 算 額	243,984,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	300,841,358 円
目 03	自立支援給付費	決 算 額	299,399,545 円
事業の目的	障がい児が日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要なサービスに係る給付、その他の支援を行い、障がい児の福祉の増進を図る。	事業の概要	障がい種別（身体障害・知的障害・精神障害）にかかわらず、障がい児が必要とするサービスを利用できるよう、個々の障がいの程度や社会活動、養育環境など、勘案すべき事項を踏まえ、個別に支給決定を行う。

事業の実績・成果

障がい児（18 歳未満）に対し、必要なサービスの実態を把握するための障害児相談支援を行い、現状に合わせたサービスを提供し生活能力向上のための訓練や社会との交流促進の支援を行った。

1　障害児通所給付費　　289,801,358 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
児童発達支援	613	81,356,658
放課後デイサービス	2,043	208,138,907
保育所等訪問支援	4	48,800
※特別支援学校等の臨時休校に伴う放課後デイサービスかかり増し分	13	256,993

2　障害児相談支援給付費　　8,882,424 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
障害児相談支援	502	8,882,424

3　高額福祉サービス費等　　715,763 円

区　　分	件数（件）	金額（円）
障害児通所給付費等	101	715,763

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P.19 参照）。

事 業 名		障がい者相談管理（自立支援）事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-09
款	03	民生費	当　初　予　算　額	28,997,000 円
項	01	社会福祉費	最　終　予　算　額	35,497,000 円
目	03	自立支援給付費	決　　算　　額	32,034,626 円
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等に係る相談支援や給付費等の適正な管理を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。		事業の概要	障害者総合支援法に基づく「計画相談支援」、「地域移行支援・地域定着支援」のサービスの提供を行う。また、障害福祉サービス等に係る審査支払を行う。

事業の実績・成果

○障害福祉サービスを受給する際に、心身の状況、環境、サービス利用の意向等から利用するサービス種類と内容を勘案した計画相談を実施し、計画内容が適切かを確認するモニタリングを行い実態に沿ったサービスの支給を行った。
○事業所からの障害福祉サービスの請求内容及び療養介護医療費の審査を埼玉県国保連合会へ委託し、適正な支払い事務を行った。
○同一世帯に障害福祉サービス等の利用者が複数いる場合等については、世帯の負担を軽減する観点から償還払い方式により対象となる世帯の利用者負担の軽減を行った。

1　審査支払手数料　　1,810,224 円

区　　分	件数（件）	金額（円）
障害福祉サービス	10,875	1,425,000
障害児給付費等	3,157	378,840
療養介護医療費		6,384

2　計画相談支援給付費　　1,527 件　　21,303,747 円

3　高額福祉サービス費　　101 件　　685,636 円　　等

事 業 名		北埼玉地区障害支援区分審査会共同設置事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-24
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,937,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,937,000 円
目	03	自立支援給付費	決 算 額	1,533,920 円
事業の目的	障がい者の支援の度合いに応じたサービスが利用できるように審査会を経ることで基準の透明化・明確化を図る。		事業の概要	・介護給付を新規申請する者等の障害支援区分の審査を行う。 ・審査会は共同設置（行田市・加須市・羽生市）とする。 ・加須市が事務局である。 ・審査会委員は合計 15 人。

事業の実績・成果

障害者総合支援法第 15 条の規定により審査会の設置が義務付けられたが、北埼玉地区 3 市で北埼玉地区障害支援区分審査会を共同設置し審査を行うことにより、単独で設置するよりも経費の削減が図れるとともに、公平性も保つことができている。

事務局　　加須市
審査会開催回数　24 回
審査件数　454 件（うち加須市分 227 件）

各市負担金割合
負担金は、人口割、身障・療育・精神手帳所持者割、判定者数割の合計で算出した。
（単位：円）

市　名	負担金額
行 田 市	475,285
加 須 市	713,542
羽 生 市	345,093
合　　計	1,533,920

審査会開催回数・件数、事業額の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
審査会開催回数（回）	24	24	26	24	24
審 査 件 数 （ 件 ）	472	431	636	479	454
事 業 額 （ 円 ）	1,663,400	1,601,360	1,704,960	1,589,360	1,533,920

※　新型コロナウイルス感染症の感染予防のため 7 回を書面審査とした。

事業名	障害者相談支援事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-10
款 03	民生費	当初予算額	11,101,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	11,101,000円
目 04	地域生活支援費	決算額	11,096,778円

事業の目的	在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピュアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。	事業の概要	・委託　行田市、羽生市との共同設置による北埼玉障がい者生活支援センターが一般的な相談に対応。 ・計画相談　指定をうけた事業所がサービス等利用計画についての相談に対応。 ・一般相談　指定をうけた事業所が地域生活への移行に向けた支援や相談に対応。 ・身体障害者相談員及び知的障害者相談員を各5名委嘱。

事業の実績・成果

○北埼玉障がい者生活支援センターを北埼玉地区3市（加須市、行田市、羽生市）で共同設置し、羽生市の社会福祉法人へ委託し運営している。相談ケースに応じた支援を個々に行い、障がい者の自立や社会参加の促進を図った。（委託先　社会福祉法人 幸生会（羽生市）、社会福祉法人 共愛会（羽生市））

相談支援を利用している障がい者等の実人数　（単位：人）

	幸生会	共愛会
身体障がい者	39	1
知的障がい者	4	46
精神障がい者	2	92
その他	0	1
合　計	45	140

相談件数（支援方法別）　（単位：件）

	幸生会	共愛会
訪問	265	400
来所	3	69
電話	190	265
同行	5	104
合　計	463	838

委託料内訳　（単位：円）

	人口割	手帳所持者割	相談件数割	合　計
幸生会	2,590,978	1,298,343	1,084,330	4,973,651
共愛会	2,890,618	1,448,493	1,579,016	5,918,127
合　計	5,481,596	2,746,836	2,663,346	10,891,778

負担金（委託料）の推移　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加須市	9,623,790	9,859,812	9,960,594	10,637,872	10,891,778

○身体障害者相談員及び知的障害者相談員による相談会を行った。

謝金　200,000円

・身体障害者相談員　20,000円×5名＝100,000円

・知的障害者相談員　20,000円×5名＝100,000円

事業名	障害者コミュニケーション支援事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-11
款 03	民生費	当初予算額	5,964,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	5,964,000円
目 04	地域生活支援費	決算額	3,004,616円
事業の目的	聴覚、音声機能、視覚等の障がいのため、意思疎通を図ることに支障のある障がい者に対し、意思疎通の円滑化を図り、社会参加を推進する。	事業の概要	聴覚障がい者のコミュニケーション支援・情報保障のため、手話通訳者等を派遣する。 登録手話通訳者認定試験の実施 また、手話通訳者等を養成するため、養成講座等を開催する。

事業の実績・成果

聴覚障がい者等の依頼を受け、市の登録手話通訳者を派遣することにより、障がい者の意思疎通の円滑化と社会参加の促進を図った。社会福祉協議会に手話奉仕員養成講座を、聴覚障害者協会に手話フォローアップ講座をそれぞれ委託した。登録手話通訳者の増員を目的にした手話通訳者養成講座は、新型コロナウイルス感染症による新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（令和２年４月７日発出）中の開講となることから感染拡大防止のため中止した。

・（福）埼玉聴覚障害者福祉会（埼玉聴覚障害者情報センター）による派遣（19件）　292,500円
・市登録通訳者派遣（67件）　543,996円
・派遣体制　登録手話通訳者７名、専任手話通訳者１名
・手話奉仕員養成講座（全46回）　1,079,400円
・手話フォローアップ講座（全13回）　240,000円
・運営委員会、認定試験審査会の開催回数　６回

手話講習会受講者数内訳　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
手話奉仕員養成講座 入門課程　全22回	16	22	21	27	16
手話奉仕員養成講座 基礎課程　全30回	16	11	18	11	15
手話講習会 レベルアップ課程全20回	12	13	－	－	－
手話フォローアップ講座 全20回	－	－	－	15	8

※平成28年度の入門課程の回数は全25回。
※令和２年度の基礎課程及びフォローアップ講座は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（令和３年１月７日発出）のため回数を削減。

手話通訳者利用内容内訳　（単位：件）

利用内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
打合せ・手続き	23	24	49	35	74
式典・イベント・講演	37	36	24	31	4
病院診察	186	264	247	293	253
学校関係	36	60	45	24	10
面接、相談	9	20	16	15	4
その他	13	26	50	50	38
合計	304	430	431	448	383

※平成28年９月より専任手話通訳者による市直営の派遣を開始。

事 業 名		地域活動支援センター事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-12
款	03	民生費	当 初 予 算 額	12,190,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	12,190,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	9,246,250 円
事業の目的	障がい者等地域生活支援の促進を図る。		事業の概要	地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センターの活動を支援する。 対象者：身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者

事業の実績・成果

障がい者の社会復帰の促進を図るため、地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センター等に運営費等を補助した。

このことにより、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図ることができた。

〇補助金　NPO 法人地域活動支援センターこすもす　8,000,000 円
〇負担金　久喜市地域活動支援センターあんご工房　（久喜市）　0 円
〇委託料　地域活動支援センターふれあい（古河市）　12,166,550 円
　　地域活動支援センターみどりの家　夢（古河市）　29,600 円

こすもす

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者総数（人）	32	30	33	29	22
市内利用者数（人）	19	19	21	17	11
補助金（円）	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000

あんご工房

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
市内利用者数（人）	1	0	0	0	0
負担金（円）	47,502	0	0	0	0

ふれあい

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
市内利用者数（人）	3	4	5	5	5
委託料（円）	863,000	1,023,000	1,026,300	1,452,900	1,216,650

みどりの家

					令和 2 年度
市内利用者数（人）					1
委託料（円）					29,600

事 業 名		訪問入浴サービス事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-13
款	03	民生費	当 初 予 算 額	7,456,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	7,456,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	5,233,750 円
事業の目的	身体障がい者に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供することで、重度身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。		事業の概要	身体障がい者の居宅を訪問し、浴槽を自宅に持ち込んで行われる入浴の介護。 ・対象者 介護保険による訪問入浴を受けることができない在宅の身体障害者。 原則、月 2 回を限度とするが、ガイドライン（事務処理要領）により月 3 回以上利用の例外もある。 利用者負担なし。

事業の実績・成果

障害者総合支援法に基づき、入浴が困難な在宅の身体障がい者（児）に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供する事業を実施することにより、身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図り、地域における身体障がい者の生活を支援した。

事業費等の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用者数（人）	6	6	7	7	6
委託料（円）	3,292,500	4,437,500	5,030,000	5,288,750	5,233,750

事 業 名		日中一時支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,336,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,336,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	53,240 円
事業の目的	障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることにより、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図る。		事業の概要	障がい者等からの申請に基づき、心身等の状態が支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択し、希望事業所がサービスの提供を行う。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者。

事業の実績・成果

障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図り、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図った。

登録事業所数　28 事業所
利用者数　　3 人

事業費等の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費（円）	3,470,195	2,654,599	1,018,966	928,220	53,240
延べ利用回数（回）	1,041	692	256	237	16
延べ利用時間（時間）	5,451	4,188	1,685	1,541	84

事業名	障害（児）者日常生活用具給付等事業		
担当課	障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-25
款 03	民生費	当初予算額	24,003,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	24,003,000円
目 04	地域生活支援費	決算額	19,889,131円
事業の目的	障がい（児）者等に対して職業その他日常生活の能率向上を図る。	事業の概要	在宅障がい者・児、小児慢性特定疾患児に対して、盲人用時計・移動用リフト・ストマ用装具等の給付等を行う。 自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。

事業の実績・成果

在宅障がい（児）者に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより日常生活の便宜を図った。個人負担額は原則1割で、対象者、基準額、耐用年数等の基準がある。

日常生活用具別内訳

	延件数（件）	公費負担額（円）	内容
介護・訓練支援用具	3	191,240	特殊寝台等
自立生活支援用具	10	183,631	入浴補助用具等
在宅療養等支援用具	8	283,320	電気式たん吸引器等
情報・意思疎通支援用具	17	793,850	人工咽頭等
排泄管理支援事業	358	18,227,940	蓄便・蓄尿袋等
小児慢性特定疾病分	1	29,150	紫外線カットクリーム
合計	397	19,709,131	

住宅改修　1件　180,000円

日常生活用具給付費等の推移　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
金額	19,745,950	21,759,661	21,786,478	22,897,418	19,889,131

事 業 名		移動支援事業		
担 当 課		障がい者福祉課	総合振興計画コード	2121-26
款	03	民生費	当 初 予 算 額	39,000,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	39,000,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	22,912,009 円
事業の目的	障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すとともに、福祉の増進を図る。		事業の概要	障がい者等からの申請に基づき、支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択しサービスの提供を受ける。 対象となる外出は、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等社会参加のための外出に限る。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者および難病患者。

事業の実績・成果

屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会生活の促進を図った。

登録事業所数　40 事業所
利用者数　　76 人

事業費等の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
事業費（円）	38,066,822	35,922,332	32,440,932	27,418,439	22,912,009
延べ利用回数（回）	5,231	5,002	4,716	3,619	3,138
延べ利用時間（時間）	15,015	14,048	12,550	10,587	8,384

事 業 名	障害者就労支援事業			（総合戦略）
担 当 課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	2122-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,160,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	3,160,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	2,835,094 円
事業の目的	障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。	事業の概要	［北埼玉障がい者就労支援センター］ 障害者の就労に関する相談支援等を、加須市、羽生市、行田市との共同設置により社会福祉法人共愛会へ委託する。 ［就職支度金］ 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金 36,000 円を支給し、社会復帰の促進を図る。	

事業の実績・成果

○北埼玉障がい者就労支援センター

委託料　2,655,094 円

平成 22 年 8 月から、北埼玉地区（行田市・加須市・羽生市）の共同設置により、羽生市内の施設へ委託し運営している。

登録により、就労準備支援、職場開拓・就職支援、職場定着支援、離職時支援、生活支援を実施した。

委託先　　社会福祉法人 共愛会
登録者数　　242 人
年間就労者数　 11 人

利用者人数・年間就労者数・支援件数の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
利用者人数（人）		75	85	82	73	70
年間就労者数（人）		20	39	26	26	11
支援件数（件）	就労準備支援（件）	83	45	54	45	38
	職場開拓、就職支援（件）	89	49	62	49	64
	職場定着支援（件）	128	152	146	152	129
	離職時支援（件）	18	12	15	12	19
	生活支援（件）	93	53	61	53	72

○就職支度金支給

施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図った。

対象者数　５人　　180,000 円（36,000 円×５人）

事 業 名		障害者スポーツ交流事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2123-02
款	03	民生費		当 初 予 算 額	266,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	266,000 円
目	04	地域生活支援費		決 算 額	95,950 円
事業の目的	障害（児）者及び介護者をはじめとして、スポーツを通して交流を図る。		事業の概要	加須市民体育館内において各障害者団体および介護者を中心としてミニ運動会を開催する。 ・パン食い競争ほか軽度な競技を中心に個人種目および団体対抗種目を実施する。 ・競技の進行等を団体の役員にも協力依頼する。 市民による障がい者スポーツ振興・普及の取組みを支援する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

事 業 名		社会参加促進事業			
担 当 課		障がい者福祉課		総合振興計画コード	2123-05
款	03	民生費		当 初 予 算 額	12,553,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	12,553,000 円
目	04	地域生活支援費		決 算 額	8,434,332 円
事業の目的	障がい者の経済的負担の軽減と社会参加等の促進を図る。		事業の概要	・障がい者自動車運転免許取得費補助…12 万円を限度 ・身体障がい者自動車改造費補助…10 万円を限度 ・自動車燃料費助成…月額 1,000 円（上限） ・福祉タクシー利用料助成…年間 30 枚又は 36 枚 ・ファクシミリ利用料助成…月額 1,000 円（上限）	

事業の実績・成果

障がい者が在宅においてできる限り自立した生活を行い、積極的に社会参加ができるよう日常生活の利便性の経済的負担の軽減を図るため、各種援護を行った。

障がい者の社会参加を促進するため、申請により運転免許の取得、自動車改造費等を助成する。

・障害者自動車運転免許取得費補助（限度額　120,000 円）　2 件　240,000 円
・身体障害者自動車改造費補助（限度額　100,000 円）　3 件　214,740 円
・自動車燃料費助成（月 1,000 円上限）　4,463,750 円（延べ 1,676 名）
・福祉タクシー利用料助成（手数料・利用券印刷代含）　3,236,140 円（延べ 4,458 件）
・ファクシミリ利用料助成（月 1,000 円上限）　279,702 円（延べ　47 件）

事業費の推移　（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
事業費合計	10,657,474	11,175,440	10,966,129	9,864,589	8,434,332
障害者自動車運転免許取得費補助金	240,000	240,000	480,000	720,000	240,000
身体障害者自動車改造費補助金	462,500	700,000	300,000	382,000	214,740

事 業 名	障がい者成年後見制度利用支援事業			
担 当 課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	2124-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,268,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,268,000 円
目	04	地域生活支援費	決 算 額	244,000 円
事業の目的	知的障がい者や精神障がい者本人の財産管理、悪徳商法からの被害等を防止する。	事業の概要	身寄りがなく、申立てをする人はいない知的障がい者、精神障がい者の方の保護を図るため、市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始で審判の申立てを行う。65 歳以上は高齢者福祉課で対応。報酬助成額は月額 28,000 円（施設に入所等をしている場合には月額 18,000 円）。	

事業の実績・成果

令和２年度は市長申立ての利用はなかった。

市長申立て件数　０件
成年後見人への報酬助成件数　１件

・事業実施　（単位：件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
申立て件数	0	0	0	0	0

事 業 名	外国人高齢者福祉手当支給事業			
担 当 課	国保年金課		総合振興計画コード	2111-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	120,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	120,000 円
目	05	国民年金費	決 算 額	120,000 円
事業の目的	元気な高齢者を支援するため、昭和 57 年以前の年金制度における国籍要件により、国民年金に加入できなかった外国人高齢者の福祉の増進を図る。	事業の概要	日本国籍を有しない者で、かつ大正 15 年（1926 年）4 月 1 日以前に生まれた者に対し、福祉手当（１人当たり月額 10,000 円）を支給する。	

事業の実績・成果

支給対象者を的確に把握し、支給した。

対象者　　外国人高齢者　１人
支給額　　10,000 円×1 人×12 月＝120,000 円
支給日　　上半期 9 月、下半期 3 月

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
支給人数（人）	1	1	1	1	1
金額（円）	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

事 業 名		国民年金事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2142-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,517,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	3,078,000 円
目	05	国民年金費	決 算 額	2,681,909 円
事業の目的	国民年金の身近な窓口として、市民の老齢、障害、死亡に関して必要な給付を行い、健全な国民生活の維持・向上を図る。		事業の概要	国民年金の加入・喪失・保険料免除関係、老齢福祉年金、障害者年金等給付関係業務（年金事務所への送達含む）や年金相談、年金の普及啓発を行う。 ・令和２年度保険料月額 16,540 円

事業の実績・成果

国民年金にかかる各種届出書や給付請求書等の受付において、内容の確認や必要書類の点検を十分に行い、遅滞なく年金事務所へ進達した。

進達件数 （単位：件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
資格関係	7,696	6,453	5,630	5,348	4,931
給付関係	805	887	776	797	649

＜市内被保険者数等＞

第１号被保険者数 （単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
被保険者数	13,715	13,080	12,513	12,185	12,067

保険料免除等件数 （単位：件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
法定免除	880	874	881	907	911
申請免除	1,840	1,909	1,745	1,873	1,976
学生納付特例	1,504	1,471	1,460	1,392	1,336
納付猶予	578	659	652	662	657

事 業 名		高齢者福祉管理事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2111-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,857,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	13,140,500 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	10,677,017 円
事業の目的	高齢者福祉事務を執行し、高齢者に対する支援を行う。		事業の概要	社会福祉主事資格の取得の促進、社会福祉法人への市有地等貸付け、車両の管理、支援が必要な高齢者の情報収集など、高齢者福祉業務の管理費を効率的に執行する。

事業の実績・成果

高齢者福祉事務を適切に執行し、諸経費を支出した。

【高齢者福祉管理費年度別実績】 （単位：円）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
3,009,610	1,606,563	3,038,380	1,745,563	10,677,017

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.19 参照）。

事 業 名		老人クラブ支援事業			
担 当 課		高齢者福祉課		総合振興計画コード	2111-11
款	03	民生費		当 初 予 算 額	5,890,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	5,890,000 円
目	06	老人福祉費		決 算 額	5,625,317 円
事業の目的	健康づくり・介護予防活動、友愛活動、社会活動への積極的な参画を通じて、明るい長寿社会づくりに資する。		事業の概要	老人クラブ連合会におけるグラウンド・ゴルフ大会、交通安全教室、研修会、文化創作展等の開催支援、地域内での社会奉仕活動等を支援する。	

事業の実績・成果

高齢者を主体とする地域における自主的な組織である老人クラブに対し、生きがいと健康づくりの支援を行った。なお、令和 2 年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、総会を書面決議としたり、ワナゲ大会やグラウンド・ゴルフ大会など多くの参加者が集う一部のイベントを午前・午後の二部制にしたりと新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を講じながら事業を実施した。

【老人クラブ数など】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
クラブ数	97	94	93	93	92
会員数（人）	4,280	3,921	3,798	3,748	3,547
補助金交付額（円）	5,982,000	5,844,000	5,798,000	5,702,200	5,625,317

＜加須市老人クラブ連合会の主な活動＞

総会、グラウンド・ゴルフ大会（年１回）、日帰り研修、「加須市老連だより」発行、県主催行事への参加

＜地域ごとの活動＞

・加　須…総会、グラウンド・ゴルフ大会（年１回）、ワナゲ大会（年２回）、文化創作展、高齢者交通安全教室、県外研修、埼玉県老人クラブ連合会主催イベントへの参加、市主催行事への参加
・騎　西…総会、グラウンド・ゴルフ大会、県外研修、高齢者交通安全教室、市主催行事への参加
・北川辺…総会、花のボランティア、ワナゲ大会、県外研修、市主催行事への参加、雑巾寄付事業
・大利根…総会、県外研修、グラウンド・ゴルフ大会、友愛訪問、高齢者交通安全教室、市主催行事への参加

※令和２年度は、一部の活動が新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため中止又は縮小開催となった。（総会、県外研修、ワナゲ大会　など）

事 業 名		敬老祝金支給事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2111-13
款	03	民生費	当 初 予 算 額	61,496,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	61,371,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	60,031,800 円
事業の目的	高齢者に対して長寿の祝福と敬老の意を表すとともに、所在を確認する。		事業の概要	8 月 1 日現在、市内に 1 年以上居住し、年度内に満 77 歳・満 88 歳・満 99 歳・満 100 歳を迎える方に敬老祝金を支給し、併せて所在確認を行う。 満 77 歳　20,000 円　満 88 歳　50,000 円 満 99 歳　50,000 円　満 100 歳　50,000 円

事業の実績・成果

市内に居住する高齢者に対し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福するため、敬老祝金を贈呈した。

対 象 者　基準日の 8 月 1 日現在において次のいずれにも該当する方
・本市に引き続き 1 年以上居住し、住民基本台帳に記録されている方
・基準日の属する年の 4 月 1 日からその翌年の 3 月 31 日までにおいて、年齢が満 77 歳、満 88 歳、満 99 歳又は満 100 歳となる方

祝 金 額　満 77 歳　20,000 円×1,342 人＝26,840,000 円
満 88 歳　50,000 円×　593 人＝29,650,000 円
満 99 歳　50,000 円×　35 人＝ 1,750,000 円
満 100 歳　50,000 円×　35 人＝ 1,750,000 円　　贈呈総額　59,990,000 円

贈呈方法　民生委員や市職員が対象者本人へ直接手渡し

【敬老祝金贈呈者数及び祝金額】

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
贈呈（人）	満 77 歳	990	1,109	1,211	1,249	1,342
	満 88 歳	498	456	490	492	593
	満 99 歳	21	37	39	39	35
	満 100 歳	21	18	29	24	35
	合　計	1,530	1,620	1,769	1,804	2,005
決算（円）		48,480,000	47,730,000	52,120,000	52,730,000	59,990,000

事 業 名		敬老会助成事業			
担 当 課		高齢者福祉課		総合振興計画コード	2111-14
款	03	民生費		当 初 予 算 額	7,798,000 円
項	01	社会福祉費		最 終 予 算 額	6,390,430 円
目	06	老人福祉費		決 算 額	4,824,013 円
事業の目的	高齢者の長寿を祝い、高齢者の健康の維持と生きがいの醸成を図る。		事業の概要	社会福祉協議会に対し、補助金を交付し、各地域における敬老会の開催を支援する。	

事業の実績・成果

社会福祉協議会が主催する敬老会の事業費の一部を補助し、加須市敬老会事業の推進を図った。

なお、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、対象者への祝状及び記念品等の配布を行い、式典は中止した。

補助金交付額　　4,824,013 円（運営費）

【敬老会対象者数及び寿賀表彰者数】　（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
対象者（75 歳以上）	13,887	14,387	14,994	15,441	15,608
米寿（88 歳）	500	455	491	492	593
白寿（99 歳）	21	37	40	39	35

※8 月 1 日時点の人数

事業名	金婚祝賀事業			
担当課	高齢者福祉課		総合振興計画コード	2111-24
款	03	民生費	当初予算額	783,000円
項	01	社会福祉費	最終予算額	783,000円
目	06	老人福祉費	決算額	476,094円
事業の目的	郷土への愛着と高齢者福祉への関心を高める。	事業の概要	・金婚（婚姻50周年）に際し、市長の祝状及び額を贈呈。 ・寿賀（100歳、99歳、88歳）に際し、市長の祝状と額又は筒を贈呈。 ・100歳の市民を市長が訪問し祝う。	

事業の実績・成果

市民の金婚及び寿賀の慶事に対し、市が祝意を表することにより、市民の郷土への愛着が高まり、市民と行政による協働のまちづくりの推進が図られた。

1　金婚に際し、市長の祝状及び額を贈った。【高齢者福祉課及び各総合支所市民福祉健康課】

・贈呈者数：59組

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
贈呈（組）	92	107	83	85	59
決算（円）	192,533	204,050	172,162	196,548	121,710

2　寿賀に際し、市長の祝状及び筒又は額を贈った。【高齢者福祉課及び各総合支所市民福祉健康課】

・贈呈者数　100歳：35人、99歳：35人、88歳：593人

年度			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
贈呈（人）	100歳	男	2	3	4	7	4
		女	16	15	25	17	31
		計	18	18	29	24	35
	99歳	男	3	7	14	4	4
		女	18	30	26	35	31
		計	21	37	40	39	35
	88歳	男	169	164	173	154	191
		女	331	291	318	338	402
		計	500	455	491	492	593
決算（円）			297,888	294,489	329,462	279,606	354,384

事 業 名		緊急通報システム整備事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,258,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	4,258,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	2,731,762 円
事業の目的	緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の緊急事態における高齢者の不安を解消し、もって高齢者福祉の向上を図る。		事業の概要	ひとり暮らし高齢者等が緊急時において、救急車を呼ぶことができる装置及びペンダントを貸与する。 定期的な安否確認、24 時間 365 日対応の健康相談により利用者を見守る。

事業の実績・成果

65 歳以上のひとり暮らし高齢者等で身体上慢性的な疾患により常時注意を要する方に、緊急通報を発信する機器を貸与することで、緊急事態における不安を解消した。

貸与機器　緊急通報用電話機、携帯用無線発信機（ペンダント）
事業内容　機器の設置・撤去工事、機器点検訪問
　　電話健康相談、電話による定期的な安否確認、緊急時の救急搬送要請

【緊急通報システム利用件数及び設置台数】　（単位：件）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
緊急出場件数	31	35	27	30	31
搬送件数	25	31	22	21	17
電話健康相談※	72	40	122	103	51
設置台数	146	143	144	151	136
うち新規設置台数	12	24	25	28	21

※電話健康相談については、平成 26 年 1 月から開始。

事 業 名		ねたきり老人等日常生活用具給付等事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	99,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	99,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	高齢者の安全の確保と自立の促進を図る。		事業の概要	・用具の給付・貸与（自動消火器・電磁調理器・福祉電話） ・利用者からの申請に基づき市が利用決定 ・委託業者から納品

事業の実績・成果

高齢者の自立支援及び日常生活における安全の確保を図るため、事業の周知を行ったが、令和２年度においては、日常生活用具の給付等の実績はなかった。

【高齢者用福祉電話】

使用料 ＝ 屋内配線使用料＋電話機使用料

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
利用人数（人）	6	7	3	3	0
使用料（円）	19,867	19,951	13,798	3,483	0

令和元年 12 月以降、給付等の実績がないこと、過去５年間の推移から今後も給付等の見込みがないこと等から、令和２年度末をもって事業を廃止した。

事 業 名		養護老人ホーム入所事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	70,707,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	70,707,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	53,089,351 円
事業の目的	住居の確保を通じ、高齢者の更なる福祉の充実を図る。	事業の概要	65 歳以上で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホームに入所措置する。	

事業の実績・成果

入所判定委員会を経て、居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホーム等へ入所させ、生活の安定を図った。

【老人ホーム入所判定委員会開催及び新規入所数】 （単位：回、人）

老人ホーム入所判定委員会		老人ホーム（養護・特養）新規入所者数
開催回数	期　　日	
1	令和 3 年 3 月 15 日	2 （加須 1、北川辺 1）

※養護者による虐待により、生命又は身体に重大な危険が生じているおそれがあると認められる高齢者を一時的に保護する場合は、入所判定委員会の開催を待つことなく入所措置を行うことができる。

※令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、書面により会議を開催した。

【養護老人ホーム等入所状況】 令和 3 年 3 月 31 日現在 （単位：人）

あいせんハイム	偕楽荘	清和園	熊谷ホーム	みずほの里	合計
14	3	1	4	1	23

【老人ホーム入所事業費】 （単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
委託料	60,195,813	61,736,900	58,642,771	62,398,154	53,089,351

事 業 名		配食サービス事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2112-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	14,112,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	14,112,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	12,946,180 円
事業の目的	ひとり暮らし高齢者等の見守り及び栄養面における在宅生活の自立を支援し、要介護状態への進行を防止する。		事業の概要	在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等に属する方のうち調理することが困難な方に対し栄養のバランスのとれた食事を配送する。 週に3回まで利用可能。 1食880円(内訳　自己負担：300円、市負担：580円)

事業の実績・成果

配食サービスの提供によって、在宅のひとり暮らし高齢者等の栄養状態の維持・改善とともに見守りの役割を果たすことができた。

対象者

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する方で、調理を行うことが困難な方

事業内容

昼食時に栄養バランスを考慮して調理された食事を居宅に配達する。
また、食事の配達時に安否の確認を行い、異常がある場合は速やかに関係機関への連絡等を行う。
なお、事業の実施は、1日1食、1週間に3回まで、月曜日から金曜日までの昼食とする。

【利用状況】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用人数（人）	210	216	206	195	213
利用実績（円）	12,016,950	12,822,700	12,502,600	13,226,320	12,946,180

※各年度3月31日現在の人数
※平成27年度から一般会計へ移行

事 業 名	ひとり暮らし高齢者等把握事業			
担 当 課	高齢者福祉課		総合振興計画コード	2112-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	896,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	896,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	856,956 円
事業の目的	ひとり暮らし高齢者を把握し、安否確認や緊急時の連絡体制を確保・強化する。	事業の概要	民生委員による訪問調査（見守り活動）をもとに、満 65 歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の緊急連絡先等を登録・更新する。なお、登録は希望制。 3 年に一度全対象者を訪問調査する。	

事業の実績・成果

民生委員の訪問調査によって、ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者のみの世帯の状況を把握し、その結果データを台帳に入力・管理することで、緊急時の連絡体制の確保など高齢者支援の基本情報として活用することができた。

また、災害時要援護者台帳との連携を進め、災害時に支援が必要な高齢者の把握ができるようにした。

調査方法　民生委員による訪問調査
調査結果　65 歳以上のひとり暮らし高齢者世帯　3,899 世帯（令和 3 年 3 月 31 日時点）
　　65 歳以上のみの高齢者世帯　4,192 世帯（令和 3 年 3 月 31 日時点）
台帳活用　市が実施する福祉事業、社会福祉協議会や高齢者相談センターが実施する事業の基本情報として活用
台帳更新　随時、調査結果を入力し台帳を更新

ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯数　（単位：世帯）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
ひとり暮らし高齢者世帯	2,917	3,178	3,357	3,547	3,899
高齢者のみの世帯	3,564	3,704	3,856	3,948	4,192
合計世帯数	6,481	6,882	7,213	7,495	8,091

※世帯数は、民生委員の訪問調査により把握した数
※令和元年度は、3 年に一度の全対象者調査

事 業 名	ひとり暮らし高齢者地域交流助成事業			
担 当 課	高齢者福祉課		総合振興計画コード	2112-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	400,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	400,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	ひとり暮らし高齢者の見守りや仲間づくり、生きがいづくりを促進し、要介護状態になることを予防する。	事業の概要	社会福祉協議会に対し、ひとり暮らし高齢者地域交流事業を推進するための補助金を交付する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初、社会福祉協議会が実施を予定していた補助対象事業が中止となった。

事 業 名		社会福祉法人による介護保険低所得者対策事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2113-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	371,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	371,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	0 円
事業の目的	低所得者の介護保険サービスの利用促進を図る。		事業の概要	社会福祉法人等が対象者に対して利用者負担の1/4（老齢福祉年金受給者は1/2、生活保護受給者は居住費のみ全額）の軽減を行い、利用者負担を軽減した総額のうち、本来受領すべき利用者負担収入の 1%を超えた部分の 1/2 を上限として、市が社会福祉法人に助成する。

事業の実績・成果

本事業は、生計困難者に対して介護保険サービスの利用者負担を軽減している社会福祉法人等に助成するものであるが、要件に該当する法人等がなかった。

・社会福祉法人等利用者負担軽減対象者　5 人（うち介護保険サービス利用者　5 人）
・利用者負担軽減対象者の利用実績を有する社会福祉法人　3 施設
・施設への助成額　0 円
（対象者に対する軽減額が、施設が本来受領すべき利用者負担収入額の 1 %未満のため）

【事業実績】

区　分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成元年度	令和 2 年度
利用人数（人）	6	5	4	5	5
予算額（円）	368,000	371,000	371,000	371,000	371,000
決算額（円）	0	0	0	0	0

事 業 名		介護サービス利用者負担助成事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2113-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	27,695,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	29,102,570 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	29,102,570 円
事業の目的	要介護又は要支援の認定を受け、在宅介護サービスを利用している低所得者に対し、利用者負担額の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。		事業の概要	市民税非課税世帯の在宅介護サービス利用者が申請することにより、自己負担額の一部(25%)を助成する。

事業の実績・成果

新規対象者及び未申請者宛に毎月勧奨通知を送付し、事業の周知に努めた。その結果、申請件数は増加するなど、低所得者の経済的負担を軽減するとともに、在宅での介護サービスを普及することができた。

【介護サービス利用者負担助成利用状況】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対象件数（件）	10,668	11,675	11,981	12,741	13,692
申請件数(件)	10,417	11,176	11,645	12,410	13,251
助成額(円)	23,290,414	25,407,549	25,376,904	26,838,768	29,102,570

事 業 名	介護施設整備促進事業			（総合戦略）
担 当 課	高齢者福祉課		総合振興計画コード	2113-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	195,402,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	195,402,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	195,402,000 円
事業の目的	介護を必要とする高齢者が、必要な介護サービスを利用できるよう、安全で安心できる介護サービス提供基盤を整備する。	事業の概要	・介護サービス事業の設置に関する相談に対応する。 ・高齢者支援計画に基づき施設整備を行う事業者を募集し、選定する。	

事業の実績・成果

第３次加須市高齢者支援計画（平成30年度～令和２年度）に基づき、市内で介護施設を整備しようとする事業者に対し、県補助金（補助率：10/10）を財源として、加須市地域密着型サービス等整備事業等補助金を交付することにより、当該介護施設の整備を促進することができた。

1　令和２年度中に整備された施設（令和３年４月１日開設）

事業者名	施設名	施設の種類	定員
社会福祉法人さきたま会	ケアハウスみずほの里	軽費老人ホーム（ケアハウス）	29 人
株式会社あしたば	グループホーム明日葉かぞ・こもれび	認知症高齢者グループホーム	9 人

2　加須市地域密着型サービス等整備事業等補助金の内訳　（単位：円）

事業者名	地域密着型サービス等整備事業補助金（工事請負費等に対する補助）	介護施設等施設開設準備事業補助金（備品購入費等に対する補助）	合計
社会福祉法人さきたま会	129,920,000	24,331,000	154,251,000
株式会社あしたば	33,600,000	7,551,000	41,151,000
合計	163,520,000	31,882,000	195,402,000

事 業 名	ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業		
担 当 課	高齢者福祉課	総合振興計画コード	2113-13
款 03	民生費	当 初 予 算 額	10,500,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	10,625,000 円
目 06	老人福祉費	決 算 額	10,625,000 円
事業の目的	介護される方が尊厳をもって自立した日常生活を送ることができるよう、在宅で介護を行う家族介護者を支援する。	事業の概要	要介護 4 又は 5 の認定を受け、在宅でねたきりの高齢者を介護する家族介護者に対し、ねたきり老人等居宅介護者慰労金を支給する。

事業の実績・成果

在宅の要介護高齢者を介護している家族等に対し、慰労金を支給することによって、介護者の負担の軽減を図ることができた。

【年度別・介護度別支給状況】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延人数（人）	要介護 4　325	要介護 4　327	要介護 4　321	要介護 4　280	要介護 4　322
	要介護 5　199	要介護 5　196	要介護 5　202	要介護 5　201	要介護 5　202
支給額（円）	10,555,000	10,230,000	10,335,000	9,545,000	10,625,000

※令和元年度から事業を一般会計に移行して実施。

事 業 名		介護保険事業特別会計繰出事業		
担 当 課		高齢者福祉課	総合振興計画コード	2117-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,462,391,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,463,470,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	1,463,469,780 円
事業の目的	高齢者の自立支援の理念に基づき、介護保険事業の健全かつ円滑な運営を行う。		事業の概要	介護保険法に基づき、介護保険給付費、地域支援事業費にかかる費用及び介護保険運営上の事務経費を負担する。

事業の実績・成果

(単位：円)

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
繰出金合計	1,069,889,000	1,143,666,397	1,170,183,460	1,258,585,870	1,463,469,780
実質繰出額	997,466,151	1,086,419,143	1,122,925,547	1,213,614,912	1,360,436,384
一般会計への返還金	72,422,849	57,247,254	47,257,913	44,970,958	103,033,396

事 業 名		後期高齢者医療広域連合負担事業		
担 当 課		国保年金課	総合振興計画コード	2225-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	976,875,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	976,875,000 円
目	06	老人福祉費	決 算 額	974,409,913 円
事業の目的	国民皆保険を堅持し、将来にわたり安定的で持続可能なものとしていくため、後期高齢者医療制度の健全な運営を図る。	事業の概要	広域連合運営に係る経費を各市町村が広域連合規約の規定に基づき、人件費、光熱水費等の①共通経費分や、②医療給付費に要する経費対象額の 1/１２相当額を負担する。	

事業の実績・成果

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、医療給付に要する経費を負担した。
療養給付費負担金　949,094,456 円

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、広域連合の共通経費を構成市町村で負担した。
埼玉県後期高齢者医療広域連合市町村負担金
① 均等割　共通経費総額の 10%を構成市町村で除して算出
② 人口割　共通経費総額の 45%に構成市町村の令和 2 年 3 月 31 日現在の総人口に占める各市町村の割合を乗じて算出
③ 高齢者人口割　共通経費総額の 45%に構成市町村の令和 2 年 3 月 31 日現在の満 75 歳以上人口に占める各市町村の割合を乗じて算出
共通経費負担金　25,315,457 円

（単位：千円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
療養給付費負担金	806,261	820,074	933,736	1,003,621	949,094
市町村負担金（共通経費）	24,254	25,234	31,827	22,761	25,315

療養費負担金の推移

事 業 名	後期高齢者医療特別会計繰出事業		
担 当 課	国保年金課	総合振興計画コード	2225-02
款 03	民生費	当 初 予 算 額	275,117,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	275,117,000 円
目 06	老人福祉費	決 算 額	252,918,220 円
事業の目的	高齢期における適切な医療の確保を図るため、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図る。	事業の概要	低所得者への負担軽減（７割・５割・２割）及び事務費等について一般会計から繰り出しを行う。

事業の実績・成果

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合の条例の定めにより、所得の少ない者について、保険料の均等割額(41,700 円)の軽減賦課に基づき減額した額を基礎として負担した。

・埼玉県後期高齢者医療基盤安定事業負担金　236,421,495 円

県負担分(3/4)　177,316,121 円

市負担分(1/4)　59,105,374 円

低所得者軽減分（法 99①関係）

	対象被保険者数（人）	１人当たり軽減額(年間)（円）	軽減額総計（円）
２割軽減	1,665	8,340	13,496,900
５割軽減	1,768	20,850	35,959,272
７割軽減	6,561	29,190	185,745,611
合計	9,994	－	235,201,783

被扶養者軽減分（法 99②関係）

	対象被保険者数（人）	１人当たり軽減額(年間)（円）	軽減額総計（円）
５割軽減	75	20,850	1,219,712

○ 後期高齢者医療特別会計に対し、繰り出した。

内　容	金額（円）
事務費繰出金	11,130,000
健康診査充実事業繰出金	4,935,725
保養施設利用助成事業繰出金	273,000
人間ドック・脳ドック利用助成事業繰出金	158,000

事業名	老人福祉センター管理運営事業			
担当課	高齢者福祉課		総合振興計画コード	2111-12
款 03	民生費		当初予算額	41,503,000円
項 01	社会福祉費		最終予算額	41,503,000円
目 07	老人福祉センター費		決算額	23,731,326円
事業の目的	高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的とする。	事業の概要	入浴施設（加須・大利根）、広間、舞台、カラオケ、囲碁将棋等の設備の利用促進と整備を図る。 高齢者の生きがいづくり、健康づくり、また、居場所づくりの拠点として、衛生的な公衆浴場としての機能とレクリエーション機能を持った、安全かつ交流が図れる環境を確保する。	

事業の実績・成果

例年、高齢者が地域の仲間と共に健康で明るい生活を楽しむための場として、様々なイベントを開催しているが、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から各センターを休館した。

また、騎西、北川辺地域においては、施設や設備の老朽化が進んでいることから既存の老人福祉センターを令和2年度末をもって廃止した。

なお、老人福祉センターが担っていた高齢者の健康増進と集いの場の役割は、健康福祉センターへ移管した。

【老人福祉センター利用者】 （単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
老人福祉センター不老荘	22,435 (38)	23,361 (36)	23,093 (51)	20,470 (61)	休館
騎西老人福祉センター	5,153 (109)	6,257 (85)	8,967 (120)	8,007 (98)	
北川辺老人福祉センター	5,789 (14)	5,388 (13)	4,919 (9)	4,765 (15)	
大利根総合福祉会館	36,624 (11,143)	34,928 (10,417)	37,992 (11,612)	32,530 (10,477)	
合　計	70,001 (11,304)	69,934 (10,551)	74,971 (11,792)	65,772 (10,651)	

※（　）の数字は、うち市外利用者の数

・施設維持や廃館のために必要な修繕・工事を実施した。

（加須：直営）

浄化槽漏水修理　159,500円

男子トイレ洗面器下排水修繕　12,001円

空調機修理　17,160円

（騎西：指定管理）

騎西老人福祉センター指定管理　3,114,432円

（北川辺：直営）

警備機器撤去　36,850円

（大利根：指定管理）

大利根総合福祉会館指定管理　14,181,000円

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.20参照）。

事 業 名	ファミリーサポートセンター事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-13
款	03	民生費	当 初 予 算 額	6,233,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	6,672,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	5,600,351 円
事業の目的	子どもの健やかな成長と女性の社会参画を支援するため、きめ細かい育児サポートを行い、仕事と育児を両立できる環境を整備する。同時にコミュニティー活動等への積極的な参加を促進する。	事業の概要	育児支援が行える市民（協力会員）と、育児支援を必要とする市民（利用会員）で会員組織化し、かぞファミリーサポートセンターにおいてコーディネーターが調整のうえ、相互援助活動を行う。	

事業の実績・成果

○かぞファミリー・サポート・センターの運営

育児の支援を受けたい方（利用会員）と育児の援助に協力できる方（協力会員）とで組織化しており、相互援助活動することにより仕事と家庭の両立を支援し安心して働ける環境づくりを行った。また、公共施設へのポスターの掲示や市報かぞで協力会員の募集を行い会員確保に努めた。

◇会員数の推移　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用会員	352	334	272	256	264
協力会員	142	138	124	135	133
両方会員	48	39	30	23	22
合　計	542	511	426	414	419

◇利用件数の推移　（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用件数合計	7,547	4,781	5,383	4,962	3,763

○会員養成講習会の実施

会員及び協力会員を希望する方を対象に、センターの役割、サポート中の事故防止や保育等についての講習会を開催し、新規協力会員の確保及び既存会員のスキルアップに努めた。

【かぞファミリー・サポート・センター会員養成講習会】

日時　令和2年10月20日（火）、 30日（金）午前9時30分～11時30分

場所　埼玉県東部消防組合加須消防署及び本庁舎別棟倉庫204会議室

延べ参加者　11名

【加須市民生委員・児童委員協議会児童部会及びかぞファミリー・サポート・センター合同研修】

日時　令和2年11月19日（木）午前9時30分～11時30分

場所　パストラルかぞ　展示室

参加者　40名（うち、会員は3名）

○会報「ふぁみさぽ通信」の発行

令和2年5月、会員養成講座とミニ交流会の報告、感染症予防について全会員に配布した。

令和2年9月、会員養成講座の案内、事故防止の啓発について全会員に配布した。

令和2年12月、会員養成講座の報告、感染症予防について全会員に配布した。

○「かぞファミリー・サポート・センターだより」の発行

ファミリー・サポート・センター事業の周知及び会員募集のため、令和3年4月1日に全戸配布した。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.20参照）。

事 業 名	ひととき託児事業		
担 当 課	子育て支援課	総合振興計画コード	1114-15
款 03	民生費	当 初 予 算 額	1,208,000 円
項 01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,208,000 円
目 08	男女共同参画費	決 算 額	1,317 円

事業の目的	子育て中の女性など、市民の社会参加促進を図るとともに、市民のボランティア意識の高揚を図る。	事業の概要	市が主催する講演会・セミナー等に、子育て中の市民が参加する間、事前登録された市民ボランティアが託児を行う。 対象年齢は 2 歳から就学前の児童で、託児時間は概ね 2 時間までとしている。 ボランティアは公募し講習会修了後、登録。活動 1 回に対し、1,500 円の謝金を支払う有償ボランティアである。

事業の実績・成果

市が主催またはこれに準ずる講演会・講座等に市民が参加する際に、登録している市民ボランティアが託児を行い、子育て中の女性の積極的な社会参加の支援とボランティアの活動への意識高揚を図った。また、預かる児童の状況に応じて、ボランティアの派遣人数を実施要綱で定めている配置基準より増やし安心・安全な託児に努め、事業を計画していたが、令和 2 年度は、市主催のイベントが中止となったことや新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、ボランティア活動は休止した。

◇ひととき託児ボランティア活動の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
託児児童数(人)	1,168	1,088	1,209	1163	0
ボランティア派遣数(人)	590	601	624	598	0
活動件数（件）	220	201	201	174	0

事 業 名		男女共同参画基本計画策定事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6221-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	2,097,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	2,097,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	710,700 円
事業の目的	男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮し、家庭や地域、職場や学校等社会のあらゆる分野において対等に参画し、共に責任を担う社会を実現する。	事業の概要	計画期間は平成24年度から令和3年度の10年間である。 本プランの上位計画である「加須市総合振興計画」との整合を図るとともに、社会情勢の変化や計画の進捗状況等を踏まえて、中間年に見直しを行う。	

事業の実績・成果

○男女共同参画に関する意識調査の実施

加須市の男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために平成24年3月に策定した「加須市男女共同参画プラン」の計画期間（平成24年度～令和3年度）が満了になることに伴い、新たに令和4年度からの10年間を計画期間とする「第2次加須市男女共同参画基本計画」を令和3年度に策定するため、満18歳以上の市民2,000名を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施した。

新たに調査項目を追加し、男女共同参画の視点から広く意識調査をすることにより、市民の意識と実態を把握し、男女共同参画行政施策のための基礎資料を得ることができた。

	実施時期	対象者	回答者数	回答率
今回	令和2年11月	満18歳以上の市民2,000名	806名	40.3%
前回	平成27年11月	満18歳以上の市民2,000名	803名	40.2%

【調査項目】

(1) 回答者の属性（性別の選択項目に「その他」を追加）
(2) 〔新規〕各種用語の認知度について（LGBT、ジェンダーなど）
(3) 男女平等について
(4) 家庭生活について
(5) 子育て・介護について
(6) 仕事について
(7) 地域活動について
(8) ドメスティック・バイオレンス（DV）、セクシュアル・ハラスメントについて
(9) 防災について
(10) 〔新規〕加須市の住み心地について
(11) 男女共同参画に関する加須市の取組について
(12) 自由意見

事 業 名		男女共同参画基本計画進行管理事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6221-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	63,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	63,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	41,132 円

事業の目的	男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮し、家庭や地域、職場や学校等社会のあらゆる分野において対等に参画し、共に責任を負う社会を実現する。	事業の概要	「加須市男女共同参画基本計画」の各種施策の進捗状況を調査し、審議会に報告し公表する。 【計画期間】：平成 24 年度～令和 3 年度

事業の実績・成果

○男女共同参画基本計画に基づく各種事業の進行管理

加須市男女共同参画基本計画の進捗状況を把握するため、関係各課に施策の達成状況調査を行った。定期的に進行管理を行うことで、各課に対し計画の推進を促した。

「男女共同参画に関する市民意識調査」の実施にあたり、概要について加須市男女共同参画審議会へ報告を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	諮問内容	出席人数
令和 2 年 8 月 11 日（火） 加須保健センター 1 階 機能訓練室	・令和元年度「加須市男女共同参画プラン」の事業実績と評価について ・「男女共同参画に関する市民意識調査」の実施概要報告について	12 人

◇「加須市男女共同参画プラン」令和元年度進捗状況調査結果一覧

基本目標	事業数	取組に対する評価（%）				
		1	2	3	4	5
社会全体における男女共同参画の推進	25	16 事業	2 事業	6 事業	1 事業	0 事業
		64.0%	8.0%	24.0%	4.0%	0.0%
家庭における男女共同参画の推進	11	3 事業	7 事業	1 事業	0 事業	0 事業
		27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%
地域における男女共同参画の推進	15	5 事業	5 事業	4 事業	1 事業	0 事業
		33.3%	33.3%	26.7%	6.7%	0.0%
働く場における男女共同参画の推進	14	8 事業	1 事業	5 事業	0 事業	0 事業
		57.2%	7.1%	35.7%	0.0%	0.0%
教育の場における男女共同参画の推進	7	5 事業	2 事業	0 事業	0 事業	0 事業
		71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
合 計	72	37 事業	17 事業	16 事業	2 事業	0 事業
		51.4%	23.6%	22.2%	2.8%	0.0%

※令和元年度評価基準

1 …目標を達成（実績値が目標値の 100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
2 …概ね順調（実績値が目標値の 80%以上に達した）
3 …やや遅れている（実績値が目標値の 80%未満となった）
4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の 50%未満となった）
5 …未着手（何らかの理由により、事業の着手ができなかった）

事業名	ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）等相談事業		
担当課	人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6221-03
款 03	民生費	当初予算額	501,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	501,000円
目 08	男女共同参画費	決算額	498,633円
事業の目的	配偶者等男女間の暴力を防止・廃絶するため、男女が共に自立し、対等なパートナーとして生活できる社会を構築する。	事業の概要	女性ホットライン（電話相談）で、子育ての悩み・家庭不和・就業支援など、女性に係る各種相談に対し、的確な支援対応に努めるとともに、ＤＶネットワーク会議を開催し、関係各課・機関との情報の共有を図る。 また、ＤＶ防止基本計画を踏まえ、市民からの相談や援助要請などに迅速に対応する。

事業の実績・成果

○相談事業

配偶者等からの暴力（以下ＤＶという）等に対する電話相談事業の充実を図り、関係機関との連携により相談者への的確な支援を行うことにより、ＤＶ被害の防止、抑制に努めた。

◇相談件数の推移　（単位:件）

女性ホットライン（電話）	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	270	202	199	186	199

※電話相談199件中ＤＶ相談16件

※毎週月曜日　9：00～16：00（年末年始を除く）

女性相談員による相談業務（令和2年度実施日数51日）

◇一時保護施設入所件数の推移　（単位:件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
一時保護施設入所数	0	0	1	1	1

◇ＤＶネットワーク会議等

ＤＶ被害者に関する情報を関係機関及び関係各課に提供・共有化を図り、個別の事案に対しての的確な支援方法及び連携関係を構築するための会議を実施した。

1　日　　時　令和2年4月21日（火）13：30～（当初予定していたが、資料を配布し書面開催となった）

関係課等　市民相談室・市民課・子育て支援課・保育幼稚園課・地域福祉課・生活福祉課・障がい者福祉課・高齢者福祉課・健康づくり推進課・騎西総合支所地域振興課・騎西総合支所市民福祉健康課・北川辺総合支所地域振興課・北川辺総合支所市民福祉健康課・大利根総合支所地域振興課・大利根総合支所市民福祉健康課・学校教育課

内　　容　①DV被害者支援に必要な共通確認事項について
②令和元年度　加須市におけるDV被害者支援の状況について
③意見交換

2　日　　時　令和2年12月18日（金）10：00～　（ＤＶネットワーク会議）

場　　所　加須市役所5階505会議室

関係課等　本市関係課（同上）

内　　容　①令和2年度上半期　加須市におけるＤＶ被害者支援の状況について
②警察署におけるＤＶ相談対応の流れについて
③意見交換

事業名	女性人材育成事業		
担当課	人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6221-04
款 03	民生費	当初予算額	1,749,000円
項 01	社会福祉費	最終予算額	1,749,000円
目 08	男女共同参画費	決算額	1,725,000円
事業の目的	女性の社会参画を促すため、リーダーの資質を備えた人材の発掘及び能力向上を図り、より良いまちづくりを目的とした女性団体の活発な活動を支援する。	事業の概要	各女性団体間の連携や会員の男女共同参画に対する意識を高めるために、合同研修会の開催などを通じて地域における女性人材の育成を促進する。

事業の実績・成果

○女性リーダー研修会

本市における男女共同参画の推進にあたり、女性団体の指導的な役割を担う人材の主体的な活動が必要であるため、関係者の資質の向上を図ることを目的として、女性リーダー研修会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

（当初予定）

日　時　　令和3年2月18日（木）10：30～

場　所　　市民プラザかぞ　5階　女性・青年センター活動室

○女性団体補助金交付

各女性団体に対し積極的な地域活動の支援と男女共同参画行政への協力を図るため、補助金を交付し、事業推進を支援した。

1　かぞ地域女性会連合会・各地区女性会

部会活動（健康部・環境部・福祉部等）、広報紙の発行、全地婦連や県婦連の会議・研修会への参加などの活動を実施した。その他、地域活動・行事（平和祭・快適かぞ市民活動等）への参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

2　加須市騎西女性団体連絡協議会

地域活動・行事への参加（銀杏祭）、視察研修会の開催などの活動を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

3　北川辺女性団体連絡協議会

地域活動（中学校等への植栽プランターの寄贈等）を実施した。その他、地域活動・行事への参加、研修会や講座の開催などの活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

4　加須市大利根連合婦人会・各地区女性会

研修会、講座の参加、広報紙の発行、全地婦連や県婦連の会議・研修会への参加などの活動を実施した。その他、地域活動・行事（市民まつり・かるた大会等）への参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

（単位：円）

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助金交付額	全域		1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000
	加須地域	かぞ地域女性会連合会	805,000	805,000	805,000	805,000	805,000
		各地区女性会（6地区）	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000
	騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	241,000	241,000	241,000	241,000	241,000
	北川辺地域	北川辺女性団体連絡協議会	213,000	213,000	213,000	213,000	213,000
	大利根地域	加須市大利根連合婦人会	274,000	274,000	274,000	274,000	274,000
		各地区女性会（2地区）	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000
		加須市女性団体合同研修会	－	－	－	－	－

（単位：人）

				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
会員数	全域			1,623	1,564	1,546	1,546	1,516
		加須地域	かぞ地域女性会連合会	518	504	491	479	462
		騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	326	291	285	268	267
		北川辺地域	加須市北川辺女性団体連絡協議会	156	146	147	156	144
		大利根地域	加須市大利根連合婦人会	623	623	623	643	643

○加須市女性団体合同研修会

市内各女性団体間の連携・協働体制の強化や、会員の男女共同参画に対する意識の向上を図ることを目的として加須市女性団体合同研修会の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となった。

（当初予定）

日　　時　　令和2年11月12日（木）13：30～
場　　所　　市民プラザかぞ　３階　多目的ホール
講　　師　　株式会社TAP&SAP　代表取締役　井原愛子　氏

○加須市女性人材リスト

審議会等委員の選任の際、積極的に女性の登用を行えるよう女性人材リストの充実、活用を図ることを目的とし、人材リスト登録者を増やすため情報収集を行うとともに、女性人材リスト活用の推進に努めた。

（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録者数	71	71	61	62	55

事 業 名		男女共同参画推進事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6221-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,273,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	1,273,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	901,336 円

事業の目的	男女共同参画社会の実現を図るため、積極的な啓発活動や各種相談事業等を充実させ、男女共同参画社会の形成を図る。	事業の概要	男女共同参画市民企画委員会と協働し、さまざまな啓発事業を実施する。また、各種相談事業の充実を図る。

事業の実績・成果

○相談事業

くらしの中で起こるさまざまな出来事で悩んでいる女性のために、面接相談を実施した。

◇相談数の推移 (単位:人)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
女性のための相談室（相談者数）	38	25	20	23	20

※女性のための相談室

・面接による相談　毎週木曜日 13:00～16:00（令和 2 年度実施日数　29 日）

・新型コロナウイルス感染症の影響による市民プラザかぞ閉館に伴う休業期間：令和 2 年 4 月 6 日～6 月 30 日

○男女の平等感の意識について

「家庭」「教育」「職場」「政治」「地域活動」の場、「社会通念や風潮」及び「法律や制度の上」では各設問において「平等と感じている」と回答した結果の平均は以下のとおりである。

(単位:%)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
平等意識	32.1	32.4	31.9	29.3	29.4

※男女共同参画セミナー等の参加者を対象にアンケート実施

○各種審議会等における女性委員の割合

女性委員の登用を促進するとともに、女性委員が不在の審議会等の解消に努めている。

令和 3 年 3 月 31 日現在、女性委員のいる審議会は、35 審議会、うち 13 の審議会等において女性委員の登用率が 30%を超えている。

○人権・男女共同参画課が行う各種事業の進行管理

加須市人権・男女共同参画課が行う各種事業の計画及び実施内容について、加須市男女共同参画審議会へ報告を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	諮問内容	出席人数
令和 2 年 8 月 11 日（火） 加須保健センター 1 階　機能訓練室	・令和元年度　「加須市男女共同参画プラン」の実施状況報告書について ・「男女共同参画に関する市民意識調査」の実施概要報告	12 人
令和 2 年 12 月 16 日（水） 本庁舎 5 階 505 会議室	・加須市男女共同参画推進事業所表彰について ・「加須市男女共同参画に関する市民意識調査」の実施状況について	13 人

○男女共同参画市民企画委員会との協働

行政と市民との協働により男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関する講演会、セミナー、フォーラムなど、事業の企画立案から運営までを手がける「男女共同参画市民企画委員会」を運営した。令和 2 年度は委員 14 名により組織し、事業部、広報部、研修部の 3 部会に分れて活動した。基本的に毎月第 3 水曜日に定例会を開催し、その他必要に応じて各部会を開催し事業を推進した。

◇男女共同参画情報紙「ぱれっとVol.21」の発行

男女共同参画市民企画委員会広報部が中心となり、企画から取材、編集までを手がけ、情報紙を発行し、市内全戸（約39,000戸）に配布した。

「ぱれっとVol.21」　・日本女性会議2020あいち刈谷　・男女共同参画セミナー
・男女共同参画推進事業所表彰　・手と手　・困ったときの相談窓口

◇男女共同参画週間記念講演会の開催

例年、男女共同参画社会基本法の目的および基本理念に関する理解を深めるための「男女共同参画週間」に併せ、男女共同参画推進のための施策を広く市民へ啓発することを目的として、記念講演会を実施しているが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止となった。

◇男女共同参画パネル展示

男女共同参画週間に併せて、令和2年6月17日（水）から、市民プラザかぞ5階交流スペースにて、令和元年度の男女共同参画推進事業に関するパネル展示を行った。

◇男女共同参画セミナーの開催

男女共同参画社会の実現を目指して、男女共同参画セミナー（クリスマスコンサート）を開催した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により無観客での開催とし、その様子を加須市公式動画にて配信することにより、視聴者の男女共同参画意識の向上を目指した。

	開催日・場所	内　　容	講　師
1	令和2年12月12日（土） ワクイミュージアム	コンサート 「クリスマスコンサート」	バンドネオン奏者、作曲家 加須市観光大使　早川　純　氏

◇「みんなでフォーラムinかぞ」の開催

例年、男女共同参画市民企画委員会事業部が中心となり、企画から実施まで手がけ、「みんなでフォーラムinかぞ」を開催しているが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、講演会等を中止し、男女共同参画推進事業所表彰のみ実施した。

日　　時　令和3年1月13日（水）13:00～
場　　所　本庁舎　3階　庁議室
表彰事業所（3事業所）　・（株）大橋製作所　・ラビエスト（株）　・日本カードプロダクツ（株）

◇男女共同参画週間記念講演会・セミナー・フォーラム参加者数の推移

（単位:人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
男女共同参画週間記念講演会	129	140	95	138	－
男女共同参画セミナー	121	133	150	200	11
みんなでフォーラムinかぞ	140	161	184	166	－

◇加須市大利根男女共同参画連絡協議会への支援

補助金交付額　（単位:円）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

会員数　（単位:人）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
646	640	618	710	672

◇新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.21参照）。

事 業 名		女性センター等運営事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6222-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	565,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	565,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	327,833 円
事業の目的	男女共同参画社会の実現を目指し、市民団体並びに相談者等の方々の利便を高めるため、男女共同参画社会推進のための拠点施設である女性センターを適切に運営する。		事業の概要	女性センター談話室、青年センター談話室、印刷室、ロッカー等の適切な管理運営を行う。

事業の実績・成果

女性センター等管理運営事業

女性団体やボランティア団体が活動するスペースの提供や印刷室の管理運営を行い、各グループの自主的な活動を支援した。

◇女性センター各利用数の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
女性センター利用数	女性センター談話室(人)	889	1,513	1,697	1,390	479
	青年センター談話室(人)	3,047	2,824	2,864	3,317	1,023
	コピー(枚)	18,871	9,470	8,954	6,927	2,417
	リソグラフ(件)	598	540	374	382	186

○新しい生活様式に合わせた働き方への支援として、女性・青年センター交流スペース内に、リモートワーク専用スペースを開設した。

（産業振興課「新しい生活様式」取り組み事業所応援事業による）

開設日　令和3年1月16日（土）

事 業 名		ワークライフバランス推進事業		
担 当 課		人権・男女共同参画課	総合振興計画コード	6222-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	25,000 円
項	01	社会福祉費	最 終 予 算 額	25,000 円
目	08	男女共同参画費	決 算 額	19,875 円

事業の目的	働く人が意欲を持って仕事に取り組むことができ、かつ家庭や地域においても役割と責任を果たすことができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のとれる男女共同参画社会の構築を目指す。	事業の概要	男女ともに仕事や子育てなど自らの希望する生活バランスが得られるよう、「男女共同参画推進事業所表彰」の周知などを通じて意識改革に向けた取組みを行う。

事業の実績・成果

○市内商工業者対象チラシ配布

勤労者の労働と家庭生活の両立のため、雇用者側の理解や職場環境を向上させるための啓発を行った。

・商工会会員事業所　2,300 社
・商工会未加入事業所　1,200 社

○男女共同参画推進事業所表彰

令和 3 年 1 月 13 日（水）開催の、男女共同参画推進事業所表彰表彰式において、3 事業所を表彰し、男女共同参画情報紙「ぱれっと」に掲載のうえ全戸配布することにより、市民や他の事業所の「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」について意識啓発を図った。

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
表彰事業所	件数(件)	2	2	3	2	3
	表彰事業所名	ニッポー㈱関東工場 ㈱コロンバン埼玉工場	ウム・ヴェルト㈱ こうの経営グループ	ブリヂストンBRM（株） Step up consulting（株） 介護老人保健施設 虹の園	ダイユウエンタープライズ㈱ ㈱ハマ電子	(株)大橋製作所 ラビエスト(株) 日本カードプロダクツ(株)

事 業 名		子ども・子育て支援計画進行管理事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1111-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	403,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	403,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	79,694 円
事業の目的	子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども及びその保護者に必要な子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うために策定した、子ども・子育て支援計画を着実に実行することにより、「子育てするなら加須」と言えるような子育て支援のまちを実現する。	事業の概要	各年度の実施状況を把握、点検し、加須市子ども・子育て会議において報告のうえ、市民に公表する。	

事業の実績・成果

加須市子ども・子育て支援計画（平成27年度～令和元年度）における、令和元年度の実施状況を関係各課へ照会し取りまとめたところ、目標を達成及び概ね達成したのは全事業の 82%であった（実施状況等は以下のとおり）。この実施状況を加須市子ども・子育て会議に報告し、併せて市のホームページで公表した。

・加須市子ども・子育て会議
第１回会議（令和２年８月７日）

令和元年度　加須市子ども・子育て支援計画の施策の進捗状況評価一覧表

（上段は再掲を含む取組数）（単位：件）

基 本 目 標	取 組 数	取組に対する評価数（%）				
		1	2	3	4	5
1 地域における子育て支援と少子化対策	104	51（49%）	30（29%）	18（17%）	5（5%）	0（－%）
	（うち再掲43）	（うち再掲28）	（うち再掲9）	（うち再掲5）	（うち再掲1）	
2 親と子の健康づくり	32	9（28%）	14（44%）	6（19%）	3（9%）	0（－%）
	（うち再掲11）		（うち再掲7）	（うち再掲3）	（うち再掲1）	
3 ワーク・ライフ・バランスの子育て支援	27	17（63%）	4（15%）	6（22%）	0（－%）	0（－%）
	（うち再掲1）			（うち再掲1）		
4 教育環境の充実	72	31（43%）	35（49%）	4（5%）	2（3%）	0（－%）
	（うち再掲19）	（うち再掲10）	（うち再掲9）			
5 安全で安心な生活環境の充実	35	21（60%）	9（26%）	5（14%）	0（－%）	0（－%）
	（うち再掲6）	（うち再掲1）	（うち再掲5）			
合 計	270	129（48%）	92（34%）	39（14%）	10（4%）	0（－%）
再掲を除く合計	190	90（47%）	62（33%）	30（16%）	8（4%）	0（－%）

※令和元年度評価基準
１… 目標を達成（事業実施による効果が表れた。【実績値が100%以上】）
２… 概ね達成（事業実施による効果が概ね表れた。【実績値が80%以上】）
３… やや遅れている（事業実施による効果が小さかった。【実績値が80%未満】）
４… 大幅に遅れている（事業実施による効果が表れなかった。【実績値が50%未満】）
５… 未着手（事業の着手が出来なかった。）

事 業 名	産後支援ヘルパー派遣事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1111-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	584,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	584,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	91,378 円
事業の目的	核家族化や子育ての孤立化が進行する中、産後支援ヘルパーを派遣し、出産後間もない産婦に対し、安心した環境で子育てができるよう支援する。	事業の概要	出産後、家事援助が受けられない者に対し、緊急時を含め社会福祉協議会との調整をし、1 日 1 回（30 回を限度）、午前 9 時から午後 5 時までの 2 時間の間、食事の世話、衣類の洗濯、住まい等の清掃、買い物、沐浴の介助等の支援をする。	

事業の実績・成果

出産後、家族等から家事援助等が受けられず、日常生活を営むのに支障がある家庭に対して、ホームヘルパーを派遣し、家事援助による子育て支援を行った。すくすく子育て相談室、加須保健センター、市民課、各総合支所市民福祉健康課で事業のチラシを配布し周知を図ることで申請数は令和元年度とほぼ同数だった。令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施した。申請後、コロナ禍ではあったが急遽、里帰り出産となったケースや祖父母の支援を受けられるケースがあり、ほぼ半数のキャンセルがあった。

委託先：（社）加須市社会福祉協議会

派遣世帯数・事業委託費の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
派遣世帯数（世帯）	6	7	11	5	6
派遣日数（日）	81	78	167	39	68
派遣時間（時間）	109	123	284	62	112
事業委託費（円）	147,735	183,410	573,316	128,492	91,378

事 業 名	子育て短期預かり事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1111-11
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,244,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,658,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	598,857 円
事業の目的	育児疲れや仕事、学校等の公的行事への参加のため、一時的に子どもの養育が困難になったときに市が委託した施設で預かり、養育困難時の子育てを支援することで子育て支援の充実を図る。	事業の概要	保護者の病気、育児疲れ、学校行事への参加等により養育が一時的に困難となる児童を、委託先の愛の泉で預かる事業。 ・ショートステイ…0 歳～18 歳未満、7 日間まで、食事あり ・トワイライトステイ（平日夜間＝学校等終了後～午後 9 時）…3 歳～小学生、食事あり ・ホリデーステイ（午前 8 時 30 分～午後 9 時）…3 歳～小学生、食事あり	

事業の実績・成果

育児疲れや就労の理由での利用が主であるが、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言発出に伴い休止し、令和 2 年 7 月頃より、利用マニュアルの見直しを図り、感染対策を講じた上で事業を開始した。そのため、ショートステイの利用日数が令和元年度の 152 日から 36 日に、ホリデーステイも 30 日から 4 日と大幅に減少した。

ショートステイ委託先：（福）愛の泉　愛泉乳児園（2 歳未満）、愛泉寮（2 歳以上）
トワイライトステイ委託先：（福）愛の泉
ホリデーステイ委託先：（福）愛の泉

利用日数・委託額の推移

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用日数（日）	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	70	240	191	152	36
	ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ	2	20	0	0	0
	ﾎﾘﾃﾞｰｽﾃｲ	6	26	44	30	4
委託額（円）	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	323,500	1,133,750	954,700	712,150	190,500
	ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ	1,950	24,000	0	0	0
	ﾎﾘﾃﾞｰｽﾃｲ	21,750	94,250	187,500	122,750	12,750

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P. 21 参照）。

事 業 名		産後サポート・ケア事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1111-16
款	03	民生費	当 初 予 算 額	849,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,226,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	839,728 円
事業の目的	子育てに関する不安や悩みに対して、専門職が不安や悩みに傾聴し、寄り添いの相談支援を行うことにより、産婦が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるよう支援する。		事業の概要	産後の不安や負担軽減のため、集団来所による Happy ママくらぶ（産後をサポートする教室）を月１回行う。 また、授乳が困難なまま退院し授乳に支援が必要な者などへ、助産師等の家庭訪問を行い身体的回復のための支援、授乳の指導、乳房ケア等を行う。

事業の実績・成果

乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことにより、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、子どもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

１　Happy ママくらぶ ～産後をサポートする教室～

生後 10 か月未満の母子を対象に、母子のケアおよび育児の学習会を集団で行う

一組３回まで利用可

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、４月・５月は休止し、１回の参加組数を５組に減らして実施

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
実施回数 (回)	12	12	12	12	9
参加延人数 (人)	298	177	299	160	39

２　産後ケア（訪問型）【令和元年度新規事業　平成 31 年４月１日開始】

生後３カ月未満の母子を対象に、助産師が自宅へ訪問し、保健指導等産後のケアを行う

一組５回まで利用可（デイサービス型との併用可）

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施

	令和元年度	令和２年度
申 込 数 (組)	6	7
利 用 数 (組)	3	4
利用回数 (延)	8	11

３　産後ケア（デイサービス型）【令和元年度新規事業　令和２年１月１日開始】

生後３カ月未満の母子を対象に、委託医療機関（スピカレディースクリニック）において、産婦の休息と沐浴等産後ケアを日帰りで行う

一組７回まで利用可（訪問型との併用可）

令和２年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため、受入を週１回、１組に限定して実施

	令和元年度	令和２年度
申 込 数 (組)	1	3
利 用 数 (組)	0	2
利用回数 (延)	0	6

＊令和元年度、令和２年度ともに、申込数のうち１件は、出産予定日が翌年度のため申込のみ

４　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.22 参照）。

事 業 名		妊産婦臨時特別育児等サービス助成事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1111-25
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	6,240,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	48,500 円
事業の目的	コロナ禍で里帰り出産が困難となった妊産婦の不安や育児負担の軽減を図り、一人ひとりに寄り添った支援を実施する。		事業の概要	里帰り出産が困難となった妊産婦に対し、出産後に利用した育児・家事等サービスの利用料を助成する。 1 回の利用料につき 10,000 円を上限とし、月 4 回までを最大 6 カ月分助成する。 令和 2 年度のみ実施。

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P.32 参照）。

事 業 名		子育て支援医療費支給事業		（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	340,511,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	340,511,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	256,980,578 円
事業の目的	子育てに係る経済的な支援のひとつとして、医療費の一部を支給することにより、保護者の経済的負担を軽減し、児童の保健の向上と福祉の増進を図る。		事業の概要	支給対象年齢：15 歳（中学校修了まで） 支給方法：市内医療機関は現物給付。その他は償還払い(現物給付の利用上限 21,000 円)。 県補助：入院・通院共に就学前まで 市単独：入院・通院共に中学校修了まで ※県に補助枠拡大を要望

事業の実績・成果

中学校修了までの方の医療費自己負担分を支給することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図った。

1　事業内容

(1) 支給対象　市内に住所を有し、医療保険に加入している乳幼児及び児童・生徒
重度心身障害者医療費支給事業、ひとり親家庭等医療費支給事業の対象者は除く。

(2) 支給内容　医療保険制度の適用となる全疾病（治療用補装具を含む）を対象に一部負担金を補助する。

(3) 支払方法　市内は現物給付、その他は償還払い(現物給付の利用上限を 21,000 円とする)

(4) 費用負担　県：1/2（県補助対象分（入院・通院ともに小学校就学前まで）の支出に対して）

2　支給件数・支給金額の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
支給件数(件)	166,021	161,758	163,061	159,992	119,123
支給金額(円)	336,768,224	323,272,494	323,478,063	326,646,683	249,260,379

事業名	遺児手当事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-02
款	03	民生費	当初予算額	2,997,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	2,997,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	2,937,000円
事業の目的	遺児の保護者に手当を支給し、子育て中の遺児家庭を経済的に支援し、児童の健全な育成を図る。	事業の概要	父母の一方又は父母がともに死亡した義務教育修了前の児童を監護・養育している方に児童１人につき月額3,000円の手当を支給する。 所得制限なし	

事業の実績・成果

遺児に対して遺児手当を支給することで、児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費とともに、ひとり親家庭等を経済的に支援し、児童の健全な育成を図った。

１　事業内容

(1) 支給対象者　父母の一方又は父母がともに死亡した児童の保護者
(2) 支給内容　児童１人につき月額3,000円
(3) 支給期間　義務教育修了前まで
(4) 所得制限　なし
(5) 支払方法　2期に分けて支給（9月、3月）

２　対象世帯数・対象児童数・延児童数・手当支給額の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象世帯数（世帯）	63	64	59	55	60
対象児童数（人）	99	96	83	82	91
延児童数（人）	1,158	1,032	964	885	979
手当支給額（円）	3,474,000	3,096,000	2,892,000	2,655,000	2,937,000

事 業 名	ひとり親家庭等医療費事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	48,977,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	48,977,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	42,678,931 円
事業の目的	子育て中のひとり親家庭等を経済的に支援し、生活の安定を図る。	事業の概要	対象者は、市内のひとり親家庭等の 18 歳までの児童とその母(父)又は養育者。医療費の保険適用後の負担額から支給対象者の自己負担分、他制度から本人に支給される給付金等を控除した残りを支給する。15 歳までの児童の医療費は現物支給。	

事業の実績・成果

ひとり親家庭等に対し、医療費の一部を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援した。

1　事業内容

(1) 支給対象者　ひとり親家庭等の 18 歳に達した年度末までの児童（一定の障害がある児童は 20 歳未満まで）とその母（父）又は養育者

(2) 支 給 内 容　医療保険の適用される医療費のうち、その保険適用後の負担額(医療費の 3 割等)から支給対象者の自己負担分、他制度から本人に支給されるもの（附加給付等）を控除した残りを支給

なお、支給対象者のうち児童を除く者が市町村民税課税者の場合、自己負担金が発生（ただし、現物支給対象の児童に対しては自己負担金を控除しない。）

①医療機関等ごと、1 人につき通院 1,000 円／月

②医療機関等ごと、1 人につき入院 1,200 円／日

(3) 支 給 期 間　受給者証交付申請日（申請日前に遡及する場合あり）から受給資格消滅日まで（支給対象者又は扶養義務者等の所得が制限額を超える場合は、支給停止となる。）

(4) 所 得 制 限　児童扶養手当制度の一部支給限度額

(5) 支 払 方 法　償還払いまたは現物給付

(6) 費 用 負 担　県：1/2（県補助対象分の支出に対して）

2　支給対象者数・支給件数・支給額の推移

（単位：人）

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対象者数	(父母)	968	996	986	950	822
	(児童)	1,448	1,503	1,498	1,424	1,254

（単位：件）

支給件数	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
	18,366	19,101	18,799	19,129	16,557

（単位：円）

支給額	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
	42,336,044	43,929,293	45,966,267	47,581,640	41,695,358

事 業 名	母子家庭等自立支援事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	8,682,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	9,432,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	8,387,002 円
事業の目的	母子家庭及び父子家庭の生活の安定のため、母及び父の就業を支援し、就業に有利な専門技能が持てるよう補助する。	事業の概要	・母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業　1年以上の就学で支給期間は4年が上限、給付金は市民税非課税世帯が月額100,000円（課税世帯は月額70,500円）、最終年は月額40,000円加算。 ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 修了した講座の受講料の60%（上限20万円。12,000円を超えない場合は支給なし）、一般教育訓練給付支給対象者の費用の 60%（上限 20 万円）の差額支給する。	

事業の実績・成果

○母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業

指定された講座を受講した場合に、受講に要した経費の一部（60%（12,001円以上200,000円以下））を支給し、自立を支援した。

児童扶養手当受給者、ホームページ、窓口チラシ等で事業周知のほか、関係課にも周知を依頼した。

支給支援件数　3件　89,912円

○母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業

1年以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込める場合、修業期間の全期間で促進給付金、また訓練修了後に一時金を支給し、母子家庭の自立を支援した。

児童扶養手当受給者、ホームページ、窓口チラシ等で事業周知のほか、関係課にも周知を依頼した。

高等職業訓練促進給付金支給件数　6件　7,546,000円
入学支援修了一時金支給件数　2件　100,000円

（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
高等職業訓練促進給付金支給件数	5	6	5	4	6
入学支援修了一時金支給件数	2	2	2	2	2

事 業 名		未熟児養育医療給付事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-16
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,735,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	5,735,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	5,529,611 円
事業の目的	医師が入院養育を必要と認めた新生児・幼児の保健の向上と、保護者の経済的負担の軽減を図るため、養育医療費を給付する。	事業の概要	・対象児童：医師が入院養育を必要と認めた市内居住の１歳未満の新生児、乳児 ・給付方法：保護者の申請に基づき医療券を交付し、指定医療機関にて受けた養育医療に対して給付を行う。	

事業の実績・成果

埼玉県からの権限委譲を受け、平成25年4月1日より市の事業として事務処理を行っている。

1　事業内容

(1) 支給対象　市内に居住し、医師が入院養育を必要と認めた満1歳未満の未熟児

(2) 支給内容　指定養育医療機関で行う入院治療のうち、「診察」「薬剤又は治療材料の支給」「医学的処置、手術その他の治療」「病院または診療所への入院」「移送」が対象

(3) 支払方法　市へ申請後、医療券の交付を受け、指定医療機関にて養育医療の給付を受ける。

(4) 費用負担　世帯構成員の所得に応じた自己負担額を支払う。

2　支給件数・支給金額の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
支給件数(件)	47	47	67	54	66
支給金額(円)	4,964,118	4,797,432	5,357,367	4,559,853	5,527,472

事 業 名		民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1112-17
款	03	民生費	当 初 予 算 額	435,849,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	437,516,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	427,958,616 円
事業の目的	就学前（0～5 歳）児童に必要に応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。		事業の概要	就学前(0～5 歳）児童の認定区分ごとに保育･教育を提供する。保育又は教育を提供した民間施設（子ども･子育て支援新制度に移行した私立幼稚園, 認定こども園及び地域型保育施設）は、利用した児童分の施設型給付費を市に請求し、市は確認のうえ施設に支払う（法定代理受領)。 単価は児童の年齢、園の定員による。

事業の実績・成果

子ども･子育て支援新制度に移行した認定こども園等に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育・教育の充実を図った。

認定こども園等の定員・入所児童数・運営費等

	認定区分	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
		（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
認定こども園騎西桜が丘	1号	80	0	300	372	672	163,293,478
	2・3号	130	634	276	574	1,484	
認定こども園大利根ふじ	1号	75	0	313	522	835	128,127,468
	2・3号	80	253	176	412	841	
市外認定こども園	1号	－	0	582	797	1,379	125,932,820
	2・3号	－	103	125	265	493	
認定こども園計		365	990	1,772	2,942	5,704	417,353,766
幼稚園（新制度移行済）	1号	－	0	0	0	0	0
地域型保育施設	2・3号	－	42	0	0	42	9,279,870
事業所内保育	2・3号	－	6	0	0	6	1,324,980
合計			1,038	1,772	2,942	5,752	427,958,616

＊認定区分・・・1 号　満 3 歳以上教育認定（幼稚園、認定こども園幼稚園部分入園児）
2 号　満 3 歳以上保育認定（保育所、認定こども園保育部分入園児）
3 号　満 3 歳未満保育認定（保育所、認定こども園保育部分、小規模保育等入園児）

事 業 名		にぎやか家庭子育て応援事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-18
款	03	民生費	当 初 予 算 額	58,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	58,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	34,950 円
事業の目的	少子化で子どもの数が少なくなる中、子どもをたくさん産み育て、市の人口減少の歯止めと活性化に貢献している家庭を励まし、子育てを応援する。		事業の概要	１月１日現在において、市内に在住し０歳～１５歳までの児童を５人以上養育している家庭に対し、記念品(10,000 円の絆サポート券) を添えて表彰する。

事業の実績・成果

表彰することにより「子どもを産み育てやすいまち」をアピールすることができた。また、絆サポート券を記念品として支給し、多子家庭の支援と地域の活性化を図った。

1　事業内容

(1)　支給対象　市内に在住し 0 歳～15 歳までの児童 5 人以上を養育している家庭

(2)　支給内容　記念品（絆サポート券　10,000 円分/1 家庭）

2　表彰実績

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
支給件数（件）	6	3	4	3

事 業 名		多子世帯学童保育料軽減事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-21
款	03	民生費	当 初 予 算 額	8,164,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	8,164,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	5,044,275 円
事業の目的	複数の子どもを育てている家庭に対し、経済的な支援を行う。		事業の概要	兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成室を利用の場合、2 人目の保育料を半額、3 人目以降の保育料を無料とする。 公立放課後児童健全育成事業では、保育料算定時に保育料を軽減する。 民間放課後児童健全育成事業では、公営の保育料軽減額を上限に市が民間放課後児童クラブへ補てんする。

事業の実績・成果

放課後児童健全育成事業を利用する多子世帯等の保護者に対し、保育料を減免することで、経済的負担の軽減を図った。

1　事業内容

(1) 支給対象　・兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成事業を利用している世帯
・生活保護受給世帯

(2) 支給内容

【公立放課後児童健全育成事業】
・同時入室第 2 子の保育料を半額減額
・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額

【民間放課後児童健全育成事業】
・同時入室第 2 子の保育料の半額減額（上限 4,000 円）
・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額（上限 8,000 円）
・生活保護世帯受給世帯の保育料全額減額

2　減免額

事業名	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
公立放課後児童健全育成事業	4,300,500 円	4,370,000 円	4,016,500 円
民間放課後児童健全育成事業	6,614,475 円	6,871,025 円	5,044,275 円

事 業 名		誕生記念祝事業			（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1112-22
款	03	民生費		当　初　予　算　額	7,000,000 円
項	02	児童福祉費		最　終　予　算　額	67,628,000 円
目	01	児童福祉総務費		決　　算　　額	59,457,309 円
事業の目的	出産に対して祝意を表するとともに、出産後の経済的不安を軽減し、安心してよりよい子育てが行えるよう支援する。		事業の概要	出生届の手続きを行った保護者に対し、児童手当や子育て支援医療費の申請時に出生児童 1 人につき 10,000 円の絆サポート券を支給する。	

事業の実績・成果

出生児童 1 人につき、絆サポート券 10,000 円を贈呈し、出産後の経済的不安の軽減を図った。
また、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症に係る対応として、国の特別定額給付金の基準日の翌日以降に生まれた児童についても特別誕生祝金を支給し、子育て世帯を支援した。

1　事業内容

（1）誕生祝記念品　　市内に在住し、出生後最初の住民登録を市内にした新生児を出産した者またはその配偶者に記念品（絆サポート券　10,000 円分／1 児童）を支給

（2）特別誕生祝金　　令和 2 年 4 月 28 日以降に加須市に住民登録した新生児を出産した者またはその配偶者に祝金（100,000 円／1 児童）を支給

2　支給実績

（1）誕生祝記念　　572 件

（2）特別誕生祝金　　535 件

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P.22 参照）。

事 業 名	教育・保育に係る教材費等補助事業			（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1112-23
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,380,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	10,980,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	8,001,543 円
事業の目的	生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の幼稚園・保育所等の利用にかかる実費負担を軽減し、これら世帯の幼稚園・保育園等の円滑な利用を図る。	事業の概要	幼稚園・保育所等を利用する生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の副食教材・行事費等の実費徴収にかかる費用の一部を補助。 加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校3年生以下の兄姉まで拡大し一部を補助。 補助限度額（月額）：副食材料費4,500円、教材・行事費2,500円	

事業の実績・成果

1　生活保護世帯等の幼稚園・保育所等の利用に伴う副食材料費、教材・行事費の一部を補助することにより、幼稚園・保育所等の円滑な利用を推進した。

補助対象者数・金額

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助対象児童数（人）	9	15	8	6	5
内、幼稚園（人）	1	3	1	1	3
内、保育所（人）	8	12	7	5	2
補助金額（円）	134,258	224,720	73,991	52,317	24,874
内、幼稚園（円）	42,084	117,632	38,561	33,757	15,000
内、保育所（円）	92,210	107,088	35,430	18,560	9,874

2　未移行幼稚園を利用する年収360万円未満世帯及び小学校3年生以下の兄姉から数えて第3子以降の副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。

補助対象者数・金額

	令和元年度	令和2年度
補助対象児童数（人）	16	26
補助金額（円）	292,032	754,968

3　加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校3年生以下の兄姉にまで拡大し、副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。

補助対象者数・金額

	令和元年度	令和2年度
補助対象児童数（人）	22	35
補助金額（円）	549,000	1,430,401

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊P.23参照）。

事 業 名		子育てのための施設等利用費給付事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1112-25
款	03	民生費	当 初 予 算 額	89,352,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	89,352,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	54,061,725 円
事業の目的	幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用費を無償化し、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図る。		事業の概要	無償化に必要な施設等利用給付認定を行い、請求に基づき給付費を支払う。 保育所、幼稚園、認定こども園等の保育料のほか、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用料を無償化する。 無償化の対象は3歳児クラスから5歳児クラスの子ども全員と、0歳児クラスから2歳児クラスの住民税非課税世帯の子ども。

事業の実績・成果

無償化に必要な施設等利用給費認定について申請に基づき審査し、該当者全員を認定した。
令和元年10月の無償化以降について、請求分の給付費を執行した。

支出金額

	令和元年度（10月1日～）	令和2年度
施設　（円）	26,858,360	50,657,100
保護者（円）	1,717,660	3,404,625

事 業 名	家庭児童相談事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1113-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,414,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,414,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	4,277,522 円
事業の目的	家庭での子どもに関するさまざまな問題に、専門の相談員を配置し、児童の福祉の向上を図る。	事業の概要	・家庭における児童の福祉に関する相談指導業務。 ・すくすく子育て相談室で 3 名の児童相談員が、家庭における児童の養育に関し、相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図る。月曜日～金曜日 9 時～16 時まで。	

事業の実績・成果

相談員 3 人体制で、家庭における児童養育等に関する相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図った。相談員の家庭訪問等による児童や家族の支援を継続した。

・家庭児童相談員　3 人（交代で週 3 日勤務）

・開設日・時間　　月～金曜日、午前 9 時～12 時、午後 1 時～4 時

相談内容・延べ件数の推移　（単位：件）

	性格・生活習慣等	知能言語	学校生活等			非行	家族関係		環境福祉	障害	その他	計
			人間関係	登校拒否	その他		虐待	その他				
平成 28 年度	4	2	1	14	47	49	3,109	1,363	18	0	148	4,755
平成 29 年度	21	0	0	28	2	0	2,425	1,639	64	0	88	4,267
平成 30 年度	1	0	0	23	0	2	3,857	1,409	261	48	15	5,616
令和 元年度	0	0	0	12	0	0	5,734	2,033	151	18	45	7,993
令和 2 年度	0	0	0	18	0	0	4,982	1,193	61	11	0	6,265

令和 2 年度の相談対応件数及び虐待相談件数は減少しているが、継続的に支援を必要とする家庭が年々増加し、問題が複雑化しているため、複数の関係機関と連携する必要があり日々対応を行っている。

新型コロナウイルス感染拡大防止予防のため実務者会議は 4 回中止になったが個別ケース検討会議（随時）を開催し、各関係機関と適切な対応を図るための情報交換を行った。家庭訪問や面接等も行い、児童の安全の確認や保護者の養育相談等を積極的に行っている。

事 業 名	子育て総合相談事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1113-06
款	03	民生費	当 初 予 算 額	6,323,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	6,647,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	6,204,877 円
事業の目的	安心して子どもを産み育てられるよう、保護者の身近な場所で、子育ての相談や助言、情報提供、関係機関との連携により、妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談支援を行う。	事業の概要	すくすく子育て相談室において、妊産婦と乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や関係機関との連絡調整を行い、母子保健と子育て支援との一体的な提供を通じて包括的な支援を行う。	

事業の実績・成果

平成30年4月、加須版ネウボラとなる子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の2つの機能を併せ持つ「すくすく子育て相談室」を開設し、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行った。

1　すくすく子育て相談室の概要

(1)子育て世代包括支援センター

○母子保健コーディネーター2名（臨時職員：保健師、助産師）

母子健康手帳の交付時に全ての妊婦に対して面談を行い、支援が必要な家庭と判断した場合には、妊娠・出産・育児に関する「支援プラン」を作成し、情報提供やアドバイスを行うほか、関係機関と連携し、その家庭の状況に適したサービスを提供して支援を行った。

○子育てコンシェルジュ1名（再任用職員：保育士）

子育てに関する様々な福祉サービスの情報を提供し、サービスを利用する場合は関係機関の申請につなげるなど、きめ細やかな相談支援を行った。

(2)子ども家庭総合支援拠点

○家庭児童相談員（子ども家庭支援員）2名（非常勤特別職：教員免許）

○虐待対応専門員1名（正職員：社会福祉士、再任用職員：保育士）

児童及び妊産婦等を対象に支援や保護が必要な子どもなどへの支援や児童相談所との連携を行い専門的な相談に応じ、家庭訪問等による継続的な支援業務を行った。

2　相談実績

(1)子育て世代包括支援センター（妊娠・出産・子育ての相談）：延べ相談件数　2,174件

主な内訳：母子健康手帳について　627件（うち支援プラン作成55件、8.8%）
予防接種について　653件
その他（健診案内等）　894件

(2)子ども家庭総合支援拠点（児童虐待等の相談）：延べ相談件数　6,265件

主な内訳：児童虐待関係　4,982件
その他（養育に欠ける問題等）　1,283件

3　オンライン相談のための環境整備

来所や面談による相談では、体調不良やウイルス感染等のリスクを伴うため、電話やメールの他、感染防止に配慮した相談支援体制が求められており、オンラインを活用した相談事業を実施するための環境を整備し、相談支援体制の強化とその他支援サービスとの連携を行う。

備品購入：カメラ付きパソコン　1台　141,581円
パーテーション　2台　42,768円
Wi-Fi端末・周辺機器　1台　20,735円

通信費　：無線LAN月額費用（登録費用含）　6カ月分　32,664円

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.24参照）。

事 業 名		子育て支援ネットワーク事業			（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1114-01
款	03	民生費		当 初 予 算 額	486,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	486,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	48,227 円
事業の目的	子育て支援関係団体の連携を強化して、子育て環境の充実を図り、地域での子育て支援を促進する。		事業の概要	・子育て支援団体の情報交換会、研修 ・ファシリテーターの養成 ・親支援プログラムの開催 ・チラシ、メール配信等によるイベント案内	

事業の実績・成果

1　事業内容

(1) 子育て支援情報交換会・研修会・学習会

実施回数　4 回　　参加人数　延べ 31 人参加

支援センター職員や幼稚園職員等子育て支援の現場に携わる職員等での情報交換会を実施した。

研修会・学習会については、新型コロナウイルス感染症感染予防のため中止とした。

(2) 親支援プログラム講座（ノーバディズ・パーフェクト・プログラム）の開催

「完璧な親なんかいない」という理念のもと、子育て中の親を支援するカナダ生まれのプログラムを例年開催しているが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

(3) 親支援プログラム フォローアップの開催（同窓会・交流会）

例年、過去に開催した同プログラムの参加者の同窓会・交流会を開催しているが、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため中止とし、過去参加者を対象に、コロナ禍での子育ての現状や相談先等 13 項目についてアンケートを実施

アンケート送付：216 通（11/5 発送）

回収：83 通（宛先不明等返戻　15 通）

回収率　41.3%

結果送付：199 通（2/19 発送）

(4) 親支援プログラム ファシリテーター研修

親支援プログラムファシリテーターとしての見識を深め、専門的な技術の習得およびスキルアップを図るため、研修への参加を推進しているが、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため見合わせた。

事 業 名	子育て支援センター事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	57,551,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	56,579,649 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	47,366,081 円
事業の目的	地域における子育て支援拠点としてのセンターの充実を図り、子育て支援を推進する。	事業の概要	子育て中の方を対象に親子の交流の場を提供し、親子交流会、育児相談の開催、子育てサークルの育成、子育て情報の提供等を行う。 ・地域子育て支援センター：20 か所 一般型：７か所（うち公立２か所） 公立幼稚園：13 か所	

事業の実績・成果

子育て支援センターに運営費を助成し、地域における子育て支援を推進した。また、スタッフの研修を行い質の向上を図った。

１　子育て支援センター助成　　35,247,395 円

（１）子育て家庭への支援活動を企画する職員を配置し、育児に対する相談・子育てサークル等への支援・
特別保育事業の積極的な取り組みなどを行うことにより育児支援を行った。

（２）対象施設
子育て支援センター愛の泉ふれあいホーム・加須保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・吉川保育園・北川辺子育て支援センター・大利根子育て支援センター

（３）事業内容

	年間開所日数(日)	年間延利用者数(人)	主な事業内容
愛の泉ふれあいホーム	250	1,232	育児相談（面接相談、電話相談） 子育て支援、親子製作・遊び等
加須保育園	213	2,910	
花崎保育園	283	27	
三俣第一保育園	242	1,408	
吉川保育園	102	32	
北川辺子育て支援センター	150	728	
大利根子育て支援センター	276	2,226	

※緊急事態宣言中、施設は休館したが、電話相談は実施していた。

２　子育て支援センター等スタッフ研修
新型コロナウイルス感染症対策により研修は中止としたが、令和２年度は、事業実績やコロナ禍での感染対策について書面にて情報共有を行った。

３　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.25 参照）。

事業名	児童遊園地維持管理事業		
担当課	まちづくり課	総合振興計画コード	1114-04
款 03	民生費	当初予算額	13,075,000円
項 02	児童福祉費	最終予算額	13,075,000円
目 01	児童福祉総務費	決算額	8,723,584円
事業の目的	子どもを育てやすいまちとするため、子どもが安全に、満足して遊べる場を提供する。	事業の概要	・自治協力団体への委託協定により、遊具や休養施設、樹木等の管理を行う。 ・自治協力団体、職員による施設の定期点検、専門業者による遊具点検を実施し、その結果に基づいて修繕、撤去、設置を行う。 ・土砂の補充や外柵等施設の修繕を行う。

事業の実績・成果

地元自治協力団体、職員、専門業者による遊具点検を実施し、遊具の劣化等の早期発見を図った。また、点検結果を基に遊具等の修繕や撤去を行い、事故防止に努めたことで児童遊園地における事故はゼロだった。

1　日常点検・委託　1,428,342円
（1）遊園地数　90箇所
（2）管理委託料　遊園地1箇所につき4,000円　(78箇所)
（3）遊具点検委託料　児童遊園地　71箇所　(191基)
（4）点検実施時期　自治協力団体　(57団体) 年2回（9月、3月。大利根地域は6月、1月）
職員　年6回（隔月）
専門業者　年1回（8月～10月）
（5）委託料（砂場清掃6箇所、トイレ清掃業務1箇所、剪定業務1箇所、スズメバチ駆除2箇所）
（6）トイレ汲取り料、ゴンベイ砂、消耗品

2　光熱水費　279,363円
（1）電気料　6箇所　97,599円
（2）水道料　30箇所　181,764円

3　修繕等の実施状況　1,239,150円
遊具等の修繕（遊具、水栓等）

4　土地借上（9箇所）　借上面積　10,310㎡　5,776,729円

5　児童遊園地の状況（令和3年3月31日現在）　（単位：箇所）

加須地域	加須	不動岡	三俣	礼羽	大桑	水深	樋遣川	志多見	大越
	9	1	2	10	6	7	5	10	8
北川辺地域	西	東							
	16	13							
大利根地域	東	原道	元和	豊野					
	3	0	0	0					

＊騎西地域は児童遊園地なし

6　児童遊園地箇所数の推移（令和3年3月31日現在）　（単位：箇所）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
合　計	95	95	95	90	90

事 業 名		母子福祉団体助成事業			
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1114-05
款	03	民生費		当 初 予 算 額	18,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	18,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	18,000 円
事業の目的	地域において児童福祉の向上を推進する団体に対する助成を行い、地域における子育て支援を促進する。		事業の概要	加須市における母子及び寡婦福祉団体への事業費補助金を交付し支援	

事業の実績・成果

母子家庭等の福祉の向上を図るため、加須市大利根母子福祉会に対して事業費補助金（18,000 円）を交付した。

会員相互の連絡を密にし、多様化する社会生活の変化に対応する新たな生活意識の熟成を図るため、同種の団体との連携や協働に努めた。

事 業 名	民間児童館助成事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,189,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	3,189,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,189,000 円
事業の目的	児童の健全な育成を促進するために、地域の子育て支援拠点であるみつまた児童館が実施する総合的な事業に対して助成する。	事業の概要	みつまた児童館が実施する児童の健全育成・養育に関する相談事業、地域グループの活動支援事業、異年齢交流・世代間交流事業に対し支援する。	

事業の実績・成果

子育て親子の福祉の向上を図るため、児童福祉施設併設型民間児童館事業を行う社会福祉法人加須福祉会（みつまた児童館）に対して、事業費補助金（3,000,000 円）を交付した。

また、児童館の地域組織活動育成クラブ（みつまた母親クラブ）に対して、補助金（189,000 円）を交付した。

1　施設概要

みつまた児童館（みつまた保育園に併設）

・地域の子育て支援活動の拠点のひとつとして定着

児童館利用状況　（単位：人）

開館日数（日）	幼　児	小学生	中学生	大人等	年間利用者数合計	一日平均利用者数
215	15,991	11,418	0	4,199	31,608	147

2　実施事業

（1）放課後児童健全育成事業（みつまた児童クラブ）

（2）地域児童育成活動支援事業

①相談事業

②啓発活動・福祉サービス利用の調整等

③地域住民による自主的活動の支援等

④関係機関等への連絡・協力

⑤地域行事との連携

（3）児童健全育成特別事業

①子育て支援

②異年齢児との交流

③引きこもり・不登校等児童に対する支援

④思春期児童の養育の支援

事 業 名		子育てワクワク情報提供事業			（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1114-09
款	03	民生費		当 初 予 算 額	878,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	878,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	539,000 円
事業の目的	各事業情報を集約して、市ホームページ等を活用し、情報提供し、子育てを支援する。		事業の概要	・市ホームページの子育てイベントカレンダー、ホッとメール配信サービス、窓口でのわかりやすい各種パンフレットの配置等を活用した事業の周知。 ・子育てガイドブックを配布し子育て情報を広く周知。 ・子育て支援に関するパネル展示。	

事業の実績・成果

〇かぞホッとメール（子育て情報メール）の配信

登録者に対し、子育てイベント情報・子どもの健康に関する情報・医療機関情報等の即時性の高い情報を配信した。

メール配信登録者数　2,568 人　メール配信件数　121 回

〇親子ふれあい事業への参加

子育て中の皆さんに向けた情報発信の一環として、地域で展開中の子育て支援の取組みや加須市のサービスをＰＲするため、関係団体にパネル作成を依頼し、情報展示や子育て支援関連チラシの配布を行った。

・親子ふれあい事業「こどもフェスタ」（主催：社会福祉法人 加須市社会福祉協議会）

【日時・場所】令和２年 11 月 22 日（日）　　アスタホール

〇子育てガイドブック

令和２年８月に子育てガイドブックの発行　2,500 冊

すくすく子育て相談室、各総合支所市民福祉健康課、各支援センター、保健センター、図書館等で配布を行った。

事 業 名	子育てサロン事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-10
款	03	民生費	当 初 予 算 額	223,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	223,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	0 円
事業の目的	各地域で活動する子育て支援団体の連携により、子育てに関する情報の共有化を図るとともに、子育て家庭の現状と課題を把握し、地域ぐるみで子育てを支援する体制づくりと意識の醸成を図る。	事業の概要	子育て中の親子を対象に子育て相談や情報交換等の場の提供及び子育てサークル等子育てボランティアへの活動の場の提供と支援を図る。	

事業の実績・成果

1　子育てサロンの運営

例年、身近な地域に親子で交流できる場所を設け、子育て支援団体等を中心にサロンを運営しているが、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため全て休止とした。

（単位：人）

No	地域名	施設名	開設日	利用者数
1	加須	花崎児童館子育てサロン ※ならでわの日	平成 22 年 6 月 24 日	0 ※0
2	加須	市民プラザかぞ子育てサロン ※子育てワンポイントセミナー	平成 22 年 10 月 8 日	0 ※0
3	加須	加須コミュニティーセンター子育てサロン	平成 23 年 10 月 12 日	0
4	加須	利根川こども館子育てサロン	平成 25 年 2 月 22 日	0
5	加須	不動岡コミュニティーセンター子育てサロン	平成 25 年 6 月 23 日	0
6	騎西	ふれあい広場	平成 23 年 4 月 12 日	0
7	騎西	ホップサロン	平成 23 年 5 月 17 日	0
8	騎西	ファミサポサロン	平成 29 年 4 月 1 日	0
9	騎西	あいあいサロン	平成 24 年 5 月 30 日	0
10	北川辺	北川辺子育てサロン	平成 23 年 1 月 31 日	0
11	大利根	さくらんぼ広場	平成 23 年 1 月 19 日	0
12	大利根	きらきらキッズ	平成 23 年 1 月 19 日	0
13	大利根	ポッケ	平成 23 年 1 月 19 日	0
合　計				0

※は内数

事業名	保育団体助成事業			
担当課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1114-11
款	03	民生費	当初予算額	480,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	480,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	232,000円
事業の目的	私立保育園同士の連携及び公立保育所との情報交換を深めるとともに人権を尊重した保育を推進する。	事業の概要	保育団体（加須私立保育園園長会、人権保育推進委員会）の運営費を補助することで、それぞれの団体の活動を推進し、一層の保育の質を高めることに寄与する。	

事業の実績・成果

1　加須私立保育園園長会運営費補助金（72,000円）

私立保育園間の連携、情報共有及び公立保育所との情報交換を図るため、加須私立保育園園長会に対して運営費補助金を交付した。

・新型コロナ感染症感染対策のため各保育園へ手指用消毒液を配布した。

2　人権保育推進委員会補助金（160,000円）

・加須市騎西地域人権保育推進委員会補助金（160,000円）

・加須市の人権保育の推進を図るため、騎西地域の人権保育推進委員会に対して運営費補助金を交付し、保育所の様々な取組みを支援した。

事 業 名	子どもの居場所づくり事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-14
款	03	民生費	当 初 予 算 額	20,777,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	22,363,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	18,329,922 円
事業の目的	地域における子育て支援を図るため、放課後や休日の就学児童の居場所を創出する。	事業の概要	放課後や休日に就学児童が立ち寄り、その場所で一時を過ごせる子どもの居場所を公共施設等に創出する。 地域ボランティア等と協働し、居場所での見守り活動や「放課後子ども教室」を実施し、体験学習や遊びを提供する。	

事業の実績・成果

子どもたちに健全な遊びを提供し、健康増進や豊かな情操の育成を図るため、公立児童館として、利根川こども館を含め、加須児童館、花崎児童館の３館を管理運営している。行事、イベントについては、児童館職員の創意工夫、地域との連携により実施している。

また、放課後の子どもの居場所の一つとして地域ぐるみで心豊かでたくましい子どもを育成するため、小学校と連携し地域ボランティアの協力を得ながら、平日の放課後や土曜日などに地域の実情に合わせたイベント活動を実施した。

１　児童館利用状況　（単位：人）

	開館日数（日）	幼　児	小学生	中学生	大人等	年間利用者数合計	一日平均利用者数
加須児童館	189	1,398	3,629	605	1,323	6,955	37
花崎児童館	189	875	2,308	245	1,091	4,519	24
利根川こども館	189	1,841	908	107	3,490	6,346	34
合　計	－	4,114	6,845	957	5,904	17,820	－

２　年間利用者数の推移　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度
加須児童館	11,815	11,574	12,459	13,121	6,955
花崎児童館	21,682	23,510	23,039	18,394	4,519
利根川こども館	24,047	25,829	25,416	21,721	6,346
合　計	57,544	60,913	60,914	53,236	17,820

※令和２年度は、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言（令和２年４月７日発出及び令和３年１月７日発出）により、４月・５月・１月・２月及び３月の一部が休館となった。

3　放課後子ども教室開催学校数：2校

	開催学校	実施回数（回）	参加延べ人数（人）
1	不動岡小学校	2	22
2	騎西小学校	1	29
合　計		3	51

4　事業概要

	開設学校	内　　容
1	不動岡小学校	・年間3回のプログラムで募集し、延べ22名が参加した。（3回目は中止） ・会場は不動岡公民館、不動岡小学校体育館 ・土曜日に、米袋を使用したバック作り（不動岡公民館）や、キンボールスポーツ体験（不動岡小学校体育館）を実施した。
2	騎西小学校	・年間1回のプログラムで募集し、延べ29名が参加した。 ・会場は騎西小学校校庭 ・平日の授業終了後にグラウンドゴルフ体験を実施した。
3	田ケ谷小学校	・協議会を1回開催したが、新型コロナウイルス感染予防のためイベントを中止とした。
4	大利根東小学校	・協議会を2回開催したが、新型コロナウイルス感染予防のためイベントを中止とした。
5	水深小学校 （予定）	・学校長と打ち合わせを行い、水深小放課後子ども教室学校区協議会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染予防のため実施しなかった。

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.26参照）。

事 業 名		母子自立支援施設入所事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1114-17
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,787,351 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	1,787,351 円
事業の目的	保護を必要とする母子家庭に支援を行うことにより、子育て支援体制の充実を図ること、並びに、安全でかつ自立へ向けた指導が受けられるよう、生活の場を提供することを目的とする。	事業の概要	母子での生活を余儀なくされている家庭で、精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど、生活の安定が得られない母子家庭が、自立の道を歩むことができるよう母子生活支援施設で、様々な指導、支援を受けながら自立促進を図る。	

事業の実績・成果

精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど、生活の安定が得られない母子を母子生活支援施設に措置入所させることで、母子家庭の自立の促進を図る。また、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を、県から認定を受けた助産施設に入所させて助産を受けさせることで、出産に向けた心の安定と経済的不安の解消を図る。

施設入所世帯・措置費の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
措置入所世帯	0	0	0	0	1 世帯
措置費	0	0	0	0	1,454,556 円

※令和 2 年度の入所期間は、令和 2 年 12 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで。

助産施設入所人数・措置費の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
助産施設入所人数	－	－	－	－	1 人
措置費	－	－	－	－	332,795 円

※令和 2 年度の入院期間は、令和 3 年 1 月 5 日から 13 日まで（1 月 6 日に出産）。

事 業 名		子育て支援管理事業			
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1114-19
款	03	民生費		当 初 予 算 額	53,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	53,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	31,709 円
事業の目的	子育て支援事業を適正、効果的に実施する。		事業の概要	子育て支援事業にかかる管理運営経費	

事業の実績・成果

経常経費の効率的、効果的な支出を行った。
消耗品費：31,709 円

事 業 名		児童虐待防止等ネットワーク事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1114-20
款	03	民生費	当 初 予 算 額	214,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	214,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	171,720 円
事業の目的	保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。		事業の概要	虐待防止等ネットワークを構成している機関の代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、虐待等の予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図る。 なお、児童福祉法の一部改正により、平成29年4月から、要保護児童地域対策協議会の調整機関に専門職（児童福祉司、保健師、保育士等）を配置し、研修受講が義務付けられた。

事業の実績・成果

児童虐待相談件数が増加し、それに伴い相談内容が複雑・多様化しているため、関係機関による個別ケース検討会議も随時開催している。問題点の整理と関係機関の役割分担を行い、虐待防止に努めている。

実務者会議、代表者会議での各関係機関との連携強化を図り、要保護児童等に対する情報交換、支援等についての協議を行い、虐待予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため代表者会議は中止、実務者会議は4回中止で8回開催している。

また、市内小学1年生全員にクリアファイルを配布、市役所窓口にてポケットティッシュを配布し、児童虐待防止への啓発を行った。

○会議開催件数　個別ケース検討会議　42回（随時）
　　実務者会議　8回（月1回）
　　代表者会議　0回（年1回）

○実務者会議で取り扱った件数　44件
　うち、日常生活において落ちついた件数　15件（うち、転出 2件）

事 業 名		訪問支援ホームスタート事業			（総合戦略）
担 当 課		子育て支援課		総合振興計画コード	1114-21
款	03	民生費		当 初 予 算 額	1,510,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	1,510,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	1,484,000 円
事業の目的	6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援する。		事業の概要	・6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが無料で訪問する。 ・週に 1 回、2 時間程度（全 6 回程度の訪問、達成状況を把握しながら、延長について確認する。） ・地域子育て拠点事業補助金の「機能強化型分」を活用し、ホームスタートを実施する関係機関へ助成する。	

事業の実績・成果

1　訪問実績

ホームスタートの研修を受けた「ホームビジター」が、調整役の「オーガナイザー（専門職）」と一緒に子育て中の家庭を訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援を行った。

訪問件数　　8 件　　延べ 40 回

2　公開講座

新型コロナウイルス感染症対策のため未実施。

事 業 名		子ども食堂支援事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1114-23
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	402,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	402,000 円
事業の目的	子ども食堂に関連する活動に対して連携・協力を行う。		事業の概要	市内の子ども食堂に関連する団体と情報交換等を開催し、活動情報を共有するとともに、利用したい方へ情報が届くよう周知活動を行う。

事業の実績・成果

市内で活動する「子ども食堂」や「子育て応援フードパントリー」を実施している団体と情報共有しながら、ネットワーク構築に向けた情報交換会等を実施した。

1　子育てフードドライブ（3 回実施）
第 1 回：令和 2 年 7 月 6 日（月）～令和 2 年 7 月 10 日（金）
第 2 回：令和 3 年 1 月 4 日（月）～令和 3 年 1 月 8 日（金）
第 3 回：令和 3 年 3 月 8 日（月）～令和 3 年 3 月 12 日（金）
※フードドライブ実施後、贈呈式・情報交換会を実施

2　活動団体

No.		団体名	活動拠点	備　考
1	子ども食堂	すくすく広場	不動岡コミセン	
2	子ども食堂	つくしの家	加須コミセン	
3	子ども食堂	愛の泉	愛泉寮	
4	子ども食堂	北小浜みんなで子ども食堂	北小浜団地 集会所	
5	子ども食堂	光明寺おてら食堂	光明寺	令和 3 年 3 月 発足
6	フード パントリー	加須 子育て応援 フードパントリー	旧くらくら館	
7	フード パントリー	加須北子育て応援隊 フードパントリー	麦倉ひばりの里 光の子どもの家	
8	フード パントリー	あいせん子育て応援 フードパントリー	愛泉寮	
9	フード パントリー	つどいの会 騎西子育て応援 フードパントリー	保寧寺	令和 3 年 3 月 発足

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P.32 参照）。

事 業 名		就学前子ども教育・保育認定事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,813,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	3,813,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,586,165 円
事業の目的	就学前（0～5 歳）児童に必要に応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。	事業の概要	就学前（0～5 歳）児童に、必要に応じて支給認定証を交付する。 保育サービスの提供を実施するため必要となる一連の事務を行う。 市民税を算定基礎に保育料の賦課徴収を行う。	

事業の実績・成果

1　認定者数（年度末現在）

（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1号認定（教育）	1,027	941	931	942	991
2号認定(保育　満3歳以上)	1,668	1,663	1,709	1,812	1,905
3号認定(保育　満3歳未満)	583	586	716	795	749
合計	3,278	3,190	3,356	3,549	3,645

2　納付義務者（保護者等）の利便性、保育料徴収率の向上を図るため、市内民間保育所(認定こども園を除く)14 園に保育料収納事務を委託した。

〇施設割　　1 施設につき　　月額　2,000 円

〇収納児童割　1 件の収納につき　150 円を乗じて得た額

・令和 2 年度決算額　336,000 円

事業名	民間保育所運営委託事業			
担当課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-02
款	03	民生費	当初予算額	1,554,566,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,642,758,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	1,541,244,770円
事業の目的	保育を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、保育サービスの充実を図る。	事業の概要	保育所で保育の利用を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支出する。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。	

事業の実績・成果

民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育の充実を図った。

1　保育所の定員・入所児童数・運営費等

	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
愛泉幼児園	140	712	284	672	1,668	136,853,260
戸川保育園	70	330	156	388	874	84,782,820
加須保育園	160	744	396	755	1,895	148,199,570
不動岡保育園	80	310	264	600	1,174	96,067,900
不動岡第二保育園	20	294	0	0	294	74,647,060
志多見保育園	60	222	156	375	753	78,084,430
花崎保育園	180	971	347	714	2,032	168,089,210
三俣第一保育園	130	679	336	672	1,687	146,319,220
三俣第三保育園	120	592	291	628	1,511	128,085,430
みなみ保育園	131	672	288	684	1,644	133,507,470
にしき保育園	50	359	144	300	803	100,817,100
吉川保育園	60	208	90	277	575	62,117,990
リトル花保育園	90	547	225	444	1,216	120,470,360
私立市内計	1,291	6,640	2,977	6,509	16,126	1,478,041,820
私立市外委託	－	325	152	273	750	52,464,810
私立計	－	6,965	3,129	6,782	16,876	1,530,506,630
公立市外	－	59	24	54	137	10,738,140
合計	－	7,024	3,153	6,836	17,013	1,541,244,770

2　年間延べ入所児童数の推移

（単位：人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
保育所入所児童数	22,547	22,986	23,032

※避難者支援事業該当者・夜間保育事業該当者・公立保育所含む

事 業 名	病後児保育事業			（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-03
款	03	民生費	当 初 予 算 額	11,725,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	11,725,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	9,328,000 円
事業の目的	保育を必要とする病後児童に対する保育サービスの充実を図り、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。	事業の概要	病気回復中の乳幼児を預かる施設に対し、必要な看護師等の配置費用を、年間延べ利用者数に応じて補助金として支給（国 1/3・県 1/3）。 〇利用者数と補助金 ・基本分：4,166,000 円（内改善分 2,225,000 円） 10～ 49 人＝416,000 円 200～399 人＝3,225,000 円	

事業の実績・成果

病気の回復期にある児童を児童福祉施設等で預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援した。窓口にパンフレットを設置するなど様々な媒体を利用し制度の周知を図った。

1　実施場所　　愛泉乳児園・三俣第一保育園

2　病後児保育利用延べ人数　（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
利用延べ人数	368	433	607	456	97

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅲ．事業者支援】を実施した（別冊 P.26 参照）。

事 業 名		低年齢児保育促進事業		（総合戦略）
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	72,712,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	72,712,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	64,446,000 円
事業の目的	乳幼児を含めた多様な年齢の児童を育てる家庭の保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。		事業の概要	低年齢児の特性に応じた保育体制を確保するため、民間保育所に次の補助（県費 1/2）を行う。 ① 1 歳児 4 人に対し保育士 1 名の配置で 1 歳児 1 人当たり月額 20,000 円。 ② 乳児の年度途中入所に応じるため予め保育士を確保した場合、未充足乳児 1 人当たり 80,000 円（上限 882,000 円）。

事業の実績・成果

安定的に低年齢児（0 歳児・1 歳児）の受入れができるよう、あらかじめ保育士を確保し、年度途中入所の需要等に対応できる体制を整えた保育所に対して助成を行った。

1　実施場所　　愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二夜間保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園
他 市外 11 園

2　対象一歳児年間延べ人数の推移　　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
入所児童数	3,058	2,880	2,988	3,145	2,938

事 業 名	民間保育所障害児保育事業			（総合戦略）
担 当 課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	18,088,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	18,088,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	10,243,560 円
事業の目的	障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。	事業の概要	・保育を必要とし、障がいがある児童を集団保育で保育する。 ・身障手帳・療育手帳所持児童等の障がい児 3 名につき保育士 1 名増員の対策を講じた民間保育所に対し、増員保育士の人件費の一部を助成。 （特別児童扶養手当該当の場合は市費で月額 74,140 円、その他は県費で月額 40,000 円）	

事業の実績・成果

障がい児の受け入れを推進するために、民間保育所における保育士の加配に対し補助を行うことにより、円滑な障がい児保育を行った。

1　実施場所　　愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘
他市外 1 園

2　障がい児保育対策事業対象児童数の推移　　（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
入所児童数	12	15	20	27	20

事 業 名		長時間保育対策事業			（総合戦略）
担 当 課		保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-06
款	03	民生費		当 初 予 算 額	33,367,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	33,367,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	30,300,400 円
事業の目的	労働環境等の多様化に伴う保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。		事業の概要	・保育短時間、保育標準時間の前後の時間において、更に延長保育を行う。 ・事業に際しては、保育士 2 名以上及び対象児童数に応じて必要となる職員を配置する。 ・児童に対しては、適宜間食又は給食等を提供する。 ・延長保育を実施する民間保育所に補助を行う。	

事業の実績・成果

保護者の就労形態の多様化と通勤時間の増加等に伴い、認定時間の前後の時間において、さらに延長保育を行うため、実施する民間保育園に補助を行った。

1　実施場所

（標準時間認定児の延長保育が実施された園）

愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二夜間保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園

（短時間認定児の延長保育が実施された園）

戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・花崎保育園・みなみ保育園・吉川保育園・認定こども園騎西桜が丘

2　延長保育事業延べ利用児童数の推移　（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
短時間認定児 延べ利用人数	5,269	4,629	4,249	5,925	5,340
標準時間認定児 延べ利用人数	37,714	38,777	33,965	37,183	26,639

平成 27 年度から子ども子育て新制度が始まり、保育を必要とする事由や必要量により、1 日最大 11 時間利用可能な「保育標準時間」と 1 日最大 8 時間利用可能な「保育短時間」に区分されている。区分に応じた保育時間を超えると延長保育となる。（区分に応じた保育時間は各園によって異なる。）

事 業 名		一時保育促進事業			（総合戦略）
担 当 課		保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-07
款	03	民生費		当 初 予 算 額	15,572,000 円
項	02	児童福祉費		最 終 予 算 額	15,572,000 円
目	01	児童福祉総務費		決 算 額	14,531,440 円
事業の目的	家庭保育者の一時的な保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。		事業の概要	・公立と民間の保育所で一時的な保育の需要に応じる。 ・一時保育（一般型）を実施する民間保育所に対し、年間延利用児童数に応じた補助金を交付する。 ・一時保育（幼稚園型）を実施する幼稚園に対し、年間延べ利用児童数に応じた補助金を交付する。	

事業の実績・成果

家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を、保育所、幼稚園、認定こども園その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行った。

① 一般型

保育所・幼稚園・認定こども園等に在籍していない乳幼児を対象に、保育所の場所において一時保育を行った。

(1)実施場所　　愛泉幼児園・不動岡保育園・花崎保育園・三俣第一保育園

(2)年間延べ利用児童数　　377 人

② 幼稚園型

認定こども園や幼稚園に在籍する満３歳以上の幼児で、教育時間の前後または長期休業日等に当該園において、一時保育や預かり保育を行った。

(1)実施場所　　（市内）大利根ふじこども園・認定こども園騎西桜が丘
　　（市外）栗橋さくら幼稚園・さくらのもり

(2)年間延べ利用児童数　　4,348 人

事 業 名		保育所アレルギー等対応特別給食提供事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-08
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,800,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	5,300,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	5,000,000 円
事業の目的	食物アレルギー等により給食等処遇に特別な配慮を必要とする児童に対し、アレルギー等に対応した給食の提供の充実を図る。	事業の概要	・食物アレルギー等により、健康面において給食等に特別な配慮が必要な児童を 2 人以上受け入れている民間保育所に対して助成（月額 50,000 円）し、当該児童に配慮した給食を提供する。	

事業の実績・成果

食物アレルギーや障害等のため、給食等処遇に特別な配慮を要する児童への対処等給食の充実を図り、調理員配置基準より 1 人以上多く調理員を配置している園へ助成を行った。

民間保育所への助成金　50,000 円／月 × 12 ヶ月 × 7 ヶ所 ＝ 4,200,000 円
50,000 円／月 × 8 ヶ月 × 2 ヶ所 ＝ 800,000 円
合計 5,000,000 円

実施場所・対象児童数　（単位：人）

保育園名	延べ人数
加須保育園	32
花崎保育園	84
三俣第一保育園	44
三俣第三保育園	79
みなみ保育園	71
にしき保育園	24
吉川保育園	16
リトル花保育園	24
認定こども園騎西桜が丘	97
合　計	471

事 業 名		避難者支援民間保育所等運営委託事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-11
款	03	民生費	当 初 予 算 額	3,220,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	3,220,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	3,156,880 円

事業の目的	子育て家庭の保護者の勤務等により、保育を必要とする児童の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援する。	事業の概要	原発避難者特例法に基づき、被災した子育て家庭の保護者の勤務等により、保育所で保育の実施を行った場合、国が定めた公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支払う。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。

事業の実績・成果

市内民間保育園において、原発避難者特例法に基づく対象児童（４名）の保育を実施した。

(参考)
東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律（平成 23 年法律第 98 号）第 3 条第 1 項の規定に基づき、次に掲げる市町村を指定市町村として指定する。
いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村

対象児童の受入内訳

	避難前住所	保育園名	入所期間
1	大熊町	三俣第一保育園	令和２年４月～令和３年３月
2	大熊町	三俣第一保育園	令和２年４月～令和３年３月
3	双葉町	花崎保育園	令和２年４月～令和３年３月
4	双葉町	花崎保育園	令和２年４月～令和３年３月

事 業 名		夜間保育所運営委託事業		
担 当 課		保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-15
款	03	民生費	当 初 予 算 額	40,102,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	40,102,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	28,272,220 円
事業の目的	夜間保育（11:00～22:00）を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するため、保育サービスの充実を図る。	事業の概要	三俣第二夜間保育園で保育の実施を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費（委託料）を保育所に支払う。	

事業の実績・成果

民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支出し、保育の充実を図った。

保育所の定員・入所児童数・運営費等

	定員	3歳未満児延べ児童数	3歳児延べ児童数	4歳以上児延べ児童数	合計	運営費
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）
三俣第二夜間保育園	30	84	36	60	180	28,272,220
合計	－	84	36	60	180	28,272,220

事業名	民間保育所助成事業			
担当課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1122-02
款	03	民生費	当初予算額	15,223,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	41,361,000円
目	01	児童福祉総務費	決算額	40,333,650円
事業の目的	保育環境の整備・充実を図り保育サービスの充実に資する。		事業の概要	・民間保育所振興費 定員1人5,000円、4月1日入園児1人2,000円。職員1人9,000円。日本スポーツ振興センター共済掛金1人375円。 ・民間保育所歯科検診費 15,000円～30,000円 ・民間保育所施設整備費助成 年間に20万円（毎年1施設の補助）

事業の実績・成果

民間保育所等（16 園）に対して助成し、民間保育所等の運営の充実と民間保育所等に勤務する職員の処遇等の改善を図った。

1　民間保育所振興費　　14,081,940円

（1）振興費補助

・民間保育所の入所児童の処遇改善及び施設の改善に要する経費を助成した。

（2）職員厚生費補助

・職員の処遇改善に要する経費を助成した。

（3）独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入費補助

・園児の災害時の保障のため独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入に要する経費（定員1名に対し、年額365円等）を助成した。

2　民間保育所歯科検診費　495,000円

民間保育所入所乳幼児の歯科検診を推進し、乳幼児の歯科保健の充実を図るため、歯科検診費に対して補助金を交付した。

3　民間保育所施設整備費補助金　200,000円

不動岡第二保育園で実施した折りたたみテーブル・パイプ椅子の再整備に対して助成を行った。

4　保育体制強化事業補助金　2,400,000円

保育支援者を配置し、保育士の負担を軽減した園に対して補助金を支出した。

5　保育所等ICT化推進事業補助金　862,000円

保育所等におけるICT化を推進することで保育士の負担軽減を図った園に対して補助金を支出した。

○　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.27参照）。

事 業 名	公立放課後児童健全育成事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1123-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	241,072,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	293,828,205 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	230,481,971 円
事業の目的	放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。	事業の概要	・保護者の就労等により、家庭保育が困難な世帯の小学校就学児童を対象に小学校や幼稚園の余裕教室等を利用して学童保育を行う。 ・開設時間： 学校開業日：放課後～19 時 学校休業日：7 時 30 分～19 時 ・合同保育の実施		

事業の実績・成果

児童福祉法第 6 条の 3 第 2 項の規定に基づき、保護者が就労等により昼間留守家庭となる市内の就学児童に対し、授業終了後に児童厚生施設や小学校及び幼稚園の教室等を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図り、保護者の仕事と家庭の両立支援を行った。

1　実施施設一覧　（単位：人）

地域	小学校区	実施施設	定員	開設時間 通常	開設時間 土曜日	開設時間 長期休業日	対象学年
加須地域	加 須	加須小学校放課後児童健全育成室	75	放課後～19:00	7:30～19:00（7:30～8：00は延長保育）	同左	1 年生～6 年生
	花崎北	花崎北小学校放課後児童健全育成室	95				
	加須南	加須南小学校放課後児童健全育成室	60				
	不動岡	不動岡小学校放課後児童健全育成室	50				
	三 俣	三俣小学校放課後児童健全育成室	75				
	礼 羽	礼羽小学校放課後児童健全育成室	50				
	大 桑	大桑小学校放課後児童健全育成室	115				
	水 深	水深小学校第一放課後児童健全育成室	65				
		水深小学校第二放課後児童健全育成室	45				
		水深小学校第三放課後児童健全育成室	64				
	志多見	志多見小学校放課後児童健全育成室	32				
	樋遣川	樋遣川小学校放課後児童健全育成室	30				
	大 越	大越小学校放課後児童健全育成室	32				
大利根地域	大利根東	大利根東小放課後児童健全育成たなばた室	60				
	原 道	原道小放課後児童健全育成のぎく室	51				
	元 和	元和小放課後児童健全育成かえで室	61				
	豊 野	豊野小放課後児童健全育成もみじ室	30				

・市報かぞ、チラシ全戸配布による指導員確保や、不動岡小、元和小、原道小の保育面積確保等により待機児童ゼロを維持することができた。

・公立放課後児童健全育成室において土曜日及びお盆の合同保育を実施した。

放課後児童健全育成室	拠点施設
加須小学校放課後児童健全育成室	加須小学校放課後児童健全育成室
加須南小学校放課後児童健全育成室	
水深小学校第一放課後児童健全育成室	水深小学校第一放課後児童健全育成室
水深小学校第二放課後児童健全育成室	
水深小学校第三放課後児童健全育成室	
不動岡小学校放課後児童健全育成室	礼羽小学校放課後児童健全育成室
礼羽小学校放課後児童健全育成室	
志多見小学校放課後児童健全育成室	
三俣小学校放課後児童健全育成室	三俣小学校放課後児童健全育成室
樋遣川小学校放課後児童健全育成室	
大越小学校放課後児童健全育成室	
大利根東小放課後児童健全育成たなばた室	原道小放課後児童健全育成のぎく室
原道小放課後児童健全育成のぎく室	
元和小放課後児童健全育成かえで室	
豊野小放課後児童健全育成もみじ室	

２　利用児童数と保護者負担金（学童保育料）収納状況の推移

		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
児童数（人）		135, 314	134, 587	144, 097	140, 523	133, 829
調定額（円）		36, 793, 915	45, 650, 164	47, 531, 374	48, 675, 597	44, 646, 580
	現年度	36, 642, 995	45, 499, 464	47, 298, 049	48, 221, 197	44, 019, 030
	過年度	150, 920	150, 700	233, 325	454, 400	627, 550
収入済額（円）		36, 643, 215	45, 416, 839	47, 076, 974	48, 048. 047	43, 838, 030
	現年度	36, 492, 295	45, 266, 139	46, 889, 374	47, 867, 047	43, 662, 530
	過年度	150, 920	150, 700	187, 600	181, 000	175, 500
収納率（%）		99. 6	99. 5	99. 0	98. 7	98. 1
	現年度	99. 6	99. 5	99. 1	99. 3	99. 1
	過年度	100. 0	100. 0	80. 4	39. 8	28. 0

※児童数は年間延べ利用児童数

3　保護者負担金（月額）　（単位：円）

<table>
<tr><th colspan="3">階　　層</th><th>学童保育料</th><th>おやつ代</th><th>多子軽減</th><th>減　免</th></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="2">生活保護法による被保護世帯及び市民税非課税世帯</td><td>0</td><td rowspan="7">2,000</td><td rowspan="7">同一世帯において、複数児童が同時利用する場合、学童保育を利用する第 2 子の学童保育料を左記料金の 1／2、第 3 子以降の学童保育料を無料とする。</td><td rowspan="7">なし</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="2">市民税均等割のみ課税世帯</td><td>2,000</td></tr>
<tr><td>3</td><td rowspan="5">市民税所得割の額の区分が次の区分に該当する世帯</td><td>40,000 円未満</td><td>3,000</td></tr>
<tr><td>4</td><td>40,000 円以上
70,000 円未満</td><td>4,500</td></tr>
<tr><td>5</td><td>70,000 円以上
140,000 円未満</td><td>5,500</td></tr>
<tr><td>6</td><td>140,000 円以上
240,000 円未満</td><td>7,000</td></tr>
<tr><td>7</td><td>240,000 円以上</td><td>8,000</td></tr>
</table>

4　延長保育料

利　　用　　月	月当たりの料金
5 月、6 月、9 月、10 月、11 月、2 月	200
4 月、7 月、12 月、1 月、3 月	500
8 月	1,000

※1 階層は延長保育料負担 0 円

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】及び【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P.28 参照）。

事 業 名	民間放課後児童健全育成事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1123-02
款	03	民生費	当 初 予 算 額	312,242,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	364,727,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	301,237,113 円
事業の目的	放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。	事業の概要	民間放課後児童クラブに事業委託し、放課後児童健全育成事業を実施する。	

事業の実績・成果

1　放課後児童健全育成事業委託　227,795,000 円

保護者が就労等により、昼間家庭にいない市内小学校に通う児童に対し、授業の終了後に公共施設等を利用して適切な遊びや生活の場を提供して、その健全な育成を図るため、民間児童クラブに放課後児童健全育成事業を委託した。（委託料の 1/3 を国、1/3 を県が補助）

また、放課後児童支援員や補助員の処遇改善に関する費用を補助した。（1/3 を国、1/3 を県が補助）

結果、当該児童に対し適切な遊びの場及び生活の場を与えることができ、もって当該児童の健全な育成指導を行うことができた。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に係る委託料については、別冊に記載している。

【保育実績】

年間延べ登録児童数　（単位：人）

地 域	クラブ名称	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
加須	愛泉学童クラブ　おおぞら組	567	555	526	445	366
	愛泉学童クラブ　つばさ組	408	395	401	378	231
	かぞ児童クラブ	389	437	418	425	412
	みつまた児童クラブ	362	468	606	650	506
	みつまた第三児童クラブ	290	317	276	196	264
	にしき学童	397	417	448	435	426
	みなみ児童クラブ	184	240	348	412	367
	リトル花学童クラブ					72
騎西	騎西学童保育室 風の子学童クラブ	418	539	518	530	529
	騎西学童保育室 風の子第 2 学童クラブ	138				
	種足つばさ学童クラブ	473	549	517	572	523
	田ケ谷学童保育室 くすの木学童クラブ	371	368	371	389	377
	高柳学童保育室 けやき学童クラブ	401	352	338	384	455
	鴻茎学童保育室 おおぞら学童クラブ	491	356	385	454	443
	学童保育室ふたばクラブ	570	454	517	481	407
北川辺	東小学童クラブの会きらきらキッズ	483	508	431	425	407
	東小学童クラブの会きらきらキッズ第 2			311	347	321
	北川辺学童保育の会　げんきクラブ第 1	577	661	722	404	304
	北川辺学童保育の会　げんきクラブ第 2				330	268
合計（延べ児童数）		6,519	6,616	7,133	7,257	6,678

※騎西学童保育室風の子第 2 学童クラブ：平成 29 年 3 月 31 日閉室
※東小学童クラブの会きらきらキッズ第 2：平成 30 年 4 月 1 日開室
※愛泉学童クラブおおぞら組（旧はと組）：平成 31 年 4 月 1 日名称変更
※北川辺学童保育の会げんきクラブ第 2：平成 31 年 4 月 1 日開室
※リトル花学童クラブ：令和 2 年 4 月 1 日開室

2　田ケ谷学童保育室及び鴻茎学童保育室の移転工事　30,283,000 円

学校敷地外にある田ケ谷学童保育室及び鴻茎学童保育室について、利用する児童の安全性等の観点から同地区小学校区の小学校内に学童保育室を移転する工事を行った。

当該移転工事の結果、児童が学校敷地外に出ることなく学童保育室に登室できるようになったため、利用児童の登室に関する安全性を向上することができた。

なお、移転工事については「子ども・子育て支援整備交付金」を活用して実施した。(2/3 を国、1/6 を県が補助※一部工事費を除く)

3　公設民営学童室の修繕等　9,395,580 円

公設民営の学童保育室の施設等について、修繕、改修及び設備清掃等を実施するとともに、必要となる備品を購入した。

結果、公設民営の学童保育室の保育環境について、維持・向上を図ることができた。

【繰越明許　令和 2 年度から令和 3 年度へ繰り越す理由】

○騎西学童室備品等購入費（繰越明許額　550,000 円）

待機児童が発生する恐れがある騎西学童保育室について、新たに保育室を整備するために必要な備品の購入費を令和 3 年第 1 回定例会に上程し、令和 3 年 3 月 17 日に議決されたが、議決から年度末までの間に当該必要な備品の納入が困難であるため繰り越した。

○東小学童クラブの会きらきらキッズ第二雨・風除けパネル設置工事（繰越明許額　499,000 円）

当該学童室付近の渡り廊下に雨・風除けパネルを設置する必要があるため、その工事費を令和 3 年第 1 回定例会に上程し、令和 3 年 3 月 17 日に議決されたが、議決から年度末の間に当該必要な工事を完了することが困難であるため繰り越した。

○種足つばさ学童クラブ男子トイレ修繕（繰越明許額　498,000 円）

当該学童室の男子トイレについて修繕が必要となったため、その修繕料を令和 3 年第 1 回定例会に上程し、令和 3 年 3 月 17 日に議決されたが、議決から年度末の間に当該必要な修繕を完了することが困難であるため繰り越した。

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.30 参照）。

事 業 名	三世代ふれあい家族応援事業			（総合戦略）
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	3213-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	4,400,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	4,400,000 円
目	01	児童福祉総務費	決 算 額	4,300,000 円
事業の目的	三世代同居家族の市内への定住化を促進し、安心した子育てと高齢者が安心して暮らせる環境を推進する。併せて、市内産業の活性化を図る。	事業の概要	三世代同居を目的とした住宅の取得やリフォームに係る費用の一部を助成する。 当初、平成30年度事業終了を予定していたが、事業効果等を考慮し事業継続	

事業の実績・成果

市内に三世代世帯が同居し、相互に協力することにより、子どもを安心して産み育てるとともに、高齢者が安心して暮らせる環境を整えるため、住宅の新築、購入又は増改築等に要する費用の一部を補助することにより、本市の定住人口の増加及び地域経済の活性化につなげることを目的として、平成 28 年４月１日から交付受付を開始した。

（事業の概要）

○交付対象費用

①同居するためのリフォーム工事に要した費用

②同居するための新築又は住宅の購入に要した費用

○補助金額　市内事業者との契約　：　30 万円

その他　：　20 万円

○補助金の交付状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助金交付件数（件）	8	11	17	25	19
うち　市内事業者	3	1	8	8	5
市外事業者	5	10	9	17	14
補助金交付額（円）	1,900,000	2,300,000	4,200,000	5,800,000	4,300,000
うち　市内事業者	900,000	300,000	2,400,000	2,400,000	1,500,000
市外事業者	1,000,000	2,000,000	1,800,000	3,400,000	2,800,000

○補助金を交付した世帯の合計人数

107 人（うち 76 人が市外からの転入者）

○固定資産税減免対象（税務課）

200 ㎡までの宅地に適用される税額の１/6 軽減措置を、３年間 500 ㎡までに拡大

○固定資産税減免状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象（件）	7	19	33	52
減免税額（円）	45,300	118,900	220,000	286,400

※　平成 29 年度から適用

事業名	児童扶養手当支給事業		
担当課	子育て支援課	総合振興計画コード	1112-05
款 03	民生費	当初予算額	447,011,000円
項 02	児童福祉費	最終予算額	447,010,500円
目 02	児童措置費	決算額	383,264,439円
事業の目的	子育て中のひとり親家庭等に対する経済的な支援を行い、生活の安定と自立に向けた支援を行う。	事業の概要	・対象者は18歳までの児童（障害の状態にある場合は20歳未満） ・申請者や扶養義務者の所得により、手当の一部又は全部が支給停止になる場合がある。 ・受給開始から5年等経過した受給者は自立に向けた活動等を行わないと手当額の2分の1が支給停止となる。 ・支払月は奇数月の年6回のほか転出者、喪失者等に対し随時払を行う。

事業の実績・成果

児童扶養手当を支給することで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図った。

また、児童扶養手当法の一部改正により、令和元年11月分の児童扶養手当から支払回数が4か月分ずつ年3回から2か月分ずつ年6回に見直されたため、今年度の支払より5・7・9・11・1・3月の年6回となった。

1　児童扶養手当支給額

区分		手当月額（円）	延月人数（人）	支出額（円）
全部支給者		42,910	5,042	217,500,970
		43,160		
一部停止者		42,900～10,120	4,092	118,502,070
		43,150～10,180		
加算額	2子加算	10,140、10,130～5,070	3,816	36,019,540
		10,190、10,180～5,100		
	3子以降加算	6,080、6,070～3,040	1,077	6,313,110
		6,110、6,100～3,060		
１３条の２対象者			135	4,798,720
１３条の３対象者			1	21,580
合計			14,163	383,155,990

2　支給延児童数・支給額の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
延児童数（人）	14,758	15,105	14,858	18,358	14,163
支給額（円）	377,480,240	397,275,980	391,050,260	499,191,640	383,155,990

事 業 名		児童手当支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-13
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,665,032,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,665,032,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	1,601,346,623 円

事業の目的	家庭等における生活の安定、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として児童手当を支給する。	事業の概要	・対象者は中学校修了までの児童 3 歳未満：1 万 5 千円 3 歳以上小学校修了前：第 1･2 子 1 万円 第 3 子以降：1 万 5 千円 中学生 1 万円を 6･10･2 月に支給する。 ・平成 24 年 6 月より所得制限を導入し、 限度額超過者は、一律 5,000 円を支給する。

事業の実績・成果

児童手当を支給することにより、子育て家庭に対する経済的支援を行った。また、市民に対して制度の周知を図るとともに、適正かつ迅速な事業執行に努めた。
※平成 24 年 4 月 1 日から「児童手当の一部を改正する法律」が施行され、平成 24 年 6 月から所得制限が導入された。

1　事業内容
（1）支給対象　0 歳から中学校修了前までの間にある児童の養育者に支給
（2）支給月額　3 歳未満　一律 15,000 円
3 歳以上小学校修了前　10,000 円（第 3 子以降は 15,000 円）
小学校修了後中学校修了前　一律 10,000 円
特例給付（所得制限超過者）　一律　5,000 円
（3）支払時期　原則として、6 月、10 月、2 月にそれぞれの前月分までを支給

2　児童手当支給額

延児童数・支給額の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
延児童数（人）	156,935	154,283	151,843	148,775	146,611
支給額（円）	1,722,270,000	1,694,675,000	1,666,380,000	1,628,365,000	1,598,025,000

事 業 名		避難者支援児童扶養手当支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-14
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,825,000 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	5,825,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	3,080,630 円
事業の目的	原発避難者特例法に基づいたひとり親家庭等の避難者に児童扶養手当を支給し、経済的支援を図る。		事業の概要	・避難元団体から通知があった日の属する月の翌月分から手当を支給する。支払は1･3･5･7･9･11 月の奇数月年 6 回。 ・ひとり親家庭等の児童が 18 歳（障害の状態にある場合は 20 歳未満）に達した日の属する年度末まで手当を受けることができる。

事業の実績・成果

避難元自治体と連携し、原発避難者特例法に基づいたひとり親家庭等の避難者の実態把握と手当支給に努め経済的支援を図った。

また、児童扶養手当法の一部改正により、令和元年 11 月分の児童扶養手当から支払回数が 4 か月分ずつ年 3 回から 2 か月分ずつ年 6 回に見直されたため、今年度の支払より 5・7・9・11・1・3 月の年 6 回となった。

1　対象者

・双葉町　　受給者数　7 人　　延児童数　　80 人
・浪江町　　受給者数　1 人　　延児童数　　24 人

2　児童扶養手当支給額

区　　分		手 当 月 額（円）	延月人数（人）	支 出 額（円）
全 部 支 給 者		42,910	62	2,674,420
		43,160		
一 部 停 止 者		42,900～10,120	16	200,250
		43,150～10,180		
加算額	2 子 加 算	10,140、10,130～5,070	26	205,960
		10,190、10,180～5,100		
	3 子以降加算	6,080、6,070～3,040	0	0
		6,110、6,100～3,060		
合　　計			104	3,080,630

事 業 名		子育て世帯への臨時特別給付金支給事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-28
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	144,560,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	136,354,092 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援する取組の一つとして、児童手当を受給する世帯（0 歳～中学生のいる世帯）に対し、臨時特別の給付金（一時金）を支給する。		事業の概要	事業の実施主体は市区町村であり、実施に要する経費（給付事業費及び事務費）については、国が補助（10/10）する。 【給付額】対象児童 1 人当たり 1 万円 【対象児童】 児童手当の令和 2 年 4 月分の対象となる児童（3 月分の対象となる児童含む）

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P. 33 参照）。

事 業 名		子育て世帯へのちょこっとおたすけ絆サポート券配布事業		
担 当 課		子育て支援課	総合振興計画コード	1112-29
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	182,664,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	169,011,470 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響による学校の臨時休業や自粛要請により生活費が増加している子育て世帯を対象に市独自の支援策として「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布する。 併せて影響を受けている市内商店等の活性化を図る。		事業の概要	対象児童一人につき各 1 万円の絆サポート券を重複配布する。 ・児童手当受給対象児童 ・児童扶養手当（ひとり親家庭等）受給対象児童 ・就学援助受給世帯対象児童 ・障害児福祉手当受給対象児童（医療的ケア児含）

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P. 34 参照）。

事 業 名	ひとり親世帯への臨時特別給付金支給事業			
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-30
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	140,836,000 円
目	02	児童措置費	決 算 額	132,462,630 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、こうした世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を早期に支給する。	事業の概要	・支給対象者 ①児童扶養手当受給世帯等への給付 （基本給付分） １世帯５万円、第２子以降１人につき３万円 ②収入が減少した児童扶養手当受給世帯等への給付 （追加給付分） １世帯５万円 ・再支給あり（基本給付分のみ）	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊P.35参照）。

事 業 名	未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金支給事業			
担 当 課	子育て支援課		総合振興計画コード	1112-31
款	03	民生費	当 初 予 算 額	0 円
項	02	児童福祉費	最 終 予 算 額	1,866,500 円
目	02	児童措置費	決 算 額	1,866,500 円
事業の目的	消費税率の引き上げ、子どもの貧困、ひとり親に対する税制上の対応を踏まえ、臨時・特別の措置として、児童扶養手当の受給者のうち、未婚のひとり親に対して臨時・特別給付金を支給する。	事業の概要	令和元年 11 月分の児童扶養手当の支給を受ける父または母のうち、これまで法律婚をしたことがない未婚のひとり親家庭に対し、令和元年度のみ児童扶養手当額に 1.75 万円を上乗せして支給する。	

事業の実績・成果

平成31年度母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金（未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金給付事業費分・事務費分）の返還金が発生したため、事業実績報告に基づき適切に支出した。

1　事業費
・交付決定額：2,625,000 円
・支給決定額：857,500 円（支給件数 49 人×@17,500 円）
・返還金：1,767,500 円

2　事務費
・交付決定額：120,000 円
・支出額：21,700 円
・返還金：99,000 円

※国庫補助事業：補助率１０／１０

<table>
<tr><td colspan="2">事業名</td><td colspan="4">低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）支給事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">担当課</td><td colspan="2">子育て支援課</td><td>総合振興計画コード</td><td>1112-95</td></tr>
<tr><td>款</td><td>03</td><td colspan="2">民生費</td><td>当初予算額</td><td>0円</td></tr>
<tr><td>項</td><td>02</td><td colspan="2">児童福祉費</td><td>最終予算額</td><td>71,092,000円</td></tr>
<tr><td>目</td><td>02</td><td colspan="2">児童措置費</td><td>決算額</td><td>0円</td></tr>
<tr><td>事業の目的</td><td colspan="2">新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、食費等による支出の増加の影響を勘案し、子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）を早期に支給する。</td><td>事業の概要</td><td colspan="2">・支給対象者
① 児童扶養手当の支給を受けている者
② 公的年金給付等を受けていることにより児童扶養手当の支給を受けていない者
③ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変するなど、収入が、児童扶養手当の対象となる水準に下がった者
・給付額
児童１人当たり一律５万円</td></tr>
<tr><td colspan="6">事業の実績・成果</td></tr>
<tr><td colspan="6">【繰越明許　令和２年度から令和３年度へ繰り越す理由】
県への交付申請（電子媒体）の事前提出が令和３年４月１日（県から国へは令和３年４月２日）となっているため３月補正を行い、交付決定後早期に支給を開始するため繰り越した（繰越明許額71,092,000円）。</td></tr>
</table>

事業名	公立保育所管理運営事業		
担当課	保育幼稚園課	総合振興計画コード	1121-09
款 03	民生費	当初予算額	360,947,000円
項 02	児童福祉費	最終予算額	378,372,000円
目 03	児童福祉施設費	決算額	257,433,007円
事業の目的	公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。	事業の概要	公立保育所（7ヶ所）の運営管理 公立保育所の保育時間 第一保育所、こすもす保育園、第三保育所、第四保育所（7:30～18:30） 騎西保育所（7:30～18:30） 北川辺保育所（7:30～19:30） わらべ保育園（7:30～19:30）

事業の実績・成果

公立保育所において、安全等に十分配慮しながら保育を実施し、保育を必要とする保護者の子育て支援を行った。また、保育士（会計年度任用職員）の確保に努め、待機児童ゼロを維持した。

○主な支出
- 浄化槽原水ポンプ修繕　（わらべ保育園）
- 保育室他空調機修繕　（わらべ保育園）
- 保育室他空調機修繕　（第四保育所）
- 遊戯室空調機改修工事　（北川辺保育所）
- スロープ設置工事　（わらべ保育園）

○保育所等入所児童数（4月1日現在）　（単位：人）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
公立入所児童数		561	554	503	516	499
内訳	市内①	549	548	495	511	495
	市外受託	12	6	8	5	4
私立入所児童数		1,428	1,415	1,486	1,520	1,567
内訳	市内②	1,371	1,358	1,441	1,474	1,514
	市外受託	57	57	45	46	53
合計（公＋私）		1,989	1,969	1,989	2,036	2,066
市外委託③		57	49	54	69	93
内訳	公立	10	12	10	9	10
	私立	47	37	44	60	83
①＋②＋③合計		1,977	1,955	1,990	2,054	2,102

※市内・・・市内在住の児童
　市外受託・・・市外在住で加須市の保育所等に入所している児童
　市外委託・・・市内在住で加須市以外の保育所等に入所している児童
※①＋②＋③合計は、保育所等に入所している市内在住児童の合計

○繰越明許　令和2年度から令和3年度へ繰り越す理由
　備品購入費（繰越明許額　6,899,000円）
　新型コロナウイルス感染症対策備品のため、全国的に商品在庫がない状況であることから、年度末までの納品が困難であったため繰り越した。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.36参照）。

事業名	公立保育所障害児保育事業			
担当課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-10
款	03	民生費	当初予算額	67,958,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	67,958,000円
目	03	児童福祉施設費	決算額	53,462,638円
事業の目的	障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。	事業の概要	障がいがあり保育を必要とする児童の集団保育を、全公立保育所で実施。障がい児3人に対し最低1名の保育士を加配するとともに、専門家や専門機関と必要な連携をとりながら、児童の発達及び保護者の就労と子育てを支援する。	

事業の実績・成果

障がいの程度等により、民間保育所が受け入れを困難とした児童の入所や支援を行った。
特別支援学校のコーディネーター派遣により、個別相談や巡回指導を実施した。

（単位：人、円）

	特別な配慮が必要な児童数	加配保育士数	決算額
第一保育所	6	3	6,753,176
こすもす保育園	15	4	9,212,409
第三保育所（休止中）	0	0	0
第四保育所	4	3	5,794,041
騎西保育所	6	3	5,178,312
北川辺保育所	12	5	11,133,360
わらべ保育園	13	7	15,391,340
合計	56	25	53,462,638

※特別な配慮が必要な児童数及び加配保育士数は4月1日現在

事業名	あすなろ園管理運営事業			
担当課	保育幼稚園課		総合振興計画コード	1121-12
款	03	民生費	当初予算額	6,735,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	7,615,000円
目	03	児童福祉施設費	決算額	5,379,797円
事業の目的	母子通園により障がい児の機能訓練や生活訓練を実施し、子どもの発達に合わせた支援とともに親支援を行い、集団保育や就学につなげる。	事業の概要	障がいがある就学前児童の発達支援と同時に、共に通う保護者に対して家庭における育児の支援（助言・指導）等を行い、集団保育や就学に向けた訓練を行う。 保育所・幼稚園における障がい児保育についても、医師や保健センター、特別支援学校等とも連携して支援を行い、就学に向けた保護者への助言、あるいは児童発達支援事業所等の活用につなげる。	

事業の実績・成果

就学前の心身障がい児に対する日常生活の指導訓練・地域社会との交流及び専門家等による診断又は指導を実施した。

○通園児童数（4月1日現在）　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
あすなろ園	14	18	13	14	11

○利用状況（3月31日現在）　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
生活指導	14	8	12	11	8
理学療法	4	4	6	6	3
言語療法	22	16	9	11	11

※専門家の訓練利用は通園者以外も利用可能である。

○繰越明許　令和2年度から令和3年度へ繰り越す理由

備品購入費（繰越明許額　141,000円）

新型コロナウイルス感染症対策備品のため、全国的に商品在庫がない状況であることから、年度末までの納品が困難であったため繰り越した。

○新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.37参照）。

事 業 名		民間保育所等施設整備助成事業			（総合戦略）
担 当 課		保育幼稚園課		総合振興計画コード	1122-03
款	03	民生費		当　初　予　算　額	28,289,000 円
項	02	児童福祉費		最　終　予　算　額	28,289,000 円
目	03	児童福祉施設費		決　　算　　額	13,323,000 円
事業の目的	保育所に入所を希望する全ての児童が入所できるよう民間保育所整備・充実を促進する。		事業の概要	民間保育所において行う創設・増改築・大規模改修事業に対し助成を行う。	

事業の実績・成果

児童の安全確保を図るため、（学）大利根学園大利根ふじこども園が実施した体育館の耐震補強工事に対して市及び国の補助金を交付した。

・改修費用　37,836,000 円
・交付金額　13,323,000 円

【内訳】　（円）

保育所部分	国庫補助金（1/2）	8,882,000	13,323,000
	市補助金（1/4）	4,441,000	
幼稚園部分	国庫補助金（1/2）　※市の補助金なし		8,943,000
施設負担部分			15,570,000
合計			37,836,000

※国負担の幼稚園部分の補助金 1/2 補助（8,943,000 円）については、当初、県から市を通して大利根ふじこども園に交付されると把握していたが、埼玉県より直接、大利根ふじこども園に交付されることが判明したため、市の補助金交付額から差し引きし交付を行った。
・当初決定額 22,266,000 円→変更決定額 13,323,000 円（▲8,943,000 円）

※改修費用には補助対象外経費の建築監理業務委託及び改修工事請負契約の契約変更による増額分等を含む。

事業名	子どもふれあいの家管理運営事業			
担当課	子育て支援課		総合振興計画コード	1114-12
款	03	民生費	当初予算額	664,000円
項	02	児童福祉費	最終予算額	664,000円
目	04	児童館費	決算額	559,794円
事業の目的	地域の子どもたちの交流施設の充実と経費節減を図るため、効率的な施設管理を行う。	事業の概要	・地域の子育て支援拠点として適切な施設管理を行う。 ・水深小第二健全育成室として利用中。	

事業の実績・成果

水深小学校区の児童数が増え、放課後児童クラブの利用児童数も増加している。このため、利用児童数が水深小学校内の併設施設の収容能力を超えたため、子どもふれあいの家を再び放課後児童健全育成室として利用した。

この結果、水深小第二健全育成室として活用することで、利用児童数の分散化を図っている。

事業名	生活保護管理事業			
担当課	生活福祉課		総合振興計画コード	2145-03
款	03	民生費	当初予算額	7,956,000円
項	03	生活保護費	最終予算額	7,979,000円
目	01	生活保護総務費	決算額	6,545,395円
事業の目的	生活保護の適正な運営を図り生活保護者の自立を促進する。	事業の概要	生活保護新規申請時調査の徹底・29条調査・扶養義務者照会、医療報酬支払基金等による診療報酬及び介護報酬明細書点検確認、嘱託医による医療要否意見書の確認などを実施する。	

事業の実績・成果

○嘱託医による医療要否意見書のチェック及び要保護者の医療扶助の決定実施にともなう専門的判断及び必要な助言指導等により、医療扶助費の適正化に努めた。

○医療報酬支払基金等による診療報酬明細書及び介護報酬明細書の審査を実施するとともに、後発医薬品の使用促進と医療費の抑制を図るため、保護だより等の啓発資料を配布し、医療扶助費等の適正化に努めた。

○課税調査を始めとする生活保護法第29条調査を実施し、生活保護の適正実施に努めた。

○市の就労支援相談員やハローワークの就労相談員等によるチーム連携により、要保護者への自立に向けた就労支援を実施し、適正指導に努めた。

○定期的な家庭訪問や施設訪問、病状調査を実施し、適切な支援に努めた。

○市内の無料低額宿泊所と定期的に情報交換を行い、適正運営と地域との共生に努めている。施設の入居者は増加し満室状態が続いているが、周辺自治会との信頼関係が築かれている。

○ホームレスや生活困窮等により緊急的な食事提供が必要な方に対し、アルファ米の提供を行った。

事 業 名		生活保護適正実施推進事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-05
款	03	民生費	当 初 予 算 額	6,718,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	7,947,000 円
目	01	生活保護総務費	決 算 額	7,842,200 円
事業の目的	生活保護費の不正受給防止を図る。		事業の概要	生活保護システムを活用し、保護業務に係る決定、経理、医療、介護、統計等の一連の事務処理を効率的に実施する。 医療扶助の適正化を図るため、診療報酬明細書（レセプト）の内容点検を業務委託により実施する。 健康管理支援事業の実施に向け、準備・実施する。

事業の実績・成果

○生活保護システムの運用は、事務処理の効率化や統計業務の正確性に寄与した。
○診療報酬明細書の点検のうち、資格点検を職員が行うほか、内容点検、縦覧点検については、専門業者に委託し、医療扶助費の適正な支払いに努めた。

【参考】再審査請求の状況（平成 27 年度～令和元年度）　（単位：円、件）

		返戻金額	診療機関による取下げ等	成果額	点検内容	
					資格点検	内容点検
平成 28 年度	合計金額	8,875,744	5,438,035	3,437,709	2,448,307	989,402
	合計枚数	253	30	223	75	148
平成 29 年度	合計金額	3,550,773	789,973	2,760,800	1,190,078	1,570,722
	合計枚数	142	22	120	27	93
平成 30 年度	合計金額	3,488,981	64,245	3,424,736	2,801,080	623,656
	合計枚数	170	7	163	40	123
令和元年度	合計金額	2,423,938	0	2,423,938	1,214,340	1,209,598
	合計枚数	168	0	168	8	160
令和２年度	合計金額	4,290,706	0	4,290,706	1,749,886	2,540,820
	合計枚数	390	0	390	72	318

○現業員の資質の向上及び知識の習得を図ることを目的とし、各種研修会に参加した。
○後発医薬品使用促進について、チラシを年３回送付し、その他担当ケースワーカーが家庭訪問の際に原則使用についての説明を行い、使用率向上を図った。

事 業 名		生活保護者自立支援事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-07
款	03	民生費	当 初 予 算 額	5,979,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	6,099,000 円
目	01	生活保護総務費	決 算 額	5,682,862 円
事業の目的	生活保護世帯の社会的自立を支援する。	事業の概要	就労支援相談員による就労意欲の喚起及び就労自立支援、面接相談員の生活保護相談を実施する。	

事業の実績・成果

1　事業の実績

就労自立の状況・推移

就労支援状況（就労・廃止件数）

令和３年３月末現在		人数	左のうち 就労している者	左のうち保護 廃止となった者
就労支援対象者		238	120	23
内訳	生活保護受給者等 就労自立支援促進事業による支援	60	17	6
	ＣＷによる支援	178	103	17

2　事業の成果

就労支援相談員との連携により、被保護世帯の就労自立支援活動に取り組み、自立の助長を図ることができた。

事 業 名		生活保護事業		
担 当 課		生活福祉課	総合振興計画コード	2145-04
款	03	民生費	当 初 予 算 額	1,976,322,000 円
項	03	生活保護費	最 終 予 算 額	2,220,887,000 円
目	02	扶助費	決 算 額	1,936,400,423 円
事業の目的	最低限度の生活の保障と要保護者の自立を図る。	事業の概要	生活保護に関する相談、申請受付業務を行うとともに生活困窮の程度に応じた保護の実施および自立助長のための就労支援を行う。	

事業の実績・成果

生活保護の状況について

1　生活保護世帯数および受給者数の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
世帯数（世帯）	853	827	836	838	819
受給者数（人）	1,174	1,110	1,094	1,078	1,040

2　生活保護費
保護費の推移

生活保護世帯数は、ここ数年横ばいあるいは微減の傾向にあり、これに伴い生活保護費も減少の傾向にある。

3　類型別世帯数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
高齢者世帯	446(52.9%)	448(54.7%)	461(55.6%)	482(57.9%)	466(57.1%)
母子世帯	38(4.5%)	37(4.5%)	33(4.0%)	24(2.9%)	25(3.1%)
障害者世帯	79(9.4%)	83(10.1%)	83(10.0%)	92(11.0%)	89(10.9%)
傷病者世帯	152(18.0%)	149(18.1%)	159(19.2%)	151(18.1%)	161(19.7%)
その他世帯	128(15.2%)	103(12.6%)	93(11.2%)	84(10.1%)	75(9.2%)

類型別世帯数では停止世帯を含まないため、生活保護世帯数の合計と誤差が生じている。

事業名	災害時要援護者支援事業		
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	3134-01
款 03	民生費	当初予算額	1,091,000円
項 04	災害救助費	最終予算額	33,334,000円
目 01	災害救助費	決算額	21,445,145円

事業の目的	事業の概要
災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。	災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。 要援護者名簿は、1年に1回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に提供し情報を更新する。 福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。

事業の実績・成果

1　災害時要援護者名簿の整備

災害時等における安否確認や避難誘導、救出活動等を的確に行えるよう、要援護者名簿を整備した。

（1）名簿の配付　　自治協力団体、自主防災組織、民生委員、消防団に配付
※年度更新時に旧名簿は回収

（2）登録者情報の更新　　定期的な登録者情報の更新に努め、災害時に備えた。

（3）登録者数　　6,946人（実人数）（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

内訳（複数項目該当者は重複加算）		延合計	7,281
① ひとり暮らし高齢者	2,372	⑤知的障害者（Ⓐ、A、B）	28
② 高齢者のみの世帯	4,440	⑥精神障害者（1、2級）	16
③ 要介護（3、4、5）	72	⑦外国人（日本語不自由）	0
④ 身体障害者（1、2、3級）	270	⑧その他	83

2　災害時要援護者名簿管理システム

（1）システム保守業務…341,000円

災害時要援護者管理システムの円滑な運用を実施するため、システムの保守業務を委託した。

（2）高齢者台帳システムとの連携機能追加業務…352,000円

高齢者台帳システムとの整合と、現行システムにおける入力作業等の軽減を図るため、高齢者台帳システムからのデータ連携機能追加業務を委託した。

3　福祉避難所の確保

福祉避難スペースでは避難生活が困難な要援護者が必要な支援を受けられるよう、施設・設備、体制の整った介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害児施設、障害者サービス事業所等と協定を締結し、福祉避難所として指定している。

福祉避難所協定締結施設数　　（単位：件）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
18	19	22	27	28

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.38参照）。

【繰越明許　令和2年度から令和3年度へ繰り越す理由】

災害時における災害時要援護者への新型コロナウイルス感染症対策を図るため、「高齢者等避難」発令段階で開設する避難場所等にエアベット等の備品を配備するため、令和3年3月に補正予算を措置したが、年度内の執行が困難なため。

事 業 名		災害時要援護者支援事業【繰越明許】		
担 当 課		地域福祉課	総合振興計画コード	3134-01
款	03	民生費	当 初 予 算 額	860,000 円
項	04	災害救助費	最 終 予 算 額	860,000 円
目	01	災害救助費	決 算 額	772,590 円
事業の目的	災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。	事業の概要	災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。 要援護者名簿は、1 年に 1 回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に提供し情報を更新する。 福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。	

事業の実績・成果

【令和元年度から令和２年度へ繰り越した理由】

補助避難所と要援護者の広域避難所にも拠点避難所と同等の整備が必要とされ、新たに、車いすが回転可能なトイレ用テントと手すり付き簡易トイレ、段ボールベッドを補助避難所（市内７中学校）、広域避難所２ヵ所に配備するため令和２年３月に補正予算を措置したが、年度内に事業完了ができないため。

１　福祉避難スペースの整備

専門的なサービスは必要としないながらも、一般的な避難所では避難生活に困難が生じる要援護者の方々が安心して避難生活を送ることができるよう、補助避難所及び広域避難所（後の水害時避難場所）の福祉避難スペースに配備する簡易トイレ関連備品（簡易トイレ、簡易トイレ用ユニパック、車椅子対応テント）及び段ボールベッドを購入し配備した。

購入備品

施設名・備品名	簡易トイレ（台） 車椅子対応テント（張）	ユニパック（パック）	段ボールベッド（基）
昭和中学校	1	5	1
加須西中学校	1	5	1
加須東中学校	1	5	1
加須北中学校	1	5	1
加須平成中学校	1	5	1
騎西中学校	1	5	1
大利根中学校	1	5	1
騎西総合体育館	2	１０	2
SFA フットボールセンター	3	１５	2

事業名	被災者支援事業			
担当課	地域福祉課		総合振興計画コード	3135-01
款	03	民生費	当初予算額	3,215,000円
項	04	災害救助費	最終予算額	3,215,000円
目	01	災害救助費	決算額	1,465,000円
事業の目的	災害見舞金・弔慰金・応急住宅補助金を支給することで、災害を受けた者などの保護と福祉の増進を図る。	事業の概要	災害の被災者に、見舞金及び仮設住宅補助金を支給する。 【見舞金・弔慰金】 家屋全焼（壊）20万円 半焼（壊）10万円、床上浸水5万円 部分焼（一部損壊）1万円 傷害見舞金3万円、弔慰金10万円 【仮設・賃貸住宅の補助】 月額2万円（上限）×12ヶ月まで	

事業の実績・成果

1　加須市災害見舞金等支給要綱に基づく見舞金弔慰金
災害見舞金弔慰金　1,110,000円

（単位：件）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
家屋	全焼・全壊（20万円）	9（※1）	8	7	4	3
	半焼・半壊（10万円）	1	1	1	0	0
	床上浸水（5万円）	0	0	0	0	4
	部分焼･一部損壊（1万円）	4	6	12	10	5
見舞金	負傷者（3万円）	5	4	0	5	2
弔慰金	死亡者（10万円）	2（※2）	1	0	0	2

※1及び※2…東日本大震災による福島県双葉町からの避難者が被災したものを1件ずつ含む。
（双葉町が支給する見舞金等を控除した額を加須市が支給）

2　加須市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づく災害弔慰金
なし

3　り災者応急住宅費補助金　355,000円

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
件数（件）	1	2	4	4	3
金額（円）	170,000	320,000	355,800	392,000	355,000

事 業 名	不妊治療事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1111-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	7,090,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	6,937,832 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	5,390,000 円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、不妊や不育に悩む夫婦が不妊治療や不妊検査、不育症検査を受けることによる経済的負担を軽減することにより、不妊治療等を受けやすい環境を整備する。	事業の概要	①不妊治療費助成事業は、埼玉県不妊治療費助成事業の支給の決定を受けた、初回治療時妻年齢43歳未満の夫婦を対象に、不妊治療費用の一部（県の助成金額を控除した自己負担額の1/2、上限15万円）を助成する。②早期不妊検査費助成事業及び不育症検査費助成事業は、妻年齢43才未満の夫婦が受けた不妊検査費用や不育症検査費用の一部（上限2万円、1回限り）を助成する。	

事業の実績・成果

安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを推進することができた。

1　不妊治療費被助成者数

（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
不妊治療費被助成者数	48	49	39	34	41
不妊治療による妊娠者数	22	16	16	17	16

【参考】

（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
埼玉県不妊治療費助成事業申請者数（加須市民）	82	91	85	87	101

2　早期不妊検査費被助成者数

（単位：件）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
早期不妊検査費被助成者数	10	16	10	17

3　不育症検査費被助成者数

（単位：件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
不育症検査費被助成者数	3	5	4

事業名	妊婦保健事業			（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1111-05
款	04	衛生費	当初予算額	59,622,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	59,849,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	54,478,801円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、母体や胎児の健康の保持増進を図るとともに、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識を習得いただき、安心して出産できるよう支援する。	事業の概要	妊婦健康診査（14回分のうち1回目13,910円、2回目以降は5,000円、5,600円または8,000円を助成）及び関連検査（HIV抗体検査、子宮頚がん検診、HTLV-1検査、性器クラミジア検査）費用を助成する。 また、パパママ学級を開催し、安心して出産できるよう支援する。		

事業の実績・成果

妊娠届出をした妊婦の99.7%（582人／584人）が妊婦健康診査を受診したため、妊婦の健康を守ることに役立った。

また、パパ・ママ学級参加者へのアンケートの結果、「参加して育児不安が減ったか」という質問に対して、回答者の98.8%（80人／81人）が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答し、妊娠や出産に対する不安の軽減につなげることができた。

1　妊娠届出等

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
妊娠届出(件)	684	690	624	635	584
母子手帳交付数(冊)	721	718	659	670	637

2　妊婦健康診査受診者数　（単位：人）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
妊婦健康診査受診（公費負担）者数	1回目	665	676	609	608	582
	2回目	668	659	612	589	573
	3回目	633	658	588	571	583
	4回目	659	650	606	555	572
	5回目	516	539	532	508	519
	HTLV-1抗体検査	650	694	611	603	584
	性器クラミジア検査	661	694	618	602	587
	6回目から14回目	4,995	5,341	4,638	4,285	4,237

3　パパ・ママ学級　（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
パパ参加者数	95	73	104	93	47
ママ参加者数	117	94	133	125	65
計	212	167	237	218	112

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.39参照）。

事業名	避難者支援妊婦保健事業				
担当課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	1111-06
款	04	衛生費		当初予算額	509,000円
項	01	保健衛生費		最終予算額	509,000円
目	01	保健衛生総務費		決算額	72,600円
事業の目的	原発避難者特例法に基づき、東日本大震災により被災した者のうち、妊婦に対して妊婦健康診査受診等の支援を行う。		事業の概要	妊婦健康診査費用の助成（14回分の1回目13,910円、2回目以降は5,000円、5,600円または8,000円の助成）等の支援を行う。（平成24年1月から実施）	

事業の実績・成果

東日本大震災により被災した者のうち、妊婦に対して妊婦健康診査を受ける機会を提供した。

（単位：人）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
妊婦健康診査受診（公費負担）者数	1回目	4	1	3	2	0
	2回目	3	3	3	1	1
	3回目	2	3	3	1	1
	4回目	4	4	2	1	1
	5回目	1	2	2	1	1
	HTLV-1抗体検査	4	2	3	2	0
	性器クラミジア検査	4	2	3	2	0
	6回目から14回目	38	6	12	11	8

事 業 名	こんにちは赤ちゃん事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1111-08
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	3,163,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	3,163,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	2,737,923 円
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、乳児家庭の孤立化を防ぎ、親子の健全な育成環境の確保を図る。また、産後うつ病を防ぎ、適切な養育の実施を確保する。	事業の概要	生後 4 か月までの乳児のいる全ての家庭に助産師、保健師が訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状態等を把握し、助言を行う。 また、未熟児訪問や、養育支援訪問（専門的相談・指導が必要な家庭訪問）を行う。	

事業の実績・成果

産婦から提出された出生連絡票に基づき連絡し、生後 4 か月までの乳児のいる家庭を助産師または保健師が訪問した。出生連絡票の提出がない場合、連絡を行い訪問した。

訪問により、乳児の発育・発達、健康状態を把握するとともに、母親（父親）の育児に対する相談を受け、育児支援を行うことができた。

1　訪問件数（年度訪問件数）　（単位：件）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
680	653	652	572	545

※訪問件数については、前年度生まれの乳児、他市へ依頼した訪問も含む。

2　令和 2 年度訪問状況　（単位：件）

令和 3 年 5 月末日現在（令和 3 年生まれの児の訪問が終了していないため）

対象者数（出生数－転出＋転入）		583
訪問者数		546
訪問予定者数		14
未訪問の内訳	来所面接	1
	施設入所	3
	希望なし	19

※対象者数は、令和 3 年 3 月 31 日までの児

※希望なしの理由は、里帰り中のため調整がつかない、経産婦のため心配なことがない等。

3　養育支援訪問（未熟児養育医療申請者、病院からの連絡等）　（単位：件）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
57	79	66	53	60

※平成 28 年度からは未熟児養育医療申請者の訪問件数に病院からの連絡等の訪問件数を合算。

※訪問件数については、前年度生まれの乳児も含む。

事 業 名		母子保健推進員訪問活動事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	1114-06
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	163,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	163,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	31,948 円
事業の目的	地域における子育て支援を促進するため、母子愛育会の班員のうち、母子保健推進員として登録した者が、市民の見守り・声掛け訪問活動を実施する。		事業の概要	愛育班員のうち母子保健推進員として登録した者が、受け持ち地域に住む全ての市民を対象に家庭訪問を実施する。そして、母子保健推進員と保健師が地域の健康問題を把握し、健康増進に取り組む。

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、訪問期間や対象者をしぼっての実施であったが、各地域の母子保健推進員が、それぞれの担当地域の市民宅を訪問し、健康に関する資料や情報を直接提供することができた。

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
家庭訪問件数（件）	1,537	1,553	942	906	301
母子保健推進員数（人）	293	285	247	241	237

事 業 名		親子歯科保健推進事業			
担 当 課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-02
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	1,342,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	1,342,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	685,998 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、親と子がむし歯、歯並び、歯周疾患について正しい知識を習得する機会を拡充する。		事業の概要	・2 歳児から就学前の幼児を対象とした歯 LOW 教室、フッ素塗布 ・親と子のよい歯のコンクール	

事業の実績・成果

歯の健康について知識の普及を図り、フッ素塗布によるむし歯の予防に努めたことにより、むし歯のない幼児を増やすことができた。

1　むし歯のない幼児の割合　（単位：%）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
歯 LOW 教室	97.7	94.7	97.5	100.0	100.0
2 歳児健診	97.4	97.0	97.0	97.2	98.4
3 歳児健診	81.8	82.9	86.6	88.1	87.5

2　3 歳児健診における歯みがき指導参加状況

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
健診受診者(人)	739	758	738	739	762
参加人数(人)	591	634	637	597	691
参加率（%）	80.0	83.6	86.3	80.8	90.7

3　フッ素塗布（歯 LOW 教室含む）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施回数（回）	16	16	16	15	10
参加人数（人）	744	604	577	463	213

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 6 回実施を見合わせ、10 回実施した。

事業名	乳幼児健診事業			(総合戦略)
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-03
款	04	衛生費	当初予算額	12,542,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	12,542,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	12,249,412円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、乳幼児の健診を実施し、乳幼児の健康の保持増進及び虐待予防を図る。	事業の概要	乳幼児の身体計測、内科診察・歯科診察、保健相談、栄養相談、心理相談、歯科相談を実施する。	

事業の実績・成果

乳幼児健診を行うことにより、乳幼児の発育・発達の遅れ、疾病等の早期発見が図られた。

また、未受診児については、未把握のないよう、再通知や訪問、電話等で状況把握し、リスクの軽減を図った。

〈乳幼児健診実績の推移〉

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
3～4か月児健診	受診人数（受診率%）	704(96.6)	680(97.8)	638(98.0)	606(97.4)	482(96.2)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	286(40.6)	300(44.1)	280(43.9)	263(43.4)	216(44.8)
9～10か月児健診	受診人数（受診率%）	697(95.5)	683(96.7)	685(96.6)	603(93.8)	499(97.5)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	279(40.0)	278(40.7)	287(41.9)	260(43.1)	204(40.9)
1歳6か月児健診	受診人数（受診率%）	763(95.4)	724(95.6)	693(96.5)	681(94.7)	660(94.6)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	335(43.9)	331(45.7)	331(45.7)	314(46.1)	319(48.3)
2歳児健診	受診人数（受診率%）	763(94.7)	745(94.2)	731(94.8)	684(93.7)	627(94.1)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	347(45.5)	352(47.2)	359(49.1)	314(45.9)	319(50.9)
3歳児健診	受診人数（受診率%）	752(93.4)	758(95.1)	738(94.6)	739(91.9)	762(95.5)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	308(40.6)	285(37.6)	285(38.6)	285(38.6)	318(41.7)

＜乳幼児健診実績＞（令和２年 ４月 １日～令和３年 ５月 31 日現在）

	該当者（人）	受診者（人）	未受診者（人）	受診率（%）	異常なし（人）	健康管理上注意する者（人）	その割合（%）
3～4 か月健診	501	482	19	96.2	266	216	44.8
9～10 か月健診	512	499	13	97.5	295	204	40.9
1 歳 6 か月健診	689	660	38	94.6	341	319	48.3
2 歳児健診	666	627	39	94.1	308	319	50.9
3 歳児健診	798	762	36	95.5	444	318	41.7

＜令和２年度　未受診児の状況＞（令和２年 ４月 １日～令和３年 ５月 31 日現在）　（単位：人）

	3～4 か月児健診	9～10 か月児健診	1 歳 6 か月児健診	2 歳児健診	3 歳児健診
医療機関で受診	9	2	8	5	1
保育園（所）・幼稚園で受診	0	1	8	3	2
市外・海外在住	0	0	4	0	2
市の保健師による訪問・面接	10	10	18	31	31
合　　計	19	13	38	39	36

新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊 P.40 参照）。

事 業 名	育児健康相談事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-10
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	426,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	409,250 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	353,537 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、養育者の育児不安の軽減を図り、乳幼児の健全な発育発達を促す。	事業の概要	乳幼児健康相談、訪問、面接、電話などにより、育児や発育・発達に関する相談を行う。	

事業の実績・成果

乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことで、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、子どもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

1　乳幼児健康相談（乳幼児に関する健康相談）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施回数 (回)	47	41	34	32	23
実人数 (人)	413	315	325	268	176
延人数 (人)	812	663	611	541	278

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4 月、5 月分は中止

2　乳幼児に対する訪問、面接、電話の実施延べ件数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
訪問実人数 (人)	745	683	694	608	577
訪問延件数 (件)	779	705	747	658	641
面接延件数 (件)	110	50	105	92	105
電話延件数 (件)	241	408	656	829	1051

※訪問数はこんにちは赤ちゃん訪問の件数も含む

事業名	幼児発達支援事業			（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-11
款	04	衛生費	当初予算額	2,860,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	2,860,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	2,529,925円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、幼児期の発達、または養育者の育児の不安などにより、育児支援が必要な養育者と子に対して支援を行う。	事業の概要	ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある幼児や、子どもとの関わりに不安をもっている養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図る。 また、必要な幼児に対し医療機関への受診を勧め、幼児の特徴を知り、発達を促す関わりができるようにする。	

事業の実績・成果

親子・育児教室では、ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある子どもや、子どもとの関わりに不安を持つ養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図るとともに、必要に応じて医療機関へ受診を勧め、健全な発達を促すことができた。

また、ことばの相談では、ことばの遅れや発音等心配のある子どもに対し、言語聴覚士による個別相談を行うとともに、必要に応じて医療機関への受診を勧め、言語発達及び健全な発達を促すことができた。

1　親子・育児教室

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数（回）	58	59	59	56	50
参加延人数（人）	625	831	852	780	411

※　令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8回中止した。

※　加須地域は概ね3歳4か月までは親子教室、概ね3歳4か月以降は育児教室として、騎西・北川辺・大利根地域は年齢にかかわらず、親子教室として実施した。

2　ことばの相談（言語聴覚士による相談）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数（回）	70	69	72	72	67
参加延人数（人）	570	530	548	560	597

事 業 名		健康づくり推進計画策定事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	3,870,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	3,159,674 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	1,893,362 円
事業の目的	「埼玉一の健康寿命のまち」の実現を目指し、市民一人ひとりが健康づくりの主体となり自分に適した健康づくりを進めるための計画を策定する。	事業の概要	健康づくり推進計画を策定する。	

事業の実績・成果

平成27年度に策定した「加須市健康づくり推進計画」の計画期間が終了することから、令和3年度を初年度とする「第3次加須市健康づくり推進計画」を策定した。

1　加須市健康意識調査
(1)　調査対象
15歳以上の市民1,500人（無作為抽出）
(2)　調査期間
令和2年7月1日から7月31日まで
(3)　回収件数（回収率）
690件（46.0%）

2　関係機関への意見の聴取
(1)　加須市健康づくり推進委員会（2回）
令和2年12月21日、令和3年2月5日
(2)　加須市健康づくり推進計画庁内検討委員会（1回）
令和2年12月8日
(3)　埼玉一の健康寿命のまち推進部会の7つのワーキンググループ（延べ20回）
令和2年11月30日から令和3年12月17日

3　策定年月日
令和3年3月2日

4　計画期間
令和3年度から令和7年度まで

5　基本理念
生涯にわたり　いきいきと健康でくらせるまち　加須～埼玉一の健康寿命のまちを目指して～

6　7つの分野別取組
①病気の発症予防と重症化予防　②生活習慣の改善推進　③妊産婦と子の健康づくりの推進
④高齢者の健康づくりと介護予防の推進　⑤こころの健康づくりの推進
⑥地域医療体制づくり　⑦新たな感染症対策の迅速・適切な実施

事 業 名		健康づくり推進計画進行管理事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	170,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	170,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	17,366 円

事業の目的	「埼玉一の健康寿命のまち」の実現を目指し、市民一人ひとりが健康づくりの主体となり自分に適した健康づくりを進めるための計画を推進する。	事業の概要	第 2 次加須市健康づくり推進計画（計画期間平成 28 年度～令和 2 年度）に位置付けられた事業及び「埼玉一の健康寿命のまち」推進部会とその下部組織の 7 つの分野ごとのワーキンググループ（市民と行政で構成）で推進した事項を健康づくり推進委員会で進捗を確認し、評価し、翌年度事業に反映する。

事業の実績・成果

健康づくり推進委員会を開催し、第 2 次健康づくり推進計画に位置付けられた事業の進捗状況を評価するとともに、「埼玉一の健康寿命のまち」推進部会ワーキンググループの活動状況を確認した。なお、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、実施回数を 1 回減らして書面により会議を実施した。

1　健康づくり推進委員会開催回数：2 回

2　健康づくり推進計画に位置付けられた事業の令和元年度評価：順調・おおむね順調 74.0%

計画の柱等	1（達成済）	2（概ね順調）	3（やや遅れている）	4（大幅に遅れている）	5（未着手）	計
1　病気の予防	1	11	4	2	0	18
2　食生活・栄養	4	3	3	0	0	10
3　身体活動・運動	4	5	2	1	0	12
4　休養・こころの健康	2	7	2	0	0	11
5　歯・口腔の健康	2	2	2	0	0	6
6　たばこ・アルコール	2	2	1	0	0	5
7　医療体制	5	4	1	1	0	11
計	20	34	15	4	0	73

3　「埼玉一の健康寿命のまち」推進部会ワーキンググループ令和 2 年度活動状況

ワーキンググループ名	開催回数	主な検討事項	啓発場所※
共通		・健康づくり推進計画策定にあたって望むこと	
1　病気の予防	3 回	・次期計画（素案）について	
2　食生活・栄養	3 回	・次期計画（素案）について ・食の安心・安全について	
3　身体活動・運動	2 回	・次期計画（素案）について	
4　休養・こころの健康	3 回	・次期計画（素案）について	
5　歯・口腔の健康	3 回	・次期計画（素案）について ・新一年生への正しい歯みがき指導について	
6　たばこ・アルコール	3 回	・次期計画（素案）について	
7　医療体制	3 回	・次期計画（素案）について	
計	20 回		

※令和 2 年度の啓発活動については、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休止とした。

事 業 名		健康情報活用事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-21
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	9,842,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	9,842,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	8,124,299 円
事業の目的	市民の病気を予防するため、市民の健康データを管理・共有し、各種相談事業や健診（検診）事業等で有効に活用する。		事業の概要	健康管理システム「健康かるて」により、市民の乳幼児健診、予防接種、成人健診（検診）等のデータを一元管理し、市民個々への適切な事業案内や相談・指導を実施する。 また、統計データとして集計・分析することにより、県等への報告や事業の見直し、事務改善等に役立てる。

事業の実績・成果

健康管理システムを安定的に運用できるよう、健康管理システムの更改や機器の更新を実施した。
予防接種や健診対象者の抽出、未受診者のフォローに活用する等、健康管理システムを適切に管理、運用することで、市民の健康づくり推進のための事業を円滑に実施できた。
また、多量なデータ入力が必要となる大腸がん及び子宮頸がん検診結果のデータパンチを委託したほか、健康管理システムを活用して健診結果の時系列的管理や統計処理及び分析を実施し、事務効率の向上に努めた。

事 業 名		健康情報活用事業【繰越明許】		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-21
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	1,859,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,859,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	1,859,000 円
事業の目的	市民の病気を予防するため、市民の健康データを管理・共有し、各種相談事業や健診（検診）事業等で有効に活用する。		事業の概要	健康管理システム「健康かるて」により、市民の乳幼児健診、予防接種、成人健診（検診）等のデータを一元管理し、市民個々への適切な事業案内や相談・指導を実施する。 また、統計データとして集計・分析することにより、県等への報告や事業の見直し、事務改善等に役立てる。

事業の実績・成果

【繰越明許　令和元度から令和２年度へ繰越を行った理由】

委託料（繰越明許額　1,859,000 円）

健康管理システム改修委託（1,859,000 円）
乳幼児健診のマイナンバー対応に伴うシステム改修で、国が定める改修に関する仕様の確定が遅れたため、システム改修が年度を跨ぐことから繰越を行った。令和２年７月よりシステム稼働。

事 業 名		献血推進事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-23
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	188,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	188,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	128,502 円
事業の目的	がん患者、けが人等の生命を救うため、相互扶助の精神に基づき、献血の普及を図り、良質な血液を確保する。		事業の概要	埼玉県の献血推進計画や埼玉県赤十字血液センターの献血受入計画に基づき、市内の各所で献血を実施する。 赤十字血液センターと協力して、献血の普及、協力事業所の確保を図るとともに、献血者へ記念品を配布する。

事業の実績・成果

各事業所・団体等23会場で献血を実施し、献血思想を普及するとともに、良質な血液の確保が図られた。

1　献血者内訳等

会場数（回数）	献血者数目標値（人）	受付者数（人）	献血者数（人）		
			200ml	400ml	計
23　(56)	2,652	2,190	179	1,717	1,896

2　献血者の推移　（単位：人）

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
献血者数	1,709	2,114	2,168	1,876	1,896

事 業 名		骨髄移植ドナー推進事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-24
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	420,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	420,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	140,000 円
事業の目的	白血病や再生不良性貧血などの病気は、骨髄移植や末梢血幹細胞移植が最も効果のある治療とされていることから、骨髄等の移植推進を図るとともに、その基盤ともなる骨髄バンクドナー登録の推進を図る。		事業の概要	骨髄等の移植推進を図るとともに、埼玉骨髄バンク推進連絡会と連携し、市内献血実施事業所等の協力を得ながら骨髄バンク登録の推進を図る。 また、骨髄移植ドナー協力者等へ助成（ドナー：1 日につき 20,000 円（ドナー休暇がある場合は 10,000 円）、7 日分まで。ドナーが勤務する事業所当：1 日につき 10,000 円）（事業所等にドナー休暇規定がある場合は支給しない）する。

事業の実績・成果

平成26年度から埼玉骨髄バンク推進連絡会の協力を得て、献血会場におけるドナー登録会を実施している。しかしながら、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、登録会を開催できる機会が減少したため、ドナー登録者数も減少した。

1　骨髄移植ドナー登録数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実施回数（回）	20	15	19	15	2
登録者数（人）	51	52	68	61	4

2　骨髄移植ドナー推進事業助成金事業　（単位：人）

	区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
提供者数	総数	2	1	1
	ドナー休暇あり	0	0	0
	ドナー休暇なし	2	1	1

事 業 名		健康づくり管理事業			
担 当 課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-25
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	3,844,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	3,876,737 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	2,934,068 円
事業の目的	健康づくりの推進に係る共通的な経費、備品等を適切に管理・執行する。 また、職員の能力向上を図る。		事業の概要	健康づくりの推進に係る共通的な物品、備品等の管理や事業日程を調整する。 また、計画的に研修等に参加し、職員の能力向上を図る。	

事業の実績・成果

1　専門的知識の維持・向上

職員の積極的な各種研修等への参加及び専門誌からの情報収集に努めることにより、専門的知識の維持や向上を図ることができた。

2　保健事業のお知らせ

乳幼児健康診査、予防接種、健康診査、がん検診、健康相談等を掲載した令和2年度の年間事業「保健事業のお知らせ」を作成し、各世帯に配布した。

3　保健事業に係る健診用品、自動車等の維持管理

乳幼児への訪問や処遇困難ケースに係る緊急訪問を円滑に遂行するため、各種用品、自動車等を維持管理した。

事 業 名		親と子の食育事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2212-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	79,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	79,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	36,138 円
事業の目的	食に対する意識を高め、正しい食習慣の形成確立を目指し、将来の生活習慣病予防や健康づくりを推進する。	事業の概要	講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝える。 また、各ライフステージにおける食事づくりのポイントや注意点、情報提供を行い、日常生活に反映できるよう支援する。	

事業の実績・成果

講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝え、各ライフステージにおける食事作りのポイントや注意点等の情報提供を行い、日常生活に反映できるよう支援した。

1　らくらく離乳食教室

生後5～8か月の子どもと保護者を対象に、口腔発達に合わせた離乳食のすすめ方及び食生活リズムについての講話・実演を通して、乳児の食に関する情報を伝えることができた。

なお、令和2年度から内容を見直し、離乳食初期～中期、離乳食中期～後期に分けて実施した。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
予定回数(回)	12	12	12	12	12
実施回数(回)	12	12	12	※9	※9
参加者数(人)	211	158	164	134	75

※実施回数の減少の理由

令和元年度：1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、2回は北川辺保健センター及び大利根保健センター会場にて申込者がいなかったため。

令和2年度：新型コロナウイルス感染症予防のため。

【令和2年度らくらく離乳食教室終了後アンケート】

項目	よく理解できた	概ね理解できた	あまり理解できない	全く理解できない	その他
回答割合（%）	94.1	5.9	0	0	0

2　学童のための栄養学習

わくわく食育クッキング（児童及び保護者を対象にした講話、調理実習、試食）の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止した。

事業名	食生活改善推進事業			（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2212-07
款	04	衛生費	当初予算額	962,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	962,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	157,500円
事業の目的	食育を通じて、心の豊かさや家族のつながりを促進するとともに、加須らしい食文化・食生活を次世代へ継承するため、市民の食生活の改善を図る。	事業の概要	食生活改善推進員による食生活改善推進活動を支援するとともに、生活習慣病予防等をテーマに食生活改善推進員が講師となりヘルシークッキングを開催する。 また、食生活改善推進員協議会との共催により、食生活改善推進員を養成するための講座や資質の向上を図るための定例リーダー研修会を開催する。		

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調理実習を伴う事業は中止となったが、食生活改善推進員と協議を重ね、リーダー研修会に代わる位置づけとして、管理栄養士が活動場所の各公民館へ出向き、高血圧予防や糖尿病予防に関する食生活や運動についての講話を行う出前講座を実施した。

また、三密対策を図りながら、会員同士で調理実習以外の運動などの自主活動に取り組むことができた。

1　ヘルシークッキング（市からの委託事業）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数（回）	30	30	30	30	中止
参加者延人数（人）	673	691	655	658	
うち初回参加人数(人)	202	231	145	148	

2　食生活改善推進員養成講座（市との共催事業）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施日数（日）	6	6	6	6	中止
参加者延人数（人）	51	26	56	44	
食生活改善推進員数（人）	195	188	185	190	

3　食生活改善推進員定例リーダー研修会（市からの補助事業）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数（回）	6	6	6	6	6
参加者延人数（人）	157	155	161	157	68

4　食生活改善推進員定例伝達活動（市からの補助事業）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数（回）	49	49	53	51	中止
参加者延人数（人）	657	691	710	700	

事 業 名	健康づくり地域交流事業			
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2214-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	1,759,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,759,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	942,510 円
事業の目的	地域特性に合わせた交流の場の提供や、愛育班だよりを発行し、市民の心と体の健康増進を図る。	事業の概要	遊びの広場（子どもを遊ばせながら、母親同士が集い合える場の提供）、三世代交流会等を開催する。また、愛育班だよりを発行する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、遊びの広場・三世代交流会を中止、愛育だよりの発行についても一部を除き中止とした。

1　遊びの広場：親子で遊べる場や友達づくりの場

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開催回数（回）	37	37	35	34	0
一般参加人（人）	905	961	1,004	1,025	0

2　三世代交流会：高齢者と親と子どもが一緒に遊び相互理解を深める場

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開催回数（回）	10	10	10	10	0
一般参加人（人）	1,295	1,301	1,300	1,289	0

3　愛育班だより：訪問により把握した健康問題をテーマに、各地区愛育班で発行

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
発行回数（回）	25	25	25	21	2
発行部数（部）	40,410	41,020	43,620	34,720	3,400

事業名	医療体制確保基金事業		
担当課	医療体制推進課	総合振興計画コード	2221-01
款 04	衛生費	当初予算額	2,964,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	38,644,000円
目 01	保健衛生総務費	決算額	37,461,072円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するため、これに要する経費の財源を基金に積み立てる。	事業の概要	基金を積み立て、済生会病院の誘致や、産婦人科・救急科の市内開設、看護師の人材確保等の支援に要する経費に充てる。

事業の実績・成果

医療体制確保基金

寄附金（ふるさとづくり寄附金）及び基金運用から生じた利益（利子）について、医療体制確保基金へ積み立てを行った。また、埼玉県済生会加須病院建設に係る周辺整備、建設工事等補助金の財源に充てるため、同基金の取り崩しを行った。

【年度末基金残高の推移】 （単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
積み立て額	3,003,040,000	515,898,492	761,393,183	549,272,000	36,700,000
（うち寄附金）	1,010,000	885,000	1,040,000	720,000	2,270,000
利子	1,293	497,877	701,341	653,284	761,072
取り崩し額	2,030,000	15,013,492	135,737,183	622,572,910	439,682,946
年度末残高	3,001,011,293	3,502,394,170	4,128,751,511	4,056,103,885	3,653,882,011

※ 令和2年度は、済生会病院誘致事業（南側擁壁設置工事、周辺道路整備工事、新病院建設工事等補助金等）に充当するため、439,682,946円を取り崩した。なお、取り崩し額（439,682,946円）には、繰越明許分（2,266,000円）を含む。

事 業 名		済生会病院誘致事業		
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード	2221-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	1,219,076,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,253,506,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	1,252,694,315 円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するために、済生会病院を誘致する。	事業の概要	埼玉県済生会加須病院の開設に向けて、済生会との連絡調整を行い、造成工事、周辺整備等を進めていく。	

事業の実績・成果

埼玉県済生会加須病院開設に向け、主に次の業務を実施した。

（1）済生会栗橋病院との協議

済生会新病院建設支援プロジェクト推進本部会議：計 7 回開催

済生会新病院の建設に係る連絡調整会議：計 7 回開催（平成 30 年 4 月 23 日設置）

（2）補助金の交付

加須市済生会新病院建設工事等補助金交付要綱（令和元年 9 月 18 日制定）に基づき、埼玉県済生会に令和 2 年度分の補助金を交付した。（補助額　1,086,740,000 円）

（3）新病院建設等支援に係る主な事業

事業内容	支出額
地目変更・合筆登記委託	594,000 円
地盤変動復旧積算委託	528,000 円
南側擁壁設置工事	83,050,000 円
土壌改良工事	34,100,000 円
周辺道路整備工事	44,220,000 円
地盤変動復旧補償費	684,946 円
計	163,176,946 円

（4）済生会栗橋病院への職員派遣（平成 30 年 1 月 1 日から）

（5）済生会による建設工事の開始及び開院日の決定

工　期：令和 2 年 5 月 19 日から令和 4 年 2 月 28 日

開院日：令和 4 年 6 月 1 日

(開院までのスケジュール)

事 業 名		済生会病院誘致事業【繰越明許】			
担 当 課		医療体制推進課		総合振興計画コード	2221-02
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	2,266,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	2,266,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	2,266,000 円
事業の目的	市民が安心できる医療体制を確保するために、済生会病院を誘致する。		事業の概要	埼玉県済生会加須病院の開設に向けて、済生会との連絡調整を行い、造成工事、周辺整備等を進めていく。	

事業の実績・成果

【繰越明許　令和元度から令和２年度へ繰越を行った理由】

委託料（繰越明許額　2,266,000 円）

地盤影響中間調査委託（2,266,000 円）

病院用地に隣接する家屋について、造成工事後の建物やブロック塀などの状況を平成 30 年 12 月に実施した事前調査と比較検証を行うものであるが、造成工事の完了が年度末であり、成果品等の取りまとめで年度を跨ぐことから繰越を行った。

事 業 名		地域医療ネットワーク（とねっと）事業		（総合戦略）
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード	2222-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	4,000,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	4,000,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	3,997,000 円

事業の目的	地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。	事業の概要	・医療機関及び参加者の増加を図るため、普及啓発を行う。 ・協議会事務局費を負担し、協議会の事務を支援する。

事業の実績・成果

「とねっと」を管理・運営する埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会の会長市として、協議会事務局と連携し、事業の諸課題の解決に向け、埼玉県や構成市町等との協議を進めた。

1　会議の開催状況

(1) 協議会総会　(2 回)
(2) 協議会作業部会全体会会議　(2 回)
(3) 協議会 IT ネットワーク担当部会システムワーキンググループ会議　(3 回)
(4) 利根地域医療連携連絡協議会（行政担当課長）会議　(3 回)

上記のうち、協議会総会（3 月）、作業部会（3 月）、行政担当課長会議（2 月）の 3 回については会議形式での開催とせず、書面表決とした。

2　令和２年度の主な取組

(1) 利根保健医療圏域外の住民及び医療機関も含めた参加促進
(2) システムの普及啓発
(3) 国のデータヘルス改革の進捗等の確認
(8 月 19 日 日本医師会総合政策研究機構の取材、1 月 12 日 厚生労働省の取材など)

3　「とねっと」の普及・啓発

協議会事務局と連携して、市民及び医療機関への普及・啓発に取り組み、14,824 人の市民、市内 51 の医療機関（歯科、調剤薬局含む）の参加を得ることができた（令和 3 年 3 月 31 日現在)。

［普及・啓発の主な取組］

新型コロナウイルス感染症の影響により、中核病院等での普及活動が実施できなかったことや、患者の受診抑制等があったなかで、広報紙、ホームページ上でのお知らせや、ポスターの掲示などを推進し、参加者の増加を図った。

【住民及び医療機関等の参加状況】

	市内	利根保健医療圏全体	圏域外
参加住民数（人）	14,824	34,596	38
参加施設数（施設）	51	155	4

（注）利根保健医療圏全体の参加施設数には、県立循環器・呼吸器病センター、県立がんセンター、県立小児医療センターを含む。

事業名	医療情報提供事業			
担当課	医療体制推進課		総合振興計画コード	2222-03
款	04	衛生費	当初予算額	24,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	24,000円
目	01	保健衛生総務費	決算額	9,813円
事業の目的	市民が安心して医療機関にかかれるよう、医療機関の情報を的確に提供する。	事業の概要	広報紙やホームページ、ガイドブック、チラシなど様々な媒体を活用し、市民に必要な医療情報を提供する。	

事業の実績・成果

様々な媒体で、市民に医療機関や医療相談窓口等に関する情報を分かりやすく提供し、市民がこれらの情報を収集、把握する際の一助とすることができた。

1　印刷媒体による情報提供

	掲載内容	提供方法等
加須市医療機関ガイドブック	市内医療機関の名称、連絡先、診療科目、診療時間、休診日、時間外診療や往診の有無など	庁舎及び公共施設に配備し、転入者や希望者に配付
休日・夜間救急診療カレンダー	市内救急病院の休日・夜間における救急診療体制や休日当番医など	毎月、「市報かぞ」に掲載
市内医療機関診療情報	夏季及び年末年始における市内医療機関の診療予定など	各総合支所等公共施設に配置
地域の医療機関情報	市内医療機関、歯科診療所、調剤薬局及び各種医療相談窓口など	「加須市子育てガイドブック」令和2年度改訂版に掲載

2　ホームページによる情報提供　（単位：件）

情報内容	市内医療機関診療情報				救急医療機関	小児救急・休日小児科診療	夜間休日救急診療
	病院	小児科	耳鼻科・眼科	内科・整外等			
閲覧件数	607	297	290	707	1,700	3,263	7,333

3　埼玉県の救急電話相談（#7119）

埼玉県の委託により埼玉県医師会が実施している救急医療情報相談、大人の救急電話相談、小児救急電話相談。（24時間受付　年中無休）

（単位：件）

救急医療情報	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民からの問合せ件数	1,457	989	916	965	741

（単位：件）

大人の救急相談	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民からの問合せ件数	232	394	588	600	516

事 業 名	小児科医による救急講座・子育て相談事業			（総合戦略）
担 当 課	医療体制推進課		総合振興計画コード	2222-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	155,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	155,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	6,630 円
事業の目的	子育て支援の一環として、子育て中の方が、将来にわたり安心して医療を受けられる小児医療体制を構築する。	事業の概要	小学生までの子どもを子育て中の保護者や養護教諭などを対象に、小児科専門医による講話や相談を行う講座を開催する。（年４回）	

事業の実績・成果

保護者が、子どもの急な病気やけがにも慌てずに対処できるように、加須、騎西、北川辺、大利根の各地域で１回ずつ、市内の小児科専門医による救急講座・子育て相談を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

１　参加者数　（単位：人）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
全域	373	333	261	304	―

講座実施時に配布予定だった「子どもの救急ミニガイドブック」を、乳幼児健康診査を行う際に配布するなど活用を図った。

事 業 名		初期・２次・３次救急医療支援事業		
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード	2223-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	51,097,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	51,097,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	51,039,400 円

事業の目的	医師不足などによる厳しい医療環境のなかで、地域の救急医療体制を確保し、医療に対する市民の安心感を高める。	事業の概要	関係機関と連携し、救急医療を必要とする市民が、安心して医療を受けられる救急医療体制を整備する。 ・在宅当番医制の運営 ・救急病院の当直医確保への支援 ・東部北地区病院群輪番制の運営支援 ・埼玉東部消防組合との連携 ・救急医療体制推進協議会等での協議 ・公的病院救急医療等運営費の補助

事業の実績・成果

厳しい救急医療環境の中で、休日・夜間における初期（軽症）救急患者及び第二次（重症）救急患者の受入態勢を維持することができた。

1　初期救急医療体制 … 救急医療支援事業、在宅当番医制

（1）救急医療支援事業

内容	土曜日・日曜日・祝日の夜間において、救急医療体制の確保に必要な調整及び医師雇い入れ賃金の一部を補助（補助金額：9,420 千円）
参加病院	市内 2 救急告示病院（中田病院、十善病院）
対象日数	中田病院：60 日、十善病院：59 日
対象日患者数	中田病院：161 人、十善病院：25 人

（2）在宅当番医制

内容	医療機関が当番制で休日診療を実施し、初期救急患者への診療を行う
委託先	北埼玉医師会（加須医師会：市内 2 救急告示病院（中田病院、十善病院） 羽生市医師会：医師会会員の 24 医療機関）
構成市及び負担金	加須市：2,725 千円、羽生市：1,319 千円　　合計 4,044 千円
実施日	加須医師会　：中田病院:35 日、十善病院:35 日　合計　70 日 羽生市医師会：24 医療機関　合計　74 日
実施日患者数	加須医師会　：1,499 人（中田病院:1,145 人、十善病院:354 人） 羽生市医師会：　798 人

2　第二次救急医療体制

（1）病院群輪番制

内容	東部北地区（6 市 2 町）の二次救急医療機関が連携して、輪番方式で休日・夜間等の重症患者の受入を実施
運営費補助金 （6 市 2 町合計）	成人 34,960 千円、小児 34,960 千円　（計）69,920 千円 ※小児 34,960 千円のうち 16,115 千円は県補助金
加須市負担金	成人 6,208 千円、小児 3,347 千円　（計）9,555 千円
実施日（回数） 及び患者数	成人：437/437（実施率 100.0%）　2,925 人 小児：437/437（実施率 100.0%）　1,522 人

（2）公的病院救急医療等運営費補助

救急医療等の不採算部門を担う公的病院に特別交付税を活用した財政支援を行った。

補助額…済生会栗橋病院：28,000 千円

事 業 名		休日小児科診療事業			（総合戦略）
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード		2223-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額		1,450,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額		1,450,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額		1,450,000 円
事業の目的	小児患者の重症化の予防と保護者の負担の軽減を図るとともに、軽症患者の集中により逼迫している小児第二次救急医療体制の緩和を図る。		事業の概要		市内の小児科専門医が当番制で診療にあたる休日小児科診療体制を整備する。 【実施期間】①4 月から 10 月の祝日 ②11 月から 3 月の日曜、祝日、年末年始 （元日を除く） 【診療時間】午前 9 時～正午

事業の実績・成果

多くの医療機関が休診となる 4 月から 10 月の祝日とインフルエンザやウイルス性胃腸炎などが流行する 11 月から翌年 3 月の日曜日・祝日・年末年始における小児科診療体制を整備し、多くの小児患者及び保護者の負担の軽減を図ることができた。

1　事業内容

(1) 実施日　令和 2 年 4 月～令和 2 年 10 月の祝日及び
令和 2 年 11 月～令和 3 年 3 月の日曜、祝日、年末年始（1 月 1 日を除く）全 41 日

(2) 診療時間　午前 9 時～正午

(3) 医療機関　中田病院（小児科）、加藤こどもクリニック、つのだ小児科医院、
ともながこどもクリニック、福島小児科医院による当番制

(4) 委託料　当番 1 回当たり 35,000 円、会議出席謝金 1 回当たり 3,000 円（合計 1,450,000 円）

2　患者の内訳（令和 2 年度）

3　患者数の推移

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
実 施 日（日）	39	39	41	43	41
患 者 数（人）	2,149	1,948	2,129	2,281	827
1 日当たり平均患者数(人)	55.1	49.9	51.9	53.0	20.2

事 業 名		特別休日歯科診療事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2223-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	175,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	175,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	175,000 円
事業の目的	急病患者の歯科医療を確保するため、多くの歯科診療所が休診日にあたるゴールデンウィーク、年末年始などに歯科診療体制を整える。	事業の概要	ゴールデンウィーク、年末年始に市内の歯科診療所が当番制で急患歯科診療を実施する。 診療時間：午前9時～正午	

事業の実績・成果

ゴールデンウィーク、年末年始などの特別休日に急病患者に対する歯科診療機会を提供することができた。

○受診者数　　単位：人）

	月　日	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ゴールデンウィーク	4月30日※				2	
	5月3日	7	0	2	9	0
	5月4日	2	2	1	5	9
	5月5日	1	5	3	0	2
シルバーウィーク	9月21日					
	9月22日					
	9月23日					
年末年始	12月31日	9	11	19	16	17
	1月1日	5	2	5	6	0
	1月2日	5	5	7	4	6
	1月3日	3	4	4	2	2
計		32	29	41	44	36

※ゴールデンウィークが10連休であったため、歯科医師会と協議し令和元年度は4月30日を実施した。

事 業 名		産婦人科・救急科開設支援事業			（総合戦略）
担 当 課		医療体制推進課		総合振興計画コード	2223-06
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	13,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	13,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	4,358 円
事業の目的	特に整備が必要な分娩を扱う産婦人科及び救急医療を担う救急科の市内開設を促進し、市民がより安心できる医療環境を整備する。		事業の概要	新たに分娩を扱う産婦人科又は救急医療を担う救急科を市内に開設しようとするものに対し、1,000 万円を上限に開設費用の 1/2 を市が補助することによって、市内開設の促進を図る。	

事業の実績・成果

産婦人科及び救急科の市内開設への支援制度である「加須市産婦人科・救急科開設支援事業補助金交付要綱」について、本事業の周知、活用に向け、市ホームページに掲載した。

また、埼玉県産婦人科医会に本制度を周知し、医会の協力のもと、理事会、会員、関係団体へ PR を行っていただいた。

事 業 名		看護師等育成確保支援事業			（総合戦略）
担 当 課		医療体制推進課		総合振興計画コード	2223-07
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	19,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	19,000 円
目	01	保健衛生総務費		決 算 額	5,858 円
事業の目的	長寿化の進行に伴い、今後ますます医療を必要とする人の増加が見込まれるなか、地域医療を担う人材を確保し、市民がより安心できる医療環境を整備する。		事業の概要	埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けて看護師等養成施設に就学していた学生で、卒業後、市内の医療機関等において正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き看護業務に従事しているものに対し、埼玉県に返還した奨学金の額の 1/2 を上限に市が助成する。	

事業の実績・成果

市内の医療機関等における看護師や准看護師を確保するための支援制度として、「加須市看護師等育成確保支援事業補助金交付要綱」を制定し、本事業の周知、活用に向け、市ホームページに掲載するとともに、県内の看護師等養成施設などに周知した。

1　事業概要

（1）　対象者

・埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けている方、またはこれから貸与を受ける方

・看護師等養成施設を卒業した日の翌日から 2 ヶ月以内に市内の医療機関で看護師の業務に従事し、正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き従事している方

（2）　補助金額

・上記対象者が埼玉県に返還した奨学金の額の 2 分の 1

2　本事業の周知施設

看護大学・短期大学	13 件
看護学校	39 件
准看護師学校	17 件
合　計	69 件

事 業 名		新型コロナウイルス感染症医療機関支援事業		
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード	2223-08
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	0 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	29,375,000 円
目	01	保健衛生総務費	決 算 額	29,355,000 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、通常の診療に加え、休日・夜間の救急医療等に協力いただいている医療機関や診療・検査医療機関等を支援する。	事業の概要	通常診療に加え、休日・夜間の救急医療等に協力いただいている医療機関と診療・検査医療機関や感染症病床において新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れている本地域の第二種感染症指定医療機関を支援する。	

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別紙P.41参照）。

事 業 名	予防接種事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-08
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	243,705,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	273,935,000 円
目	02	予防費	決 算 額	225,128,041 円
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、予防接種により対象疾病の罹患防止と免疫水準を維持することにより、流行を阻止する。	事業の概要	定期予防接種（ＢＣＧ、ポリオ、三種混合、四種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎、ロタウイルス（R2.10.1 開始））、成人男性の風しん抗体検査及び風しん予防接種費用を全額助成する。 インフルエンザ予防接種費用の一部助成を生後 6 か月から中学３年生に実施する。	

事業の実績・成果

小児予防接種の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

１　定期接種実績

（単位：人）

種　類	平成28年度 接種者数	平成29年度 接種者数	平成30年度 接種者数	令和元年度 接種者数	令和２年度	
					接種者数	対象者数
ＢＣＧ	737	668	684	623	641	636
三種混合	0	0	3	2	2	
不活性ポリオ	66	54	23	2	2	
四種混合	2,961	2,753	2,782	2,612	2,566	2,490
二種混合	776	763	712	681	820	950
麻しん風しん混合１期	722	747	701	662	656	663
麻しん風しん混合２期	901	827	761	750	794	830
麻しん	0	0	0	0	0	
風しん	1	0	0	0	0	
日本脳炎	3,623	3,413	4,285	3,645	3,800	4,245
ヒブ	2,975	2,810	2,684	2,471	2,489	2,490
小児用肺炎球菌	2,891	2,799	2,692	2,524	2,443	2,490
子宮頸がん	7	5	2	9	50	
水痘	1,324	1,416	1,396	1,374	1,349	1,326
Ｂ型肝炎	1,112	2,099	1,996	1,810	1,803	1,827
ロタウイルス					500	623

※「子宮頸がん」は平成 25 年６月から定期予防接種として継続するものの、接種を勧奨しないとされた。（厚生労働省通知）

２　定期外接種（市独自の予防接種）実績

（単位：人）

種　類	平成28年度 接種者数	平成29年度 接種者数	平成30年度 接種者数	令和元年度 接種者数	令和２年度	
					接種者数	対象者数
中学３年生インフルエンザ	561	558	629	573	518	997

※インフルエンザと新型コロナ感染症との同時感染によるリスクを軽減するため、インフルエンザ予防接種を 2,000 円助成のところを令和２年度に限り自己負担 1,000 円で実施した。

３　風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券送付

風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券送付

	令和２年度
対象者（男性のみ）	昭和41年４月２日～昭和47年４月１日
対象者数	4,736人

風しん抗体検査及び予防接種実績
（単位：件）

	令和２年度
抗体検査	989
予防接種	170

市が全額助成し、対象者の自己負担なし

※平成31年４月１日から開始
本事業は、法令により令和４年３月31日まで時限的に実施することとされている。
対象者は、昭和37年４月２日から昭和54年４月１日までの間に生まれた男性である。
国から示されたとおり、下表のようにクーポン券を３年に分けて発送する。

対象者（男性のみ）	クーポン券発送年度
昭和47年４月２日～昭和54年４月１日　①	令和元年度
昭和41年４月２日～昭和47年４月１日　②	令和２年度
昭和37年４月２日～昭和41年４月１日　③	令和３年度

（参考）平成31年２月28日　13,498人（①＋②＋③）

４　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.42参照）。

事業名	避難者支援予防接種事業			
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	1115-12
款	04	衛生費	当初予算額	1,974,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	2,420,000円
目	02	予防費	決算額	1,213,332円
事業の目的	原発避難者特例法に基づき東日本大震災により被災した者に対し、予防接種の支援を行う。		事業の概要	定期予防接種（ＢＣＧ、ポリオ、三種混合、四種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎、ロタウイルス（R2.10.1開始））を全額助成、高齢者インフルエンザを10～12月は全額、1月は4,085円、高齢者肺炎球菌を5,382円助成する。インフルエンザ予防接種費用の一部助成を生後6か月から中学3年生に実施する。

事業の実績・成果

東日本大震災により被災し、市内に避難している方に対する予防接種の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

1　定期予防接種等接種実績

（単位：人）

		接種者数	市町村別内訳								
			双葉町	大熊町	浪江町	飯舘村	川内村	いわき市	南相馬市	富岡町	楢葉町
小児用	BCG	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	二種混合	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	四種混合	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0
	麻しん風しん混合	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	19	15	3	0	0	0	0	1	0	0
	ヒブ	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	小児用肺炎球菌	5	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	水痘	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0
	Ｂ型肝炎	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	ロタウイルス	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学3年生インフルエンザ	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	小　計	55	44	10	0	0	0	0	1	0	0
高齢者用	高齢者インフルエンザ	99	91	0	5	2	0	0	1	0	0
	高齢者肺炎球菌	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0
	小　計	112	104	0	5	2	0	0	1	0	0
合　計		167	148	10	5	2	0	0	2	0	0

※インフルエンザと新型コロナ感染症との同時感染によるリスクを軽減するため、中学3年生インフルエンザ予防接種を2,000円助成のところを令和2年度に限り自己負担1,000円で実施した。

2　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.42参照）。

事 業 名	高齢者予防接種事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2111-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	71,930,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	129,252,000 円
目	02	予防費	決 算 額	122,337,195 円
事業の目的	健康寿命を延ばすため、対象疾患の罹患・流行を防止する。		事業の概要	高齢者インフルエンザは、接種当日 65 歳以上の高齢者等が、市内及び県内の委託医療機関で実施した接種費用の一部を助成する。（自己負担額 10 月～12 月 0 円、1 月 1,000 円） 高齢者肺炎球菌は、加須市内、古河市内の委託医療機関の場合、国が示す定期接種対象者に加須市独自対象者を加え、年度末年齢 65 歳以上で接種歴のない全員を対象に接種費用の一部を助成する。（自己負担額 3,000 円）

事業の実績・成果

1　高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種

高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部を助成することにより、高齢者の疾病予防に努めることができた。

（単位：人）

種　類	平成 28 年度 接種者数	平成 29 年度 接種者数	平成 30 年度 接種者数	令和元年度 接種者数	令和 2 年度	
					接種者数	対象者数
高齢者インフルエンザ	14,387	13,855	14,087	16,017	21,944	33,463
高齢者肺炎球菌	1,524	1,253	1,342	1,733	1,881	23,551

令和 2 年度接種率：高齢者インフルエンザ 65.6%（全体）、高齢者肺炎球菌 47.9%（65 歳）

2　新型コロナウイルス感染症に係る対応

高齢者インフルエンザ【Ⅰ．感染予防】を実施した。（別冊 P.43 参照）

事 業 名	いきいき長寿保健事業		
担 当 課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2111-25
款 04	衛生費	当 初 予 算 額	2,523,000 円
項 01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,523,000 円
目 02	予防費	決 算 額	1,222,102 円
事業の目的	高齢者一人一人に対して、身体的、精神的及び社会的な特性（フレイル等）を踏まえ、効果的かつ効率的できめ細やかな保健事業と介護予防を一体的に実施する。	事業の概要	医療・介護のデータの分析をもとにした個別的支援と、ふれあいサロン等の通いの場活用したフレイル予防の健康教室を行う。

事業の実績・成果

令和２年度から新規事業として、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に行い、疾病の予防や、生活習慣病の重症化予防、フレイル予防を推進するための取り組みを開始した。

感染症予防対策を講じて、個別支援（ハイリスク支援）として、75 歳以上の低栄養や医療機関受診勧奨者を対象に、医療専門職（保健師、管理栄養士）が訪問や電話による保健指導を行うことができた。また、集団支援（ポピュレーション支援）として、ふれあいサロンへ出向き、フレイル予防の普及啓発を計画していたが、新型コロナ感染拡大防止によりサロンが自粛となり中止した。

また、国保データベース（ＫＤＢ）システムの健診、医療、介護情報から、健康課題の分析を行い、加須市の健康課題を作成した。

１　個別支援（ハイリスク支援）

（１）受診勧奨　（単位：人）

		令和２年度
対象者		28
保健指導者数	訪問	0
	電話	20
	その他	0
	合計	20

（２）低栄養　（単位：人）

		令和２年度
対象者		79
保健指導者数	訪問	23
	電話	10
	その他	10
	合計	43

その他は、介護予防パンフレット郵送、来所面接

２　集団支援（ポピュレーション支援）

（単位：人）

	令和２年度
開催回数	中止

事 業 名		がん検診事業			（総合戦略）
担 当 課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-14
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	147,714,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	147,714,000 円
目	02	予防費		決 算 額	114,585,808 円
事業の目的	市民の病気を予防するため、各種がん検診等を実施し、がんの早期発見、早期治療を促す。		事業の概要	各種がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）、胃がんリスク検診、B型及びC型肝炎ウイルス検診を実施する。 また、生活保護受給者への健康診査を実施する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染防止として集団検診の回数を7回増やし、1回あたりの定員を減らし実施した。(実施回数37回→44回)。乳がん検診以外の個別検診は、加須医師会と調整を行い、実施期間を令和3年2月末まで延長し、検診の機会を設けることができた。集団検診の定員総数は、前年度より少なくなったこともあり、肺がん、胃がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん検診において、前年度より受診率が低下した。

集団会場において、啓発ＤＶＤや、チラシ、ポスターを掲示し、受診者に「がん」の早期発見・早期治療を促すことができた。

１ 実施内容

検診名	集団	個別	検診内容
胃がん検診	○	○	胃部エックス線検査 胃内視鏡検査（胃部エックス線検査の不適応者）
肺がん検診	○	○	胸部エックス線検査、喀痰検査（ハイリスク者）
大腸がん検診	○	○	便潜血検査
子宮頸がん検診	○	○	子宮頸部細胞診、ＨＰＶ検査
乳がん検診	○	○	乳房エックス線検査
前立腺がん検診	○	○	ＰＳＡ検査
胃がんリスク検診	－	○	ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG 検査、血清ペプシノゲン検査
健康診査 (生活保護等)	－	○	身体計測、血圧、血液検査(脂質、血糖、貧血、肝機能等)、尿検査 ＊医師の判断により心電図

２ 実績

(1) がん検診

ア 胃がん検診（内視鏡検査）

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
対象者数（人）		32,110	34,777	35,145	35,537	35,820
バリウム検査	受診者数(人)	3,358	3,304	3,177	3,296	1,693
内視鏡検査	受診者数(人)	294	364	406	419	471
バリウム+内視鏡	受診者数(人)	3,652	3,668	3,583	3,715	2,164
	受診率（%）	15.9	14.1	13.8	13.8	12.0
バリウム検査	要精密検査者数（人）	173	91	169	242	156
	胃がん発見者数（人）	2	2	3	3	1
内視鏡検査	要精密検査者数（人）	32	47	37	40	82
	胃がん発見者数（人）	2	3	0	0	2

※平成24 年9 月1 日から胃内視鏡検査を実施している。

イ 肺がん検診

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対象者数（人）	32,110	34,777	35,145	35,537	35,820
受診者数（人）	5,690	5,954	6,378	6,714	4,878
受診率（%）	17.7	17.1	18.1	18.9	13.6
要精密検査者数（人）	108	153	176	284	235
肺がん発見者数（人）	2	4	4	8	3

ウ 大腸がん検診

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対象者数（人）	32,110	34,777	35,145	35,537	35,820
受診者数（人）	7,785	7,891	8,616	8,883	7,728
受診率（%）	24.2	22.7	24.5	25.0	21.6
要精密検査者数（人）	566	511	563	585	553
大腸がん発見者数（人）	21	14	21	26	20

エ 子宮頸がん検診（妊婦健診を除く。）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対象者数（人）	25,123	24,505	24,464	24,407	24,401
受診者数（人）	4,774	4,678	4,884	4,884	4,137
受診率（%）	27.7	27.4	27.6	28.1	26.3
要精密検査者数（人）	72	63	50	49	54
子宮頸がん発見者数（人）	3	2	1	1	2

オ 乳がん検診

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対象者数（人）	19,813	20,949	21,120	21,294	21,455
受診者数（人）	2,448	2,469	2,578	2,625	2,007
受診率（%）	25.2	23.0	23.5	24.1	21.2
要精密検査者数（人）	136	155	195	179	134
乳がん発見者数（人）	16	12	9	10	9

カ 前立腺がん検診

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対象者数（人）	11,551	12,401	12,591	12,825	13,134
受診者数（人）	2,212	2,257	2,557	2,737	2,386
受診率（%）	19.1	18.2	20.3	21.3	18.2
要精密検査者数（人）	182	149	209	158	131
前立腺がん発見者数（人）	14	10	12	10	8

キ 胃がんリスク検診

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
対象者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者
受診者数（人）	49	87	97	75	79

※ 「対象者数(人)」の数値は、県報告値（「人口」－「就業者数」＋「農林水産業従事者数」）とする。

※ 胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診における「受診率（%）」の数値は、県報告値（（「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2 年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100）とする。なお、胃がん検診は、指針の変更に伴い、平成28年度実施分から受診率の算出方法を変更する。

※ がん発見者数は、精密検査実施医療機関から年度を越えて結果が報告されるため、人数は増加する場合がある。

(2) 健康診査(生保健診等)　(単位：人)

	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元年度	令和2年度
対象者数	796	798	763	780	767
受診者数	68	76	70	67	79

事業名		生活習慣病予防事業			(総合戦略)
担当課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-16
款	04	衛生費		当初予算額	2,311,000円
項	01	保健衛生費		最終予算額	2,311,000円
目	02	予防費		決算額	1,223,433円
事業の目的	市民の病気を予防するため、生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及し、市民が「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高める。		事業の概要	生活習慣病予防講座の開催、健康手帳の交付、かぞ健康マイレージの実施等を通じ、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及する。	

事業の実績・成果

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、医師・歯科医師出前講座、栄養講座、健康まつり（全地域中止)、運動体験講座（6回中3回）を中止した。実施できた事業については、定員を減らし、三密対策を講じて実施し、運動や、生活習慣病、骨粗鬆症などについて普及啓発を行い、生活習慣病の予防を図ることができた。

1　健康手帳の交付　(単位：冊)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
交付数	4,738	4,932	5,577	5,097	4,215

2　生活習慣病予防講座（健康教育）の開催

(1) 令和2年度実施内容及び実績

実施内容	実施回数（回）	参加延人数（人）
歯周疾患予防	7	28
骨粗しょう症・転倒予防	12	1,027
病態別（医師出前講座、栄養講座）	中止	
一般（生活習慣病、運動、栄養等）	68	4,403
計	87	5,458

(2) 年度別実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数（回）	161	158	183	176	87
参加延人数（人）	7,899	7,655	10,627	10,548	5,458

3　かぞ健康マイレージの実施　(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
応募者数	471	484	575	613	482

4　健康まつりの開催

(1) 実施内容

アルコールパッチテスト、健康相談、足裏健康測定、脳年齢測定、血管年齢測定等

(2) 年度別実績　(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成元年度	令和2年度
参加人数	8,267	6,134	6,295	7,721	中止

事業名	健康相談事業			（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-17
款	04	衛生費	当初予算額	336,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	336,000円
目	02	予防費	決算額	222,047円
事業の目的	市民の病気を予防するため、健康相談を実施し、健康の保持増進及び生活習慣病予防に努める。	事業の概要	高血圧、脂質異常症、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症、女性の健康、病態別（肥満、心臓病など）から重点課題を選定し、重点健康相談を実施する。また、健康全般、栄養、歯科など総合健康相談を実施する。	

事業の実績・成果

健康相談のアンケート結果から、自分や家族の体の状態や生活習慣の改善点、健診を受ける必要性について「分かった」「やや分かった」と答えた方が 100%であったため、相談者に健診受診の必要性や生活習慣の改善点を指導することができた。

また、総合健康相談では、新型コロナウイルスに関する相談が多くあり、前年度よりも相談件数の増加につながった。

1　重点健康相談（歯周疾患、骨粗しょう症、高血圧、糖尿病、脂質異常症）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数(回)	15	16	20	19	22
相談件数(件)	413	447	535	534	531

※令和2年度内訳531件（歯周疾患13件、骨粗しょう症446件、高血圧20件、糖尿病52件）

※脂質異常症の健康相談は、緊急事態宣言期間中に開催予定のため中止した。

2　総合健康相談

(1) 保健相談

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数(回)	156	89	65	154	371
相談件数(件)	924	514	420	473	393

【種類別実施内訳】

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)
保健センター健康相談	23	50	27	64	14	45	13	78	13	35
おはよう健康相談	38	301	―	―	―	―	―	―	―	―
医療診断センター健康相談	12	100	12	80	12	70	12	47	―	―
まちかど健康相談	3	23	―	―	―	―	―	―	―	―
他課依頼健康相談	36	216	12	147	―	―	―	―	―	―
出前健康相談	1	7	1	10	1	9	1	9	0	0
健康まつり健康相談※	4	188	4	180	4	262	4	215	中止	
新型コロナウイルス相談	―	―	―	―	―	―	105	105	337	337
その他（電話・来所）	39	39	33	33	34	34	19	19	21	21
合計	156	924	89	514	65	420	154	473	371	393

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により健康まつりが中止のため、実施なし。

(2) 栄養・歯科相談

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
栄養	実施回数(回)	35	39	19	19	19
	相談件数(件)	82	50	42	71	42
歯科	実施回数(回)	4	1	1	2	2
	相談件数(件)	8	1	1	2	2

事業名	肝炎検診事業		
担当課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-19
款 04	衛生費	当初予算額	909,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	909,000円
目 02	予防費	決算額	606,816円
事業の目的	市民の病気を予防するため、肝炎検診を実施し、肝炎に関する健康被害の回避、症状の軽減、進行の遅延に努める。	事業の概要	当該年度中に40歳を迎える方、または当該年度において満41歳以上となる方であって、過去に当該肝炎健診に相当する検診を受けたことがない方を対象に委託医療機関で肝炎ウィルス検査を実施する。

事業の実績・成果

特定健康診査との同時実施や、けんしんパスポートによる個別通知、チラシの配布を行い、検診（肝炎ウイルス検査）の周知を行うことができた。

（単位：人）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受診者数	165	158	178	149	151
要精密検査者数	1	0	1	2	3

事業名	骨粗しょう症予防事業		（総合戦略）
担当課	健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-20
款 04	衛生費	当初予算額	3,026,000円
項 01	保健衛生費	最終予算額	2,607,456円
目 02	予防費	決算額	2,237,226円
事業の目的	市民の病気を予防するため、寝たきりの主な原因となる骨折を予防するため、骨密度測定を実施し、早期から骨量減少への対策を行う。	事業の概要	骨密度測定を各保健センターを会場に実施する。また、測定後は結果説明をし、要指導域の方及び希望者に対して保健師・管理栄養士による個別相談を実施する。

事業の実績・成果

自身の骨密度を知ることにより、骨粗しょう症の予防に対する意識を高めることができた。

参加機会を増やすために、令和2年度から回数を3回増やし12回に拡充し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回あたりの定員数を減らし、三密対策を講じて実施した。

また、節目年齢（40、45、50、55、60、65、70歳）の女性に、はがきによる受診案内を行い、受診勧奨を行うことができた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施回数(回)	9	9	9	9	12
受診者数(人)	1,036	1,002	1,040	1,091	1,027

事業名	新型インフルエンザ等予防対策事業			
担当課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-22
款	04	衛生費	当初予算額	382,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	5,122,750円
目	02	予防費	決算額	5,077,825円
事業の目的	市民の病気を予防するため、新型インフルエンザなどの感染拡大を可能な限り抑制し、健康被害を最小限にとどめる。	事業の概要	広報紙、ホームページ、子育てホッとメール等で新型インフルエンザ等の感染症の正しい知識や予防法を周知する。 また、地域防災計画（新型インフルエンザ等対策編）に基づき、マスク、消毒薬などを計画的に備蓄する。 感染者の周りを迅速に検査することで、クラスターの発生を最小限にする。	

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症対策

令和２年１月15日に国内で初の感染者が確認され、その後、全国的な流行に発展した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策として、主に次の内容に取り組んだ。

（１）実施体制

新型コロナウイルス感染症対策本部会議

（令和２年４月２日から令和３年３月29日まで計64回）

新型コロナウイルスワクチン接種対策本部会議

（令和３年２月19日から令和３年３月31日まで計９回）

（２）市民への情報提供

ホームページにおける注意喚起と情報提供（令和２年１月24日から随時）

（３）市が主催するイベント、集会等

原則として延期とし、延期できないものにあっては中止（２月22日から）

（４）小中学校、幼稚園

緊急事態宣言発出に伴い、臨時休業（令和２年３月２日から５月31日）

（５）保育所（園）

小中学校の臨時休業期間は、規模、対象を縮小して開所

（６）放課後児童健全育成事業（学童保育）

小中学校の臨時休業期間は、規模、対象を縮小して開室

（７）公共施設

・老人福祉センター臨時休業（令和２年２月27日から５月31日）

・消毒液の設置

（８）市備蓄品の購入

①マスクを購入　80,600枚

②フェイスシールドを購入　５箱

②消毒液（エタノール）を購入　　1,368L

③消毒液（次亜塩素酸ナトリウム）を購入　25L

（９）医療機関への支援

・市内医療機関９箇所に、感染防護具（グローブ、マスク、防護服等）の支給

・市独自PCR検査等を実施している西山救急クリニックの駐車場に患者用の仮設トイレを設置

2　新型インフルエンザ等の感染症発生に備え物品整理を行い、品質管理を維持、充足を図った。

3　組織再編により加須市地域防災計画第５編新型インフルエンザ等対策編（新型インフルエンザ等対策行動計画）を見直し、業務継続計画（ＢＣＰ）を策定した。

４　毎週発表される感染症サーベイランスを確認し、保健所管内の流行状況に応じて、ホームページ、かぞホッとメールで情報発信し、予防啓発に努めた。

令和２年１月頃から新型コロナウイルス感染症が流行したことから感染拡大を防ぐため、マスクや消毒の使用量が増え、令和２年３月から備蓄を使用している。また、感染拡大を防ぐため、ホームページや防災行政無線等でも感染予防を呼びかけた。

５　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.43参照）。

事業名		新型コロナウイルス感染症予防対策事業		
担当課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-34
款	04	衛生費	当初予算額	0円
項	01	保健衛生費	最終予算額	15,625,000円
目	02	予防費	決算額	2,250,417円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の拡大を可能な限り抑制することで、市民の生命を守り、健康被害を最小限にとどめる。		事業の概要	新型コロナウイルス感染症について集団感染のおそれのある場合、保健所が行うＰＣＲ検査の対象とならない人を対象に、市独自でＰＣＲ検査を実施（25,000円/人）。 ＰＣＲ検査に付帯するＣＴ検査等費用を助成（上限5,000円/人）。 また、消毒液、マスク等の備蓄等を行うとともに予防方法の普及啓発を実施する。

事業の実績・成果

１　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.45参照）。

【繰越明許　令和２年度から令和３年度へ繰越す理由】
（繰越明許額　4,975,000円）
ＰＣＲ検査費（16歳～64歳）
第12号補正において補正予算を計上し、年度を跨いで継続的に事業を実施するため。

事 業 名		新型コロナウイルスワクチン接種事業		
担 当 課		健康づくり推進課	総合振興計画コード	2211-35
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	0 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	783,230,576 円
目	02	予防費	決 算 額	4,240,501 円
事業の目的	新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、重症者等の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る。	事業の概要	個別接種と集団接種の併用により、円滑な新型コロナウイルスワクチン接種を実施する。	

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.46参照）。

【繰越明許　令和2年度から令和3年度へ繰越す理由】

（繰越明許額　778,989,275円）

新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用

第10号補正、第12号補正及び第13号補正において補正予算を計上し、年度を跨いで継続的に事業を実施するため。

事 業 名	こころの健康づくり事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2214-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	987,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,106,000 円
目	02	予防費	決 算 額	906,623 円
事業の目的	市民が心身ともにより健康的な生活を送ることができるよう、心の健康づくりを推進し、精神疾患や自殺の予防を図る。	事業の概要	精神科医師、臨床心理士へ相談する機会を提供する。 また、自殺予防に関する啓発を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携し訪問指導を実施する。	

事業の実績・成果

面接・電話・訪問による相談のほか、保健センターや市民プラザ等における精神科医や臨床心理士等による相談を実施した。また、ホームページだけでなく、メンタルチェックシステム「こころの体温計」を手軽に利用できるよう個人用携帯端末にダウンロードできる仕様とし、こころの健康づくりへの普及啓発に努め、相談者のこころの健康づくりに役立てた。

1　精神保健相談　（単位：件）

相談手段	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
電　話	217	145	61	50	65
面　接	132	163	32	25	20
訪　問	5	26	8	4	7

2　こころの健康相談【Ⅱ．生活支援】の実施を含む（別冊 P. 44 参照）。

ア　精神科医による相談

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
回数（回）	12	12	12	12	12
延べ人数（人）	9	14	9	6	7

イ　臨床心理士による相談

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
回数（回）	25	25	25	19	30
延べ人数（人）	26	28	26	25	45

※令和 2 年度の実施回数については、合同相談振替分及び補正予算分の増加を含む。

3　合同相談

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
回数（回）	12	12	12	12	8
延べ人数（人）	18	16	11	11	6

※新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言のため、令和 2 年 5 月、6 月、12 月（半日）、令和 3 年 2 月、3 月は中止となり、「こころの健康相談」へ振替を行った。

4　メンタルチェックシステム「こころの体温計」　（単位：件）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
ホームページアクセス件数	18,527	21,237	20,455
アプリ開設　ダウンロード数	6,576	9,412	12,825

5　自殺予防週間及び月間についての周知

・市報かぞ令和 2 年 9 月・3 月号

・ホームページへの掲載

・図書館資料等を活用した行政情報 PR 活動 3 月

事 業 名	成人歯科保健推進事業			（総合戦略）
担 当 課	健康づくり推進課		総合振興計画コード	2215-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	2,154,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	2,572,544 円
目	02	予防費	決 算 額	2,572,544 円
事業の目的	高齢期における健康を維持し、食べる楽しさを享受できるように、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康の保持増進を図る。 また、8020 運動の普及啓発を推進する。	事業の概要	・成人歯科検診（20 歳以上の方及び妊婦を対象）を歯科医院へ委託 ・8020 お達者歯科健診（65 歳以上を対象に公民館等で健診を実施し、80 歳以上で 20 本以上自分自身の歯がある方を地区敬老会で表彰） ・歯科保健推進協議会を開催し、意見等を事業に反映させる。	

事業の実績・成果

成人歯科検診の実施により、口腔内の状態を把握し、歯周疾患等の早期発見・予防を図ることにつながった。また、8020 お達者歯科健康診査の実施により、8020 運動の普及啓発を推進できた。

1　成人歯科検診（歯周病検診）

対象：20 歳以上の市民

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
検診人数（人）	223	267	310	408	430
平均むし歯歯数（本）	11.2	12.1	10.9	12.3	11.4
平均現存歯数（本）	26.9	27.0	27.1	26.8	26.6

2　8020 お達者歯科健康診査

対象：65 歳以上の市民

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
実施回数（回）	8	8	8	8	8
参加人数（人）	68	55	30	37	29
表彰人数（人）	59	50	18	25	22

事業名	動物適正飼養事業			
担当課	環境政策課		総合振興計画コード	4343-03
款	04	衛生費	当初予算額	777,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	777,000円
目	02	予防費	決算額	646,987円
事業の目的	狂犬病予防対策を推進するとともに、ペットの適正な飼育等の普及啓発を行い、快適な地域生活環境の保全を図る。	事業の概要	犬の登録及び狂犬病予防注射の実施や狂犬病予防に向けた普及・啓発を行う。さらに、ペットの適正飼養についての広報活動及び指導を実施する。	

事業の実績・成果

1　狂犬病予防集合注射

※集合狂犬病予防注射（令和2年度4月）を予定していたが、新型コロナウィルス感染拡大防止のため中止。

このことより以下を対象とした勧奨通知を送付。

(1) 発送日　令和2年9月24日
(2) 対象　令和2年度未接種犬の飼い主（8月末において年齢が1才から15才犬の飼い主）
(3) 対象人数　1,306人

2　狂犬病予防注射勧奨通知の送付

(1) 発送日　令和3年1月20日
(2) 対象　狂犬病予防注射を5年以上未接種の5才から12才犬の飼い主
(3) 対象人数　256人

【犬の登録頭数の推移】　（単位：頭）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
新規登録数	483	430	431	448	454
登録頭数	7,981	7,784	7,653	7,606	7,444

【年度別狂犬病予防注射済頭数・接種率の推移】　（単位：頭・%）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
登録頭数	7,981	7,784	7,653	7,606	7,444
注射済頭数	6,195	5,924	5,593	5,519	4,766
接種率	77.6	76.1	73.1	72.6	64.0

3　適正飼育についてチラシ・広報紙による啓発

・犬猫の糞尿迷惑看板の配布　令和2年度配布実績　83枚

事 業 名		環境美化推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4121-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	585,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	585,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	359,636 円
事業の目的	環境美化の推進を図るため、市と市民等の協働により、公共施設における地域の植栽・清掃等の環境美化活動を促進する。		事業の概要	花の植付や清掃活動などの環境美化活動に必要な物品、用具等の支給やボランティア活動保険への加入、活動団体の名称を表示したサインボードの設置などを行う。

事業の実績・成果

ボランティア団体や企業等との協働により、市が管理している道路や公園等の清掃や、花壇の植栽等の美化活動を行った。

1　支援内容

(1) 美化活動を行うために必要な物品、用具等の支給又は貸与
(2) 緑化に必要な花の種・苗の支給
(3) 収集又は搬出が困難なごみの回収
(4) 活動団体の名称を表示したサインボードの設置
(5) ボランティア活動保険への加入

2　支給内容

・軍手、鎌、ほうき等の清掃用具
・パンジー、ビオラ、マリーゴールド等の苗
・ボランティア活動保険への加入

3　ボランティア団体数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
団体数（団体）	35	35	40	37	38
人数（人）	657	604	688	665	666

4　美化活動の現状と効果

清掃活動地域は、26 か所で実施され、継続的に清掃活動が行われた。また、12 か所の植栽活動地域では、主に春季と秋季の年 2 回、花苗等の植栽が行われた。

令和 2 年度は、1 団体が新規登録となり、新たな活動地域を得ることができ、快適で美しい環境づくりを継続的に推進することができた。

事 業 名		地域衛生協働事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4122-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	1,759,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	1,759,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	963,306 円
事業の目的	地域の公衆衛生の維持・向上を図るため、地域住民との協働による地域の衛生活動を推進する。		事業の概要	自治協力団体が地域の公衆衛生の向上等の為に行う害虫駆除で使用する防疫薬剤を配布する。また、薬剤散布に使用する機材の購入費補助を行う。

事業の実績・成果

1　自治協力団体（市全域）への防疫薬剤の配布

自治協力団体（市全域）に対し、次表のとおり市が防疫薬剤を配布した。各地区において消毒機による衛生害虫の防疫活動が行われ、地域衛生の向上が図られた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
団体数(団体)	29	26	20	20	20
回 数 （ 回 ）	115	104	100	112	105

2　環境衛生功労者感謝状の贈呈

長年にわたり地域の清掃、ごみ等の分別指導や草刈り等の環境衛生活動を率先して実施し、地域の環境美化に尽力した方に感謝状を贈呈した。

・ 対　象　　環境衛生功労者　37 名・3 団体

3　明るい社会づくりの会への活動事業費補助　　140,000 円

明るく住みよい社会づくりを図るため、加須市明るい社会づくりの会に補助金を交付し、次の事業が実施された。

・会報配布、東日本大震災被災地ボランティア(宮城県石巻市)など

事 業 名		清掃活動促進事業			
担 当 課		資源リサイクル課		総合振興計画コード	4123-03
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	16,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	16,000 円
目	03	環境衛生費		決 算 額	0 円
事業の目的	市民や事業者と市の協働による清潔な地域環境の実現を図るため、市民や事業者の生活環境の保全及び環境美化意識の向上に努める。		事業の概要	・加須市コミュニティ協議会等の市民団体と協働により、まちの一斉清掃を実施する。	

事業の実績・成果

コミュニティ協議会等の市民団体との協働により、市内の一斉清掃を実施し、環境美化の促進と環境保全の意識高揚を図った。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一斉清掃は計画した 11 回のうち 10 回を中止するとともに、渡良瀬遊水地クリーン作戦も中止した。その結果、予算措置した渡良瀬遊水地クリーン作戦の傷害保険料及び清掃活動に伴う消耗品の支出がなかった。

1　年間清掃活動の実績

実施日	地域	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）
5 月 24 日（日）	北川辺	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
6 月 21 日（日）	加　須		
7 月 26 日（日）	大利根		
8 月 30 日（日）	騎　西		
11 月 15 日（日）	加　須		
	北川辺	1,549	1,420
12 月 20 日（日）	大利根	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	
3 月 7 日（日）	騎　西		
	北川辺		
3 月 14 日（日）	大利根		
3 月 21 日（日）	加　須		
合　計		1,549	1,420

2　渡良瀬遊水地クリーン作戦

実施日	参加団体数	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）
4 月 11 日（土）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		

事 業 名		「浮野の里」自然環境保全事業		（総合戦略）
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4211-06
款	04	衛生費	当　初　予　算　額	3,736,000 円
項	01	保健衛生費	最　終　予　算　額	3,736,000 円
目	03	環境衛生費	決　　算　　額	3,441,522 円
事業の目的	自然環境との共生を推進するため、県の緑のトラスト保全地であり、優れた自然と歴史的景観が残る「浮野の里」を保全し、活用を図る。		事業の概要	「浮野の里」公有地の管理委託や「さいたま緑のトラスト協会」ボランティアと連携した保全活動・保全管理を行うとともに、「浮野の里」自然観察会を開催し環境学習の場としても活用する。 また、県絶滅危惧種に指定されるトキソウの保護と増殖を図る。 （浮野の里面積：約 125 万㎡、うち令和 2 年度末時点の公有地面積：89,910 ㎡）

事業の実績・成果

1　「浮野の里」公有地管理業務委託

展望台・四阿等の清掃、クヌギ並木遊歩道の除草、並木への殺虫剤散布を行うほか、あやめ祭りの主会場となる花菖蒲園内の除草や「ちりじ野」のヨシ刈り払いなど通年の維持管理を行った。業務は、地元の市民活動団体であり、浮野の里を熟知している「浮野の里・葦の会」に委託し、「浮野の里」の環境を保全するとともに、地域の活性化に寄与した。

2　浮野の里トイレ清掃委託

清掃業務（週 2 回）を加須市シルバー人材センターに委託し、来訪者への衛生面の向上を図った。

3　さいたま緑のトラスト協会ボランティアスタッフの保全活動への参加

15 人がボランティアスタッフとして登録し、浮野の里・葦の会の活動にあわせて定期的（毎月 2 回）な保全活動を行い、浮野の里の自然環境保全に貢献した。

4　浮野の里あやめ祭り

毎年 6 月に浮野の里・葦の会主催により開催される「浮野の里・あやめ祭り」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

5　浮野の里ヨシ焼き

浮野の里の貴重な湿地環境の保全や害虫駆除のため、ヨシ焼きを実施した。

・日　時　令和 3 年 1 月 11 日（月・祝）午前 8 時 45 分ごろから
・場　所　浮野の里（加須市多門寺・北篠崎の一部 東北縦貫自動車道・加須ＩＣ北方）
・実施主体　浮野の里・葦の会

事 業 名	オニバス保護活用事業			（総合戦略）
担 当 課	地域振興課（北川辺）		総合振興計画コード	4211-07
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	459,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	459,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	395,889 円
事業の目的	豊かな自然環境を保全するために、絶滅危惧種であるオニバス及び同所に自生する水生植物の保護育成を通じ、地域の活性化を図る。	事業の概要	オニバスの保護に伴う除草などの一連の作業をオニバスの会に委託している。 オニバスの会及び環境科学国際センター等の協力を得ながら、オニバスの保護育成に努める。	

事業の実績・成果

絶滅危惧種であるオニバスの保護に努めるとともに、その活動を通じ、地域の観光資源として活用を図るため、オニバスの会を中心に保護活動及びPR活動に取り組んだ。

1　オニバス自生地管理

オニバス保護活動団体である「オニバスの会」にオニバス自生地及び試験田等の管理委託を行い、開花時期に照準を合わせ、管理作業及び景観づくりに努めた。

(1) 除草作業　　令和2年6月26日、7月3日、10日、17日(計4回)

(2) 復元池干し上げ等の作業　令和3年3月15日

※オニバス開花時期等

発芽確認　令和2年5月18日

開花確認　令和2年7月22日

2　オニバスガイドの活動内容

オニバスガイドを開設し、次の活動を行った。(チーフガイド2名、ボランティアガイド14名)

(1) オニバス開花時期のガイド活動

令和2年8月中の毎週土・日曜日及びお盆期間(13日(木)～15日(土)、午前8時～11時)

(2) オニバスフェスタ

令和2年8月8日（土）に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

(3) 開花時期における来訪者数（7月下旬 ～ 9月上旬）　　(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開花時期の来訪者数	1,084	1,883	1,212	1,041	1,079
オニバスフェスタ来場者数	260	220	280	250	中止

オニバス復元池

オニバスの花

事 業 名		「風の里」環境保全事業			
担 当 課		地域振興課（騎西）		総合振興計画コード	4212-10
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	20,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	20,000 円
目	03	環境衛生費		決 算 額	0 円
事業の目的	見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割をはたす”ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全管理をする。		事業の概要	・周辺住民と協働しての清掃活動 （H22.8.30 に加須市と加須市上種足地区いきいき農村整備事業維持運営委員会が「加須市上種足地区いきいき農村整備事業施設の維持運営に関する協定」を締結） ・自然観察会等の実施	

事業の実績・成果

見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割を果たす“ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全管理を行った。

なお、例年貴重な自然環境を利用して、地元小学校の児童を対象に自然観察会を開催していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

事 業 名		一般廃棄物処理基本計画進行管理事業			
担 当 課		資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-02
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	175,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	175,000 円
目	03	環境衛生費		決 算 額	53,680 円
事業の目的	循環型社会の構築を目指すため、一般廃棄物の資源化・減量化・適正処理を総合的･計画的に推進する。		事業の概要	・一般廃棄物処理基本計画の施策を計画的に推進するため、省令第 1 条の 3 の規定により毎年度の事業に係る実施計画を定める。 ・計画の進行管理を行なうため、前年度の事業成果を取りまとめ、廃棄物減量等推進審議会に報告し意見を聴く。 （計画期間：平成 24 年度～令和 3 年度）	

事業の実績・成果

平成 24 年 3 月に策定した一般廃棄物処理基本計画に基づき進行管理を行っている。9 年目となる令和 2 年度は、加須市廃棄物減量等推進審議会を、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面にて 1 回開催し、各種意見を聴取するとともに、計画に基づいた一般廃棄物処理を行っていることが確認できた。

○令和 2 年度　第 1 回加須市廃棄物減量等推進審議会

1　開催日　　令和 2 年 8 月 21 日（金）

2　議事　　(1)会長の選任（案）について
(2)令和元年度ごみ処理の状況について
(3)ごみの資源化・減量化に向けた取組について
(4)加須・大利根クリーンセンター事業報告について
(5)令和元年度指定ごみ袋の販売実績及び分別推進料の使いみちについて
(6)令和元年度いなほの湯運営実績について
(7)令和２年度一般廃棄物処理実施計画について
(8)マイバッグ・マイボトルの推進（案）について

書面回答委員数　20 人 ／ 委員数 20 人

事 業 名		５Ｒの推進事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4331-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	6,025,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	6,025,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	2,584,395 円

事業の目的	市民との協働により「日本一のリサイクルのまち」をめざし、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの発生抑制・再使用・再生利用等５Ｒを推進し、市民の意識を高める。	事業の概要	・ごみ処理施設見学会、講座等の開催やホームページ、広報等を活用した市民への啓発を実施する。 ・資源ごみ回収報償金を交付し市民のリサイクル活動を支援する。

事業の実績・成果

ごみの資源化・減量化を図るため、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）、不要なものを買わない・もらわない（リフューズ）、修理しながら長く使い続ける（リペア）の５Ｒの推進に関する啓発活動を行った。

また、適正な分別を図ることで、ごみの資源化を推進するため、市民がパソコンやスマートフォンなどでごみの分け方を簡単に検索できるように提供するとともに、加須市公式アプリ「かぞっぷ」を活用し、地域別のごみカレンダーの情報提供を行い、市民のごみ分別排出の支援を行った。

さらに、小型家電の回収量の増加を図るため、平成30年7月から本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所に回収ボックスを設置し、資源化の周知及び排出機会の拡大を行った。

1　１人１日あたりのごみ排出量の推移　（単位：ｇ）

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
１人１日当たりのごみ排出量	988	984	995	966	1,010

2　資源ごみ集団回収

(1) 回収実績　単位：kg、本、円）

団体数	紙 類	布 類	生びん	金属類	報償金	資源化総量
52 団体	485,985	13,040	153	17,701	2,584,395	516,803

(2) 回収量・報償金の推移　（単位：t、円）

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
回 収 量	1,120	1,068	1,007	948	517
報償金額	5,605,830	5,339,715	5,038,775	4,738,720	2,584,395

3　ごみ処理施設見学会の実施（小学４年生対象）

(1) 参加数（参加者数は、引率者を含む。）

学校数	クラス数	参加者数
1	2	26

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、希望のあった学校に対してのみ実施。

事 業 名		資源物再生処理事業			
担 当 課		資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-05
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	191,183,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	191,183,000 円
目	03	環境衛生費		決 算 額	179,824,031 円
事業の目的	循環型社会の構築をはかるため、ごみの資源化・減量化を推進する。		事業の概要	・スチール缶、アルミ缶、飲食用びん、ペットボトル、プラスチック類・ゴム製品、紙・布類、小型家電、布団の資源化を図る。	

事業の実績・成果

資源ごみ等のリサイクルを行うとともに、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、びん類・ペットボトル・プラスチックの再商品化を図り、ごみの資源化・減量化を推進した。

1　リサイクル率の推移　（単位：%）

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
リサイクル率	39.1	38.8	38.4	37.1	38.4

※令和 3 年度までの目標値 40%

2　再生資源売払代金（歳入）

分別収集された資源ごみや焼却後の磁性物、クリーンセンターで分別した小型家電や布団、硬質プラスチック、粗大ごみ処理施設での破砕処理後の金属類などを再生事業者に売払った。

（単位：kg、円）

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
資源化量	4,250,072	3,974,191	3,806,248	3,744,929	4,071,482
売払代金	26,925,596	33,970,472	29,727,004	17,930,696	16,418,037

3　容器包装リサイクル法に係る拠出金（歳入）

・有償入札拠出金（ペットボトル）　10,481,870 円

4　資源ごみの中間処理の概要

分別収集した資源ごみ等について、リサイクルを図った。

（単位：kg、円）

品　目	委託事業者	処理量	委託料	備　考
びん類	㈱ｳｨｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	124,110	4,423,275	容器包装リサイクル法に基づく処理
びん類	㈱山口商店	385,520	9,753,656	
びん類	三栄ガラス㈱	207,150	268,675	
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 ｺﾞﾑ製品	㈱ダイヤ整環	2,145,140	103,824,776	
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類 ｺﾞﾑ製品	㈱ｳｨｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	720,110	46,339,075	容器包装リサイクル法に基づく処理

※ペットボトルの処理委託料は、加須クリーンセンターごみ処理事業に記載

事 業 名	バイオマス資源化事業			（総合戦略）
担 当 課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-06
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	23,675,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	23,675,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	22,956,096 円
事業の目的	ごみの資源化・減量化のため、草木類や生ごみ等のバイオマス（生物由来のもの）の資源化を推進する。		事業の概要	・民間リサイクル業者と連携した草木類の資源化（チップ化して燃料へ）を実施する（緑のリサイクル事業）。 ・生ごみ処理容器等購入費補助金を周知及び交付する。 ・公園の剪定枝などをチップ化、堆肥化、木炭化する。また、体験会などを実施する。

事業の実績・成果

剪定枝、家具類などの木くず類について、「緑のリサイクル事業」として民間処理施設においてチップ化し、発電施設や製紙メーカーなどの工場で使用する電力用ボイラーなどの代替燃料として、資源化を図った。

また、公園の管理作業で発生する剪定枝や枯葉などの資源を再利用し、市民の自然への理解、環境への認識を深める、チップ化体験会や炭焼き体験会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

1　草木類中間処理委託

（単位：kg、円）

年　　度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
資源化量	4,851,560	4,883,570	5,106,740	4,208,260	4,807,860
市委託処理量	1,751,580	1,832,010	1,928,640	1,918,260	2,275,070
委託費	15,454,680	16,343,534	16,664,069	16,798,677	20,071,449

※平成 23 年度からの開始

2　生ごみ処理容器等購入の支援

燃やすごみ減容のため、コンポスト・電気式処理機等の生ごみ処理容器購入費を助成した。

（平成 24 年 6 月 1 日から補助金額の統一・拡充）

補助上限額：電気式　　40,000 円／1 基

コンポスト　4,000 円／1 基

（単位：基、円）

機種	基数	補助金額
コンポスト	45	171,658
電気式処理機	71	2,388,159
計	116	2,559,817

3　チップ化体験会（けやき公園駐車場）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

4　炭焼き体験会（種足ふれあいの森）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

事業名	リサイクル協働事業			（総合戦略）
担当課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-07
款	04	衛生費	当初予算額	23,262,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	25,907,000円
目	03	環境衛生費	決算額	22,679,470円
事業の目的	ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの分別や集積所の管理等について、地区リサイクル推進協力会を中心とした市民との協働を進める。		事業の概要	・リサイクル推進協力会連絡会・役員会における地域間の情報共有、各地域協力会で実施する研修実施、各地区のごみ収納かご、カラスネット購入の支援を行う。 ・市内の地区協力会におけるごみ集積所管理等のリサイクル推進員の活動を支援する。 ・ごみ集積所整備に対する支援を行う。

事業の実績・成果

「日本一のリサイクルのまち」を目指し、ごみの分別・収集体制の統一を機に設立した市民団体であるリサイクル推進協力会を多方面から支援し、市民と行政の協働によるごみの資源化と減量化を図った。

1　ごみ集積所整備の支援　　18件　　985,145円
ごみの集積所の新設、改修等について、各地区のリサイクル協力会に補助金を交付した。

2　地区リサイクル推進協力会への支援
(1)各地区リサイクル推進協力会交付金を交付した。

（単位：地区、円）

地域	地区協力会数	交付金額
加須地域リサイクル推進協力会	75	9,803,900
騎西地域リサイクル推進協力会	48	2,663,200
北川辺地域リサイクル推進協力会	19	915,000
大利根地域リサイクル推進協力会	37	1,923,600
合計	179	15,305,700

(2)ごみ集積所の適正管理・不法投棄対応等に係る現地確認、指導等を行った。

3　地域リサイクル推進協力会・リサイクル推進協力会連絡会の運営支援
(1)リサイクル推進員研修の実施
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リサイクル推進員にマニュアルを送付した。
（リサイクル推進員数　879人）

(2)リサイクル推進協力会役員会、リサイクル推進協力会連絡会を開催し、情報提供、情報共有を行った。

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応
【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.47参照）。

事 業 名		食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4331-09
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	25,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	17,273,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	10,547,697 円

事業の目的	食品ロス及びプラスチックごみを削減させ、ごみの資源化・減量化を推進するとともに、世界的な問題となっている海洋汚染の防止等を図る。	事業の概要	・広報紙、ＨＰ、チラシ等により啓発活動を実施する。 ・食品ロス削減のため、食べきりかぞ協力店事業を実施する。 ・プラスチックごみ削減のため、マイバック・マイボトル運動を実施する。 ・市役所内においても、プラスチック削減運動（マイバッグ・マイボトル運動）を実施する。

事業の実績・成果

本来食べられるのに廃棄されてしまう食品ロスを削減するため、市民への啓発のほか、来店者からの希望する量のメニューの導入や食べ残しの削減の対応などの協力を行う「食べきりかぞ」協力店の登録やＰＲを進め、ごみの減量化を図った。また、海洋プラスチック汚染が問題視されているなか、プラスチックの使用抑制のため、令和２年７月からのレジ袋有料化に伴い、マイバッグの利用推進を図った。

1　プラスチック使用抑制、削減の取組み

(1) 市民向けにマイバッグの利用促進及びＰＲ（市内公共施設にポスター掲示、チラシを配布）

(2) 市役所内において、マイボトル・マイバッグ運動を推進（令和３年１月４日から）

2　食べきりかぞ協力店事業

生ごみの減量や、食品ロスの削減に向けた下記の取組を１つでも実践する店舗を、「『食べきり“かぞ”』協力店」として登録し、その取組をホームページにて周知した。

取組実践項目

(1) 小盛、ハーフサイズメニュー等の設定

(2) 来店者からの要望に応じた量の調整

(3) 食べ残し削減の呼びかけ

例：宴会での食べきりの呼びかけ、注文受付時に適量注文の呼びかけ、食べきり協力店である旨の呼びかけ等

(4) 量り売り、ばら売り、少量パック等による販売

(5) ポスター等の掲示による啓発活動の実施

(6) その他生ごみの減量・食品ロスの削減につながる取組の実施

（単位：店）

年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度
登録店舗数	－	－	－	47	57

※令和元年度から実施

3　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ．生活支援】を実施した（別冊 P.47 参照）。

事 業 名		ＰＣＢ廃棄物適正処理推進事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4332-05
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	10,690,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	10,690,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	9,589,728 円
事業の目的	PCB 特措法に基づく適正な PCB 廃棄物等の保管・処理を実施する。		事業の概要	市の保有する PCB 廃棄物の保有状況調査を適宜実施し、保管及び処分に係る計画・スケジュールを作成する。 また、当該計画等に基づき、各保有課と調整のうえ、法令に定める適正な保管・処分を計画的・効率的に実施する。

事業の実績・成果

1　PCB 廃棄物の保管及び処分状況等届出書の取りまとめ

毎年県への届出が義務付けられている PCB 廃棄物の保管及び処分状況届出書について、一括して取りまとめ、提出した。

2　特別管理産業廃棄物管理責任者講習会の参加

PCB 廃棄物の適正保管を実施するため、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが主催する講習会へ参加した。

(1) 対 象 課　　特別管理産業廃棄物管理責任者の未設置課

(2) 参加人数　　4 人

3　高濃度 PCB 廃棄物処理業務

各施設で保管していた高濃度 PCB 廃棄物（コンデンサー）について、適正に処理を行った。

南篠崎体育館　　2 基

北川辺排水機場　　6 基

事業名	不法投棄防止事業			
担当課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4343-02
款	04	衛生費	当初予算額	1,423,000円
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,423,000円
目	03	環境衛生費	決算額	775,910円
事業の目的	地域の環境美化及び生活環境の保全を図るため、ごみの不法投棄を防止する。		事業の概要	・関係課との合同パトロールを行い、ごみの不法投棄を防止する。 ・希望する市民へ看板を配布し、民地への不法投棄防止を支援する。 ・集積所への不法投棄ごみのうち、タイヤなどの処理困難物を回収し適正に処理する。 ・集積所への不法投棄防止対策を検討する。

事業の実績・成果

市民からの情報提供や日々の不法投棄防止パトロールにより、ごみ集積所の不適正排出、道路・河川等の不法投棄によるごみを回収し、処理困難物の適正処理を行い、生活環境の保全を図った。

また、不法投棄防止看板を作製し、希望する市民に配布した。

1　不法投棄処理困難物処理　（単位：kg、円）

委託先	処理困難物	処理量	委託料
(株)クワバラ・パンぷキン	ﾀｲﾔ･ｿﾌｧｰ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･消火器等	11,050	143,650
(株)ダイヤ整環	ﾀｲﾔ･ｿﾌｧｰ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･消火器等	6,660	86,580
(財) 家電製品協会 ((有)ヤマトヨ商店の運搬料含む)	特定家庭用機器	－	137,580
リバーホールディングス(株)	フロン含有小型家電	－	3,300
合計		17,710	371,110

2　不法投棄防止看板の作製　（単位：枚、円）

作製枚数	購入費
160	404,800

事 業 名		生活環境緊急対策事業		
担 当 課		環境政策課	総合振興計画コード	4343-05
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	348,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	348,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	51,795 円
事業の目的	市民の生活環境の保全を図るため、緊急性を要する事故・災害の発生時において、環境衛生面での迅速な対応を行う。		事業の概要	油の流出などの水質事故への迅速な対応や床下浸水被害家屋等への消毒の迅速な実施などの生活環境上の緊急時の対応を行う。また、スズメ蜂などの害虫駆除業者の市民への紹介を行う。

事業の実績・成果

1　市民からの蜂駆除に関する問合せ・相談
　駆除事業者等の紹介　107 件

2　集中豪雨や台風の影響による床下浸水家屋の床下消毒の実施
　集中豪雨により家屋が床下浸水したため、職員が出向き消毒を実施。
　・令和 2 年度浸水家屋消毒件数：2 件

事 業 名		広域利根斎場組合運営事業		
担 当 課		市民課	総合振興計画コード	4343-06
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	37,887,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	37,887,000 円
目	03	環境衛生費	決 算 額	37,887,000 円
事業の目的	生活環境の保全を図るため、「広域利根斎場」の円滑な管理運営を行う。	事業の概要	火葬業務等を行う斎場（メモリアルトネ）の管理運営を行うため、運営費負担金を支出する。 【構成市】：加須市、久喜市、幸手市、宮代町	

事業の実績・成果

1　広域利根斎場組合の施設の維持管理や運営業務が円滑に行われるよう負担金を交付した。

負担金額の推移　（単位：円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
負担金額	39,362,000	38,955,000	38,950,000	38,371,000	37,887,000
負担金総額	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000	110,000,000

※負担金総額は、久喜市・加須市・幸手市・宮代町の合計

＜参考＞広域利根斎場組合決算額の推移　（単位：円）

決 算 額	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳 入	266,695,079	261,051,737	249,378,699	246,105,691	236,123,705
歳 出	216,360,589	224,489,335	214,628,166	216,775,465	208,424,717

2　広域利根斎場組合施設使用状況

・火葬受入件数は、1 日最大人体 16 件、小動物の単独火葬 1 日 2 件

広域利根斎場組合施設利用の推移（加須市分）　（単位：件）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
火葬室	1,121	1,081	1,166	1,178	1,188
待合室	1,624	1,553	1,579	1,536	1,321
葬祭場	633	619	654	601	492
霊安室	287	277	296	268	171
小動物	1,305	1,237	1,167	1,171	1,147

事 業 名		保健センター管理運営事業			
担 当 課		健康づくり推進課		総合振興計画コード	2211-26
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	18,255,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	23,735,181 円
目	04	保健センター費		決 算 額	22,380,069 円
事業の目的	健康づくりの拠点である保健センターの施設設備を適切に維持管理するとともに有効活用を図る。		事業の概要	老朽化の進んでいる保健センターの施設、電気、機械設備等を計画的に維持管理・修繕する。 また、北川辺及び大利根保健センターについては、施設の設置目的に沿った形で貸し出す。	

事業の実績・成果

消防設備点検、自家用電気工作物保安管理、浄化槽維持管理・法定点検、清掃業務、冷暖房保守及び警備等の委託による管理運営を行うとともに、コピー、冷暖房灯油・重油、電気・ガス、水道・下水道及び電話等の適正管理に努めた。

各保健センターにおいて、下表の工事及び修繕を実施した。

新型コロナウイルス感染症の感染予防として、館内でのリモートワークに対応した。

保健センター名	修繕・工事名	執行額
加須保健センター	ドアクローザー交換修繕	71,500 円
	屋上冷温水発生機修繕	236,500 円
騎西保健センター	看板修繕	495,000 円
北川辺保健センター	浄化槽ブロワ用漏電遮断器交換修繕	73,700 円
	看板等修繕	333,300 円
	駐車場区画線修繕	110,000 円
	洋式トイレ設置工事	1,100,550 円
	雨漏り補修工事	1,828,200 円
大利根保健センター	1 階多目的トイレ壁修繕	54,450 円
	トイレ修繕	44,000 円
	駐車場区画線修繕	60,500 円
	看板等修繕	814,000 円
	トイレ手摺設置	110,550 円
合計		5,332,250 円

事 業 名		医療診断センター管理運営事業		
担 当 課		医療体制推進課	総合振興計画コード	2223-05
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	119,596,000 円
項	01	保健衛生費	最 終 予 算 額	119,596,000 円
目	05	医療診断センター費	決 算 額	115,745,346 円
事業の目的	高度医療機器を活用した画像診断によって地域医療の高度化を図り、もって、市民の健康の保持・増進に寄与する。		事業の概要	MRＩやＣＴ等の高度医療機器を活用し、医療機関からの依頼による検査及び市民の健康の保持増進に必要な事業（脳ドック、乳がん検診）を実施する。 また、地域医療ネットワークシステム「とねっと」を活用した医療連携を推進する。

事業の実績・成果

MRＩやＣＴなどの高度医療機器を使って、医療機関からの依頼による検査や脳ドック検査などを行うことで地域医療に貢献し、市民の健康の保持・増進を図ることができた。

1　年度別検査の状況　（単位：件）

区分 / 年度	診療日数	医療機関からの依頼件数					検診件数			合 計
		MRI	CT	MMG	超音波	小計	脳ドック	乳がん	小 計	
平成 28 年度	244	1,808	669	61	3	2,541	167	1,780	1,947	4,488
平成 29 年度	245	1,806	635	38	1	2,480	188	1,809	1,997	4,477
平成 30 年度	244	1,651	823	46	0	2,520	181	1,766	1,947	4,467
令和元年度	240	1,727	904	39	0	2,670	136	1,792	1,928	4,598
令和 2 年度	243	1,576	923	48	0	2,547	112	1,465	1,577	4,124

2　脳ドック検査の状況

MRＩを使って脳ドック検査を実施し、受検者の疾病等の早期発見や健康意識の向上などに貢献した。

	件　数	市内・市外の別		備　　考
		市　内	市　外	うち、国民健康保険、後期高齢者医療利用補助
人　数 (件)	112	91	21	国保 52　後期高齢 25
割　合 (%)		81.3%	18.7%	68.8%

3　乳がん検診の状況

マンモグラフィを使って乳がん検診（個別検診）を実施し、がんの早期発見、早期治療につなげることができた。

	受診者数	要精密検査者数	うち、乳がん発見者数
人　数 (件)	1,465	114	9
割　合 (%)		7.8%	0.6%

※個別検診（医療診断センター分）のみ集計

事 業 名		健康ふれあいセンター管理運営事業			
担 当 課		資源リサイクル課		総合振興計画コード	2214-09
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	38,675,000 円
項	01	保健衛生費		最 終 予 算 額	41,161,200 円
目	06	健康ふれあいセンター費		決 算 額	40,831,817 円
事業の目的	市民の健康の保持及び増進、体力の向上並びに住民相互のふれあいと交流の場としての施設の管理運営を行う。		事業の概要	・指定管理者による施設の管理・運営を実施し、衛生管理や設備の点検及び修繕を行う。 ・経営安定化のための集客事業を実施する。	

事業の実績・成果

健康ふれあいセンターの管理運営を、指定管理者の㈱クリーン工房に委託し、民間のノウハウを活用した運営を行った。

※指定管理の期間は平成30年4月～令和3年3月までの3年間

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月10日から6月16日まで休館した。

1　入館者数

入館者数は、38,045人で前年比52.5%となった。

（単位：日、人）

年度	営業日数	入館者数			
		大人	子供（小学生）	幼児（小学校就学前）	合　計
平成28年度	315	70,774	5,522	4,438	80,734
平成29年度	311	68,347	4,634	4,319	77,300
平成30年度	311	67,565	3,615	3,009	74,189
令和元年度	293	65,959	3,827	2,694	72,480
令和2年度	241	35,398	1,512	1,135	38,045

2　施設利用料金及び売上金（指定管理者の収入）

売上げは、26,023,441円で前年比47.9%となった。

（単位：円）

年度	施設利用料金	売上金	合　計
平成28年度	30,371,100	36,068,717	66,439,817
平成29年度	28,313,600	33,436,833	61,750,433
平成30年度	27,075,050	30,728,840	57,803,890
令和元年度	26,076,250	28,166,174	54,242,424
令和2年度	14,881,000	11,142,441	26,023,441

3　主な施設の修繕等

・配管洗浄剤購入（レジオネラ菌対策）
・機械室排気ファン交換
・循環浄化装置ポンプ等修繕及びろ材交換工事
・浄化槽点検蓋交換
・浄化槽原水ポンプ№2、およびフロートスイッチ更新

4　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅲ．事業者支援】を実施した（別冊P.48参照）。

事 業 名		加須クリーンセンター管理運営事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4332-01
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	12,930,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	12,936,600 円
目	01	清掃総務費	決 算 額	12,249,555 円

事業の目的	処理施設の適切な管理運営のために、施設の安全管理及び周辺環境美化を推進する。	事業の概要	・処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る。

事業の実績・成果

加須クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。

また、周辺環境対策として地元環境対策協議会へ補助金を交付した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、視察研修や懇談会が中止になったことから、地元環境対策協議会会長とは、随時打合せを行い、さらに、加須クリーンセンターの事業報告書を協議会に提出し、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。

1　円滑な受付、誘導

受付を臨時職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。

2　適切な施設管理

(1)　施設保守点検　・施設警備保守
　　・自動ドア保守点検

(2)　場内環境美化　・場内樹木剪定委託
　　・場内清掃業務委託

3　周辺環境対策

周辺ほ場に景観形成作物としてホテイアオイの植付けを行い、いなほの湯や加須クリーンセンターへの来館者の目を楽しませるとともに、周辺環境の向上及び地域の活性化を図った。

事 業 名		大利根クリーンセンター管理運営事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4332-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	9,732,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	9,725,400 円
目	01	清掃総務費	決 算 額	7,807,542 円

事業の目的	処理施設の適切な管理運営のために、ごみの適正処理及び周辺環境美化を推進する。	事業の概要	・処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る。

事業の実績・成果

大利根クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。

また、周辺環境対策として地元環境対策協議会へ補助金を交付した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、視察研修や懇談会が中止になったことから、地元環境対策協議会会長とは、随時打合せを行い、さらに、大利根クリーンセンターの事業報告書を協議会に提出し、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。

1　円滑な受付、誘導

受付を臨時職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。

2　適切な施設管理

(1)　施設保守点検　・自家用電気工作物保安管理
　　・消防設備点検
　　・浄化槽保守点検

(2)　場内環境美化　・場内樹木消毒
　　・高木剪定を委託

3　周辺環境対策

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和 2 年度に実施を予定していた視察研修及び住民懇談会は中止した。

事業名	ごみ収集事業			
担当課	資源リサイクル課		総合振興計画コード	4331-04
款	04	衛生費	当初予算額	532,654,000円
項	02	清掃費	最終予算額	533,644,000円
目	02	じん芥処理費	決算額	506,308,573円

事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみ集積所に出されたごみを適正に収集運搬する。	事業の概要	・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等を適正に収集運搬する。 ・ごみカレンダー等を配布し、ごみ収集日程やごみの出し方などを周知徹底する。 ・指定ごみ袋取扱店と連携した指定ごみ袋の安定供給とごみ処理手数料の円滑な徴収・収納を実施する。

事業の実績・成果

ごみ集積所に出されたごみを適正に収集運搬するとともに、指定ごみ袋制度、粗大ごみの戸別収集を実施し、生活環境の保全等を図った。

1　燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等収集運搬業務委託　424,267,272円

市民が集積所に出した燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ等の収集運搬業務及び粗大ごみ戸別収集業務を委託し収集を行った。

○収集品目別・地域別委託料　（単位：円）

<table>
<tr><th>収集品目</th><th>加須</th><th colspan="2">騎西</th><th>北川辺・大利根</th></tr>
<tr><td>燃やすごみ</td><td rowspan="2">122,016,840</td><td>A</td><td rowspan="7">A：41,535,120
B：38,631,780</td><td>37,926,504</td></tr>
<tr><td>プラスチック類・ゴム製品</td><td>B</td><td rowspan="4">31,921,428</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ</td><td rowspan="4">89,205,600</td><td rowspan="3">A</td></tr>
<tr><td>危険ごみ</td></tr>
<tr><td>粗大ごみ</td></tr>
<tr><td>びん・缶・ペットボトル</td><td rowspan="2">B</td><td>26,961,000</td></tr>
<tr><td>紙・布類</td><td>20,130,000</td><td>15,939,000</td></tr>
</table>

※集積所のごみ収集を祝日も実施したことにより、市民サービスの向上が図られた。

2　指定ごみ袋制度の運用

指定ごみ袋の製造及び配送を行い、ごみ処理手数料を徴収した。

（単位：冊、円、店舗）

販売冊数			手数料徴収額	徴収委託料	登録店舗数
燃やすごみ	45ℓ	224,579	56,144,750	19,551,048	205
燃やすごみ	30ℓ	140,412	23,870,040		
燃やすごみ	20ℓ	94,762	10,423,820		
燃やすごみ	15ℓ	96,218	6,735,260		
燃やさないごみ	45ℓ	16,634	4,158,500		
燃やさないごみ	30ℓ	8,407	1,429,190		
燃やさないごみ	20ℓ	6,165	678,150		
燃やさないごみ	10ℓ	5,279	263,950		
合計		592,456	103,703,660		

・指定ごみ袋製造・配送業務委託料　48,907,254円

・指定ごみ袋受注及びごみ処理手数料出納業務委託料　6,402,000円

3　犬猫等死体処理業務委託　699,600円

市の管理する道路等の犬や猫等の動物の死体処理を適正に行った。（処理件数 53件）

4　ごみカレンダー

令和3年度版を庁内印刷により作成し、令和3年3月に全戸配布した。

5　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅰ．感染予防】を実施した（別冊P.48参照）。

事 業 名		加須クリーンセンターごみ処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4332-02
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	595,937,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	713,104,000 円
目	02	じん芥処理費	決 算 額	637,595,183 円

事業の目的	加須・騎西地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。	事業の概要	・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、ペットボトル等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設、ペットボトル減容施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・最終処分場を維持管理する。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域等から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。

1　燃やすごみの処理

○燃やすごみ搬入量　（単位：t）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
22,289	22,375	22,479	22,473	22,686

燃やすごみの中から、草木類 60t、紙類 72t、布団類 6t、布類 8t を分別し資源化した。

2　燃やさないごみ、粗大ごみ、危険ごみの処理

○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む）　（単位：t）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
1,594	1,631	1,712	1,765	2,191

○粗大ごみ搬入量　（単位：t）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
103	90	98	106	132

燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類 367t、小型家電 258t、金属類 613 t 、プラスチック類 87t、硬質プラスチック 23t、びん類 22t、アルミ缶 4t、スチール缶 10t を分別し資源化した。また、危険ごみの中から、乾電池 32t、蛍光管 10t を資源化した。

3　ペットボトルの処理

○ペットボトル処理量　（単位：t）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
221	218	223	210	212

処理量に、ペットボトルのラベル、キャップを含む。

ペットボトル選別業務委託料　公益社団法人加須市シルバー人材センター　5,738,040 円

4　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	2,403	70,057,946
3,226	埋立処分	数量	委託料
	㈱ｳｲｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	603	20,229,307
	ｸﾞﾘｰﾝﾌｨﾙ小坂㈱	220	8,477,205

※委託料に運搬費を含む。

○不燃残渣の処分の状況　（単位：t、円）

不燃残渣発生量	処分の内容		
357	埋立処分	数量	委託料
	埼玉県環境整備ｾﾝﾀｰ	357	9,246,300

※委託料に運搬費を含む。

○自己最終処分場の状況　（単位：㎥）

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
埋立量	0	0	0	0	0
残余容量	11,151	11,151	11,151	11,151	11,151

5　施設修繕の状況

・ごみ焼却炉（1･2号炉）耐火物修繕
・2号炉ガス冷却室天井部交換修繕
・消防設備（火災報知器）修繕
・粗大ごみ処理施設修繕：供給フィーダ、破砕物コンベヤ、ペットボトル結束機
・浸出水処理施設修繕：汚泥脱水機

6　リサイクルフェアの実施

例年、粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を開催していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

7　上尾市ごみ処理施設の火災による不燃ごみの受入

上尾市のごみ処理施設（西貝塚環境センター）の一部が火災により、処理できなくなったため、不燃ごみの一部を令和2年11月11日から令和3年3月31日まで計124.86ｔを受け入れ処理した。

8　土曜日の直接搬入の受入中止

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ごみ処理施設の安定稼働維持の観点から、5月中の土曜日、直接搬入の受け入れを中止した。

令和2年　5月　2日、9日、16日、23日、30日

【繰越明許　令和2年度から令和3年度に繰り越す理由】

加須クリーンセンターごみ焼却施設等の修繕等（繰越明許額　47,317,000円）

処理噴霧ポンプ取替修繕　15,400,000円
4成分ガス分析計取替修繕　21,296,000円
脱窒槽撹拌ポンプ汚泥供給ポンプ・汚泥供給ポンプ修繕　5,155,370円
ショベルローダー購入　5,465,130円

経年劣化による異常等が確認された設備の修繕等を行い、加須クリーンセンターのごみ処理が停滞することなく、継続的・安定的に行われるようにするため、3月議会において補正予算を計上し、年度をまたいで早期完成を目指すため、修繕費等を繰越したものである。

事 業 名		大利根クリーンセンターごみ処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4332-04
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	181,961,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	188,418,000 円
目	02	じん芥処理費	決 算 額	165,364,918 円
事業の目的	北川辺・大利根地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。	事業の概要	・燃やすごみ等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。	

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。

1　燃やすごみの処理

○燃やすごみ搬入量　（単位：t）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
5,508	5,574	5,634	5,808	6,036

燃やすごみの中から、草木類 948t、紙類 58t、布類 1t を分別し資源化した。

2　燃やさないごみ、粗大ごみの処理

○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む）　（単位：t）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
161	157	160	159	160

○粗大ごみ搬入量　（単位：t）

平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
186	207	223	228	303

燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類 149t、小型家電 38t、金属類 76t、プラスチック類 141t、硬質プラスチック 6t、びん類 8t、アルミ缶 1t、スチール缶 1t、乾電池 1t、蛍光管 1t を分別し資源化した。

3　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	386	11,877,096
585	ﾒﾙﾃｯｸ㈱	57	3,105,827
	埋立処分	数量	委託料
	㈱ｳｲｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	142	6,022,168

※委託料に運搬費を含む。

4　施設修繕の状況

・ガス冷却室天井耐火物緊急修繕(1 号炉)：焼却炉内の耐火物の取替修繕
・燃焼天井耐火物緊急修繕(2 号炉)：焼却炉内の耐火物の取替修繕
・ごみ焼却炉内耐火物修繕(1 号炉)：焼却炉内の耐火物の取替修繕
・1 号炉内火格子取替修繕：焼却炉内の火格子の取替修繕
・ごみホッパ監視カメラ緊急修繕：ごみホッパの監視カメラの取替修繕
・生活用水給水ポンプユニット緊急修繕：生活用水給水ポンプユニットの取替修繕

5　リサイクルフェアの実施

例年、粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を開催していたが、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

6　土曜日、日曜日の直接搬入の受入中止

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、ごみ処理施設の安定稼働維持の観点から、5月中の土曜日、日曜日、直接搬入の受け入れを中止した。

令和2年　5月　2日、3日、9日、10日、16日、17日、23日、24日、30日、31日

事業名		加須クリーンセンターし尿処理事業		
担当課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4224-02
款	04	衛生費	当初予算額	140,452,000円
項	02	清掃費	最終予算額	140,452,000円
目	03	し尿処理費	決算額	130,485,931円
事業の目的	河川の浄化を図るため、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。		事業の概要	・浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。

1　し尿及び浄化槽汚泥の処理

○し尿処理量　（単位：kl）

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
生し尿	780	788	731	714	660
浄化槽汚泥等	18,571	18,580	18,716	18,785	19,611
合計	19,351	19,368	19,447	19,499	20,271

2　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
57	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	57	1,658,048

※委託料に運搬費を含む。

3　施設修繕の状況

・ガス撹拌ブロワ及び曝気ブロワ点検整備
・中濃度臭気ファン及び高濃度臭気ファン整備
・苛性ソーダ配管整備
・UV計、pH計等計器整備修繕
・雑排水ポンプユニット整備
・汚泥、し渣切出コンベヤ用インバーター修繕
・余剰汚泥引抜ポンプA修繕

4 公衆衛生向上の支援

し尿の適正処理及び悪臭防止を推進するため、し尿収集運搬許可業者9社で組織する加須市清掃組合に対し補助金を交付し公衆衛生向上に努めた。

・悪臭防止対策（清掃車から発生する悪臭防止対策）　480,000円
・し尿処理業務の円滑化対策　180,000円

事 業 名		大利根クリーンセンターし尿処理事業		
担 当 課		資源リサイクル課	総合振興計画コード	4224-03
款	04	衛生費	当 初 予 算 額	87,721,000 円
項	02	清掃費	最 終 予 算 額	87,721,000 円
目	03	し尿処理費	決 算 額	73,243,715 円
事業の目的	河川の浄化を図るため、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。	事業の概要	・浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。	

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。

1　し尿及び浄化槽汚泥の処理

○し尿処理量　（単位：kl）

区　分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
生し尿	576	596	575	547	502
浄化槽汚泥等	9,548	9,940	10,471	10,985	11,955
合　計	10,124	10,536	11,046	11,532	12,457

2　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
28	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	28	851,004

※委託料に運搬費を含む。

3　施設修繕の状況

・放流水 COD 計修繕：COD 計の部品の取替修繕
・脱臭炉温度調節計修繕:温度調節計の部品の取替修繕
・焼却設備指示調節計修繕:指示調節計の部品の取替修繕
・曝気ブロワ(NO.1)緊急修繕:曝気ブロワの部品の取替修繕
・消防設備修繕:消防設備の部品の取替修繕
・機械設備修繕:排オゾン濃度計 1 台・ガス攪拌ブロワ及びセパレーター1 台・ろ布洗浄ポンプ 2 台攪拌ブロワ 1 台・ポンプ用インバーター8 台の取替修繕

事 業 名		水道事業会計繰出事業			
担 当 課		水道課		総合振興計画コード	3163-17
款	04	衛生費		当 初 予 算 額	0 円
項	03	水道費		最 終 予 算 額	203,200,000 円
目	01	水道費		決 算 額	203,200,000 円
事業の目的	水道基本料金の免除により生じた水道事業会計の減収を補填し、水道事業運営の安定化を図る。		事業の概要	水道基本料金の免除（令和２年５月請求分～８月請求分）を更に８ケ月延長（９月請求分～令和３年４月請求分）したことにより生じた水道事業会計の減収（８ケ月）分を繰出金として適正に措置する。	

事業の実績・成果

1　新型コロナウイルス感染症に係る対応

【Ⅱ.　生活支援】を実施した（別冊 P.49 参照）。